



青森県基本計画

「選ばれる青森」への挑戦

交え合い、共に生きる

# よくわかる 青森県 2023

青森県企画政策部

## はじめに

2019年12月に中国で初めて報告された新型コロナウイルス感染症は、その後パンデミックと呼ばれる世界的大流行となり、私たちの日常生活は、あらゆる場面で大きく変化しました。

コロナ禍の影響が3年以上にわたる中、我が国全体で様々な社会変容・変革が起りましたが、その一つが「データ」の重要性の高まりです。

報道等により、日々の感染者数の推移や数理モデルを用いた感染者数の予測、ビックデータを活用した人流予測など、多くのデータが私たちの生活に溢れ、私たちにとってデータがより身近なものとなりました。一気に進んだ社会のデジタル化は、人工知能（AI）技術の進化とともに、ビックデータ等を活用した新たなアプローチによる地域課題の解決を可能としました。このような流れは、今後もあらゆる分野で加速すると見込まれます。

また、コロナ禍に加えて、国際情勢の緊迫化や物価上昇等、非常に早いスピードで激しく変化する世の中に柔軟かつ適切に対応していくためには、勘や経験のみに頼るのではなく、客観的なデータにより要因を分析し、対策を考える必要があります。行政においてもEBPM（Evidence-based policy making＝証拠に基づく政策立案）の考えに立ち政策を立案し、その効果を検証し、成果や課題を次の政策に生かしていくことが必須となっています。

本書「よくわかる青森県 2023」は、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」に掲げる4分野に沿って、本県の姿を様々な客観データから描き出すことにより、過去、現在を知り、未来に向けて挑戦するための企画立案等の基礎資料となるほか、単なる統計資料に留まらず、本県の姿を包括的に知ることができる「ガイドブック」ともなっています。

読者の皆様には、本書から、本県の強みや課題、さらには本県が有する自然、歴史、文化、食、祭り、人財などに代表される多様な地域資源など、本県の新たな価値や可能性を見出していただくとともに、用途に合わせ有効にご活用いただければ幸いです。

2023年3月

青森県企画政策部長 東 直樹

# 目 次

## □ 青森県の姿 □

I	青森県基本計画の推進	5
---	------------	---

## II 基本情報

1	人口・世帯	8
2	財 政	11
3	経 済	
(1)	県民所得	16
(2)	家計・物価・賃金	21
(3)	金 融	25
(4)	景気動向	27

## III 4分野情報

1	産業・雇用分野	
(1)	農林水産業	32
(2)	観 光	49
(3)	エネルギー	53
(4)	鉱 工 業	56
(5)	商業・貿易	62
(6)	建 設 業	69
(7)	労 働	71
(8)	交通・インフラ・情報通信	76
2	安全・安心、健康分野	
(1)	保健・医療	90
(2)	福 祉	103
(3)	消防・防災	111
(4)	生活環境、事件・事故	116
3	環境分野	
(1)	自然環境	125
(2)	脱炭素・循環	131
4	教育・人づくり分野	
(1)	教 育	137
(2)	人づくり、移住・交流	148
(3)	文化・スポーツ	153

<b>IV</b>	<b>地域別情報</b>	162
1	地域別の産業構造	163
2	産業別に見る地域の特長	164
3	地域の現状	168
4	地域のここが推し	180
<b>□</b>	<b>資料編</b>	<b>□</b>
<b>I</b>	<b>青森県長期計画の変遷と計画を取り巻く社会経済状況の変化</b>	189
<b>II</b>	<b>個別計画</b>	
	一覧表	194
<b>III</b>	<b>地域資源カレンダー</b>	
1	食材カレンダー	221
2	催事カレンダー	225
<b>IV</b>	<b>統計データ</b>	
1	統計データ一覧	237
2	都道府県別主要統計	241
3	単位当たり統計指標による都道府県ランキング	243
4	地域県民局を単位とした市町村別指標	255

※本文中の図表については、端数処理のため、合計と内訳が一致しない場合があります。



## □ 青森県の姿 □

本項では、現在の青森県の姿を質的・量的側面から多角的に説明する。主に客観的データを基にして、青森県の姿を明らかにしていく。

### I 青森県基本計画の推進

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」に掲げる本県のめざす姿や5つの戦略プロジェクトによる取組の重点化など、計画の概要を紹介する。

### II 基本情報

人口・世帯、財政、経済など本県の基本情報を紹介する。

### III 4分野情報

「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」に掲げる4つの分野ごとに様々なデータを紹介する。

### IV 地域別情報

県内6地域の特長を代表的なデータを用いて紹介する。

## 1 青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦 ～支え合い、共に生きる～

県行政全般に係る政策・施策の基本的な方向性を総合的・体系的に示す「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の概要を紹介する。

## (1) 「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」とは

- ・ 県行政全般に係る政策及び施策の基本的な方向性について総合的かつ体系的に示した県行政運営の基本方針
- ・ 計画期間は5年間（2019～2023年度）
- ・ 最重要課題は「人口減少克服」

## &lt;選ばれる青森&gt;

- ・ 若者や女性の皆さんから、学ぶ場所・働く場所・生きる場所として「選ばれる青森」
- ・ 農林水産品や観光、北海道・北東北の縄文遺跡群など、様々な分野での青森県の価値が国内外から「選ばれる青森」をめざす、という2つの意味がある。

## &lt;支え合い、共に生きる&gt;

- ・ 2025年の超高齢化時代の到来を見据え、地域におけるつながりや助け合いを大切にしていこう、という意味がある。

## &lt;ロゴマークのコンセプト&gt;

- ・ AomoriのAをモチーフに、これらが中心に向かって集まる様子をデザインし、青森県に人やモノが集まり、「選ばれる青森」を実現していくというメッセージと、県民が持てる力を結集し、支え合うイメージを表現。



## (2) 2030年の青森県のめざす姿

- ・ 2030年のめざす姿として「生活創造社会」を掲げ、その実現をめざす。

ありわい  
「生業」と「生活」が好循環する地域へ  
～世界が認める「青森ブランド」の確立～

- ・ めざす姿（青森ブランド）の具体像

様々な分野の「生業」と「生活」が生み出す価値が一体となって世界から評価され、県民自身もその価値を誇りに思い、存分に享受している状態

## 「青森ブランド」の具体像

## 「買ってよし、訪れてよし、住んでよし」の青森県



### (3) 今後の大きな課題

#### 若者・女性の県外流出

- ・進学や就職を契機とした若者の県外流出が人口減少の大きな要因となっている。
- ・引き続き、多様で魅力あるしごとづくりを進めることが重要である。

#### 人手不足の顕在化と労働生産性の向上

- ・多くの産業分野で慢性的な人手不足が顕在化している。
- ・労働力の適正配分と、一人当たりの労働生産性を高めていくことが重要である。

#### 2025年超高齢化時代への対応

- ・2025年には団塊の世代が全て後期高齢者となり、これまで経験したことのない超高齢化時代を迎える。保健・医療・福祉体制の一層の充実が大きな課題である。

#### 平均寿命・健康寿命の延伸

- ・本県の平均寿命は着実に延伸しているが、依然として全国最下位。
- ・平均寿命とともに、健康寿命を延伸していくことも重要である。

### (4) 今後重視していく取組の方向性

#### ①経済を回す

人口減少社会にあっても持続可能な地域づくりを着実に進めるため、地域において魅力ある「しごと」をつくり、多様な雇用を生み出し、そこで生まれた収入を地域経済の中でしっかりと回していく「経済を回す」仕組みづくりを進める。



#### ②世界へ打って出る～Local to World～

グローバル化の進展やアジア諸国の経済成長を見据え、これまで以上に世界を視野に入れ、「攻めの姿勢」で取り組む。

#### ③労働力不足への対応

若者の県内定着、人財還流を促進し、多様な働き方ができる環境づくりを進めるとともに、AIやIoT活用等による生産性向上に取り組む。

#### ④「青森県型地域共生社会」の実現

県民の誰もが、地域で安心して老後を迎えることができる「青森県型地域共生社会」の実現をめざす。

#### ⑤県民の健康づくり

平均寿命、健康寿命の延伸に向け、県民の健康づくりに対する意識向上を図るとともに、ライフスタイルに応じた生活習慣の改善、健診等受診率向上などに取り組む。

#### ⑥ふるさとあおもりへの自信と誇り

県民誰もが本県への誇りを持ち、県外・海外に向けて自信を持って発信していけるよう、県民の意識醸成に取り組む。



## (5) めざす姿の実現に向けて

めざす姿の実現に向かって、それぞれの視点から取り組んでいく。

### <全県計画4分野>

4つの分野を設定し、全県的な視点で取組を展開していく。



### <戦略プロジェクト>

5つの戦略プロジェクトを設定し、分野横断で重点的に取り組んでいく。

<p>▶▶▶ <b>戦略プロジェクト</b></p> <p>人口減少克服に向けて、4つの分野を横断し、特に重点的に取り組むべきテーマとして、本計画では5つの戦略プロジェクトを設定します。</p>	<p><b>「選ばれる青森」食と観光成長プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 食の商品力を極める</li> <li>② 食の販売力を極める</li> <li>③ 立体観光の推進</li> <li>④ 観光消費の拡大</li> </ul>	<p><b>多様なしごと創出プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 魅力ある雇用の創出</li> <li>② 多様な労働力確保</li> <li>③ 生産性向上・働き方改革</li> </ul>
<p><b>「住みたいあおもり」若者・女性プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 高校生・大学生の県内定着促進</li> <li>② 女性の県内定着促進</li> <li>③ 移住・Uターン促進</li> <li>④ 魅力ある生活環境づくり</li> <li>⑤ 結婚・妊娠・出産・子育てしやすい環境づくり</li> </ul>	<p><b>未来へつなぐ「地域のゆりかご」プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 持続可能な地域づくり</li> <li>② 保健・医療・福祉体制の充実</li> <li>③ 交通ネットワーク形成・買物支援の推進</li> <li>④ 多様な主体・人材の参画・協働</li> </ul>	<p><b>健康ライフ実現プロジェクト</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 県民の健やか力向上</li> <li>② 「食」と「運動」で健康</li> <li>③ こころの健康</li> </ul>

### <地域別計画>

6つの地域県民局の圏域ごとに、各地が置かれている状況や、地域の特性を踏まえた取組を進めていく。



### <SDGsの理念を踏まえた施策展開>

SDGsの理念を踏まえながら計画の推進を図る。



## Ⅱ 基本情報

### 1 人口・世帯

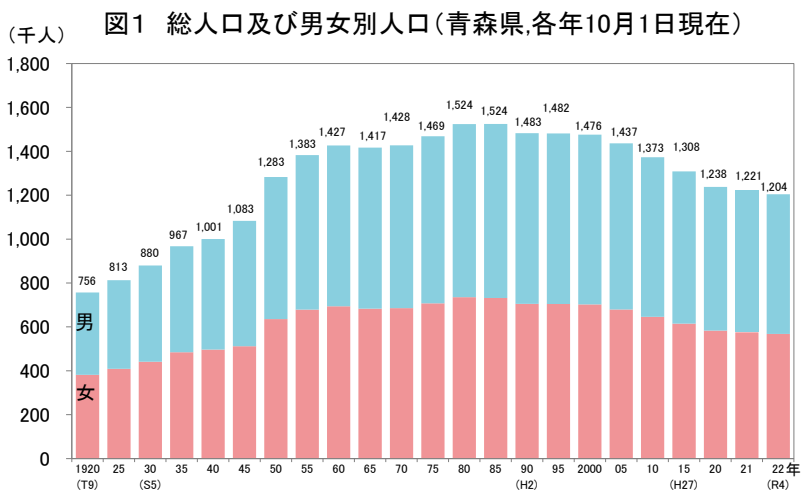
	青森県		全国	
人口総数	123万	7,984人	1億2,614万	6,099人
世帯総数	51万	1,526世帯	5,583万	154世帯
1世帯当たり人員	2.42	人	2.26	人
人口性比	89.1	人	94.7	人
(女性100人に対する男性の数)				
人口密度	128.3	人/km <sup>2</sup>	338.2	人/km <sup>2</sup>

資料：総務省統計局「国勢調査」(令和2年10月1日現在)  
国土地理院「全国都道府市区町村別面積調」

#### ① 総人口及び男女別人口の推移

1920年から5年ごとに実施されてきた国勢調査によると、本県の総人口は、1985年の152万4,448人をピークに減少に転じている。2020年10月1日現在の人口は123万7,984人と2015年から7万281人の減少となり、減少数は過去最大となっている。

男女別では、男性は1980年の73万5,444人、女性は1985年の79万3,009人をピークに、以降男女とも減少が続いている。(図1)



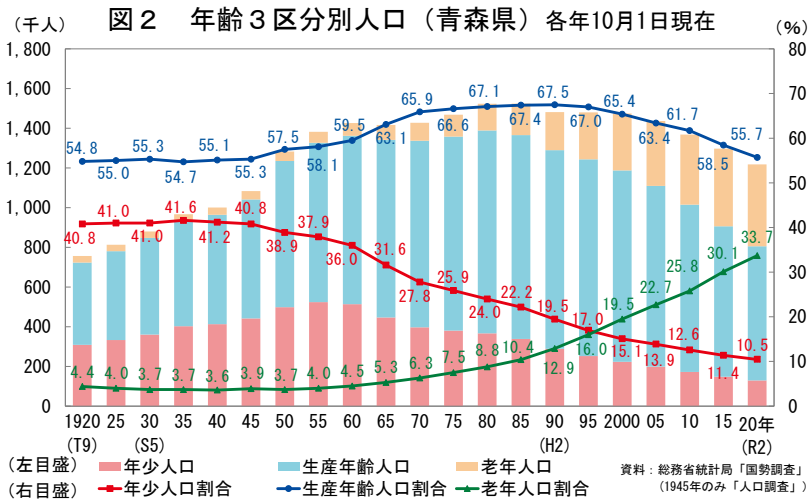
資料：総務省統計局「国勢調査」(1945年のみ「人口調査」、県企画政策部「青森県人口移動統計調査」)

※2021(令和3)年以降の数値は推計によるもの。

## ② 年齢3区分別人口の推移

2020年10月1日現在の本県の年齢3区分別人口は、14歳以下（年少人口）が13万259人（総人口の10.5%）、15～64歳（生産年齢人口）が68万9,910人（同55.7%）、65歳以上（老年人口）が41万7,815人（同33.7%）となっている。

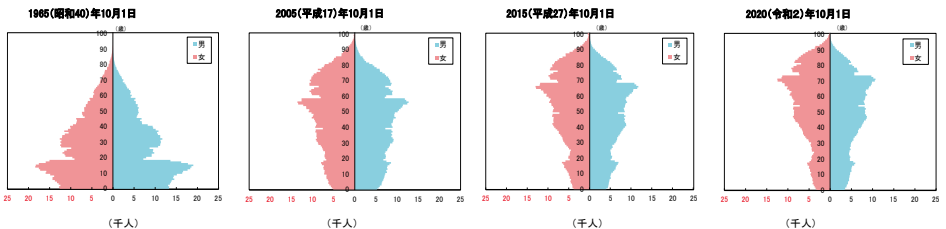
近年は老年人口が急激に増加する一方で、少子化により年少人口が減少しており、2000年調査からは老年人口が年少人口を上回っている。また、生産年齢人口も1995年調査以降減少が続いている。（図2）



※2015年及び2020年は「年齢不詳」をあん分等により補完した「不詳補完値」による。なお、割合は2015年及び2020年は不詳補完値により、2010年以前は分母から年齢不詳を除いて算出している。

## ③ 人口ピラミッドの変遷

図3 人口ピラミッドの変遷

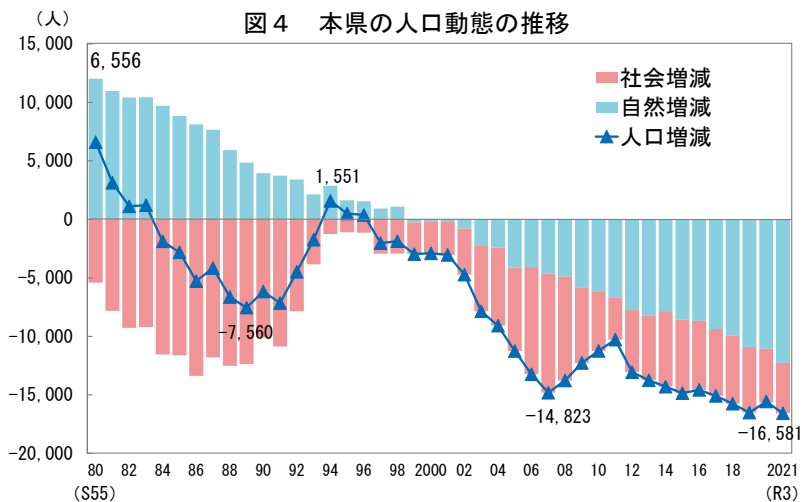


#### ④ 人口動態（自然動態、社会動態）

本県の自然動態（出生数-死亡数）は、1998年までは出生数が死亡数を上回って推移（自然増）していたが、1999年には出生数と死亡数が逆転し、自然減に転じた。以降、減少幅は拡大傾向にあり、2021年の自然動態はマイナス12,272人となった。

社会動態（転入数-転出数）については、リーマンショックの2008年から2011年まで転出超過数は減少傾向にあったが、2012年以降は5,000人から6,000人台で推移していた。2021年は新型コロナウイルス感染症などの影響により、転出超過数はマイナス4,309人と前年に比べ297人減少した。

自然動態と社会動態を合わせた人口動態は、2020年はマイナス幅が縮小したものの、2021年は自然減の拡大によりマイナス16,581人と前年に比べ1,005人増加した。（図4）



資料：厚生労働省「人口動態統計」、総務省「住民基本台帳人口移動報告」

## 2 財 政

県当初予算（令和5年度・一般会計）	7,384 億円	前年度対比 0.7%増
資料：県総務部		

### ① 令和5年度県予算

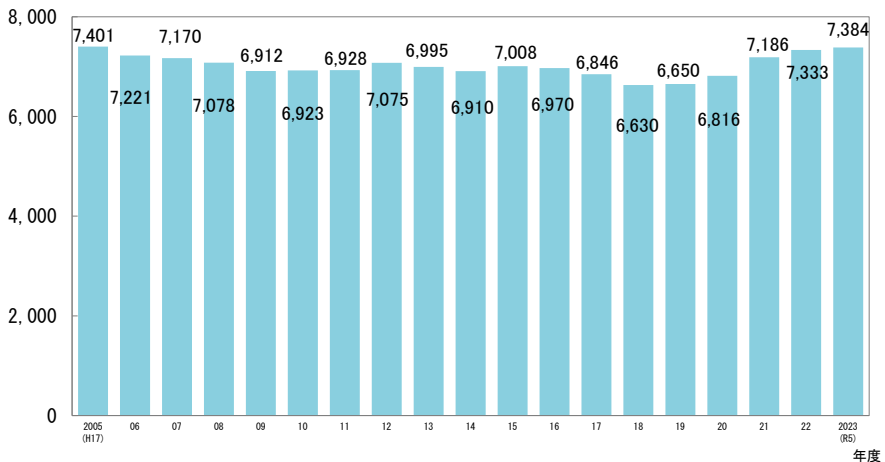
#### ア 歳出

令和5年度当初予算の編成に当たっては、社会経済環境の急激な変化等に対応するため、地域経済の回復と外貨獲得による経済の活性化、暮らしにおける安全・安心の確保と心身の健康づくり、あらゆる分野でのデジタルによる変革の3つの視点を重視しながら、最終年度を迎える「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の総仕上げとともに、本県の未来を支える基盤づくりに積極的に取り組むこととした。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止と医療提供体制の確保等に向けて引き続き万全の対応を図るとともに、安全・安心な県土づくりを目指し、頻発化・激甚化する自然災害に備えたインフラの機能強化に集中的に取り組むこととした。

この結果、年間総合予算として編成した令和5年度一般会計当初予算の規模は、7,384億円、令和4年度当初予算対比51億円、0.7パーセントの増となった。（図1）

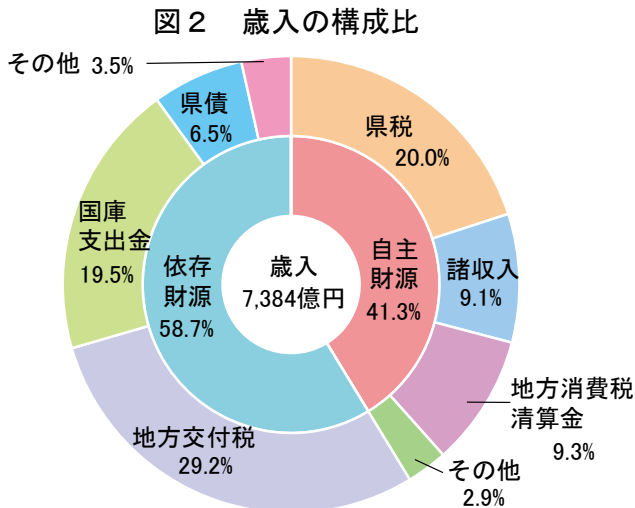
（億円） 図1 一般会計当初予算額の推移



資料：県総務部

## イ 歳入

地方交付税、国庫支出金や県債など依存財源の割合が高く、地方交付税の割合（29.2%）が、自主財源の主なるものである県税の割合（20.0%）を上回っていることから、本県は県税などの自主財源に乏しく、地方交付税への依存度合いが大きい状況にある。（図2）



資料：県総務部

### 【用語の解説】

#### ○一般会計

行政運営の基本的な経費全般を含む、県の会計の中心となる会計。

#### ○自主財源

県税、使用料、手数料、諸収入など県自らが徴収または収納しうる財源。

#### ○依存財源

地方交付税、国庫支出金、地方譲与税など、国から定められた額を交付または割り当てされる財源。

##### ・地方交付税

所得税、法人税、酒税、消費税及びたばこ税の一定割合の額を、国が各地方公共団体に人口、面積、財政力などに応じて交付する税。なお、使いみちは各団体が自由に決められる。

##### ・国庫支出金

特定の事業を行うために国から交付される負担金、補助金及び委託金。

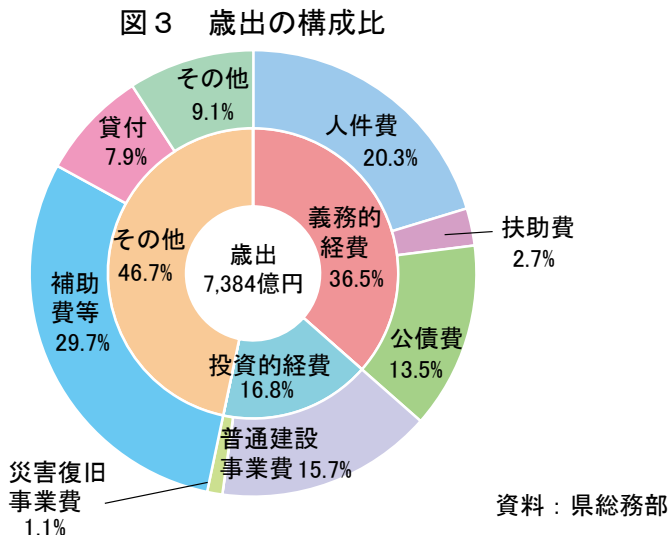
##### ・県債

原則として、道路や学校などの公インフラ施設の建設費用にあてるための県の長期借入金。施設を将来利用する世代と現役世代との間で世代間の負担の公平化を図る役割を果たしている。

## ウ 歳出

一般的に歳出全体に占める比率が高いほど財政が硬直化していると言われる義務的経費が、全体の36.5%を占めているが、これまでの行財政改革における職員給与・職員数の適正管理等の取組等により、近年は減少傾向にある。

投資的経費(16.8%)は、普通建設事業費において毎年度計画的な実施に努めており、その他(46.7%)については、主に補助費等において社会保障関係費の増に伴い、増加傾向にある。(図3)



### 【用語の解説】

#### ○義務的経費

県の支出が義務づけられ任意に節減できない硬直性の強い経費。

- ・人件費：議員報酬、職員給与、退職手当など、職員等に対し勤労等の対価として支払われる経費
- ・扶助費：社会保障制度の一環として、生活保護法、児童福祉法、老人福祉法等に基づき支出される経費
- ・公債費：県債における元金、利子の返済等に要する経費

#### ○投資的経費

その支出の効果が資本形成に向けられ、施設等がストックとして将来に残るものに支出される経費。

- ・普通建設事業費：道路や学校、庁舎などの公共施設の整備等に要する経費

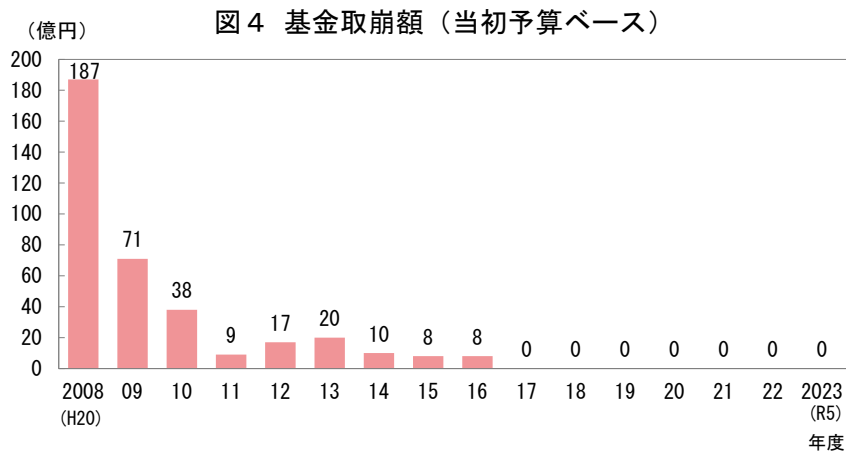
#### ○その他

社会保障関係費などを含む補助費等、県が管理する公用施設等の保全経費や除排雪経費を含む維持補修費、職員旅費などの消費的性質を持つ物件費などの、義務的経費及び投資的経費以外の経費。

## ② 県財政の状況

### ア 財源不足額（基金取崩額）

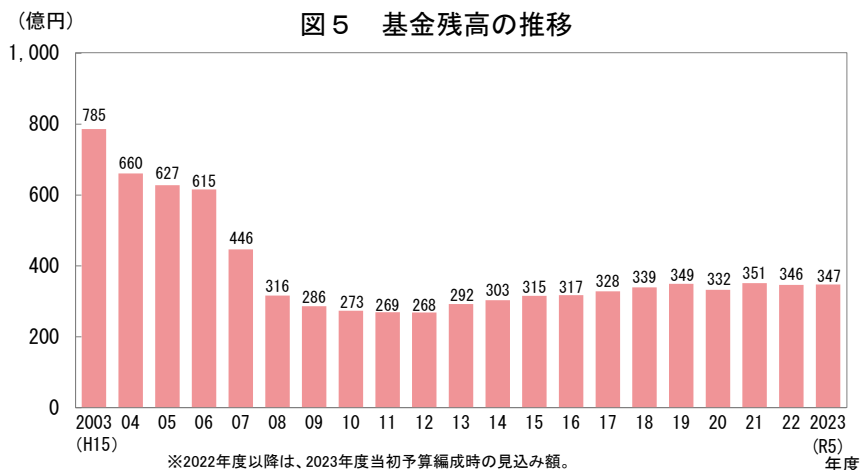
これまでの財政健全化努力の継続の結果、平成 29（2017）年度以降当初予算編成時における基金取崩額はゼロとなっている。（図 4）



資料：県総務部

### イ 基金残高の推移

行財政改革の取組等を着実に進め、基金取崩額の抑制に努めてきた結果、基金残高の減少に歯止めがかかっているものの、平成 15（2003）年度との比較では半額以下となっている。（図 5）

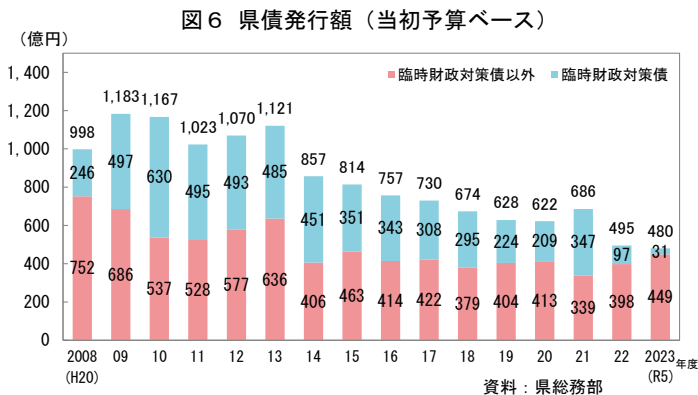


資料：県総務部



## ウ 県債発行総額

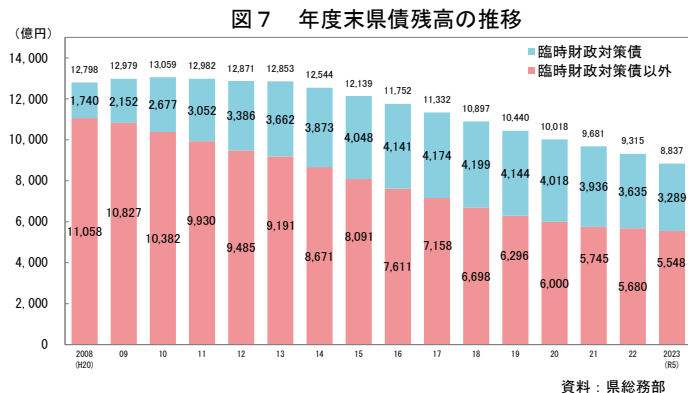
将来世代の負担軽減に向けて、県債発行総額の抑制に継続的に努めてきたことや、北海道新幹線建設のための県債発行額が減少に転じたこと等もあり、平成 26(2014)年度以降、県債発行総額は減少傾向となっている。なお、令和 5(2023)年度は、臨時財政対策債\*が減額となったことにより、県債発行総額が前年度を下回った。(図 6)



※ 臨時財政対策債：地方一般財源の不足に対処するため、地方財政法第 5 条の特例（投資的経費以外の経費にも充てることができる）として発行される地方債。臨時財政対策債の元利償還金相当額については、その全額が後年度に地方交付税の基準財政需要額に算入される。

## エ 県債残高の推移

将来世代の負担軽減に向けて、県債発行総額の抑制等に努めてきた結果、県債残高は、県政史上初めて減少に転じた平成 23(2011)年度以降着実に減少しており、令和 5(2023)年度末残高は平成 9(1997)年度以来 26 年ぶりに 9,000 億円を下回る見通しである。(図 7)



### 3 経済

#### (1) 県民所得

項目 / 年度	実 額		対前年度増加率(%)	
	2018 (H30)	2019 (R元)	2018 (H30)	2019 (R元)
青森県 県内総生産(名目)	44,845 億円	45,332 億円	△ 1.7	1.1
青森県 県内総生産(実質：連鎖方式)	44,139 億円	44,476 億円	△ 1.9	0.8
青森県 県民所得	32,849 億円	32,918 億円	△ 1.9	0.2
青森県 1人当たり県民所得	2,591 千円	2,628 千円	△ 0.9	1.4
全 国内総生産(名目)	5,568,279 億円	5,956,988 億円	0.2	0.5
全 国内総生産(実質：連鎖方式)	5,547,878 億円	5,529,305 億円	0.3	△ 0.3
国 国民所得	4,022,290 億円	4,012,870 億円	0.4	△ 0.2
国 1人当たり国民所得	3,182 千円	3,181 千円	0.6	△ 0.0
1人当たり県民所得の水準(国=100)	81.4	82.6	—	—

：県統計分析課「令和元年度青森県県民経済計算」、内閣府「2019年度（令和元年度）国民経済計算年次推計」

#### ① 県内総生産(生産側)

2019年度の県内総生産(生産側、名目)は、4兆5,332億円で前年度比1.1%の増加となり、名目は3年ぶり、実質は4年ぶりのプラス成長となった。

第1次産業は、にんにく、ながいも、ごぼうの単価下落により農業が減少したほか、さば類の漁獲量の減少などにより水産業も減少したことから、前年度に比べ1.7%減の2,031億円となった。

第2次産業は、一次金属、輸送用機械などの増加により製造業が増加したことや、公共土木の増加により建設業が増加したことから、前年度に比べ8.0%増の9,886億円となった。

第3次産業は、保健衛生・社会事業、電気・ガス・水道・廃棄物処理業などが増加した一方、卸売・小売業、宿泊・飲食サービス業などが減少したことから、前年度に比べ0.7%減の3兆3,760億円となった。

(県内総生産を100とした)産業別構成比は、第1次産業4.5%、第2次産業21.8%、第3次産業が74.5%となった。

県内総生産の増加率(名目経済成長率)に占める寄与度のうち、主なものは、製造業(+0.98%)、建設業(+0.65%)、卸売・小売業(-0.28%)、宿泊・飲食サービス(-0.19%)などとなっている。(次頁表1)

表1 経済活動別県内総生産(生産側、名目)

(単位：百万円、%)

項目	実額		増加率		構成比		増加寄与度
	2018(H30)年度	2019(令和)年度	2018(H30)年度	2019(令和)年度	2018(H30)年度	2019(令和)年度	
1. 農林水産業	206,594	203,134	-5.3	-1.7	4.6	4.5	-0.08
(1) 農業	171,304	169,669	-1.3	-1.0	3.8	3.7	-0.04
(2) 林業	3,297	3,364	4.3	2.0	0.1	0.1	0.00
(3) 水産業	31,993	30,101	-22.6	-5.9	0.7	0.7	-0.04
2. 鉱業	7,209	7,257	-0.3	0.7	0.2	0.2	0.00
3. 製造業	635,850	679,934	-11.0	6.9	14.2	15.0	0.98
4. 電気・ガス・水道・廃棄物処理業	145,458	153,416	0.1	5.5	3.2	3.4	0.18
5. 建設業	272,287	301,384	-2.7	10.7	6.1	6.6	0.65
6. 卸売・小売業	556,331	543,914	0.3	-2.2	12.4	12.0	-0.28
7. 運輸・郵便業	256,758	261,280	-1.7	1.8	5.7	5.8	0.10
8. 宿泊・飲食サービス業	107,237	98,633	-2.5	-8.0	2.4	2.2	-0.19
9. 情報通信業	108,429	104,644	-4.0	-3.5	2.4	2.3	-0.08
10. 金融・保険業	153,965	155,008	3.5	0.7	3.4	3.4	0.02
11. 不動産業	516,632	510,497	0.3	-1.2	11.5	11.3	-0.14
12. 専門・科学技術・業務支援サービス業	284,200	278,660	2.1	-1.9	6.3	6.1	-0.12
13. 公務	336,199	332,248	1.6	-1.2	7.5	7.3	-0.09
14. 教育	245,428	242,354	-1.0	-1.3	5.5	5.3	-0.07
15. 保健衛生・社会事業	505,198	515,477	0.5	2.0	11.3	11.4	0.23
16. その他のサービス業	183,874	179,905	-2.2	-2.2	4.1	4.0	-0.09
小計	4,521,648	4,567,747	-2.0	1.0	100.8	100.8	1.03
輸入品に課される税・関税	28,898	26,497	22.7	-8.3	0.6	0.6	-0.05
(控除)総資本形成に係る消費税	66,090	61,037	-11.8	-7.6	1.5	1.3	-0.11
県内総生産	4,484,457	4,533,207	-1.7	1.1	100.0	100.0	1.09
(再掲)第1次産業(1)	206,594	203,134	-5.3	-1.7	4.6	4.5	-0.08
第2次産業(2, 3, 5)	915,345	988,575	-8.6	8.0	20.4	21.8	1.63
第3次産業(4, 6~16)	3,399,709	3,376,037	0.1	-0.7	75.8	74.5	-0.53

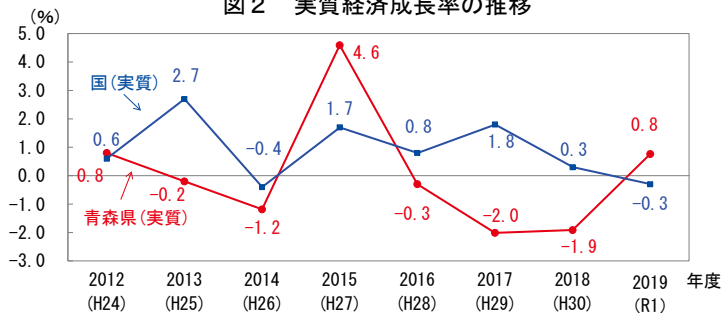
※ 構成比は、小計を100とした値。

資料：県統計分析課「令和元年度青森県県民経済計算」

## ② 経済成長率

2019年度の本県経済は、年度後半には消費の動向に弱さがみられたが、年度を通してみると緩やかな回復が続き、経済成長率は実質で0.8%増と4年ぶりのプラス成長となった。(図2)

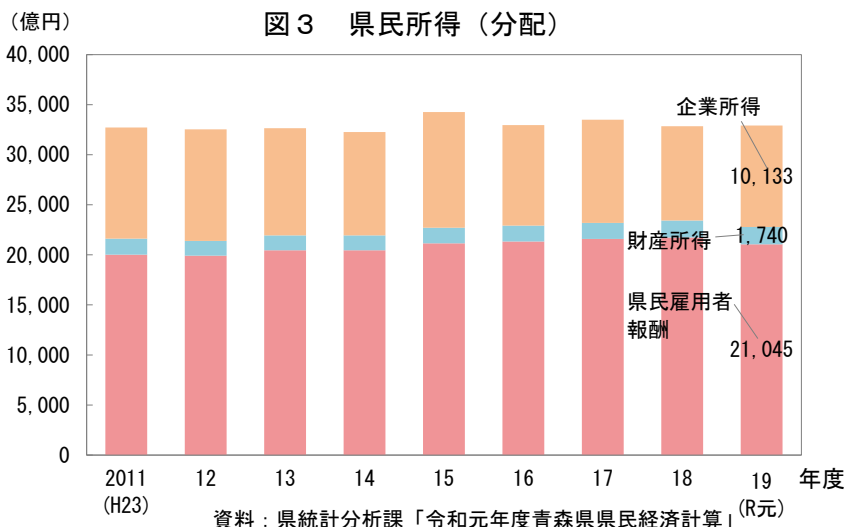
図2 実質経済成長率の推移



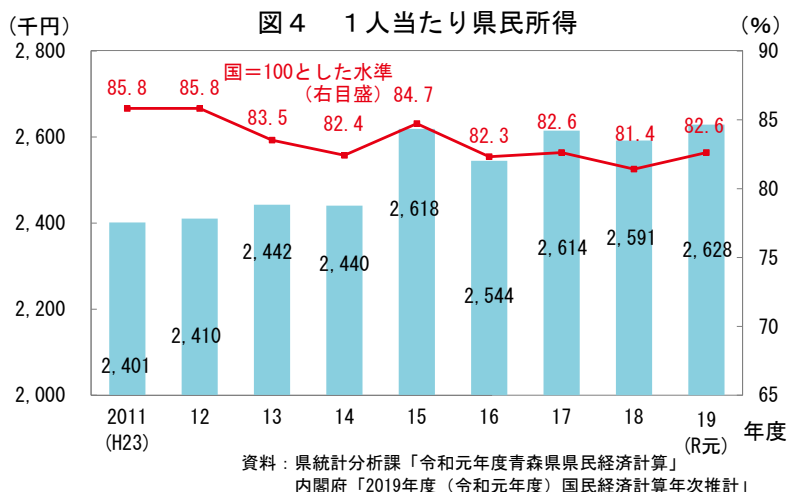
資料：県統計分析課「令和元年度青森県県民経済計算」  
内閣府「2019年度(令和元年度)国民経済計算年次推計」

### ③ 県民所得

2019年度の県民所得の総額は3兆2,918億円で、前年度比3.2%の減少となった。内訳として、県民雇用者報酬が3.2%減少、財産所得が2.3%増加、企業所得が7.7%増加となっている。(図3)

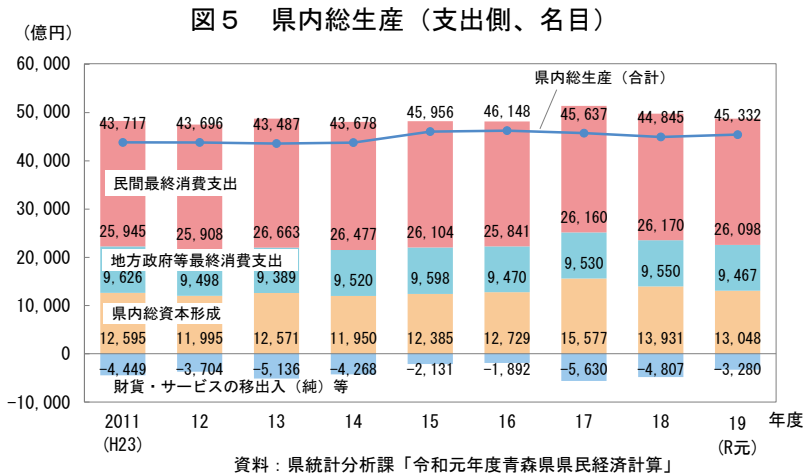


また、2019年度の1人当たり県民所得は、262万8,000円と前年度を上回った。国を100とした水準では82.6となっている。(図4)



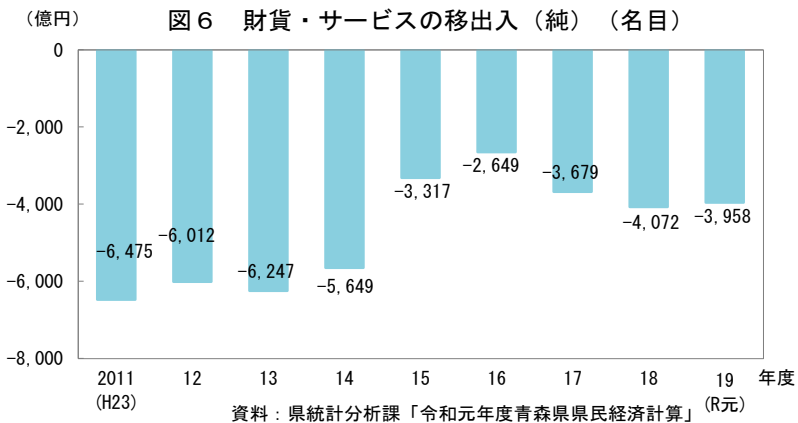
#### ④ 県内総生産(支出側)

県内総生産(名目)を支出側からみると、民間最終消費支出は、その大半を占める家計最終消費支出において外食・宿泊サービスなどが減少したことなどから、前年度比0.3%の減少、地方政府等最終消費支出は、前年度比0.9%の減少、県内総資本形成は、総固定資本形成で民間の企業設備が減少したことなどから、前年度比6.3%の減少となった。(図5)



#### ⑤ 移出と移入の推移

純移出(移出から移入を差し引いたもの)は、移入超過の状態が続いているが、2019年度は前年度比で超過幅が縮小し、3,958億円の移入超過となった。(図6)



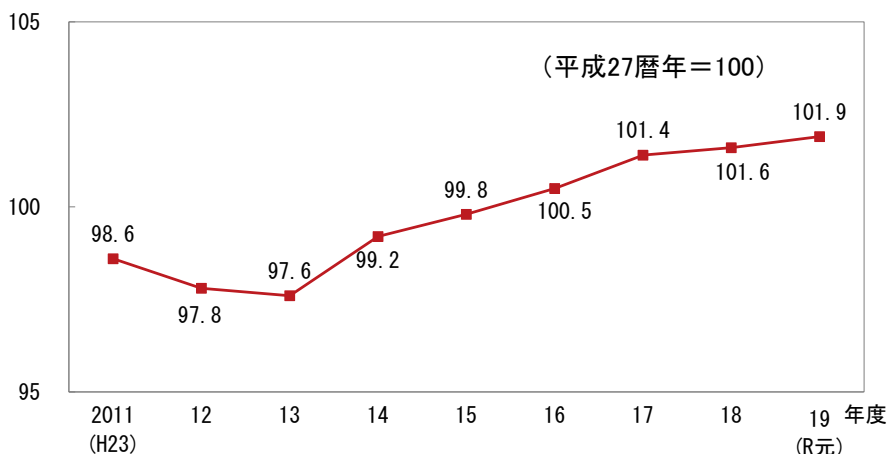
## ⑥ 物価指数（デフレーター）の推移

県内総生産のデフレーターは、物価の総合的な動きを表し、県内総生産の名目値を実質値で除して得られる指数である。

一般的には、デフレーターが上昇した場合はインフレ、低下した場合はデフレといえる。ただし、原材料価格が上昇したものの最終製品価格への転嫁が不十分だった場合、消費者物価指数や企業物価指数は上昇するが、付加価値が減少するため、県内総生産のデフレーターは低下することがある。

県内総生産のデフレーターは、近年上昇傾向にある。2019年度は101.9となり、前年比0.3%の上昇となった。（図7）

図7 県内総生産デフレーター（生産側、連鎖方式）



資料：県統計分析課「令和元年度青森県県民経済計算」

## (2) 家計・物価・賃金

	青森県	全 国
二人以上世帯の勤労者世帯の実収入 (2019年、1か月平均)	46万3,269円	53万1,382円
消費者物価地域差指数(2021年・総合指数)	97.9	100
所定内給与額(2021年1か月平均、常用雇 用者10人以上、産業計)	24万5,000円	30万7,400円

資料：総務省「2019年全国家計構造調査」、 「2021年(令和3年)小売物価統計調査(構造編)結果」、厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

### ① 勤労者世帯の家計収支

2019年の勤労者世帯(二人以上世帯)の1か月平均実収入は、全国の53万1,382円に対し、本県は46万3,269円となっている。また、消費支出は、全国の28万9,503円に対し、本県は26万4,325円となっている。(表1)

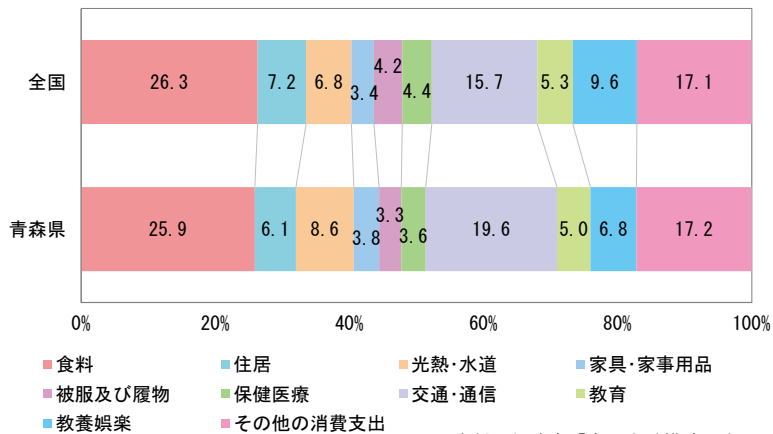
家計消費支出に占める費目別の割合を全国と比較すると、「光熱・水道」、「家具・家事用品」、「交通・通信」で全国を上回っている。(次頁図2)

表1 世帯当たり1か月間の平均家計収支  
(二人以上の勤労者世帯) (単位：円)

	2019(令和元)年	
	青森県	全国
世帯人員(人)	3.14	3.17
実収入	463,269	531,382
世帯主の勤め先収入	282,342	362,212
世帯主の配偶者の勤め先収入	76,311	78,201
その他の収入	104,616	90,969
可処分所得	390,061	438,768
消費支出	264,325	289,503
食料	68,482	76,185
住居	16,172	20,929
光熱・水道	22,833	19,596
家具・家事用品	9,986	9,711
被服及び履物	8,724	12,255
保健医療	9,627	12,718
交通・通信	51,794	45,549
教育	13,198	15,370
教養娯楽	18,098	27,698
その他の消費支出	45,412	49,490
平均消費性向(%) (消費支出/可処分所得)	67.8	66.0

資料：総務省「全国家計構造調査」

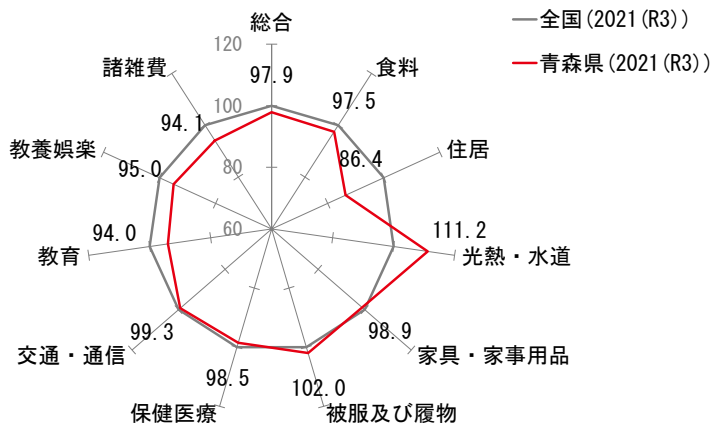
図2 家計消費支出の費目別割合 (2019(令和元)年)



## ② 消費者物価地域差指数

2021年の本県の消費者物価地域差指数(全国平均=100)は、総合指数が97.9となっている。費目別では「光熱・水道」が111.2と、全国で7番目に高い水準となっている。(図3)

図3 青森県の消費者物価地域差指数 (全国平均=100)



※総合、住居の指数は持家の  
帰属家賃を含まない。

資料：総務省「2021年(令和3年)小売物価統計調査(構造編)」



### ③ 消費者物価指数の推移

2020年を100とした2022年の青森市の消費者物価指数は、5年前の2017年に比べ「光熱・水道」、「食料」、「家具・家事用品」、「被服及び履物」、「住居」、「教養娯楽」が上昇している。一方、「交通・通信」、「教育」、「諸雑費」、「保健医療」は下落している。(表4)

表4 消費者物価指数の費目別推移(青森市)

	2017 (H29)	18	19	20	21	2022 (R4)	2017 →2022
総合	98.6	99.9	100.6	100.0	100.0	103.3	4.7
食料	96.5	97.8	98.6	100.0	100.2	105.2	8.7
住居	98.5	98.5	99.2	100.0	100.7	102.0	3.5
光熱・水道	98.7	104.7	106.0	100.0	104.2	120.2	21.5
家具・家事用品	97.0	96.9	99.6	100.0	101.4	104.5	7.5
被服及び履物	96.2	96.5	99.3	100.0	98.3	100.0	3.8
保健医療	98.7	100.2	100.1	100.0	99.1	98.1	-0.6
交通・通信	100.1	102.0	101.2	100.0	94.5	92.7	-7.4
教育	106.6	106.9	105.9	100.0	99.0	99.3	-7.3
教養娯楽	99.4	98.9	99.8	100.0	101.1	102.2	2.8
諸雑費	103.7	104.7	104.4	100.0	101.1	102.5	-1.2

資料：総務省「消費者物価指数」

### ④ 常用労働者の賃金

2021年の常用労働者(期間を定めずに雇用されている労働者もしくは1か月以上の期間を定めて雇用されている労働者)10人以上の事業所の所定内給与額(きまって毎月支給される現金給与額から超過労働給与額を差し引いた額)は、前年比4,500円増の24万5,000円と、全国46位となっている。(表5)

表5 都道府県別きまって支給する現金給与額、所定内給与額及び年間賞与その他特別給与額(産業計、企業規模10人以上計)

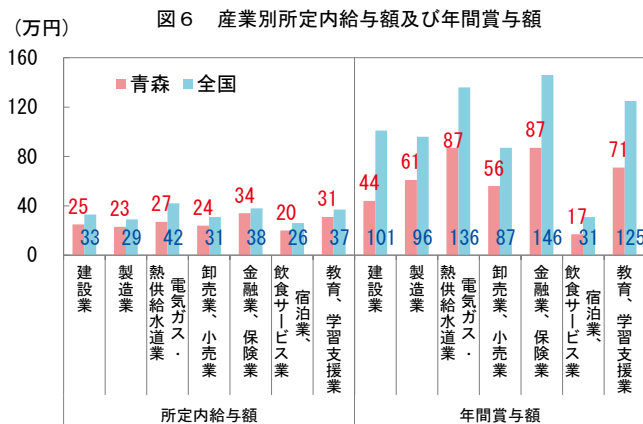
	年 齢	勤 続 年 数	所定内 実労働 時間数	超 過 実労働 時間数	きまって支給する		年間賞与 その他 特別 給与額
					現 金 給与額	所定内 給与額	
	歳	年	時間	時間	千円	千円	千円
全 国	43.4	12.3	165	11	334.8	307.4	875.5
北海道	44.8	12.0	166	11	297.9	274.8	721.8
青 森	45.2	12.8	166	11	265.9	245.0	553.7
岩 手	44.7	12.7	166	12	272.7	249.6	632.6
宮 城	43.6	12.5	165	11	304.0	277.9	731.6
秋 田	45.1	13.3	167	8	265.7	247.5	602.7
山 形	44.0	13.9	167	10	280.6	259.6	673.1
福 島	44.1	12.8	166	12	296.2	269.5	674.6

資料：厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

## ⑤ 産業別の所定内給与額と年間賞与額

本県の産業別所定内給与額は、いずれも「金融業、保険業」が最も高く（所定内給与額 34 万 1,000 円、年間賞与額 87 万 1,300 円）、「宿泊業、飲食サービス業」が最も低く（所定内給与額 20 万 2,800 円、年間賞与額 16 万 5,500 円）になっている。

（図 6）



資料：厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

## ⑥ 新規学卒者の賃金

2021 年における本県の新規学卒者の所定内給与額は、学歴計では 18 万 7,500 円（全国比 88.3%）となっており、学歴別に見ると、全国と最も差が小さいのは高校卒の 17 万 600 円（全国比 94.9%）、最も差が大きいのは高専・短大卒の 16 万 5,200 円（全国比 82.7%）となっている。（表 7）

表 7 都道府県別新規学卒者の所定内給与額  
（産業計、企業規模 10 人以上計、男女計）（単位：千円）

	学歴計	高校	専門学校	高専・短大	大学	大学院
全国	212.3	179.7	206.9	199.8	225.4	253.5
北海道	199.0	175.6	197.8	187.3	212.0	253.8
青森	187.5	170.6	191.2	165.2	207.9	226.1
岩手	181.3	168.6	190.9	170.9	206.9	251.4
宮城	203.9	171.7	195.8	202.0	224.1	281.8
秋田	192.8	163.5	169.3	170.2	227.7	222.4
山形	191.2	166.6	212.1	184.6	212.4	225.4
福島	190.4	169.7	199.3	194.5	221.6	230.2

資料：厚生労働省「令和3年賃金構造基本統計調査」

### (3) 金融

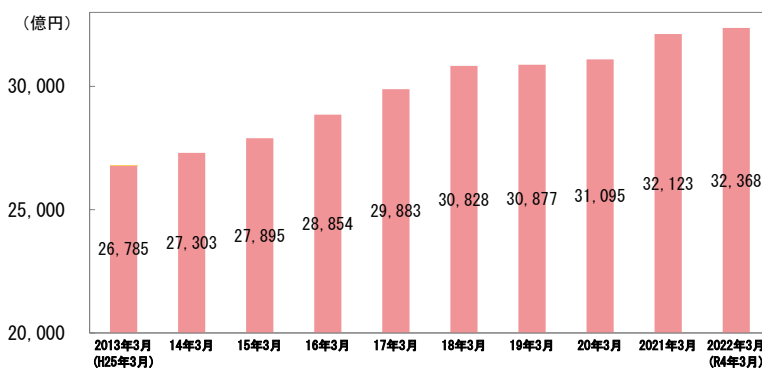
県内金融機関貸出残高 (2022年3月末) 3兆2,368億円 前年同期比 0.8%増加

資料：日本銀行青森支店

#### ① 貸出残高

県内金融機関（国内銀行（ゆうちょ銀行を除く）、信用金庫、信用組合の青森県内店舗）の貸出残高総額は、2014年以降緩やかな上昇傾向を示しており、2022年3月末の貸出残高は、3兆2,368億円と、前年同期比0.8%の増加となった。（図1）

図1 県内金融機関貸出残高の推移（末残ベース）



資料：日本銀行青森支店

#### ② 企業倒産

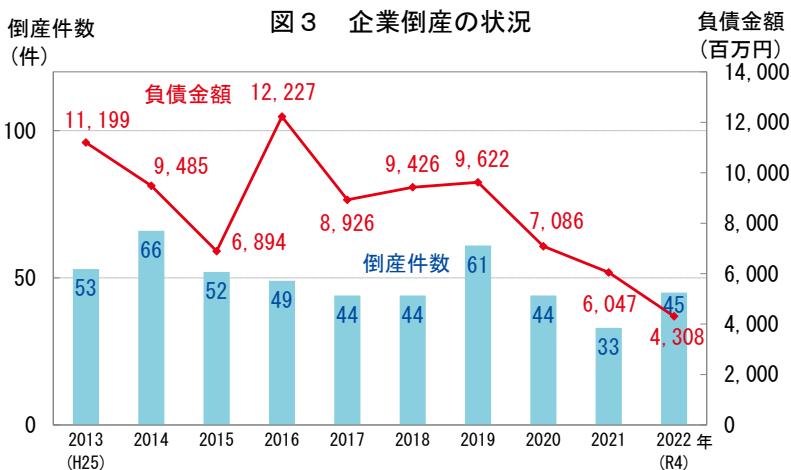
2022年の県内の企業倒産（1件負債金額1,000万円以上）は、件数では前年比36.4%増の45件、負債金額では前年比28.8%減の43億800万円となっている。1件当たりの負債金額は前年比47.8%減の9,573万円となった。（表2、次頁図3、図4）

表2 県内企業倒産の推移

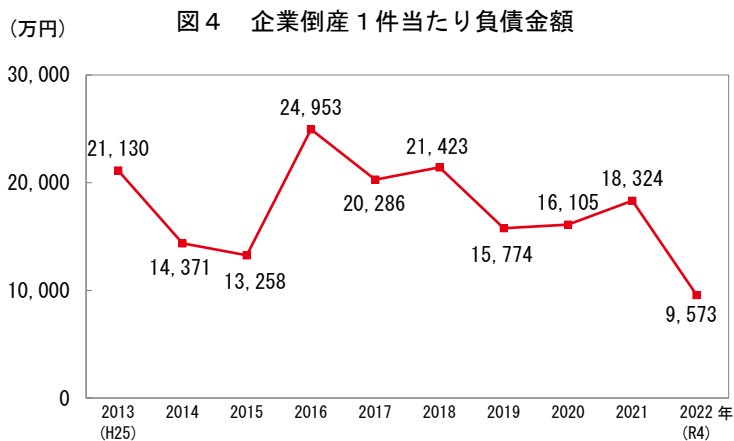
区分	2013 (H25)	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022 (R4)
企業倒産件数(件)	53	66	52	49	44	44	61	44	33	45
企業倒産負債金額(百万円)	11,199	9,485	6,894	12,227	8,926	9,426	9,622	7,086	6,047	4,308
1件当たり負債金額(万円)	21,130	14,371	13,258	24,953	20,286	21,423	15,774	16,105	18,324	9,573

※ 企業倒産は、1件負債金額が1,000万円以上のものである。

資料：(株)東京商工リサーチ青森支店



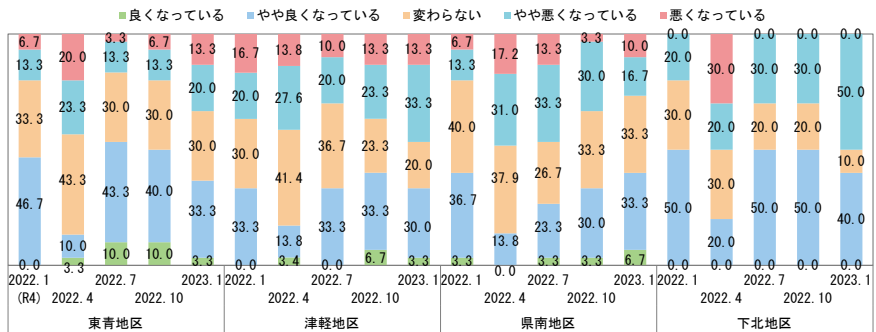
資料：(株)東京商工リサーチ青森支店



資料：(株)東京商工リサーチ青森支店

## (4) 景気動向

### 地区ごとに見た景気の現状判断



資料：県統計分析課「青森県景気ウォッチャー調査」

※下北地区はサンプル数が少ないため参考値

### ① 景気動向指数

景気動向指数は、景気の現状把握及び将来予測に資するために作成された統合的な景気指標であり、D I (Diffusion Index) と C I (Composite Index) がある。

D I は、景気拡張の動きの各経済部門への波及効果を測定するとともに、景気局面の判定に用いることを目的としているが、C I は、景気変動の大きさ（景気の山の高さや谷の深さ）やテンポ（拡張や後退の勢い）を測定することを目的としたものである。

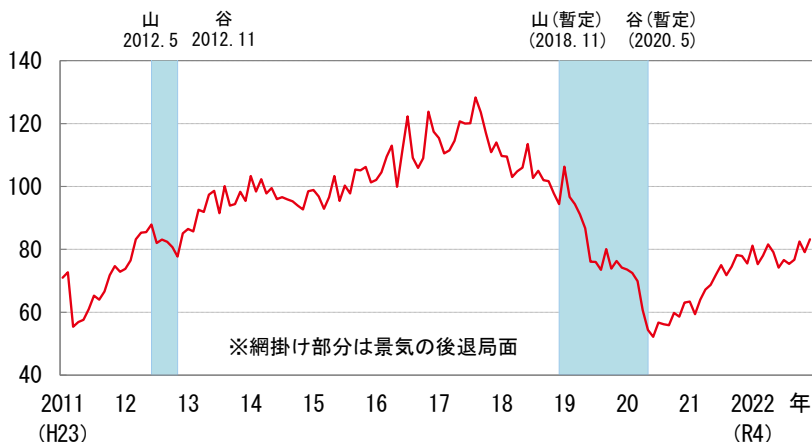
C I には、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3本の指数があり、景気の現状把握には一致指数（以下「一致C I」）を利用する。

一般的に一致C I が上昇している時が景気の拡張期（好況）、低下している時が後退期（不況）であり、一致C I の動きと景気の転換点はおおむね一致する。

一致C I の変化から拡張又は後退のテンポを読み取ることができるが、例えば景気拡張局面においても一致C I が単月で低下するなど、不規則な動きも含まれていることから、移動平均値をとることにより、ある程度の期間の月々の動きをならして見るのが望ましい。

本県の一致C I をみると、特に2020年3月から5月は新型コロナウイルス感染症の影響により大きく低下し、2011年の東日本大震災の影響による落ち込みと比べても低くなっている。2020年6月以降は上昇傾向にある。（次頁図1）

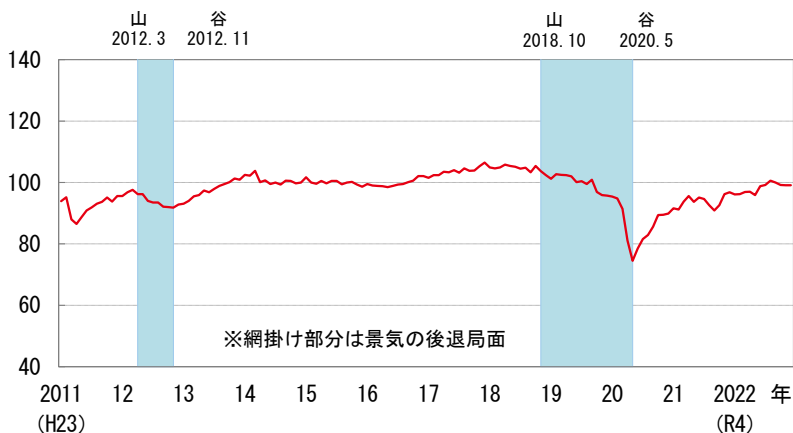
図1 青森県の景気動向指数（一致C I：2015年=100）



資料：県統計分析課「青森県景気動向指数」

全国の一一致C Iは、2014年4月の消費税引き上げ以降ほぼ横ばいであったが、2018年後半以降は下降した。特に、2020年3月から5月は新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだが、同年5月を底に上昇傾向にある。(図2)

図2 全国の景気動向指数（一致C I：2015年=100）

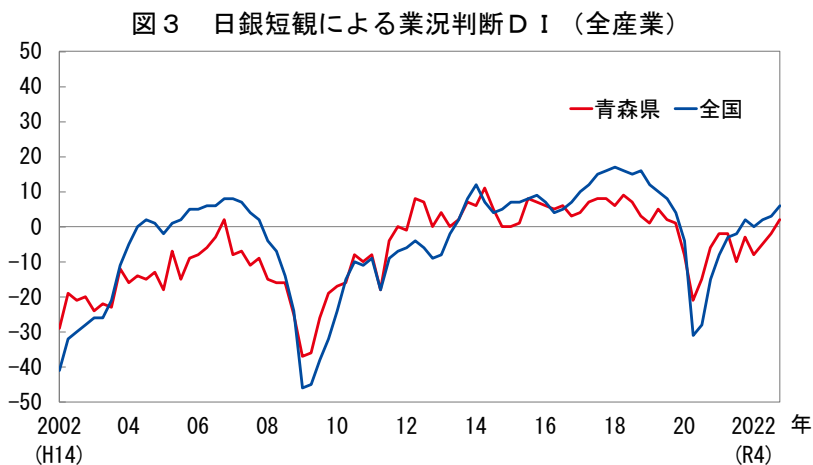


資料：内閣府「景気動向指数」

## ② 業況判断D I

業況判断D Iは「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いて求めるため、プラスになれば景気が良く、マイナスになれば景気が悪いと判断される。

日本銀行企業短期経済観測調査（日銀短観）から本県の業況判断D Iをみると、2020年3月期以降は全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大等によりマイナスに転じ、特に、全国で緊急事態宣言が発出された後の同年6月期は大きなマイナスとなった。同年9月期以降も、マイナスが続いていたが、2022年12月期にプラスに転じた。（図3）



資料：日本銀行青森支店「県内企業短期経済観測調査結果」

業種別業況判断D Iは、全国、本県とも、2008年9月のリーマンショックに端を発した世界的な不況により、製造業、非製造業ともに大きく低下した。2009年後半から徐々に上昇が見られ、東日本大震災の影響等により一時的に低下したものの、震災からの復興需要や国の経済政策の影響などにより、プラスの傾向にあった。本県では、2019年頃から製造業がマイナスに転じ、2020年に入ると、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大により、非製造業も大きくマイナスに転じた。その後、製造業は2021年3月期に、非製造業も2022年12月期にはプラスに転じた。

（次頁図4、図5）

図4 日銀短観による業種別業況判断D I（青森県）

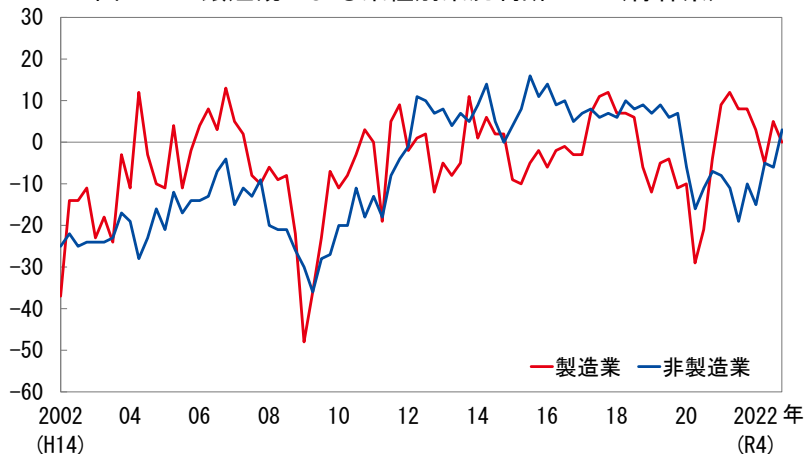
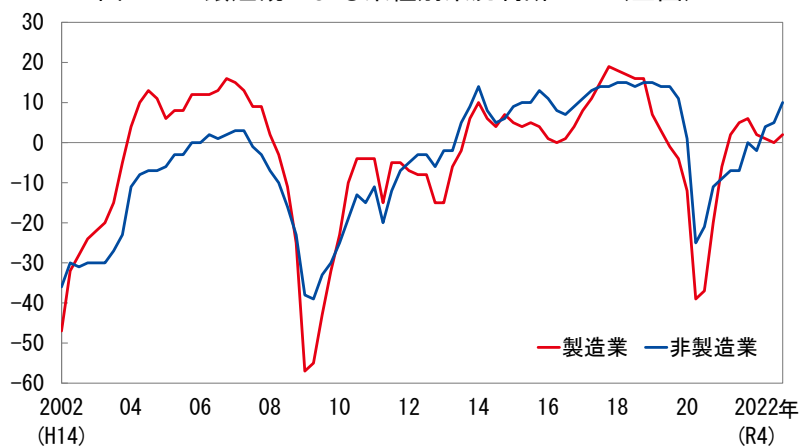


図5 日銀短観による業種別業況判断D I（全国）

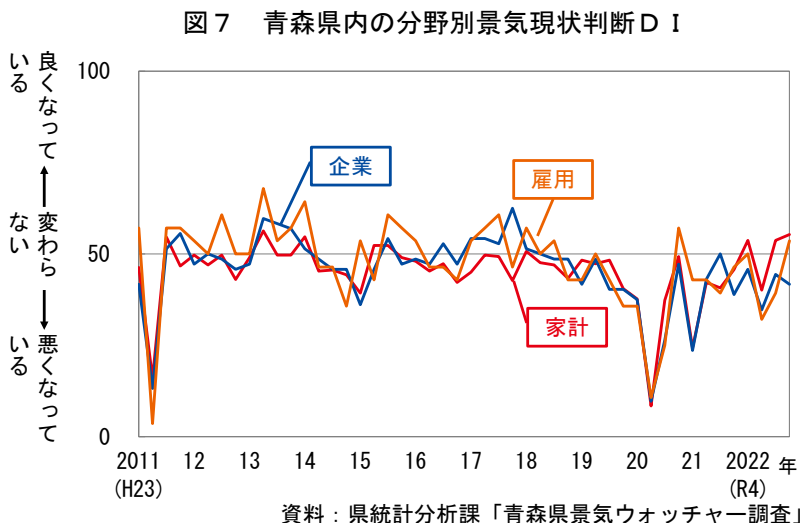
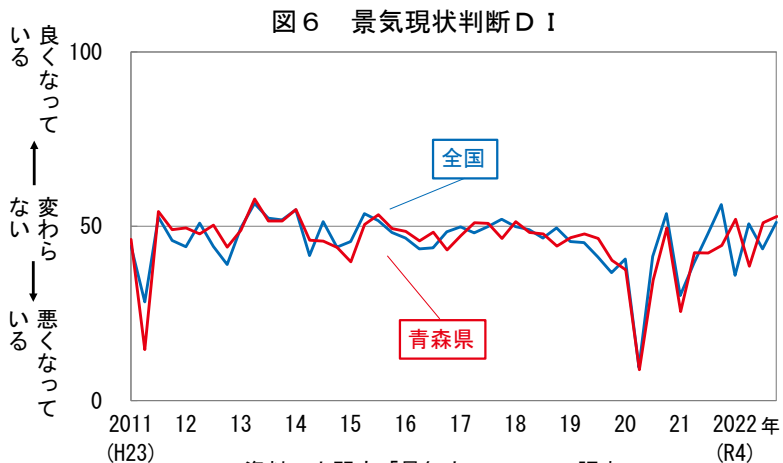


### ③ 景気ウォッチャー調査

四半期ごとに実施している青森県景気ウォッチャー調査から、景気の現状判断D Iをみると、東日本大震災直後の2011年4月期、新型コロナウイルス感染症の影響が拡大した2020年4月期などに大きく下降していた。本県では、2022年1月期に16期ぶりに横ばいを示す50を上回った。（次頁図6）



本県の家計関連、企業関連、雇用関連の分野別の現状判断DIは、2020年4月期に、新型コロナウイルス感染症の全国的な感染拡大に伴う緊急事態宣言の発出等の影響により、いずれも大幅に悪化した。2022年は、家計関連は4月期を除き50を上回ったが、企業関連は50を下回る状況が続いている。(図7)



## Ⅲ 4 分野情報

## 1 産業・雇用分野

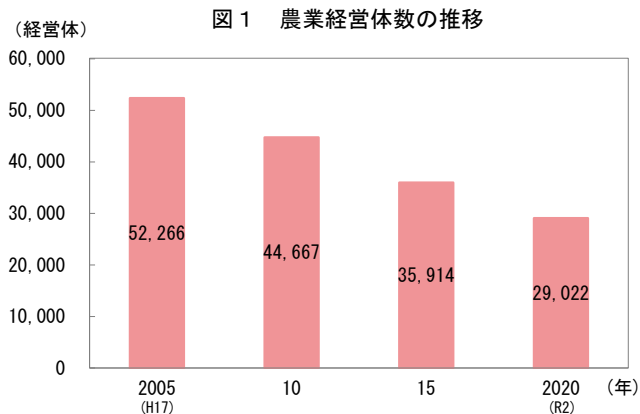
## (1) 農林水産業

農業経営体数(2020年)	29,022 経営体	2015年に比べ	6,892 経営体減
地域経営体数(2021年度)	488 経営体	前年度に比べ	39 経営体増
林業経営体数(2020年)	678 経営体	2015年に比べ	1,381 経営体減
漁業経営体数(2019年)	3,702 経営体	2013年に比べ	799 経営体減
農業産出額(2021年)	3,277 億円	前年に比べ	15 億円増
林業産出額(2021年)	96 億円	〃	8 億円減
漁業産出額( 〃 )	527 億円	〃	22 億円減

資料：農林水産省「農林業センサス」「漁業センサス」「生産農業所得統計」  
「林業産出額」「漁業産出額」、県農林水産部

## ① 農業経営体数

2020年の農業経営体数は2万9,022経営体で、2015年に比べ6,892経営体減少した。(図1)

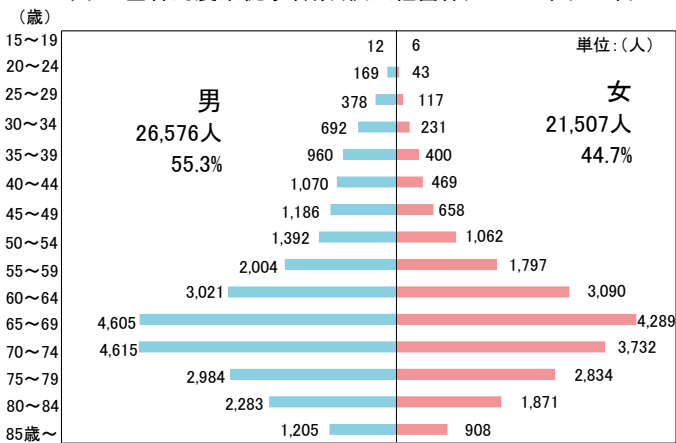


資料：農林水産省「農林業センサス」

## ② 基幹的農業従事者数

2020年の基幹的農業従事者数は4万8,083人となっており、男性が26,576人、女性が21,507人となった。年齢階級のピークは男性が70～74歳で4,615人、女性が65～69歳で4,289人となった。(図2)

図2 基幹的農業従事者数(個人経営体) 2020年(R2年)



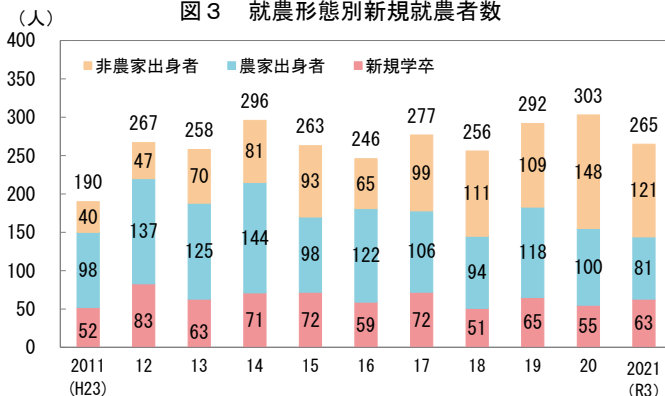
※基幹的農業従事者:15歳以上の世帯員のうち、仕事として主に農業に従事している者

## ③ 新規就農者数

2021年度の新規就業者数は265人で、前年度より38人減少した。

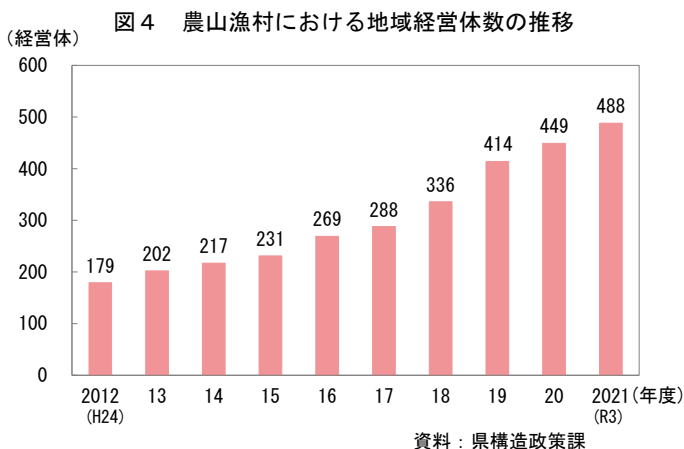
2011年度と比較すると、新規学卒及び農家出身者が減少し、非農家出身者の割合が増加する傾向にある。(図3)

図3 就農形態別新規就農者数



#### ④ 地域経営体<sup>※</sup>数

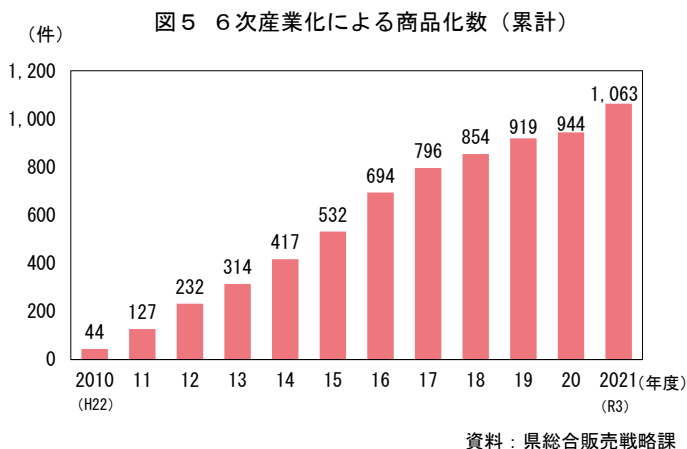
2021年度の地域経営体数は488経営体で、前年度より39経営体増加し、目標である300経営体を達成している。(図4)



※ 地域経営体：本県独自の概念で、地域を1つの経営体(会社)に見立て、そこで生産される農林水産物や農地、担い手、文化などあらゆる資源を最大限に活用して、地域全体の経済や雇用・暮らしを守っていく(経営していく)活動の主体となる組織等のこと。

#### ⑤ 6次産業化の取組

農林漁業者が食品加工業者や流通販売業者等と連携し、新たな商品やサービスを創出する「農商工連携」による「地域の6次産業化」を推進した結果、2010年度から2021年度までの商品化数の累計は1,063件となった。(図5)

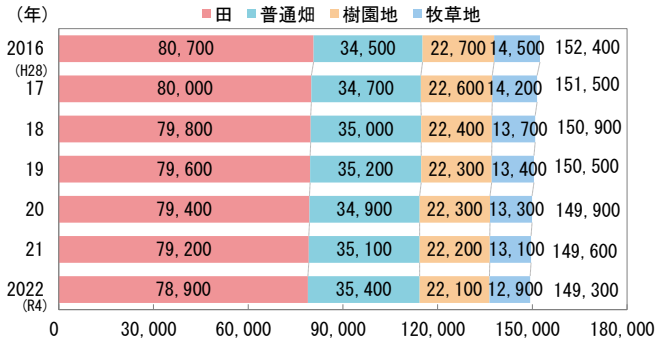


## ⑥ 耕地面積

耕地面積は、耕作放棄や非農業用途への転用などによって全体として減少傾向にあり、2022年は、前年に比べ300ha減の14万9,300haとなった。

地目別では、田が300ha減の7万8,900ha、普通畑が300ha増の3万5,400ha、樹園地は100ha減の2万2,100haとなった。(図6)

図6 耕地面積の推移



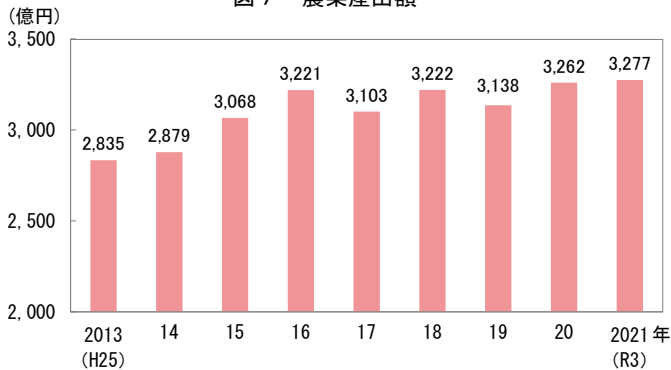
資料：農林水産省「耕地及び作付面積統計」(ha)

(注：端数処理により合計値と内訳の合計が一致しない場合がある。)

## ⑦ 農業産出額

2021年の農業産出額は前年比0.5%増の3,277億円と、7年連続で3,000億円を超えた。(図7)

図7 農業産出額



資料：農林水産省「生産農業所得統計」

部門別では、耕種が48億円減の2,330億円、畜産が64億円増の947億円となっている。主要作物別では、米が159億円減の389億円、野菜が68億円減の753億円、りんごが189億円増の1,027億円となった。(表8)

表8 農業産出額の部門別内訳

(単位：億円)

	2014 (H26)	15	16	17	18	19	20	2021 (R3)
産出額合計	2,879	3,068	3,221	3,103	3,222	3,138	3,262	3,277
耕種	1,998	2,158	2,303	2,188	2,317	2,253	2,378	2,330
米	388	422	466	513	553	596	548	389
麦類・雑穀・ 豆類・いも類	24	34	34	23	22	29	39	31
野菜	668	751	863	780	836	642	821	753
果実	833	857	854	790	828	914	906	1,094
うちりんご	800	823	811	749	784	869	838	1,027
花き	19	22	20	19	20	16	17	17
工芸農作物	51	53	48	45	40	38	32	31
種苗・苗木類 ・その他	14	18	18	18	X	17	16	15
畜産	880	910	918	915	905	885	883	947
肉用牛	143	146	166	159	164	162	144	161
乳用牛	76	78	78	78	86	91	93	88
豚	260	258	242	236	216	221	224	221
鶏	387	412	417	429	424	399	411	464
その他畜産	14	16	15	13	15	13	13	13
加工農産物	1	1	0	0	0	0	0	0

資料：農林水産省「生産農業所得統計」

【記号】X：データが秘匿されていることを示す。

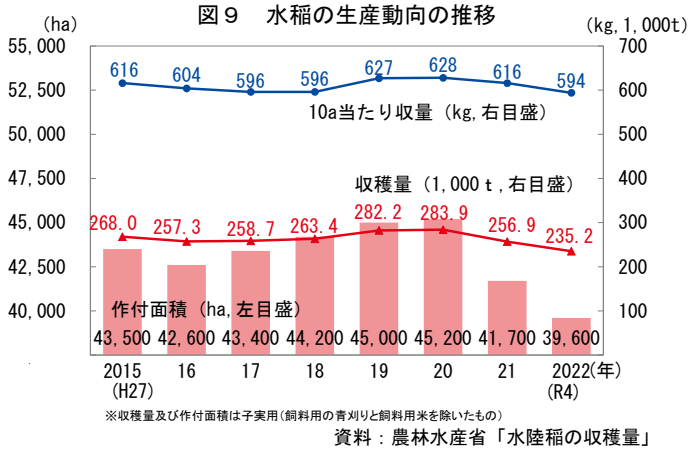
※麦類・雑穀・豆類・いも類の産出額は秘匿分を除く合計。

## ⑧ 主要農作物の生産動向

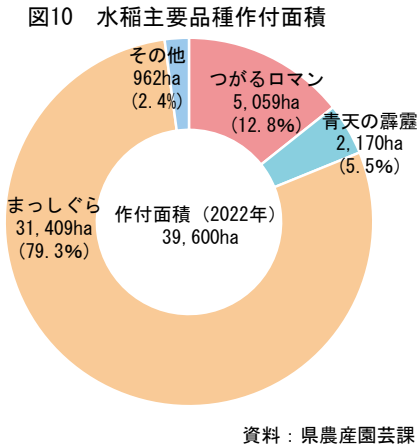
### ア 水稲

2022年産の水稲の生育は、10a当たり収量594kg（前年産比22kg減少）、作況指数は99の「平年並み」となった。作柄表示地帯別では、津軽が97、青森・南部・下北で101となった。

一方、作付面積は前年比2,100ha減の3万9,600haとなり、収穫量も2万1,700t減の23万5,200tとなった。(次項図9)

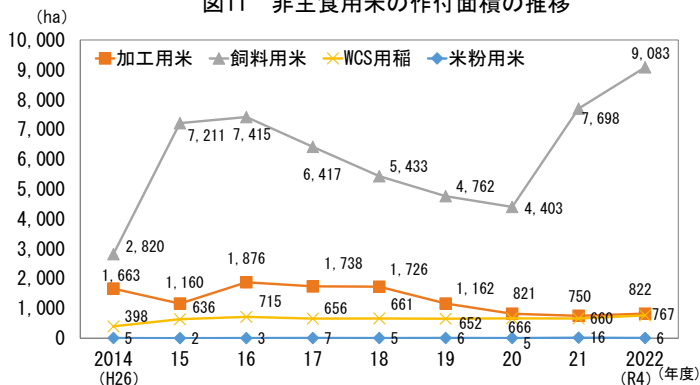


2022年の品種別作付面積では、「まっしぐら」が3万1,409haと最も多く(作付面積全体の79.3%)、次に「つがるロマン」が5,059ha(同12.8%)と、上位2品種で全体の92.1%を占めている。(図10)



2022年産の非主食用米の作付面積では、飼料用米が前年比18.0%増の9,083haとなった。加工用米、WCS※用稲、米粉用米の作付面積は前年と同水準となった。(次項図11)

図11 非主食用米の作付面積の推移



資料：農林水産省「経営所得安定対策等の加入申請状況」

※ WCS（ホールクロップサイレージ）：出穂期以降に稲の実と茎葉を同時に収穫し、ロール状に梱包し、更にラップ材でラッピングした稲発酵粗飼料。稲に付着している乳酸菌により発酵し、牛の飼料となる。

## イ りんご

2021年産は、収穫量は41万5,700t、10a当たりでは2,110kgと、いずれも前年を下回った。収穫量の全国シェアは、前年から2.1ポイント増加し、62.8%となった。

また、出荷量は37万7,000tで、全国(59万9,500t)に占めるシェアは62.9%と、収穫量と同様に増加(前年比2.1ポイント増加)した。(表12)

表12 りんごの生産動向(青森県)

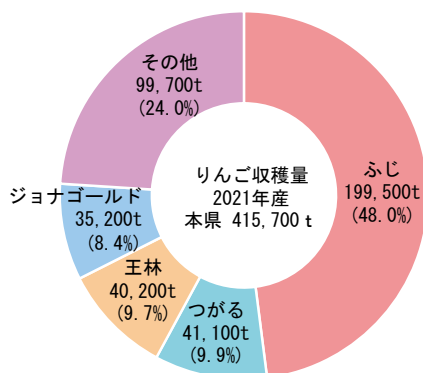
区分	2013 (H25)	14	15	16	17	18	19	20	2021 (R3)
結果樹面積 (ha)	20,000	20,000	20,000	19,900	19,900	19,800	19,700	19,700	19,700
10a当たり収量 (kg)	2,060	2,340	2,350	2,250	2,090	2,250	2,080	2,350	2,110
収穫量(青森県, t)	412,000	468,000	470,000	447,800	415,900	445,500	409,800	463,000	415,700
収穫量(全国, t)	741,700	816,300	811,500	765,000	735,200	756,100	701,600	763,300	661,900
収穫量全国シェア (%)	55.5	57.3	57.9	58.5	56.6	58.9	58.4	60.7	62.8
出荷量(青森県, t)	371,600	424,800	427,300	406,300	376,500	402,900	371,800	420,100	377,000
出荷量(全国, t)	660,700	730,800	727,700	684,900	655,800	679,600	632,800	690,500	599,500
出荷量全国シェア (%)	56.2	58.1	58.7	59.3	57.4	59.3	58.8	60.8	62.9

資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

品種別収穫量は、ふじが19万9,500t(収穫量全体の48.0%)と最も多く、次いで、つがるが4万1,100t(同9.9%)、王林が4万200t(同9.7%)、ジョナゴールドが3万5,200t(同8.4%)となっている。(次項図13)



図13 本県産りんごの品種別収穫量



資料：農林水産省「果樹生産出荷統計」

## ウ 畑作物

2021年産について、小麦は作付面積、収穫量とも減少した。大豆は作付面積、収穫量とも増加した。(表14)

表14 畑作物の生産動向

(単位：ha、t)

区分	2014 (H26)	15	16	17	18	19	20	2021 (R3)
小麦	作付面積	1,280	1,170	1,120	1,030	907	747	701
	収穫量	2,340	2,930	2,980	2,210	961	1,710	1,720
大豆	作付面積	4,040	4,500	4,810	4,940	5,010	4,760	5,070
	収穫量	5,370	7,290	7,360	6,270	5,360	7,660	8,210

資料：農林水産省「作物統計」

## エ 野菜

2021年産について、だいこん、にんにくは作付面積、収穫量とも減少した。ばれいしょ、にんじん、ごぼう、トマトは作付面積、収穫量とも増加した。ながいもは作付面積がほぼ横ばいだったものの、収穫量が減少した。(表15)

表15 野菜の生産動向

(単位：ha、t)

区 分	2014 (H26)	15	16	17	18	19	20	2021 (R3)	
だいこん	作付面積	2,970	3,060	3,000	2,970	2,990	2,970	2,830	2,770
	収穫量	125,500	132,600	126,800	128,500	122,500	121,600	115,700	114,400
ごぼう	作付面積	2,330	2,320	2,330	2,340	2,350	2,360	2,320	2,370
	収穫量	54,100	52,900	48,700	50,100	49,600	51,400	48,000	51,200
ながいも	作付面積	2,220	2,250	2,250	2,250	2,250	2,250	2,230	2,230
	収穫量	59,100	56,500	52,900	53,800	54,000	55,800	57,300	56,400
にんにく	作付面積	1,360	1,350	1,380	1,380	1,420	1,440	1,460	1,430
	収穫量	13,500	13,800	14,200	13,700	13,400	13,900	14,300	13,500
にんじん	作付面積	1,250	1,240	1,190	1,160	1,160	1,190	1,200	1,260
	収穫量	38,200	39,500	38,400	38,000	37,400	39,600	39,700	42,500
ばれいしょ	作付面積	845	803	762	751	725	658	672	677
	収穫量	18,000	18,400	18,600	18,600	16,000	15,500	14,600	15,600
トマト	作付面積	378	386	389	380	369	365	374	377
	収穫量	17,400	17,600	17,300	17,600	16,800	18,100	18,800	19,200

資料：農林水産省「野菜生産出荷統計」

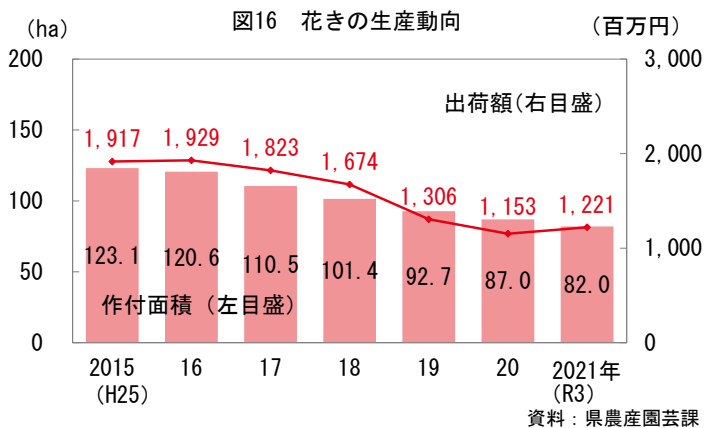
## オ 花き

2021年産の花きの作付面積は、82ha（前年比5ha減少）、出荷数量は1,373万鉢・本（同約89万本・鉢減少）となり、出荷額は12億2,100万円（同約6,800万円増加）となった。(次項図16)

種類別出荷額では、切花類(7億5,300万円、花き出荷額の約62%)及び鉢もの類(3億1,100万円、花き出荷額の約25%)が大勢を占めた。

切花類の内訳では、キク類が2億5,200万円(花き出荷額の約21%)、トルコギキョウが1億7,400万円(同約14%)、アルストロメリアが1億900万円(同約9%)、バラが4,800万円(同約4%)などであり、鉢物類では、ポットローズが1億1,000万円(同約9%)、次いでシクラメンが8,100万円(同約7%)となった。

生産者の高齢化や労働力不足のほか、販売単価の低下、野菜への作付転換などにより、県内の花き生産は縮小傾向にある。



## カ 畜産

畜産全般において、生産者の高齢化や後継者不足等の影響により飼養戸数は減少傾向にあり、2022年では、乳用牛が156戸、肉用牛が763戸となった。10年前と比較すると、飼養戸数はいずれも減少しているものの、1戸当たりの飼養頭数は増加傾向にあり、経営の大規模化が進んでいる。(次頁表17)

表17 主要家畜別飼養戸数、飼養頭羽数(各年2月1日現在)

区 分	16	17	18	19	20	21	22年 (R4)	
乳 用 牛	飼養戸数(戸)	204	194	187	186	172	165	156
	飼養頭数(頭)	11,500	11,100	11,300	11,700	11,800	12,000	12,200
	1戸当頭数(頭)	56.4	57.2	60.4	62.9	68.6	72.7	78.2
肉 用 牛	飼養戸数(戸)	973	942	886	827	824	792	763
	飼養頭数(頭)	55,700	55,400	55,900	53,500	53,700	53,400	54,600
	1戸当頭数(頭)	57.2	58.8	63.1	64.7	65.2	67.4	71.6
豚	飼養戸数(戸)	86	82	79	73	-	63	60
	飼養頭数(頭)	362,100	348,800	359,500	351,800	-	352,700	358,600
	1戸当頭数(頭)	-	4,253.7	4,550.6	4,819.2	-	5,598.4	5,976.7
採 卵 鶏	飼養戸数(戸)	28	28	28	27	-	27	25
	飼養羽数(成鶏めす)(万羽)	498	538.7	571.4	518.6	-	533.2	649.7
	1戸当羽数(成鶏めす)(万羽)	-	19.2	20.4	19.2	-	19.8	26.0
プ ロ イ ラ ー	飼養戸数(戸)	68	68	67	64	-	64	63
	飼養羽数(万羽)	712	728.8	701.8	694.3	-	708.7	805.8
	1戸当羽数(万羽)	-	10.7	10.5	10.8	-	11.1	12.8

※ 2020年の豚、採卵鶏、ブロイラーの調査は休止。

資料：農林水産省「畜産統計」

## ⑨ 林業

### ア 林業経営体数

2020年の林業経営体数(保有山林が3ha以上又は委託を受けて林業を行う者)は678経営体で、2015年に比べて1,381経営体減少した。(表18)

表18 林業経営体数の推移

(単位：経営体)

区 分	計	5ha未満	5~10ha	10~50ha	50ha以上
2015(H27)年	2,059	673	647	614	125
2020(R2)年	678	147	201	234	96
増 減 数	△ 1,381	△ 526	△ 446	△ 380	△ 29

資料：農林水産省「農林業センサス」

## イ 林業産出額

2020年の林業産出額は、前年比7.7%減の96億4,000万円となり、林業産出額全体に占める木材生産の割合は95.6%となった。(表19)

表19 林業産出額

(単位：千万円)

区 分	2013 (H25)	14	15	16	17	18	19	20 (R2)
林業産出額	930	1,018	979	1,003	911	993	1,044	964
うち木材生産	874	967	932	966	866	945	1,000	922

資料：農林水産省「林業産出額」

## ウ 木材の需給動向

2020年は、新設住宅着工戸数が前年比8.1%減の5,671戸、2020年の木材(素材)供給量は同2.9%減の112万9,000m<sup>3</sup>であった。

県内需要量は、2007年以降ほぼ40万m<sup>3</sup>台で推移してきたが、大型LVL工場の稼働などによって2015年から急増した。(表20)

表20 木材(素材)需給量の推移

(単位 千m<sup>3</sup>)

区 分	2013 (H25)	14	15	16	17	18	19	20年 (R2)
総 数	829	852	1,005	1,112	1,046	1,145	1,163	1,129
供 給 量								
素材生産量	779	803	935	1,057	987	1,097	1,120	1,091
国産材移入量	39	40	61	49	45	46	41	33
外材入荷量	11	9	9	6	14	2	2	5
県 内 需 要 量	454	444	629	755	734	786	810	815
製 材 用	210	194	228	190	...	...	...	...

※2017年から総数のみ表示(県内需要量)

資料：県農林水産部

## エ 特用林産物

2021年の特用林産物のうち、生産量と生産額の大部分を占めるきのこ類は、生産量で前年比25.1%減の361t、生産額は前年比15.4%減の2億300万円となった。

品目別生産額では、生しいたげが1億2,700万円(全体の62.6%)、なめこが7,100万円(同35.0%)などとなっている。(次頁表21)

表21 特用林産物の生産状況

(単位：t、kl、百万円)

区分	2016 (H28)		2017 (H29)年		2018 (H30)年		2019 (R1)年		2020 (R2)年		2021 (R3)年	
	生産量	金額	生産量	金額	生産量	金額	生産量	金額	生産量	金額	生産量	金額
きのこ類	634	355	681	384	562	336	549	281	482	240	361	203
(t) 生しいたけ	240	216	268	231	256	206	237	185	210	155	175	127
乾しいたけ	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
なめこ	221	95	234	112	164	85	163	65	184	63	176	71
えのきたけ	140	24	144	18	106	15	137	20	77	14	—	—
まいたけ	32	19	34	22	35	30	12	11	11	8	10	5
ひば油 (kl)	10.9	87	11.2	90	11.2	90	11.2	90	15.5	124	11.3	90
その他	—	197	—	131	—	161	—	138	—	118	—	189
合計	—	639	—	605	—	587	—	509	—	482	—	482

資料：県農林水産部

## ⑩ 水産業

## ア 漁業経営体数

2018年の漁業経営体数は3,702経営体で、2013年に比べ799経営体減少した。

## (表22)

なお、都道府県別順位では全国第3位となった。

表22 漁業経営体数

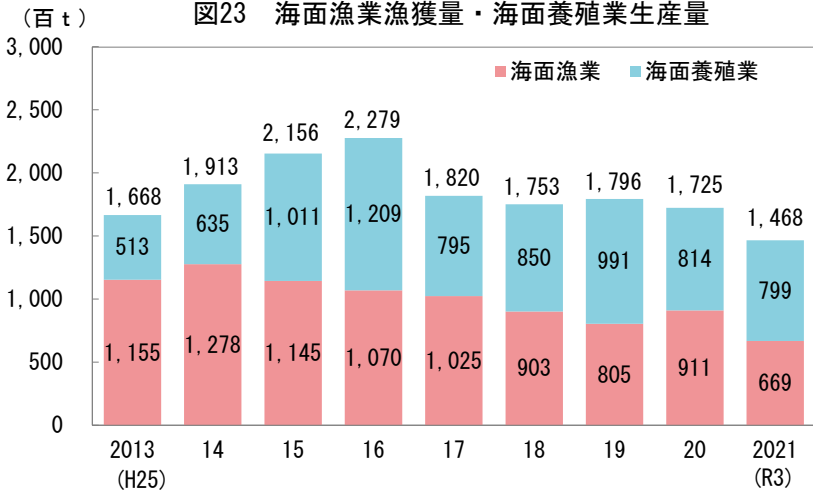
(各年11月1日現在、単位：経営体)

	2003 (H15)	08 (H20)	13 (H25)年	18 (H30)年
経営体数	5,513	5,146	4,501	3,702

資料：農林水産省「漁業センサス」

## イ 海面漁業・養殖業

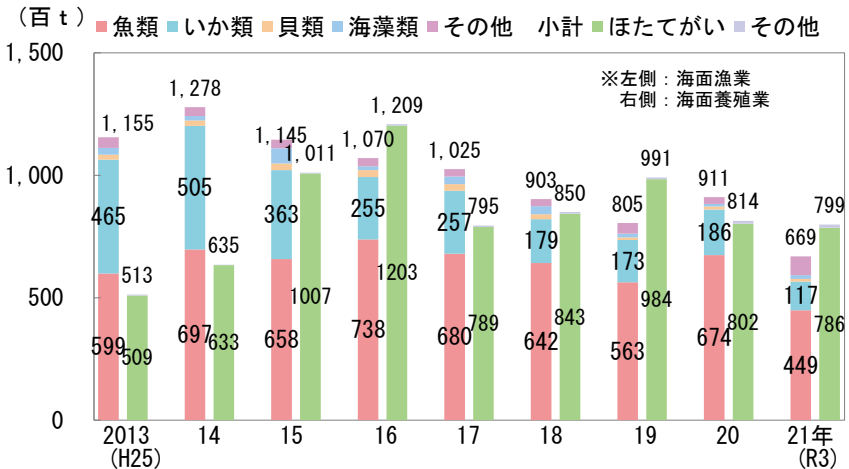
2021年の海面漁業・養殖業の漁獲量・生産量は14万6,800tで、前年比25,700t減少し、全国に占める割合は3.5% (全国第6位) となった。(次頁図23)



資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

海面漁業の魚種別漁獲量は、海藻類以外は前年を下回っている。海面養殖業では、ほたてがいが7万8,600tと、生産量の9割以上を占めている。(図24)

図24 海面漁業・海面養殖業の魚種別漁獲量・生産量

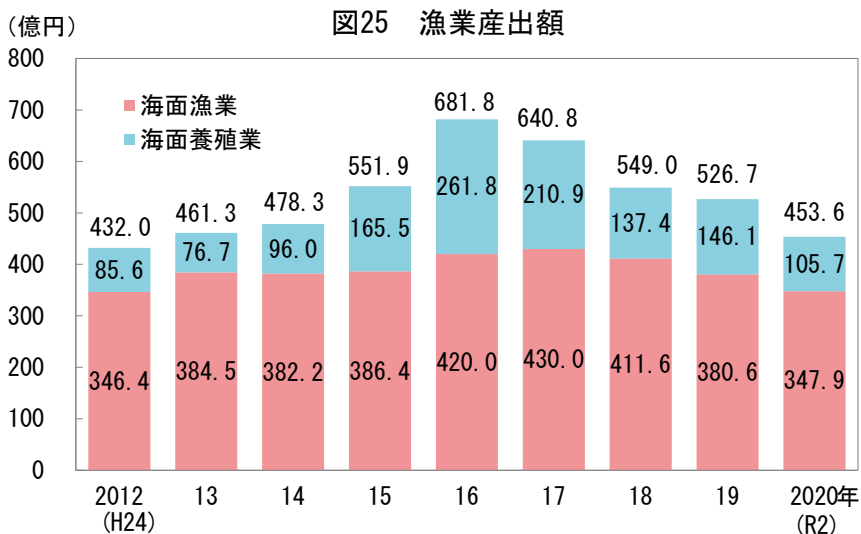


資料：農林水産省「漁業・養殖業生産統計」

## ウ 漁業産出額

2020年の漁業産出額は、前年比73億1,700万円減の453億5,300万円となり、全国に占める割合は3.7%（全国第8位）となった。海面漁業においていか類などの不漁により、単価が上昇したものの漁獲量は減少したことが要因となった。

このうち、海面漁業は前年比32億7,200万円減の347億9,600万円、海面養殖業は同40億4,500万円減の105億6,700万円だった。（図25）

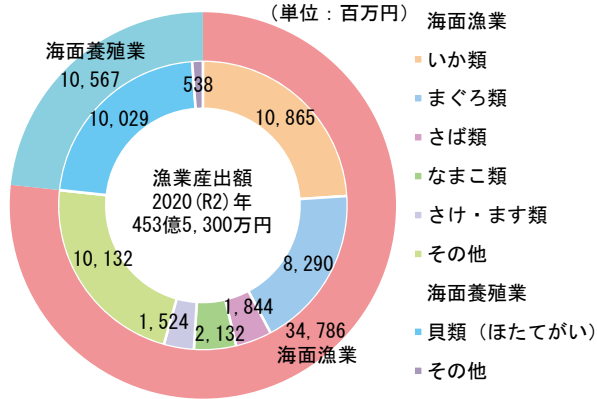


資料：農林水産省「漁業産出額」

魚種別では、海面養殖業の貝類のうち、ほたてがいが100億2,900万円（全国第2位）、海面漁業のいか類のうち、するめいかが76億5,700万円（同第1位）、まぐろ類のうち、くろまぐろが58億2,900万円（同第1位）などとなっている。（次頁図26）



図26 魚類別漁業産出額



※海面漁業は、各魚類別に端数処理をしているため、合計値と一致しない。資料：農林水産省「漁業産出額」

## エ 主要港の陸揚量

2019年の県内主要港（第3種漁港）の陸揚量は前年比41,937t減の6万9,978tだった。内訳としては、八戸漁港が6万5,987t、鯨ヶ沢漁港が1,070t、大畑漁港が1,140t、三沢漁港が1,781tとなっている。（表27）

表27 主要港の陸揚量の推移

(単位：t)

漁港名	2013 (H25)	14	15	16	17	18	2019年 (R元)
八戸	96,379	119,435	111,421	98,791	99,506	107,992	65,987
鯨ヶ沢	1,302	1,089	1,254	1,201	1,028	1,216	1,070
大畑	2,160	3,026	2,864	1,379	1,042	1,019	1,140
三沢	3,605	3,851	3,289	3,333	2,289	1,688	1,781
計	103,446	127,401	118,828	104,704	103,865	111,915	69,978

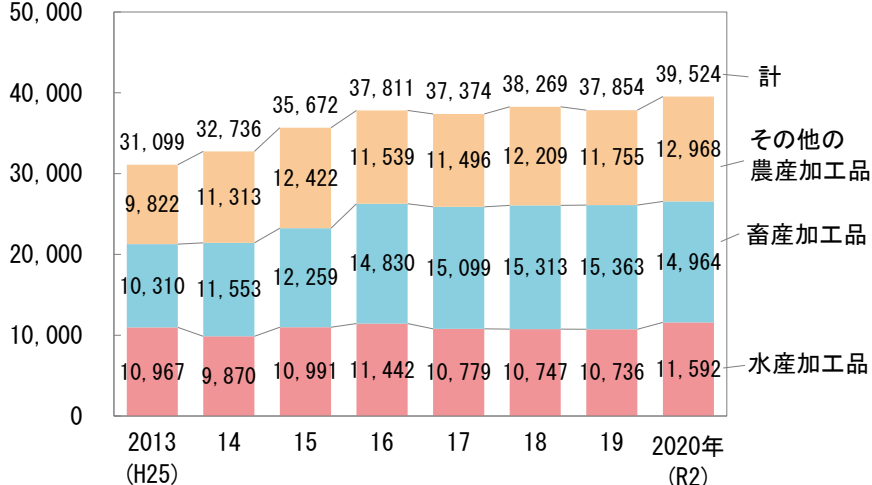
※ 第3種漁港の属地陸揚量の総数を掲載した。

資料：県農林水産部「漁港の港勢調査」

## ⑪ 食料品製造業

2020年の食料品製造業の製造品出荷額等は、前年比166億9,510万円増の3,952億円となった。（次項図28）

(千万円) 図28 食料品製造業の産業細分類別製造品出荷額等



資料: 県統計分析課「青森県の工業」

※1 水産加工品

工業統計調査の産業細分類別統計表（従業者4人以上の事業所）の食料品製造業（以下、「食料品製造業」という。）のうち、水産缶詰・瓶詰製造業、海藻加工業、水産練製品製造業、塩干・塩蔵品製造業、冷凍水産物製造業、冷凍水産食品製造業、その他の水産食料品製造業

※2 畜産加工品

食料品製造業のうち、部分肉・冷凍肉製造業、肉加工品製造業、処理牛乳・乳飲料製造業、乳製品製造業（処理牛乳、乳飲料を除く）、その他の畜産食料品製造業

※3 その他の農産加工品

食料品製造業のうち、上記※1及び※2に該当しないもの

## (2) 観 光

	2021 年	対前年
観光入込客数（延べ人数）	2,283 万 5,163 人	2.6%減
行催事・イベント観光入込客数	68 万 3,071 人	29.0%減
観光消費額	1,325 億 9,200 万円	9.6%増

資料：県観光国際戦略局「令和3年青森県観光入込客統計」

### ① 観光入込客数

2021年の観光入込客数（延べ人数）は、2,283万5,163人（前年比2.6%減）となった。

また、観光入込客数の実人数（「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき算出した推計値）は1,319万7,000人（同17.8%増）となった。

観光入込客数（実人数）のうち、日帰り客は1,009万9,000人（同20.7%増）、宿泊客は309万8,000人（同9.3%増）と増加し、宿泊客割合は23.5%となった。県内客・県外客・訪日外国人別では、県内客は954万8,000人（同31.5%増）、県外客は364万1,000人（同6.6%減）、訪日外国人は8,000人（同80.3%減）となり、県外客・訪日外国人の割合は27.7%（同7.5ポイント減）であった。（表1）

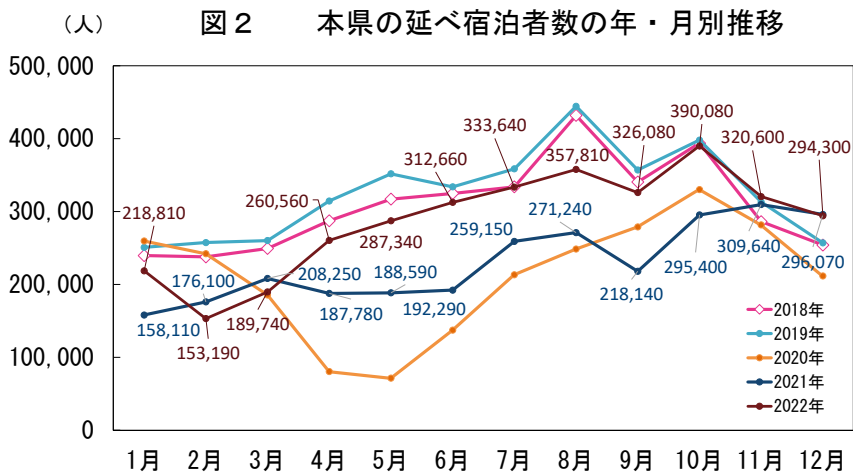
本県の延べ宿泊者数は、毎年、4月から増加し始め、8月～10月にかけて多くなり、冬期間の12～3月に落ち込む傾向にある。（次頁図2）

表1 観光入込客数

（単位：千人、%）

共通基準による調査						
区分	2018 (H30)	2019	2020	2021 (R3)	前年比	
総数（延べ人数）	35,016	35,442	23,438	22,835	97.4	
総数（実人数（推計値））	16,376	14,393	11,202	13,197	117.8	
うち	日帰り客	11,405	10,095	8,367	10,099	120.7
	宿泊客	4,971	4,298	2,834	3,098	109.3
	宿泊客割合	30.4	29.9	25.3	23.5	—
うち	県内客	9,329	7,977	7,260	9,548	131.5
	県外客	6,789	6,099	3,899	3,641	93.4
	訪日外国人	258	316	42	8	19.7
県外客+訪日外国人の割合	43.0	44.6	35.2	27.7	—	

資料：県観光国際戦略局「令和3年青森県観光入込客統計」



資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

### ○2021年の本県観光関連の主なトピック

- ・緊急事態宣言 [1月～9月]
- ・まん延防止等重点措置 [4月～9月]
- ・下北地域等における大雨災害 [8月]
- ・青森県新型コロナウイルス感染症緊急対策パッケージ [9月]
- ・あおもり宿泊キャンペーン [1月～3月]
- ・東北デスティネーションキャンペーン [4月～9月]
- ・「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界文化遺産登録 [7月]
- ・青森県おでかけキャンペーン [7月～翌12月]
- ・青森県くるま旅キャンペーン [7月～翌3月]
- ・下風呂温泉郷応援キャンペーン [10月～11月]

## ② 行祭事・イベント観光入込客数

2021年は、68万3,071人（前年比29.0%減）となった。弘前さくらまつり（20万7,000人）が最も多く、次いで十和田市春まつり（8万5,000人）、弘前城雪燈籠まつり（4万5,000人、同82.2%減）などとなっている。（表3）

表3 行祭事・イベント観光入込客数（2021（R3）年 上位10位）

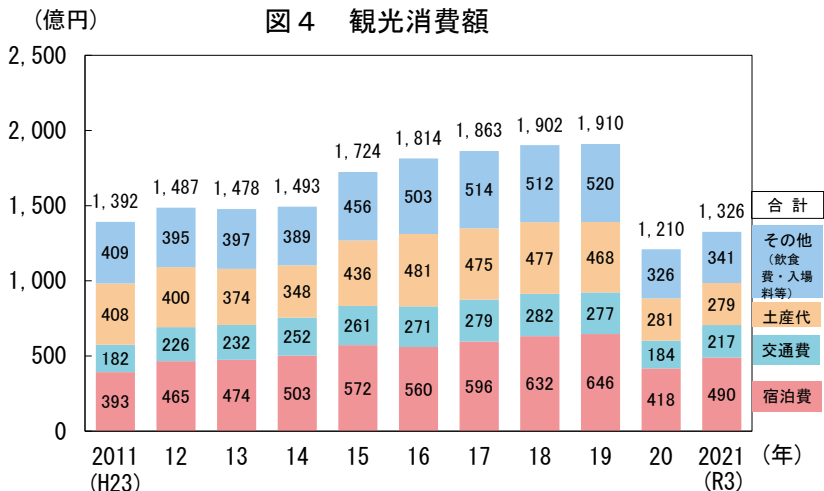
		(単位：千人、%)					
順位	行祭事・イベント名	市町村名	2019	2020	2021	対前年比	2021年開催月日
1	弘前さくらまつり	弘前市	2,890		207		4/17～5/5
2	十和田市春まつり	十和田市	184		85		4/20～5/5
3	弘前城雪燈籠まつり	弘前市	260	250	45	17.8	2/10～2/14
4	弘前城菊と紅葉まつり	弘前市	398		43		11/1～11/7
5	猿賀公園蓮の花 (旧平川市蓮の花まつり)	平川市	29		40		7/24～8/29
6	中野もみじ山ライトアップ	黒石市	109	33	40	119.8	10/16～11/7
7	猿賀神社初詣	平川市	46		29		1/1～1/3
8	鶴の舞橋桜まつり	鶴田町	9		22		4/24～5/5
9	さんのへ春まつり	三戸町	19		20		4/20～5/5
10	日本一のダイチョウライトアップ 「ビッグイエロー」	深浦町			19		11/11～11/30
行祭事・イベント観光入込客数			16,524	961	683	71.0	

資料：県観光国際戦略局「令和3年青森県観光入込客統計」

## ③ 観光消費額

2021年は、1,325億9,200万円（前年比9.6%増）となった。

内訳は、宿泊費が489億5,100万円（前年比17.1%増）、交通費が216億5,500万円（同17.7%増）、土産代が278億8,500万円（同0.9%減）、その他（飲食費、入場料、パック料金等）が341億200万円（同4.5%増）となっている。（図4）

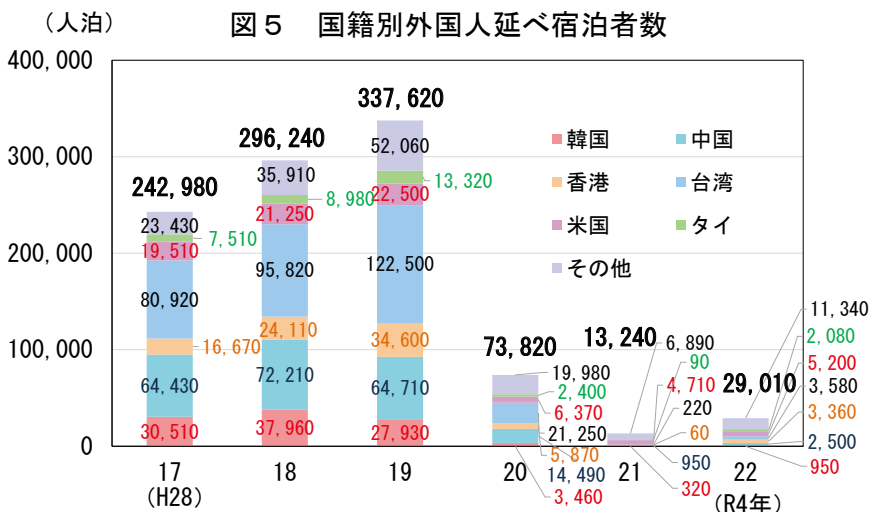


資料：県観光国際戦略局「令和3年青森県観光入込客統計」

#### ④ 外国人延べ宿泊者数

2022年は、速報値で29,010人泊（前年比119.1%増）となった。

国別では、米国が5,200人泊となり、第1位のシェアとなっている。以下、台湾3,580人泊、香港3,360人泊、中国2,500人泊の順となっている。（図5）



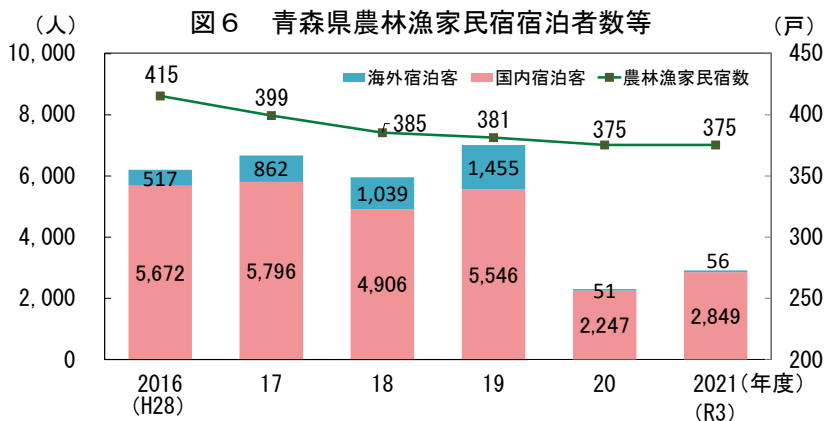
※従業者数10人以上の施設が対象。2022年(R4)は速報値

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」

#### ⑤ 農林漁家民宿宿泊者数及び民宿数

2021年度の農林漁家民宿への宿泊者数は、2,905人（前年比26.4%増）となった。また、2021年度の農林漁家民宿数は、前年度と同じ375戸となった。

（図6）



資料：県農林水産部

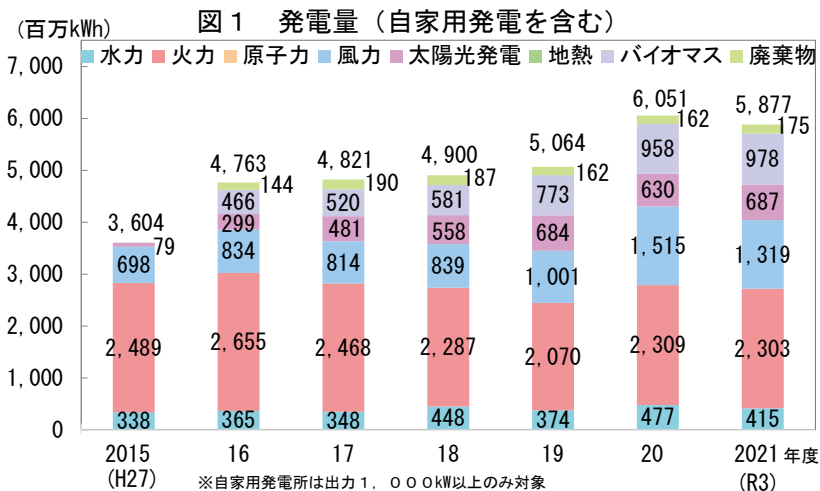
### (3) エネルギー

石油製品販売量（2021年度）青森県 205万kl 全国 1億5,069万kl

資料：石油連盟

#### ① 発電量の推移

2021年度の本県での発電量（自家用発電を含む）は、58億7,700万kWhと、前年度比2.9%減となっている。（図1）



※自家用発電所は出力1,000kW以上のみ対象  
 ※地熱、バイオマス、廃棄物は、2015年は火力に含む  
 資料：経済産業省資源エネルギー庁電力調査統計、東北経済産業局資料を基に県企画政策部が作成

なお、本県における水力・火力・風力・太陽電池・原子力の発電所数の合計は105か所で、最大出力は320万5,591kWとなっている。（表2）

表2 事業者別・発電種類別の発電所数及び認可・届出最大出力

(2021年度末現在)

	水力		火力		風力		太陽電池		原子力	
	発電所数	出力(kW)	発電所数	出力(kW)	発電所数	出力(kW)	発電所数	出力(kW)	発電所数	出力(kW)
発電事業者	18	124,750	1	416,000					1	1,100,000
自家用事業者	5	6,790	17	410,466	35	694,311	28	453,274		
計	23	131,540	18	826,466	35	694,311	28	453,274	1	1,100,000

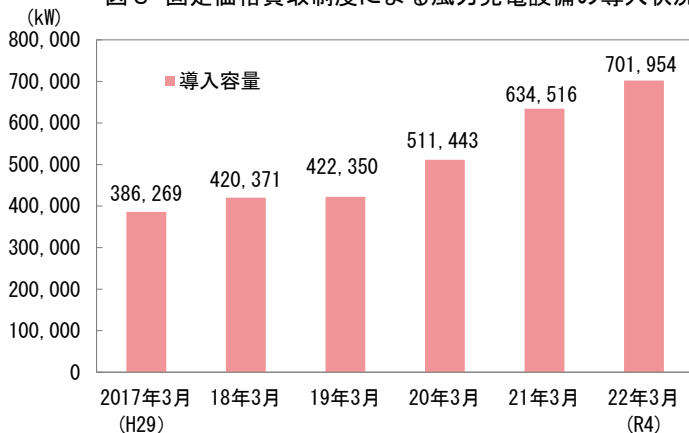
注1 水力発電所については、小型のもの又は特定の施設内に設置されるものであって告示するもの（土地改良法、水道法、下水道法及び工業用水道事業法で定める導水施設等に設置されるもの）  
 注2 1万kW未満の内燃力及び千kW未満のガスタービンを原動力とする火力発電所を除く。  
 注3 風力発電所についてはウィンドファーム単位で計上する。（ただし500kW未満は除く）  
 注4 2,000kW未満の太陽電池発電所を除く。

資料：経済産業省関東東北産業保安監督部東北支部電力安全課、東北電力公表資料を基に県企画政策部が作成

## ② 風力発電の導入状況

本県における風力発電の状況は、導入容量が70万1,954kWで全国第1位となっている。(図3)

図3 固定価格買取制度による風力発電設備の導入状況

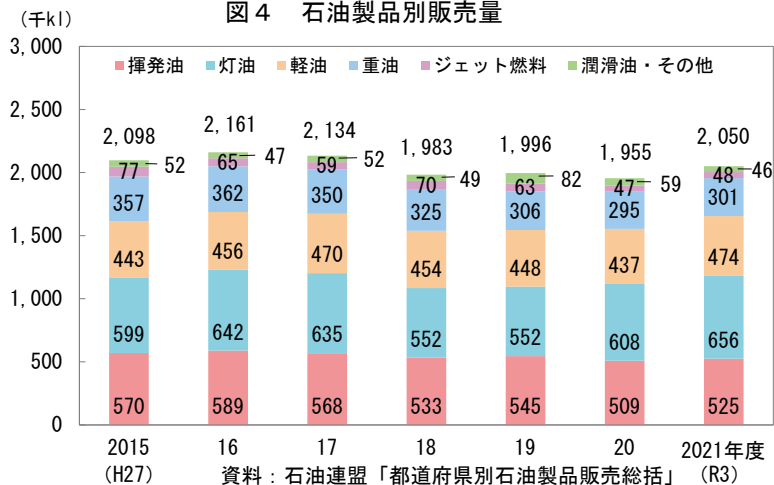


資料：資源エネルギー庁「固定価格買取制度情報公表用ウェブサイト」を基に県エネルギー総合対策局が作成

## ③ 石油製品販売量の推移

2021年度の本県での石油製品販売量は約205万klで、前年度比4.9%増となっている。石油製品別では灯油が同8.0%、揮発油が同3.1%、軽油が同8.4%、重油が同1.8%の増加となっている。(図4)

図4 石油製品別販売量



資料：石油連盟「都道府県別石油製品販売総括」(R3)



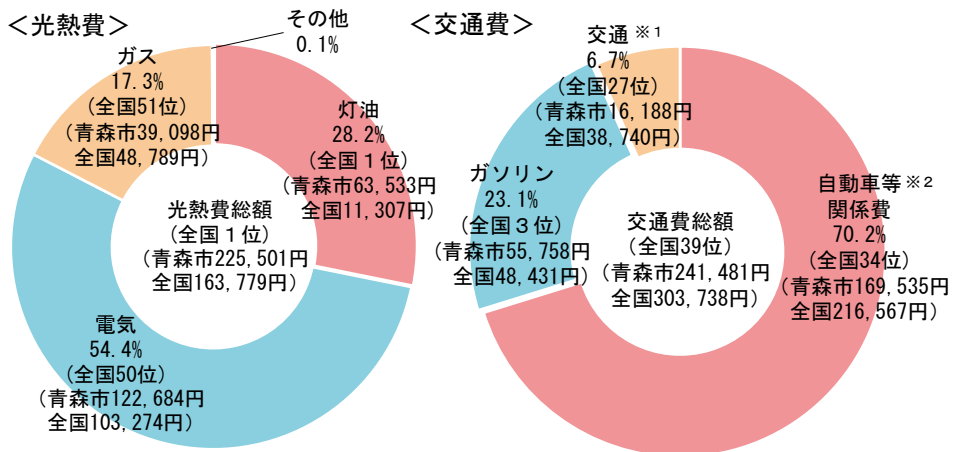
#### ④ エネルギー消費に係る本県の家計支出

2021年の都道府県庁所在地市及び政令指定都市別（全国52市等）の1世帯当たりの年間支出金額では、青森市の光熱費総額は全国第1位となっており、このうち光熱費総額に占める「灯油」の割合は28.2%（全国第1位）となっている。

交通費総額は全国に比べて低いものの、全体に占める「ガソリン」の割合が23.1%（全国第3位）と高めている。

本県は、全国と比べて光熱費の負担が高く、「灯油」や「ガソリン」への依存が高くなっている。（図5）

図5 青森市の1世帯当たりの家計支出（2021年）



資料：総務省「家計調査（家計収支編）」

※総額の順位は支出金額の順位。項目ごとの順位は総額に対する構成比の全国順位。

※1 交通

鉄道・バス運賃、鉄道・バス通学・通勤定期代、タクシー代、航空運賃、有料道路料、その他。

※2 自動車等関係費

自動車等購入、自動車整備費、年極・月極駐車場借料、自動車保険料、その他。

## (4) 鉱工業

	青森県	全国
製造業事業所数(2020年※従業者4人以上)	1,272事業所	17万6,858事業所
製造業従業者数( " )	5万5,763人	746万5,556人
製造品出荷額等( " )	1兆6,765億円	302兆33億円
1事業所当たり製造品出荷額等( " )	12億9,071万円	17億760万円
従業者1人当たり製造品出荷額等( " )	2,944万円	4,045万円
※事業所数及び従業者数は、2021年6月1日現在の数値を2020年の数値としている		
※全国の1事業所及び従業者1人当たり製造品出荷額等は公表資料を基に企画調整課で算出		
資料：県統計分析課「青森県の工業」、総務省・経済産業省「経済センサス」		

## ① 事業所数・従業者数

2020年の本県製造業の事業所数（従業者4人以上、以下同じ。）は、前年比5.2%減の1,272事業所となっている。これは、ピークであった1993年（2,809事業所）の45.2%の水準である。

また、従業者数は、前年比2.0%減の5万5,763人となっている。（表1、次頁図2、次頁図3）

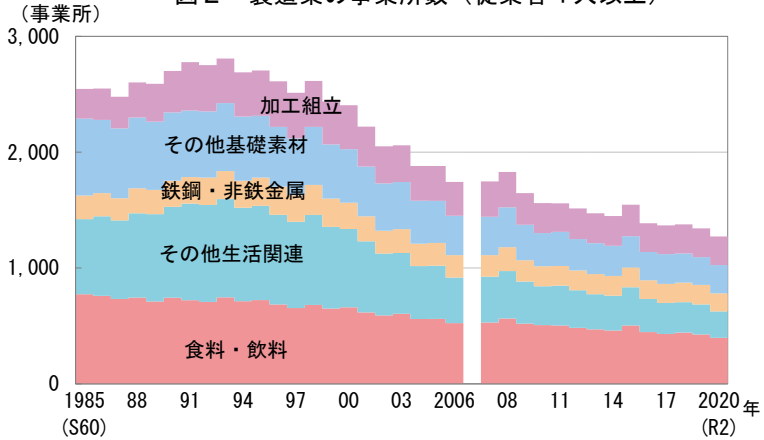
表1 本県の製造業の事業所数等（従業者4人以上）

(単位：事業所、人、万円、%)

	事業所数		従業者数		製造品出荷額等		粗付加価値額	
		構成比		構成比		構成比		構成比
総数	1,272	100.0	55,763	100.0	167,647,083	100.0	60,625,544	100.0
食料品	331	26.0	15,713	28.2	39,523,551	23.6	11,802,273	19.5
飲料・飼料	66	5.2	1,379	2.5	11,113,982	6.6	2,218,640	3.7
繊維	99	7.8	4,171	7.5	2,092,661	1.2	1,152,433	1.9
木材・木製品	58	4.6	857	1.5	2,175,890	1.3	697,708	1.2
家具・装備品	22	1.7	272	0.5	486,036	0.3	214,633	0.4
パルプ・紙	29	2.3	1,933	3.5	9,271,786	5.5	3,506,345	5.8
印刷	73	5.7	1,325	2.4	1,542,476	0.9	836,133	1.4
化学	15	1.2	522	0.9	3,423,503	2.0	1,624,510	2.7
石油・石炭	16	1.3	134	0.2	999,356	0.6	285,196	0.5
プラスチック製品	25	2.0	886	1.6	1,736,171	1.0	559,330	0.9
ゴム製品	6	0.5	169	0.3	150,979	0.1	96,551	0.2
窯業・土石	95	7.5	1,654	3.0	4,705,176	2.8	2,124,325	3.5
鉄鋼	26	2.0	1,800	3.2	8,025,872	4.8	2,606,695	4.3
非鉄金属	19	1.5	4,670	8.4	25,172,842	15.0	16,514,486	27.2
金属製品	111	8.7	2,221	4.0	4,636,459	2.8	1,646,172	2.7
はん用機械	25	2.0	391	0.7	580,864	0.3	328,482	0.5
生産用機械	58	4.6	1,654	3.0	4,184,076	2.5	991,358	1.6
業務用機械	27	2.1	4,314	7.7	10,800,120	6.4	3,100,359	5.1
電子部品	63	5.0	6,801	12.2	23,652,496	14.1	4,072,048	6.7
電気機械	39	3.1	3,167	5.7	7,603,256	4.5	2,703,297	4.5
情報通信	4	0.3	116	0.2	221,975	0.1	145,142	0.2
輸送用機械	31	2.4	1,115	2.0	4,865,090	2.9	3,119,164	5.1
その他	34	2.7	499	0.9	682,466	0.4	280,264	0.5

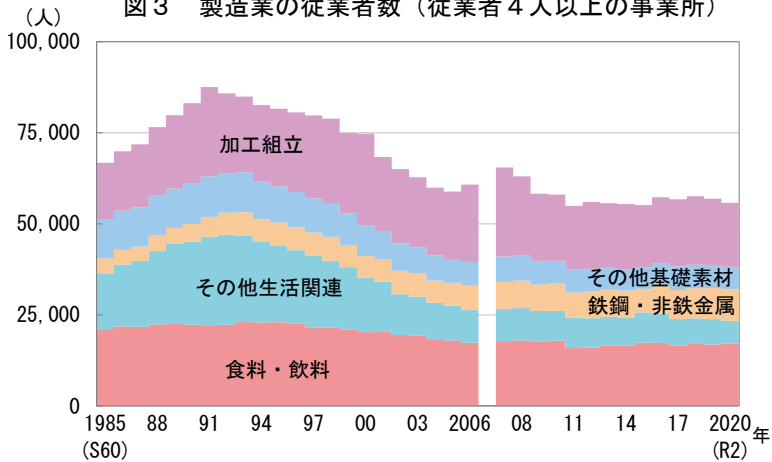
資料：県統計分析課「青森県の工業」

図2 製造業の事業所数（従業者4人以上）



資料：県統計分析課「青森県の工業」を基に企画調整課で作成

図3 製造業の従業者数（従業者4人以上の事業所）

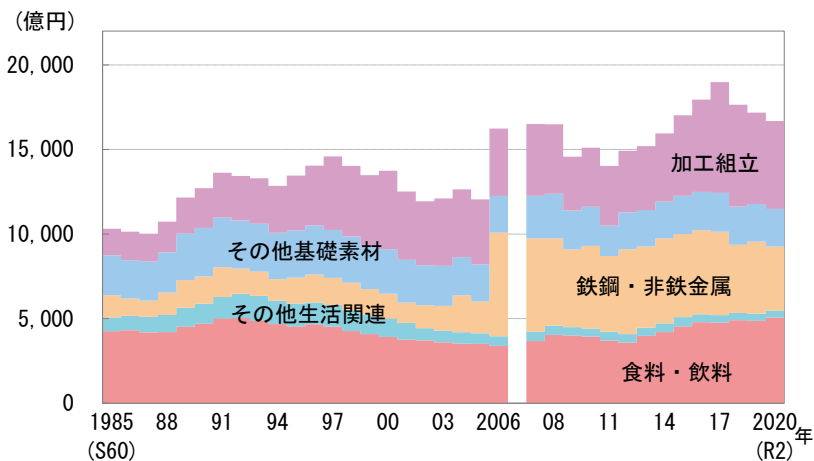


資料：県統計分析課「青森県の工業」を基に企画調整課で作成

## ② 製造品出荷額等

本県の2020年の製造品出荷額等は、前年比2.9%減の1兆6,765億円と前年を下回った。産業別では、食料品（前年比4.4%増）、電気機械（同16.9%増）、窯業・土石（同12.1%増）など10業種が増加した一方、非鉄金属（同8.4%減）、業務用機械（同12.8%減）、電子部品（同6.0%減）など、13業種で減少した。（前頁表1、次頁図4）

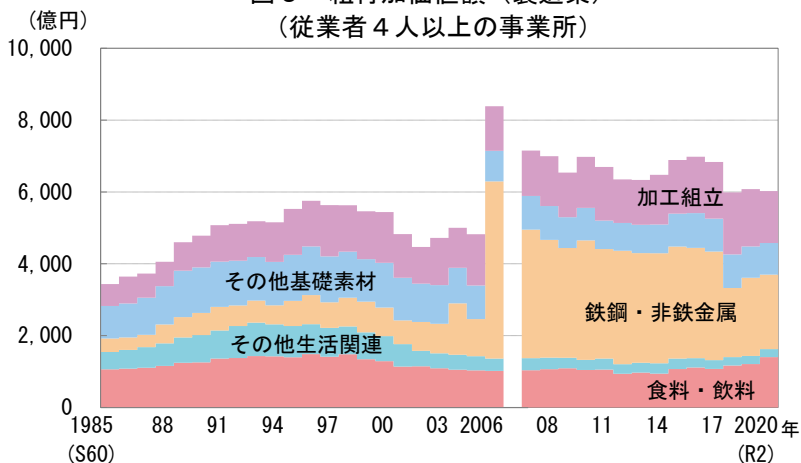
図4 製造品出荷額等（従業者4人以上の事業所）



資料：県統計分析課「青森県の工業」を基に企画調整課で作成

## ③ 粗付加価値額（製造業）

本県の2020年の製造業の粗付加価値額は、前年比1.0%減の6,063億円となった。産業別では、食料品（前年比13.7%増）、輸送用機械（同56.9%増）、鉄鋼（同31.0%増）など9業種が増加した一方、電子部品（同34.5%減）、非鉄金属（同6.8%減）、業務用機械（同15.6%減）など14業種で減少した。（前々頁表1、図5）

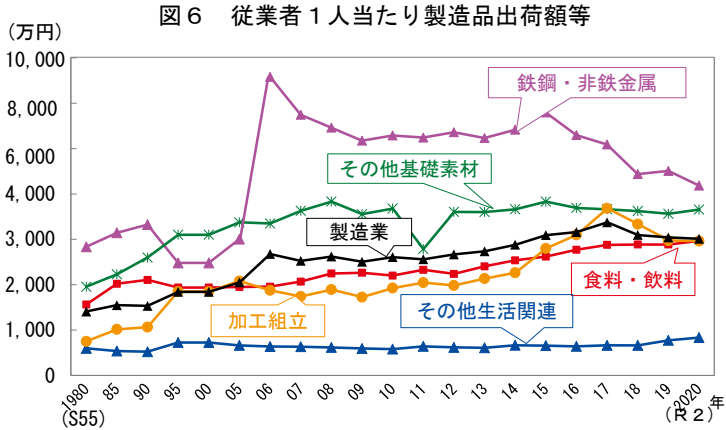
図5 粗付加価値額（製造業）  
（従業者4人以上の事業所）

資料：県統計分析課「青森県の工業」を基に企画調整課で作成

#### ④ 従業者1人当たり製造品出荷額等

従業者1人当たり製造品出荷額等は、2020年は前年比0.9%減の2,944万円となっている。分類によって変動があるものの、全体としては増加傾向にある。

分類別では、「鉄鋼・非鉄金属」は昨年より減少しており、「食品・飲料」は持続的に増加傾向にある。(図6)

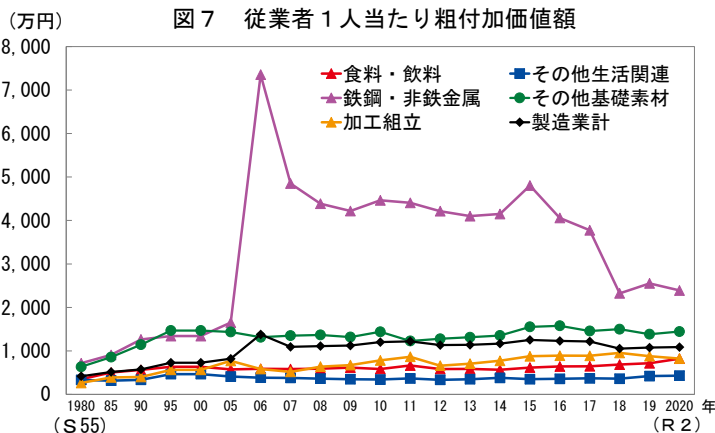


資料：県統計分析課「青森県の工業」を基に企画調整課で作成

#### ⑤ 従業者1人当たりの粗付加価値額

従業者1人当たり粗付加価値額は、2020年は前年比0.9%増の1,087万円となっている。

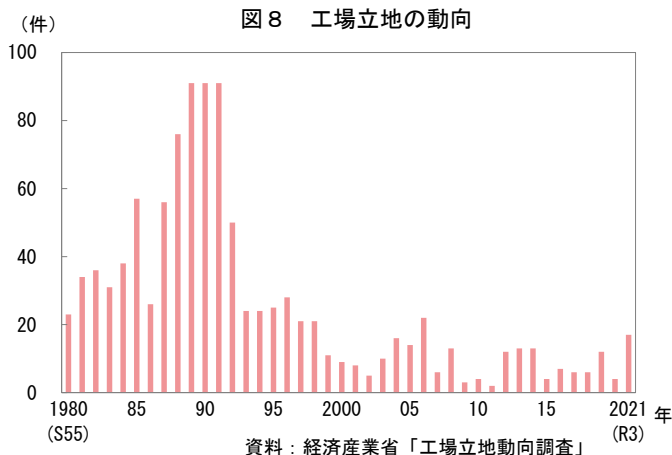
「鉄鋼・非鉄金属」は、2006年に前年の約5倍となり、他の業種に比べて非常に高い水準で推移していたが、2018年には大幅に減少している。(図7)



資料：県統計分析課「青森県の工業」を基に企画調整課で作成

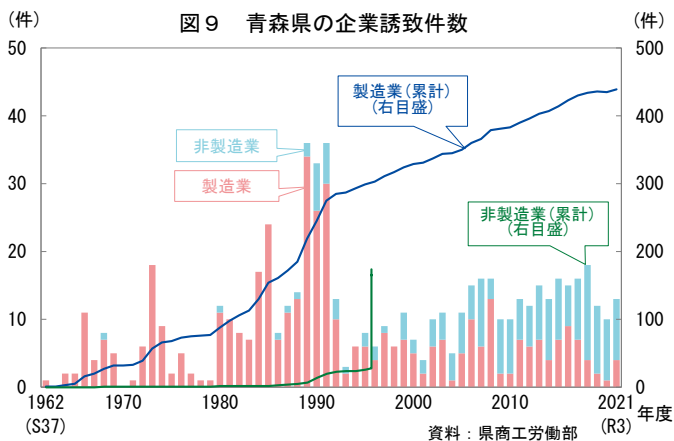
## ⑥ 工場立地件数の推移

本県の工場立地件数（製造業、電気業〔水力発電所、地熱発電所、太陽光発電所を除く。〕、ガス業及び熱供給業のための工場又は事業場を建設する目的をもって取得〔借地を含む。〕された1,000㎡以上の用地〔埋立予定地を含む。〕の件数は、2021年は前年比13件増の17件となっている。（図8）



## ⑦ 誘致企業の推移

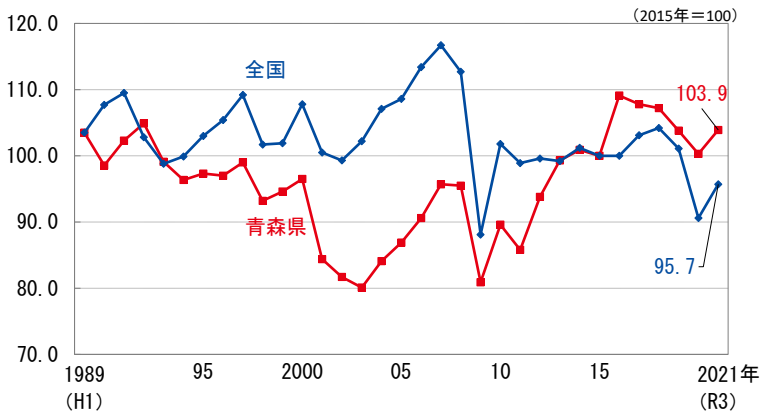
本県の1962年度以降の誘致企業数の累計は、625企業となっている（2022年3月31日現在）。誘致企業625企業のうち、製造業が441企業、非製造業が184企業となっている。1989年度までは製造業が大部分を占めていたが、1990年度以降、非製造業の占める割合が増加しており、近年はコンタクトセンター関連業の立地も進んでいる。（図9）



## ⑧ 鉱工業生産指数の推移

リーマンショックや東日本大震災以後大きく落ち込んだ後、回復傾向にあった本県の鉱工業生産指数（原指数：2015年＝100）は、新型コロナウイルス感染症のまん延等のあった2020年に再び低下したが、2021年は、103.9と前年から3.6ポイント増加し、5年ぶりに前年を上回った。（図10）

図10 鉱工業生産指数の推移



※ 2012 (H24) 年以前の青森県の数値は県統計分析課が試算。

資料：経済産業省「鉱工業指数」、県統計分析課「鉱工業生産指数」

注1) 1事業所及び1従業者当たり製造品出荷額等には、国内消費税額及び推計消費税額は含まない。

注2) 図2～図7について、青森県工業統計調査では2007年調査において、調査事項の追加と事業所の補足を行っているため、2006年までの調査値とは連続しない。

注3) 図4～図7について、加工組立のうち情報通信、その他生活関連のうちその他(ゴム製品・なめし革含む。)は集計に含まない。

**(5) 商業・貿易**

事業所数 (小売業、卸売業)	1万5,799事業所	(2016年)	3.4%減	(2014年比)
従業者数 (小売業、卸売業)	10万9,938人	"	2.0%減	"
年間売上高 (小売業、卸売業)	3兆2,735億円	(2015年)	9.3%増	"
青森県の輸出額	1,136億円	(2021年)	16.4%減	(2020年比)
青森県の輸入額	2,676億円	"	42.1%増	"

※ 事業所数及び従業者数は2016年6月1日現在、年間売上高は2015年1年間の額

資料：総務省・経済産業省「平成28年経済センサス-活動調査」

ジェトロ青森貿易情報センター「青森県の貿易(2021年の青森県貿易概況)」

**① 事業所数及び従業者数**

2016年の事業所数は、小売業と卸売業の合計で1万5,799事業所と2014年に比べ562事業所の減少となっている。

従業者数は、小売業と卸売業の合計で10万9,938人と2014年に比べ2,251人、2.0%の減少となっている。

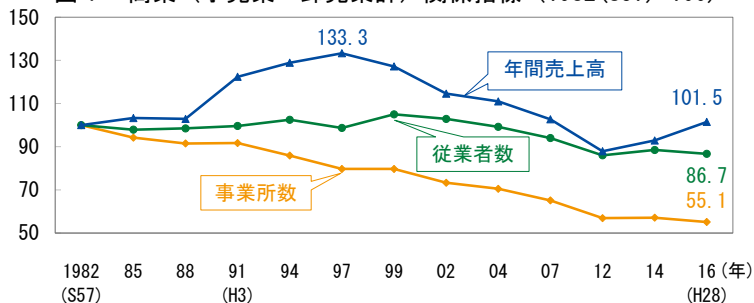
**② 年間売上高**

2015年の年間売上高を見ると、小売業と卸売業の合計で3兆2,735億円と2014年に比べ約2,792億円、9.3%の増加となっている。

**③ 長期的な傾向**

小売業と卸売業の合計事業所数、従業者数及び年間売上高の長期的な傾向を見ると、1982年を100とした場合の2016年の水準は、事業所数が55.1ポイントと半減し、かつ従業者数が86.7ポイントと減少した一方で、年間の売上高は101.5ポイントと、1982年の水準を上回った。(図1)

図1 商業(小売業・卸売業計)関係指標(1982(S57)=100)



資料：経済産業省「商業統計調査」、「経済センサス-活動調査」

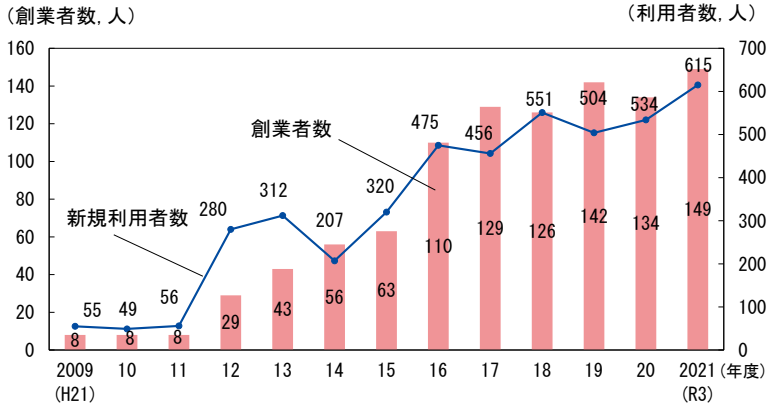
※「平成21年商業統計調査(簡易調査)」は、経済センサスの創設に伴い廃止となっており、「平成24年経済センサス-活動調査(確報結果)」の中で商業に関する調査事項を把握している。



#### ④ 創業支援拠点を利用した創業者数

専門家による伴走型支援や創業支援拠点整備などを進めた結果、創業支援拠点を利用した創業者数は近年増加傾向にあり、令和3年度においても100人以上が創業するなど、新型コロナウイルス感染症の影響がある中であっても高水準を維持している。(図2)

図2 青森県内の創業支援拠点利用者数及び創業者数



資料：商工労働部

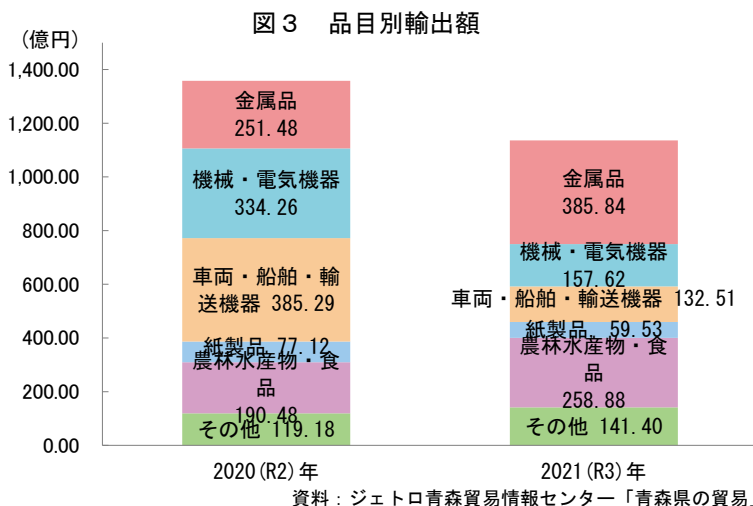
## ⑤ 輸出入額の推移

2021年の本県の貿易は、輸出入総額が3,811億5,900万円となっており、前年比17.6%増となった。

このうち輸出額は1,135億7,900万円の前年比16.4%減となった。

これを品目別に見ると、「機械・電気機器」が52.8%減の157億6,200万円、「車両・船舶・輸送機器」が65.6%減の132億5,100万円となっている。一方、鉄・鉄鋼製品などの「金属品」が53.4%増の385億8,400万円、「農林水産物・食品」が35.9%増の258億8,800万円となっている。

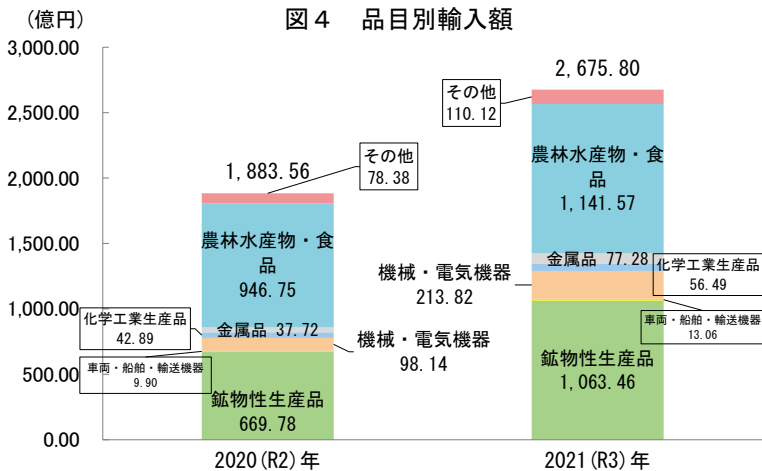
輸出額におけるシェアを品目別に見ると、2020年から上位2品目が入れ替わり、「金属品」が34.0%、「農林水産物・食品」が22.5%と、2品目で56.5%を占めている。(図3)



また、輸入額は2,675億8,000万円となっており、前年比42.1%増となった。

これを品目別に見ると、「農林水産物・食品」が20.6%増の1,141億5,700万円、「鉱物性生産品」が58.8%増の1,063億4,600万円、「機械・電気機器」は117.9%増の213億8,200万円、「金属品」が104.9%増の77億2,800万円、「車両・船舶・輸送機械」が31.9%増の13億600万円となった。

輸入額におけるシェアを品目別に見ると、上位は「農林水産物・食品」が42.7%、「鉱物性生産品」が39.7%となっており、これら上位2品目で、全輸入額の約82%を占めている。(図4)



資料：ジェトロ青森貿易情報センター「青森県の貿易」

### ⑥ 主要相手国別輸出入額

2021年の貿易額を相手国別に見ると、輸出では、前年1位の中国及び第2位の台湾が引き続き第1位及び第2位となっている。また、中国への輸出額が前年比32%に減少している一方、台湾、韓国、香港等への輸出額が大きく増加している。(表5)

表5 主な輸出相手国

(単位：百万円)

順位	国名		2021 (R2) 年	2020 (R2) 年	前年比 (倍)
	2021	2020			
1	1	中国	35,334	109,060	0.32
2	2	台湾	24,867	9,081	2.74
3	7	韓国	9,406	1,099	8.56
4	-	パナマ	8,107	-	-
5	3	香港	7,315	4,577	1.60

資料：ジェトロ青森貿易情報センター「青森県の貿易」

輸入相手国では、米国が引き続き第1位となっている。その他の国については、ベトナムからの農水産物・食品の輸入額が3倍以上に増加しており、第4位の輸入先となっている。(表6)

表6 主な輸入相手国

(単位：百万円)

順位		国名	2021 (R3)年	2020 (R2)年	前年比 (倍)
2021	2020				
1	1	米国	82,417	48,705	1.69
2	2	オーストラリア	39,477	22,101	1.79
3	4	中国	30,368	19,317	1.57
4	8	ベトナム	22,287	6,732	3.31
5	3	ブラジル	15,206	19,655	0.77

資料：ジェトロ青森貿易情報センター「青森県の貿易」

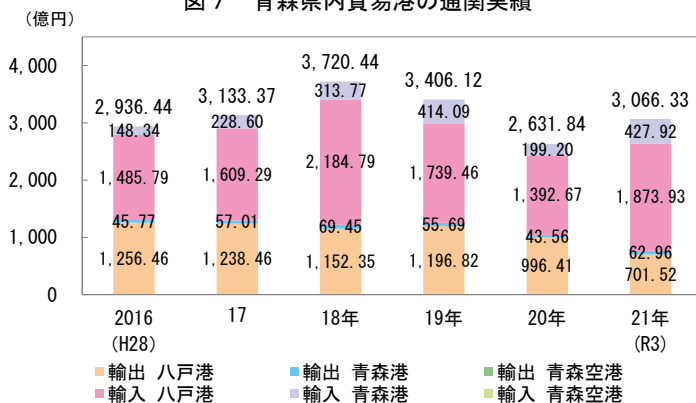
## ⑦ 県内港別の貿易動向

2021年の青森県の貿易額のうち、県内港（八戸港、青森港、青森空港）で通関した額は前年比16.8%増の3,075億1,100万円となっている。これは本県の貿易額全体の80.7%を占めている。

このうち八戸港の貿易総額は前年比8.2%増の2,575億4,500万円となった。これは県内港で通関した貿易額の84.0%を占めており、八戸港が本県最大の貿易拠点であることを示している。

青森港の貿易総額は490億8,800万円の前年比102.2%増となり、2010年以降最高額となった。(図7)

図7 青森県内貿易港の通関実績



資料：ジェトロ青森貿易情報センター「青森県の貿易」、函館税関「函館税関貿易概況」

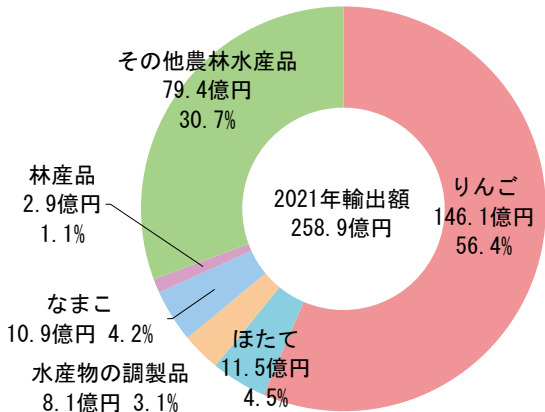
### ⑧ 県産農林水産物・食品の輸出動向

2021年の県産農林水産物・食品の輸出額は前年比35.9%増の約258億8,800万円となっている。品目別では「りんご」「ほたて」で全体の約6割を占めている。

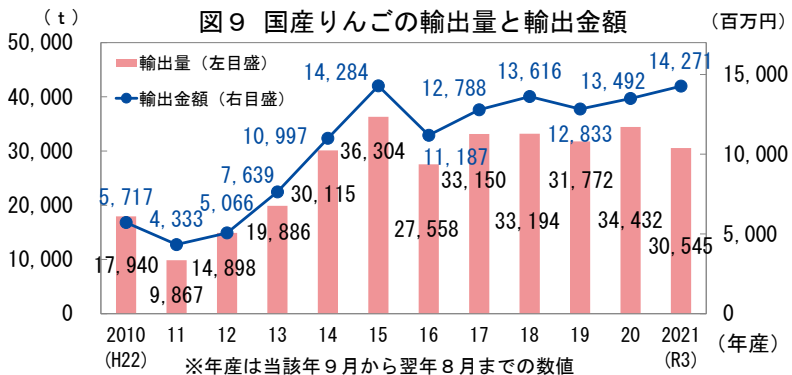
(図8)

また、国産りんご輸出量の9割が本県産とされており、2021年産国産りんごの輸出量(全国値)は前年比11.3%減の3万545tとなっている。(図9)

図8 県産農林水産品輸出額の品目別割合



資料：ジェトロ青森貿易情報センター「青森県の貿易」



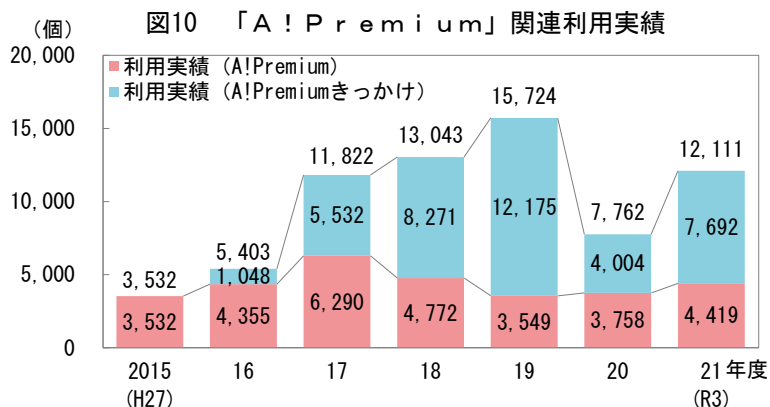
資料：財務省「貿易統計」

### ⑨ 青森県総合流通プラットフォーム「A!Premium」(エー・プレミアム)

県産農水産物を鮮度を保ったまま中部地方以西や海外に届けることを目的にヤマト運輸株式会社との連携により始めた流通サービス「A!Premium」では、航空機を活用したスピード輸送と保冷一貫輸送を両立させ、国内人口の約9割に翌日午前中に配送可能となったほか、海外へも最短翌日配送が可能となった。

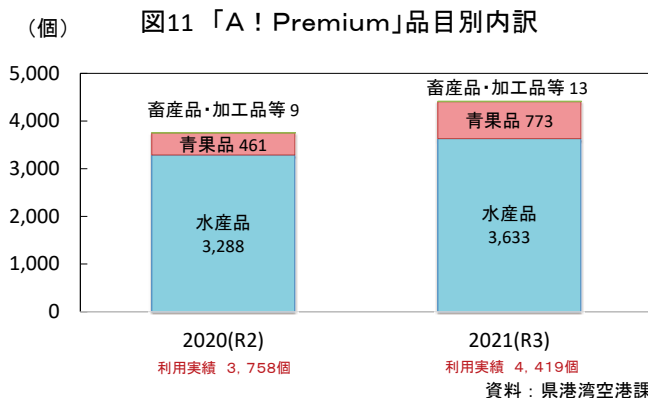
「A!Premium」を利用した荷物及び「A!Premium」きっかけの荷物の利用実績は、2020年度に、新型コロナウイルス感染症の影響による航空路線の運休・減便等に伴い減少していたが、2021年度は12,111個となり、前年度比56.0%増となった。

(図10、図11)



※「A!Premium」きっかけの荷物とは、「A!Premium」をきっかけに始まった商取引で、かつ、「A!Premium」以外の輸送手段で運ばれたことが、アンケート調査等による確認できた荷物のこと。

資料：県港湾空港課



## (6) 建設業

建設工事費総額 (2021 年度)	5,344億円	前年度比	8.3%減少
うち民間工事額 ( " )	2,507億円	"	9.7%減少
うち公共工事額 ( " )	2,837億円	"	7.0%減少
新設住宅着戸数 ( " )			
戸数	5,398戸	"	4.5%減少
床面積	57.0万㎡	"	1.7%減少

資料：国土交通省「建設総合統計年度報」「建築着工統計調査」

### ① 建設工事費総額

県内の2021年度の建設工事費総額(出来高ベース)は、5,344億円で、前年度比8.3%の減少となった。民間工事では、建築工事が同4.8%減少、土木工事が同17.9%減少となり、全体として同9.7%減少の2,507億円となった。

また、公共工事では、建築工事が同25.7%減少、土木工事が同1.2%減少となり、全体では同7.0%減少の2,837億円となった。民間工事と公共工事の割合は、民間工事が前年度比0.8ポイント下がって46.9%となり、公共工事よりも6.2ポイント下回った。(表1)

表1 建設工事費総額の推移(出来高ベース)

(単位：億円、%)

区 分	17 (H29)	18	19	20	21年度 (R3)	増加率	全 国	
							2021年度	増加率
工事費総額	5,525.0	5,369.7	6,091.9	5,825.3	5,344.1	△ 8.3	519,379.5	△ 2.5
民間工事	2,816.7	2,656.0	2,723.8	2,776.2	2,507.0	△ 9.7	303,930.6	2.9
建築工事	1,915.5	1,895.5	1,842.4	1,742.8	1,658.8	△ 4.8	253,505.8	5.1
うち居住用	1,167.1	1,193.3	1,177.4	1,067.4	1,149.4	7.7	155,480.4	6.1
土木工事	901.2	760.5	881.4	1,033.4	848.2	△ 17.9	50,424.8	△ 6.9
公共工事	2,708.3	2,713.7	3,368.1	3,049.2	2,837.1	△ 7.0	215,448.8	△ 9.3
建築工事	792.6	656.6	1,170.9	711.8	528.9	△ 25.7	39,762.2	△ 5.4
うち居住用	95.8	57.0	183.5	91.5	36.8	△ 59.8	3,906.1	△ 20.0
土木工事	1,915.6	2,057.1	2,197.2	2,337.4	2,308.2	△ 1.2	175,686.6	△ 10.1

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

資料：国土交通省「建設総合統計年度報」

### ② 建築工事の推移

2021年度の建築物数は6,280棟、床面積は96万1,661㎡で、前年度に比べ建築物数で14.8%減少、床面積で7.6%減少となった。

このうち、新設住宅の戸数は2020年度を271戸下回る5,398戸となった。(次頁表2)

表2 建築工事の推移

区 分		17 (H29)	18	19	20	21年度 (R3)	増加率 (%)
建築 工事計	建築物数 (棟)	6,731	6,994	6,699	7,374	6,280	△ 14.8
	床面積 (万㎡)	114.4	122.3	109.5	104.1	96.2	△ 7.6
うち 新設住宅	戸数 (戸)	6,454	6,727	5,922	5,651	5,398	△ 4.5
	床面積 (万㎡)	65.4	67.3	62.7	58.0	57.0	△ 1.7

資料：国土交通省「建築着工統計調査」

## ③ 公共事業等施行状況（本工事費）

2021年度に本県（知事部局、教育庁、警察本部）が実施した公共事業等の本工事費（予算措置額）は、前年度比0.8%減の1,401億6,100万円となった。

そのうち、工事種別では、「道路」が481億2,400万円と最も多く、全体の34.3%となっており、次いで「農林・水産」が322億6,900万円で23.2%、「治山・治水」が227億500万円で16.2%の順となっている。（表3）

表3 公共事業等施行状況（本工事費）の推移

（単位：億円、%）

区分	17 (H29)	18	19	20	2021年度 (R3)	増加率
工事費総額	964.8	920.7	1,056.4	1,412.9	1,401.6	△ 0.8
うち 治山・治水	156.2	159.8	186.8	227.0	227.1	0.0
農林・水産	227.7	222.5	278.7	325.4	322.7	△ 0.8
道路	252.7	291.1	380.6	513.5	481.2	△ 6.3
港湾・空港	39.2	30.3	35.1	52.0	44.5	△ 14.4
下水道・公園	99.7	87.1	36.5	25.5	25.5	0.0
住宅	13.5	7.0	11.0	16.8	13.7	△ 18.5
庁舎	46.8	32.5	6.0	13.3	32.5	143.9
土地造成	-	-	-	-	-	-
学校・病院	53.3	47.5	74.7	149.2	173.0	16.0
工業用水・上水道等	0.8	0.7	1.3	0.9	1.1	19.1
災害復旧	8.4	3.7	0.9	3.4	17.9	432.1
その他	66.4	38.6	44.8	86.0	62.5	△ 27.3

※項目ごとに端数処理をしているため計と一致しない場合がある。

資料：県財政課「公共事業等施行状況調」



## (7) 労働

### ① 労働力人口

2020年の本県の労働力人口（就業者数及び完全失業者数）は、63万1,696人となっており、2015年と比較すると約4.4%、29,386人減少した。

労働力人口のうち、就業者の構成割合について2015年と比較すると、35～44歳が1.9ポイント、25～34歳が1.6ポイント減少し、65歳以上が3.2ポイント増加した。

また、完全失業者の構成割合の比較では、45～54歳で1.9ポイント、65歳以上で3.2ポイント増加した。

なお、2020年の完全失業率（労働力人口に占める完全失業者の割合）は4.8%であり、2015年の5.3%から0.5ポイント減少している。（表1）

表1 本県の労働力人口

	2010 (H22) 年10月1日		2015 (H27) 年10月1日		2020 (R2) 年10月1日		5年 増減率
	実数	構成比	実数	構成比	実数	構成比	
15歳以上人口総数	1,196,355	100.0%	1,148,807	100.0%	1,089,110	100.0%	-5.2%
労働力人口	702,668	58.7%	661,082	57.5%	631,696	58.0%	-4.4%
就業者	639,584	(100.0%)	625,970	54.5%	602,391	55.3%	-3.8%
15～19歳	6,824	(1.1%)	6,746	(1.1%)	6,326	(1.1%)	-6.2%
20～24歳	34,977	(5.5%)	32,127	(5.1%)	28,973	(4.8%)	-9.8%
25～34歳	110,484	(17.3%)	94,410	(15.1%)	81,261	(13.5%)	-13.9%
35～44歳	135,812	(21.2%)	133,184	(21.3%)	116,960	(19.4%)	-12.2%
45～54歳	143,476	(22.4%)	137,095	(21.9%)	137,417	(22.8%)	0.2%
55～64歳	138,155	(21.6%)	132,632	(21.2%)	125,778	(20.9%)	-5.2%
65歳以上	69,856	(10.9%)	89,776	(14.3%)	105,676	(17.5%)	17.7%
完全失業者	63,084	(100.0%)	35,112	3.1%	29,305	2.7%	-16.5%
15～19歳	2,049	(3.2%)	936	(2.7%)	714	(2.4%)	-23.7%
20～24歳	6,418	(10.2%)	3,249	(9.3%)	2,445	(8.3%)	-24.7%
25～34歳	12,994	(20.6%)	6,969	(19.8%)	4,872	(16.6%)	-30.1%
35～44歳	12,440	(19.7%)	6,977	(19.9%)	5,377	(18.3%)	-22.9%
45～54歳	11,017	(17.5%)	6,833	(19.5%)	6,284	(21.4%)	-8.0%
55～64歳	13,697	(21.7%)	6,980	(19.9%)	6,027	(20.6%)	-13.7%
65歳以上	4,469	(7.1%)	3,168	(9.0%)	3,586	(12.2%)	13.2%
非労働力人口	479,058	40.0%	464,278	40.4%	420,119	38.6%	-9.5%
労働力状態不詳	14,629	1.2%	23,447	2.0%	37,295	3.4%	59.1%

※構成比欄の括弧内は、15歳以上人口総数の構成比ではなく、就業者数、完全失業者数の年齢別構成比をそれぞれ記載した。

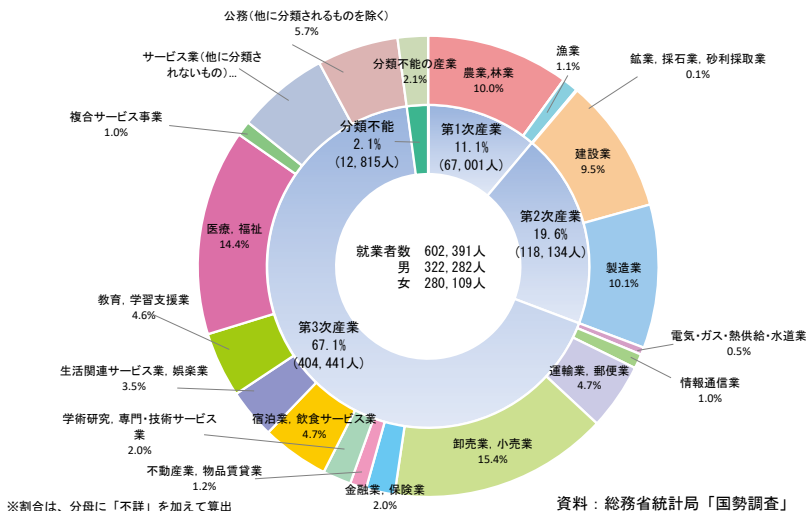
資料：総務省統計局「国勢調査」

### ② 産業別就業者

2020年10月1日現在の就業者の産業3部門別構成をみると、第1次産業従事者は、67,001人（11.1%）、第2次産業従事者は、118,134人（19.6%）、第3次産業従事者は、404,441人（67.1%）となっている。なお、分類不能者が、12,815人（2.1%）となっている。

さらに、産業別の構成割合でみると、卸売業、小売業が最も高く15.4%、次いで医療、福祉が14.4%、製造業が10.1%、農業、林業が10.0%であり、この4産業で約50%を占めている。(図2)

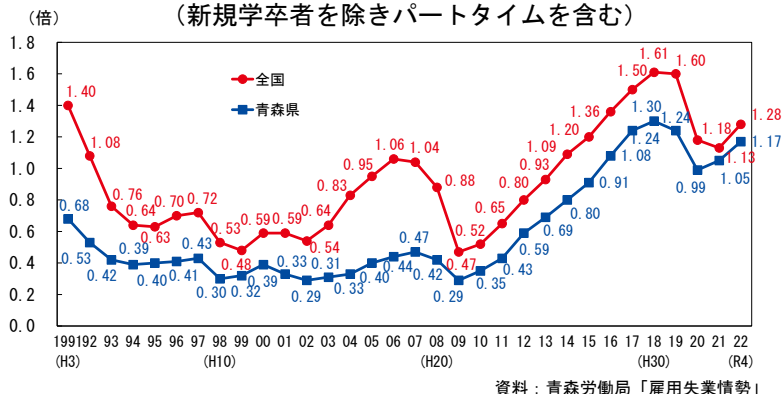
図2 本県の産業別就業者の割合 【2020(R2)年10月1日現在】



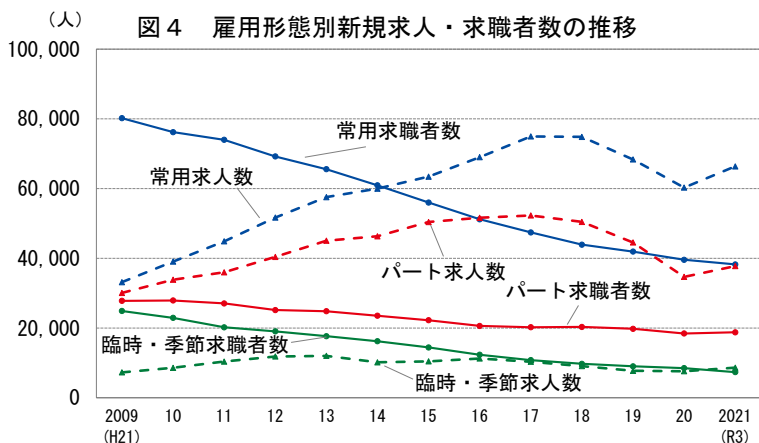
### ③ 有効求人倍率

本県の有効求人倍率は、2010年から2018年まで上昇を続け、2019年から2年連続で前年を下回ったが、2021年には再び上昇に転じている。(図3)

図3 有効求人倍率の推移  
(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

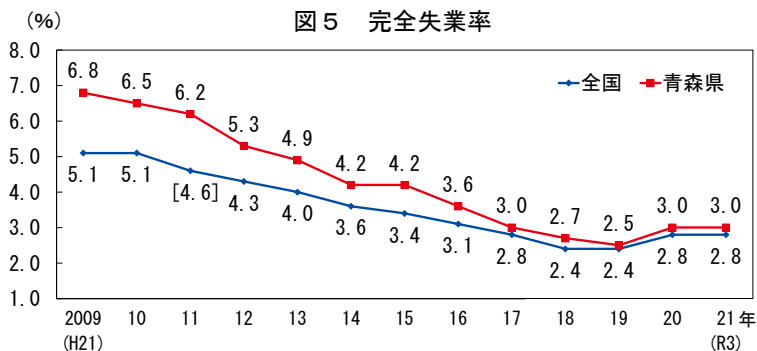


雇用の形態別では、新規求人数は、2010年度以降、常用とパートにおいて増加基調にあったものの、2018年度以降は減少に転じたが、2021年は再び増加している。臨時・季節求人数は概ね横ばいとなっている。一方、新規求職者数は減少基調で推移している。2015年度から、パートに加え、常用でも新規求人数が新規求職者数を上回っている。(図4)



資料：青森労働局「職業安定業務取扱月報」

本県の完全失業率は、2009年の6.8%をピークに減少傾向にあったが、2020年は、前年比0.5%増加し3.0%となった。全国平均との差は、2009年以前と比較して縮小傾向にある。(図5)



※[ ]内は岩手県・宮城県・福島県を補完推計値により推計

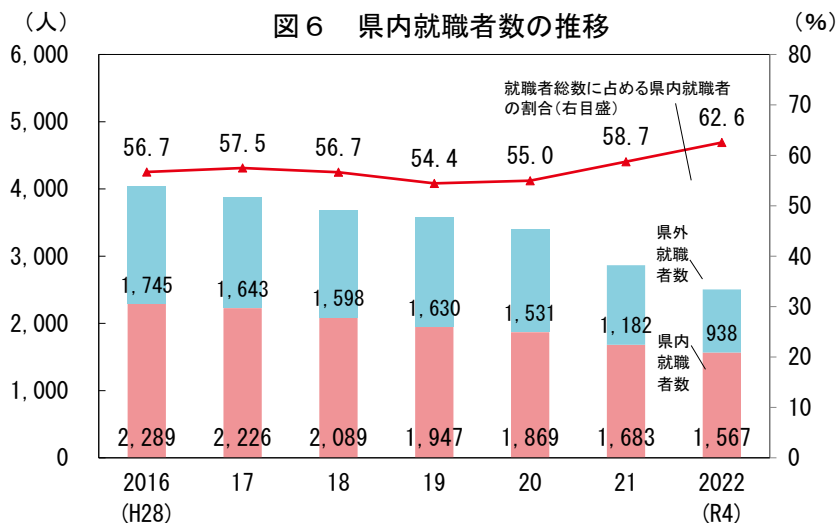
資料：総務省「労働力調査」

#### ④ 高等学校卒業者の就職者数

2022年3月の高等学校（全日制・定時制課程）卒業者10,337人のうち、県内就職者は1,567人で、就職者総数に占める県内就職者数の割合は62.6%となった。（図6）

なお、産業別就職者数は「製造業」の553人（就職者総数の22.1%）が最も多く、次いで「公務」の415人（同16.6%）の順となっている。

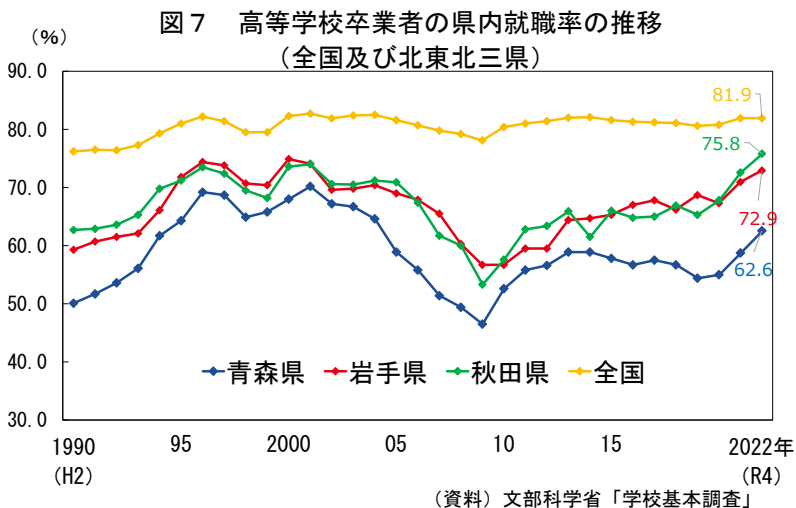
男女別に見ると、男女ともに「製造業」が最も多く、男子が375人（男子就職者の23.8%）、女子が178人（女子就職者の19.2%）となっている。



※各年3月

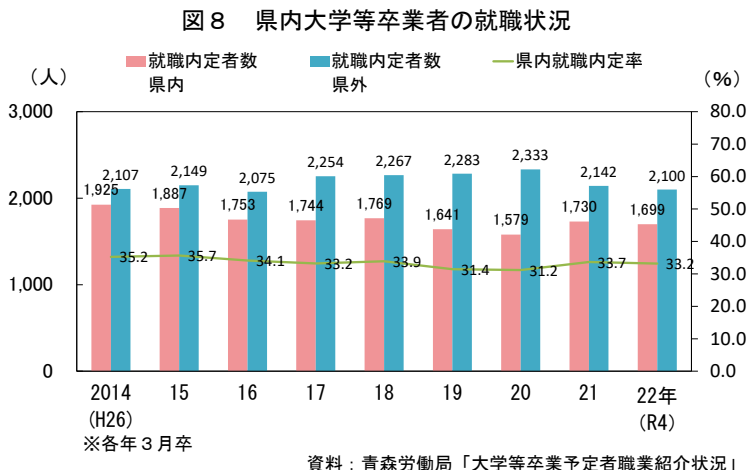
資料：県教育庁「高等学校等卒業者の進路状況」

また、北東北三県の県内就職率は、いずれも全国平均を下回っており、本県は岩手県・秋田県よりも低い水準で推移している。(図7)



### ⑤ 県内大学等卒業予定者の就職者数

2022年3月卒の就職内定者数は、県内が1,699人(前年比31人減)、県外が2,100人(同42人減)となり、大学等卒業予定者に占める県内就職内定者数の割合は前年比0.5%減少した。(図8)



## (8) 交通・インフラ・情報通信

	青森県	前年比
新車登録・届出台数（2020年）	4万1,356台	15.9%減
青森・三沢空港乗降客数（国内線）（2021年）	64.8万人	65.4%減
資料：（一社）日本自動車販売協会連合会青森県支部、県企画政策部、県県土整備部		
道路舗装率（簡易舗装含む）	青森県	全国
国・県道計（2020年3月31日）	94.0%	97.7%
市町村道計（ " ）	65.8%	79.8%

資料：国土交通省「道路統計年報」ほか

## ① 自動車

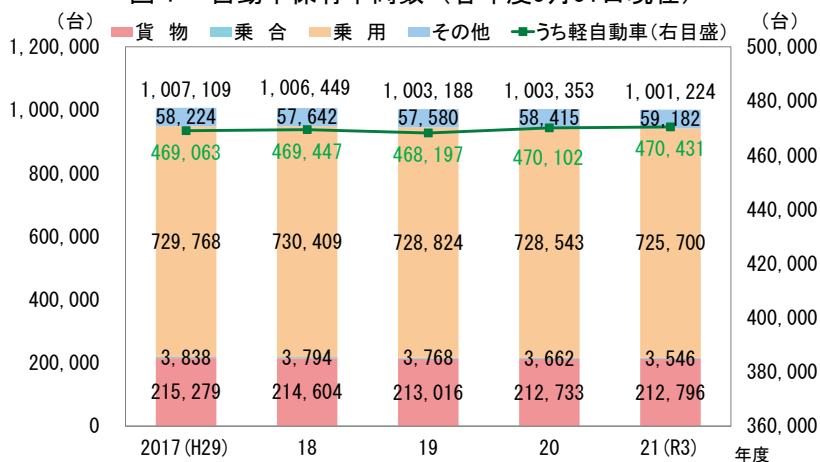
県内の自動車保有車両数は、100万1,224台であり、2020年度を除き、減少傾向となっている。車種別に見ると、乗用車が最も多く全体の約7割を占めている。

## (図1)

2022年度の新車登録・届出台数状況は、4万6,569台（前年比3.5%減）であり、減少傾向が続いている。

## (次頁図2)

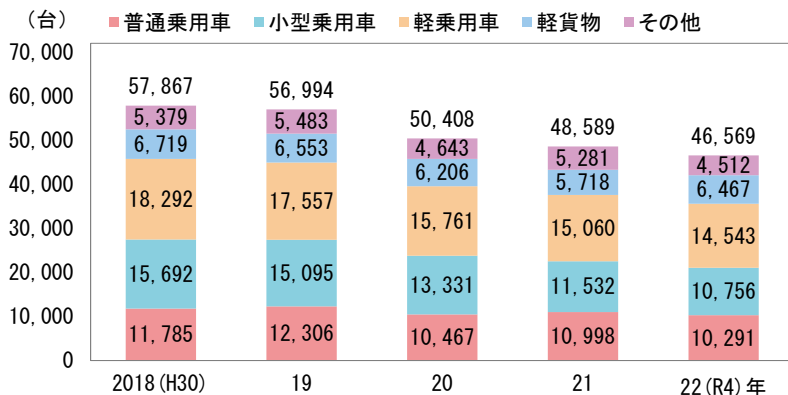
図1 自動車保有車両数（各年度3月31日現在）



※「その他」は、特種、大型特殊及び二輪車の合計

資料：東北運輸局「自動車の登録統計」

図2 青森県の新車登録・届出台数状況



※その他には普通貨物、バス、小型貨物、特種、大型特殊が含まれる。

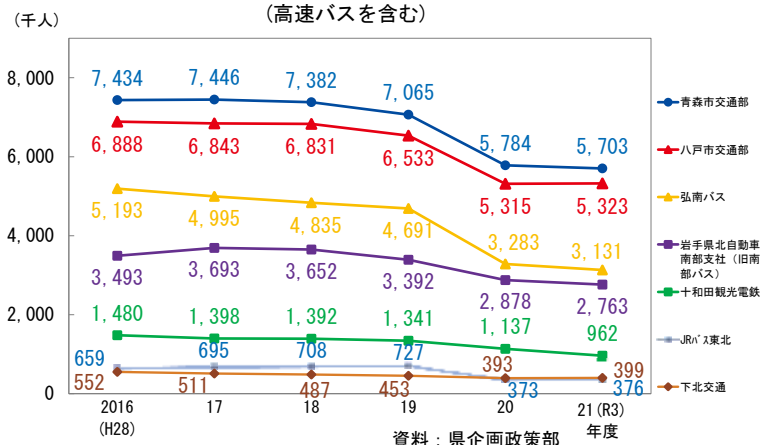
資料：(一社)日本自動車販売協会連合会 青森県支部「青森県の新車登録・届出台数状況」

## ② バス

県内の路線バスは、16事業者が運行している。路線バスの利用者は自家用車の普及に伴い、各社とも年々減少している。(図3)

また、高速バスは、県内の主要都市と東京、盛岡、仙台などを結ぶ路線が運行されている。(次頁表4)

図3 一般乗合旅客自動車運送事業輸送人員  
(高速バスを含む)



資料：県企画政策部

表 4 高速バスの運行状況 (2023年3月1日現在)

区 間		往復/日(※1)
青森・盛岡～東京	ドリーム青森盛岡・東京号	夜1
青森・弘前～新宿・東京	ノクターン・ネオ号	夜1
青森・弘前～上野	パンダ号 スカイ線	昼1
	パンダ号 上野線	夜2
青森・弘前～新宿	MEX青森	夜1
青森～仙台	ブルーシティ号	昼3
青森～盛岡	あすなろ号	昼4
青森・平内・野辺地・七戸・十和田・八戸～上野	パンダ号 八戸線	季節運行 (※2)
弘前～仙台	キャッスル号	昼6
弘前～盛岡	ヨーデル号	昼6
五所川原・弘前～新宿・横浜	ニューノクターン号	夜1
五所川原・弘前～東京・新宿	パンダ号 東京新宿線	夜1
八戸～仙台	うみねこ号	夜3 (※3)
八戸～盛岡	八盛号	昼2 (※4)
七戸・十和田・六戸・おいらせ・八戸～池袋・東京	シリウス号	夜1 (※5)
むつ・横浜・野辺地・東北・三沢・七戸・十和田・六戸・おいらせ・八戸～大宮・新宿	しもきた号	運休
八戸～新宿・川崎	MEX八戸	夜1
三沢・八戸～新宿・舞浜	MEX三沢	夜1

※1 新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による運行本数の変更や運休がある。  
また、「往復/日」は、時刻表に基づく運行本数であり、実際に運行されている台数ではない。

- ※2 年末年始等の不定期運行。  
 ※3 1便運休中、2便週末のみ運行。  
 ※4 1便は運休中。  
 ※5 週末と繁忙期のみ運行。

資料：県企画政策部

### ③ 鉄道

東北新幹線八戸～新青森間の2021年度の平均通過人員(※)は、前年度比119.8%の5,410人/日となった。(表5)

表 5 東北新幹線 八戸～新青森間の利用状況

線名	区間	平均通過人員 (人/日)							前年度比 (%)
		2015 (H27)	16	17	18	19	20	21 (R3) 年度	
東北新幹線	八戸～新青森	9,975	12,300	11,579	11,556	11,244	4,516	5,410	119.8

※平均通過人員 = (各路線の年度内の旅客輸送人キロ) ÷ (当該路線の年度内営業キロ) ÷ (年度内営業日数)

資料：東日本旅客鉄道株式会社



北海道新幹線（新青森～新函館北斗間）の1日平均利用実績(※)について、開業1年目は対前年度比(前年度の在来線(中小国～木古内間)の利用実績との比較)、160%、約6,200人/日となったが、2年目以降減少傾向となっていた。

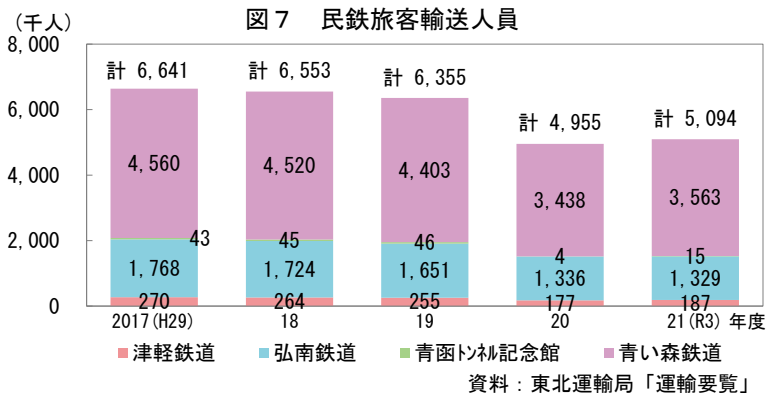
5年目はコロナ禍の影響もあり、更なる大幅減となったが、6年目は約1,600人と、対前年度比113%となった。(表6)

表6 北海道新幹線 新青森～新函館北斗間の利用状況

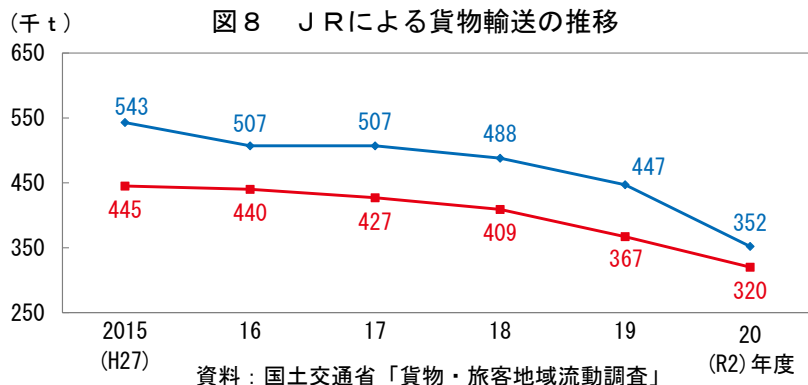
期間	累計乗車人数	1日平均利用実績	対前年度比
1年目(2016年4月1日～2017年3月31日)	約227.2万人	約6,200人	159%
2年目(2017年4月1日～2018年3月31日)	約181.4万人	約5,000人	80%
3年目(2018年4月1日～2019年3月31日)	約167.2万人	約4,600人	92%
4年目(2019年4月1日～2020年3月31日)	約163.0万人	約4,500人	98%
5年目(2020年4月1日～2021年3月31日)	約53.0万人	約1,500人	33%
6年目(2021年4月1日～2022年3月31日)	約59.7万人	約1,600人	113%

※利用実績＝期間内の全ての列車の乗車人数÷営業日数 資料：北海道旅客鉄道株式会社

2021年度の民鉄旅客輸送人員は、509万4,000人で、前年に比べて13万9,000人、2.8%の増加となった。(図7)



2020年度の貨物輸送量は、青森発では9万5,000t(前年度比21.3%)の減少、青森着では4万7,000t(前年比12.8%)の減少となった。(図8)



#### ④ 海運・船舶

本県の港湾は、重要港湾が3港(青森、八戸、むつ小川原)、地方港湾が11港(大湊、小湊、野辺地、川内、仏ヶ浦、大間、尻屋岬、深浦、休屋、子ノ口、津軽)あり、このうち尻屋岬、深浦は避難港となっている。

2021年の貨物取扱量は5,623万3,000tで、うち内貿は4,862万2千t、外貿は777万1千tとなっている。品目別ではフェリー(積載量)が最も多く、次いで鉱産品、化学工業品などとなっている。(次頁図9、図10、次々頁表11)

港湾別では、八戸港が県内港湾で最も多い2,908万9,000tとなっている。(次々頁表12)

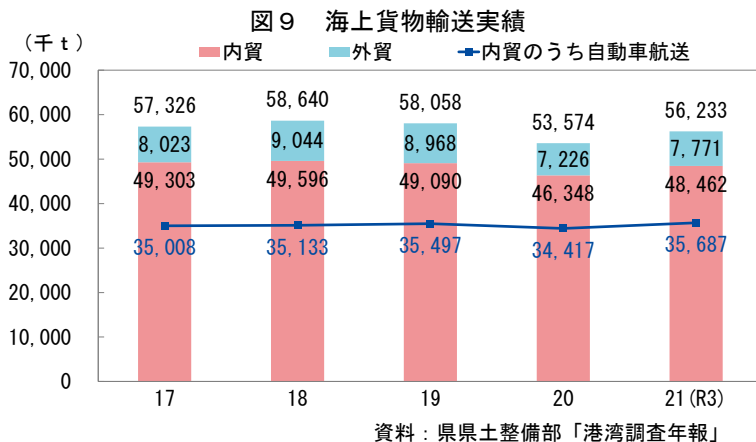


図10 県内港湾の総取扱貨物量（2021年）

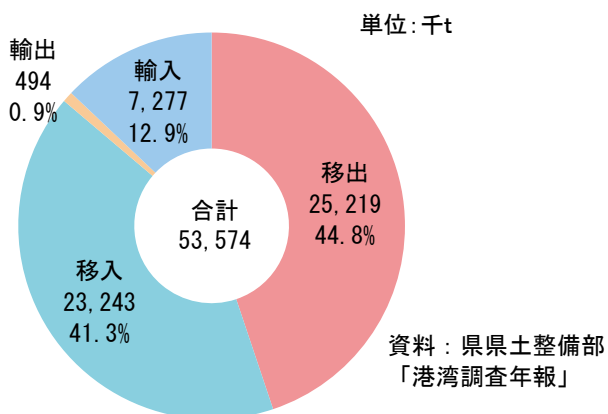


表11 品目別取扱貨物量

(単位：千t)

区分	17	18	19	20	21(R3)
農水産品	1,463	1,562	1,435	1,430	1,278
林産品	1,596	1,727	1,786	1,297	1,492
鉱産品	9,571	10,617	9,862	7,502	8,482
金属機械工業品	1,368	1,209	1,307	1,129	1,190
化学工業品	6,816	6,702	6,505	6,067	6,126
軽工業品	441	472	390	365	400
雑工業品	91	81	130	119	120
特殊品	943	1,113	1,116	1,237	1,446
フェリー(積載量)	35,008	35,133	35,497	34,417	35,687
合計	57,326	58,640	58,058	53,574	56,233

※ 分類不能を除いているため、各項目の計と合計欄は一致しない。

資料：県県土整備部「港湾調査年報」

表12 主な港湾別取扱貨物量の推移

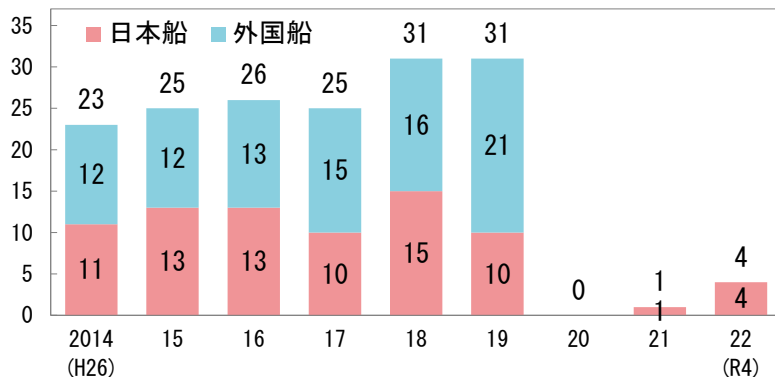
(単位：千t)

区分	16	17	18	19	20	21(R3)
青森	25,209	24,777	24,257	24,496	23,746	24,095
八戸	27,970	28,169	30,097	29,713	26,699	29,089
尻屋岬	2,539	2,951	2,875	2,594	2,132	2,248
むつ小川原	872	706	562	513	449	801
大間	392	381	366	377	238	0
その他	360	342	483	365	310	0
合計	57,342	57,326	58,640	58,058	53,574	56,233

資料：県県土整備部「港湾調査年報」

県では県内港湾への外国客船誘致に取り組んでいるが、世界的な新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、2020年以降、外国客船の寄港数はゼロとなっている。(次頁図13、次頁表14)

図13 県内港湾における客船寄港数



資料：県土整備部

表14 青森港・八戸港の就航船舶数及び航送等実績

<青森港>

	2020年度		2021年度		前年度比
就航船舶数	9隻		8隻		88.9%
年間接岸総トン数	30,617,665トン		30,926,902トン		101.0%
航送実績 (青森～函館)	トラック	229,345台	トラック	236,576台	106.0%
	乗用車	68,628台	乗用車	81,150台	
	バス	268台	バス	400台	
	計	298,331台	計	318,126台	
旅客	366,671人	旅客	412,489人	112.5%	

<八戸港>

	2020年度		2021年度		前年度比
就航船舶数	5隻		6隻		120.0%
年間接岸総トン数	14,649,390トン		14,744,943トン		100.7%
航送実績 (八戸～苫小牧)	トラック	171,365台	トラック	180,215台	107.3%
	乗用車	34,154台	乗用車	40,123台	
	バス	251台	バス	403台	
	計	205,770台	計	220,741台	
旅客	221,826人	旅客	249,464人	112.5%	

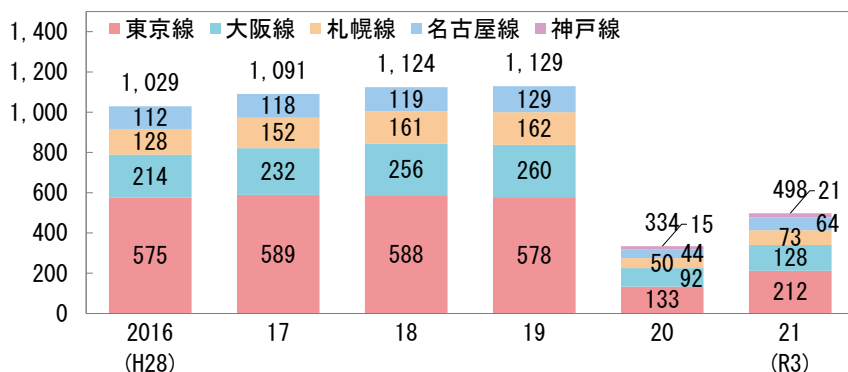
資料：公益財団法人青森県フェリー埠頭公社「令和3年度事業報告」

## ⑤ 空港

	青森空港	三沢空港
設置・管理者	青森県	国・米軍
運用時間	7:30～22:00(14時間30分)	8:30～20:00(11時間30分)
滑走路	3,000m × 60m	3,050m × 45m
運航路線 (2023.2.1時点)	青森 - 東京線(羽田) 6往復(12便)	三沢 - 東京線(羽田) 4往復(8便)
	青森 - 札幌線(新千歳) 5往復(10便)	三沢 - 札幌線(丘珠) 週3便(6便)
	青森 - 大阪線(伊丹) 6往復(12便)	三沢 - 大阪線(伊丹) 1往復(2便)
	青森 - 名古屋線(小牧) 3往復(6便)	
	青森 - 神戸線 1往復(2便)	

青森空港国内線乗降客数は、2019年まで100万人を上回って推移していたが、2020年には、新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に落ち込んだ。2021年は、路線全体で49.1%増の49万8千人となった。(図15)

図15 青森空港国内線乗降客数



資料：県土整備部「青森空港概要2022」

国際線は、2020年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で運航便数がゼロとなったため、定期便及びチャーター便ともに乗降客数がゼロとなった。

(次頁図 16、次頁表 17)

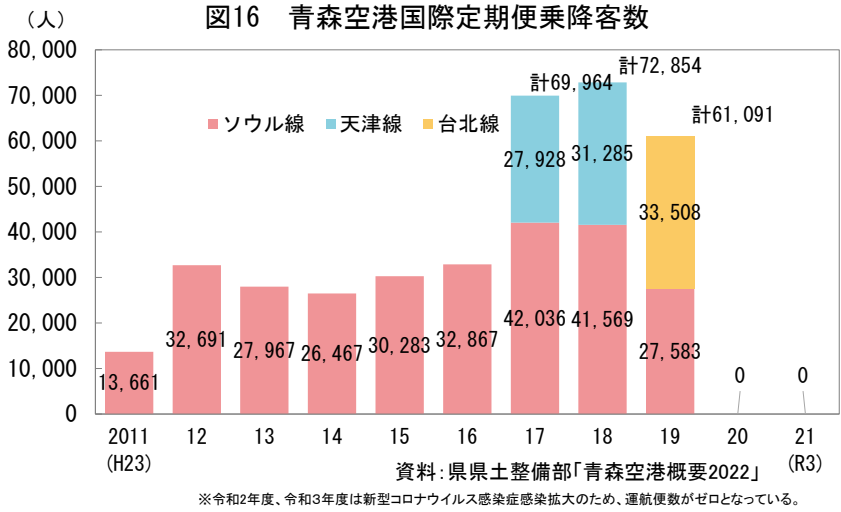


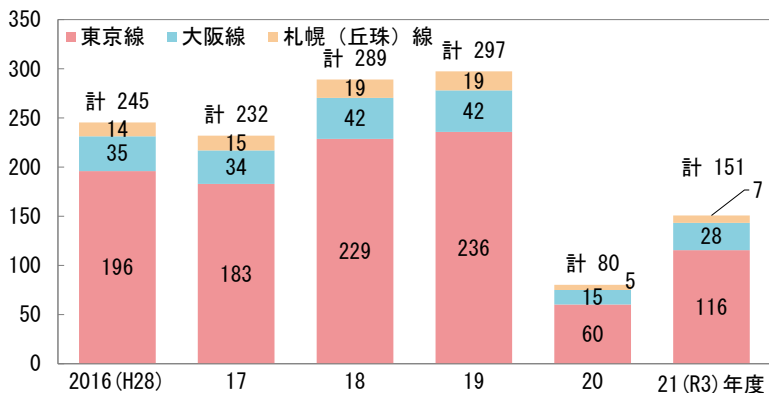
表17 青森空港国際チャーター利用者数

区分	(単位：人)						
	2015 (H27)	16	17	18	19	20	21 (R3) 年度
台湾	7,088	10,185	20,875	11,498	1,300		
中国		11,474					
韓国	277						
香港		483	1,441	459			
その他	338	1,817	1,242	453	655		
合計	7,703	23,959	23,558	12,410	1,955	0	0

資料：県土整備部「青森空港概要2022」

三沢空港の2021年度の乗降客数は、東京線が前年度比91.5%増の11万5,520人、大阪線と札幌（丘珠）線も前年度比で増加し、合計利用者数は15万959人となった。(次頁図18)

図18 三沢空港乗降客数の推移



※滑走路工事期間：2016年7月20日～8月11日

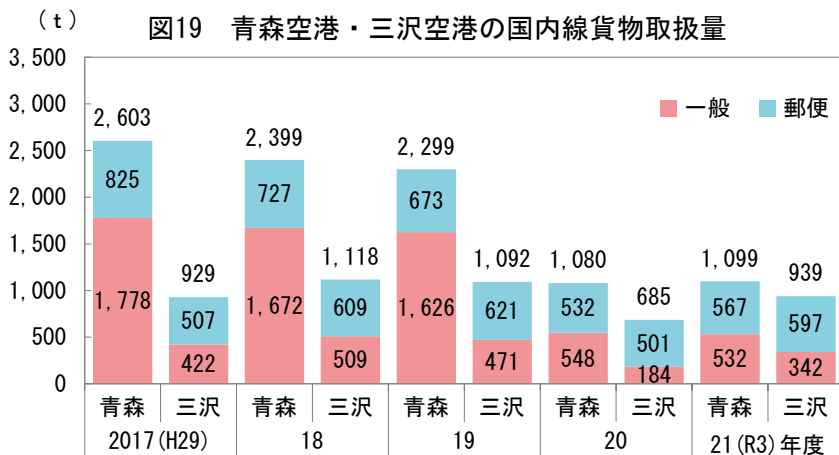
：2017年5月11日～7月4日

全便運休(新型コロナの影響)：2020年5月12日～6月30日

資料：県企画政策部

青森空港及び三沢空港の国内線貨物取扱量は近年減少傾向にあり、2021年度は、前年度に比べて青森空港では1.8%増の1,099t、三沢空港では37.1%増の939tとなった。(図19)

図19 青森空港・三沢空港の国内線貨物取扱量

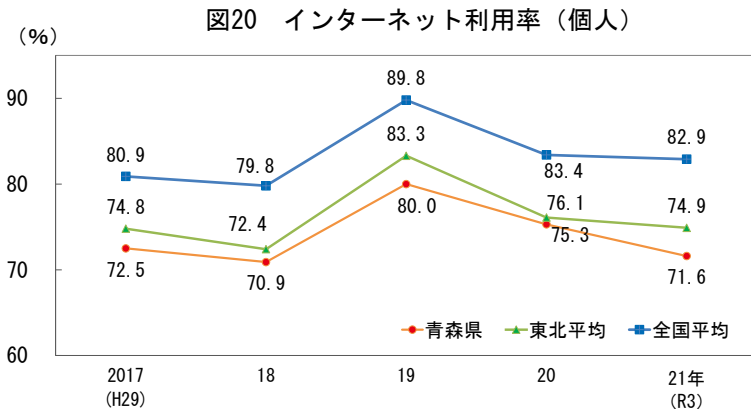


資料：県企画政策部、県土整備部「青森空港概要2021」



## ⑥ 情報通信基盤の整備・普及状況

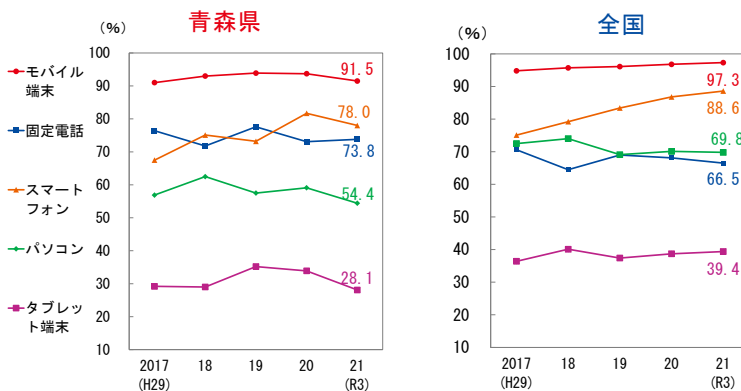
2021年の県内のインターネット利用者（個人）の割合は71.6%であり、全国平均82.9%を下回っている。（図20）



資料：総務省「通信利用動向調査」

主な情報通信機器の保有割合（世帯）について、2021年8月末現在におけるモバイル端末全体の普及率は、県内が91.5%と、全国値の97.3%を下回っている。また、スマートフォン、パソコン、タブレット端末のいずれも全国値を下回っている。（図21）

図21 主な情報通信機器の保有割合（世帯）



※ モバイル端末は携帯電話、PHS、スマートフォンのうち1種類以上保有している場合

資料：総務省「通信利用動向調査」

## ⑦ 県内の情報化の現状

### ア オープンデータの取組状況

県内では、40 市町村全てがオープンデータに取り組み済みである。(東北・全国ともに1位、全国平均は2021年10月12日時点で約67%)

### イ 自治体クラウドの取組状況

2015年4月に、弘前地区電算共同化推進協議会(弘前市、大鰐町、西目屋村及び田舎館村)が県内で初めて自治体クラウド(※)の運用を開始し、2019年4月から平川市、2021年3月から藤崎町、同年6月から板柳町が加わっている。また、2017年2月には、黒石市と六戸町による運用が開始している。

2021年4月時点では、上記市町村の計9自治体で運用中であり、40市町村に占める自治体クラウド導入率は22.5%(全国平均の41.0%)となっている。

#### ※ 自治体クラウド

クラウドコンピューティングを活用して、自治体の税や年金などの基幹系業務システムの集約・共同利用を進め、情報システム運用経費の削減や住民サービスの向上を図ること。

### ウ 行政手続オンライン化の取組状況

県内では、2021年12月1日時点で、10市町村で行政手続オンライン化のシステムを導入済みで、導入率は25.0%となっている。

## ⑧ 道路現況

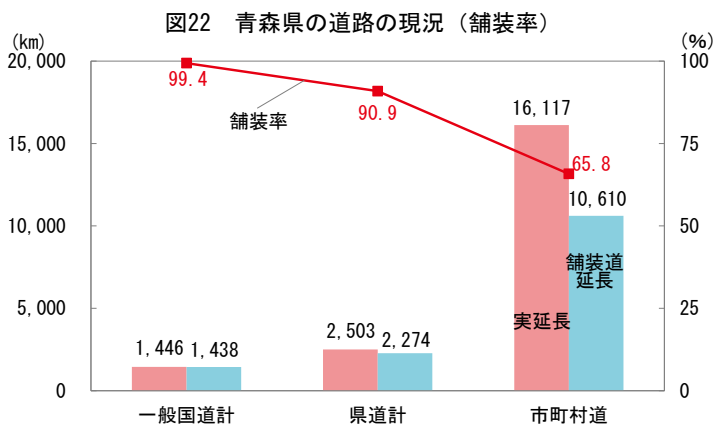
本県の道路は、東北縦貫自動車道(弘前線は1986年7月30日全線開通、八戸線は八戸北IC～青森東IC間を除き、2003年9月28日までに開通)を骨格に、直轄国道(国が管理する国道)の4号、7号、45号、101号(一部)、104号(一部)の各線と、県管理の国道101号(一部)、102号、103号、104号(一部)、279号、280号、282号、338号、339号、340号、394号、454号の計15路線が道路網の基幹をなし、主要地方道47路線と一般県道185路線とで幹線道路を構成している。

2020年3月31日現在における県内道路の実延長は2万165.5kmで、うち改良済延長が1万3,064.1km(改良率64.8%)、舗装道延長が1万4,422.5km(舗装率71.5%)となっている。

道路種別では、高速自動車国道延長は100.0kmで、その全てが改良舗装済となっており、一般国道延長は1,446.0kmで、うち改良済が1,348.7km(改良率93.3%)、舗装道が1,438.0km(舗装率99.4%)となっている。

また、地方道(県道)の実延長は2,502.5kmで、うち改良済が1,948.9km(改良率77.9%)、舗装道が2,274.1km(舗装率90.9%)となっており、一般国道と県道を合わせた改良率は83.5%、舗装率は94.0%となっている。

一方、日常生活に密着している市町村道の実延長は1万6,117.0kmで、うち改良済が9,666.5km(改良率60.0%)、舗装道が1万610.4km(舗装率65.8%)となっている。(図22)



資料：国土交通省「道路統計年報」ほか

## 2 安全・安心、健康分野

### (1) 保健・医療

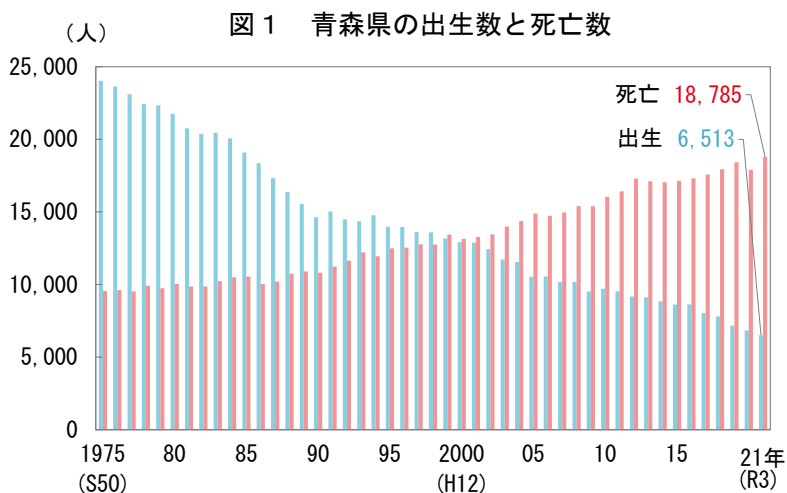
	青森県		全国	
	人数	人口 10 万対	人数	人口 10 万対
医 師	2,773 人	224.0	33 万 9,623 人	269.2
歯科医師	735 人	59.4	10 万 7,443 人	85.2
薬 剤 師	2,345 人	189.4	32 万 1,982 人	255.2
看 護 師	1 万 3,211 人	1,067.1	128 万 911 人	1,015.4
准看護師	4,637 人	374.6	28 万 4,589 人	225.6
保 健 師	718 人	58.0	5 万 5,595 人	44.1

資料：厚生労働省「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計」  
「令和2年度衛生行政報告例」

#### ① 出生数と死亡数

本県の出生数は減少傾向にあり、1985年に2万人を、2009年に1万人を割り込み、2021年は6,513人となった。

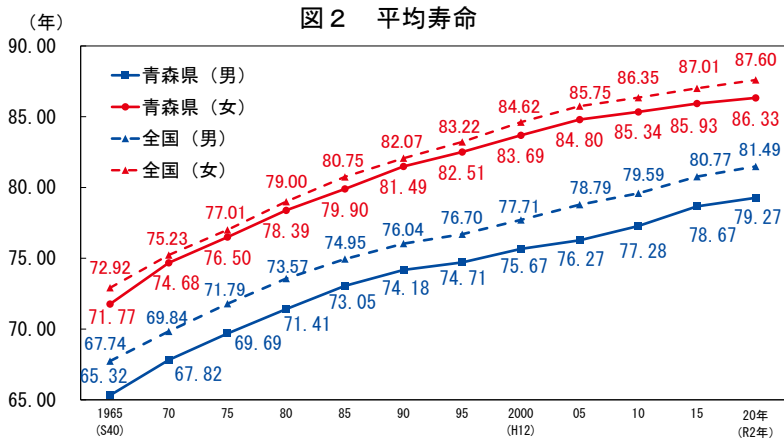
一方、死亡数は高齢化の進行に伴い、1980年に1万人を、2008年に1万5千人を超え、2021年には18,785人となった。(図1)



資料：厚生労働省「人口動態統計」

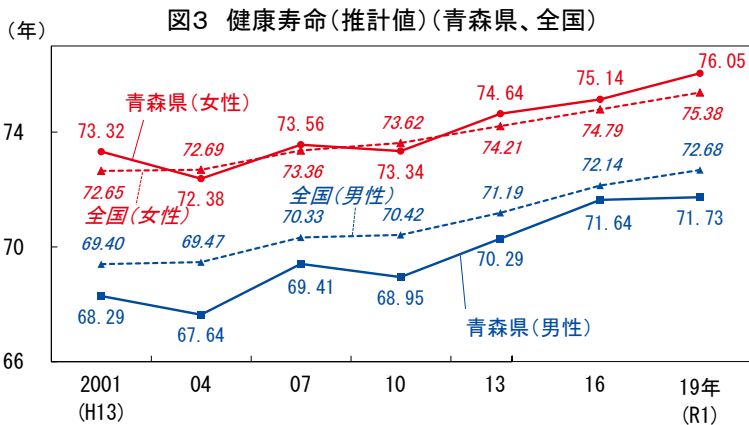
## ② 平均寿命・健康寿命の推移

2020年の本県の平均寿命は、男性が0.61年延伸し79.27年、女性が0.39年延伸し86.33年となり、いずれもこれまでで最長の平均寿命となった。なお、都道府県別の順位では、男性・女性ともに全国最下位であった。(図2)



資料：厚生労働省「都道府県別生命表」

健康寿命（健康上の問題がなく、日常生活を制限されることなく送ることができる期間）は延伸傾向にある。2019年は男性が全国を下回っているものの、女性は2013年から全国を上回っている。(図3)



資料：厚生労働省「厚生労働科学研究費補助金研究報告書」  
2001～2007年「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」  
2010～2019年「健康寿命の全国推移の算定・評価に関する研究」

### ③ 主要死因別死亡者数・率

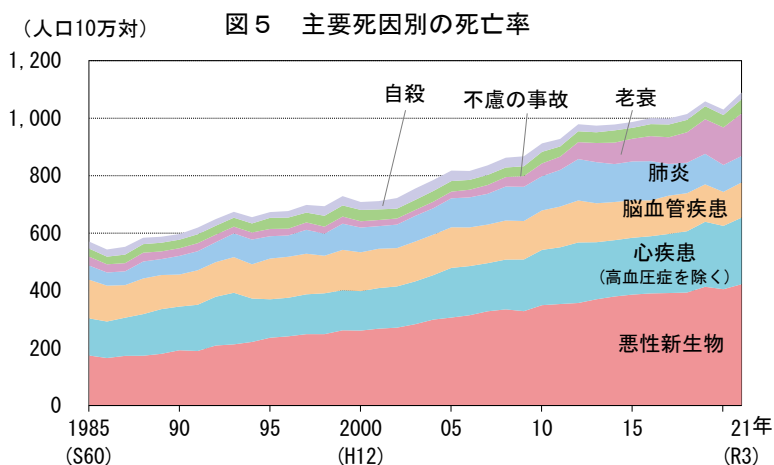
2021年の主要死因別死亡者数は、悪性新生物（がん）、心疾患（高血圧症を除く）、老衰の上位3つの死因で全体の半数以上を占めている。（表4）

表4 主要死因別死亡者数・率（人口10万対）

	青森県（2021年）		全国（2021年）	
	死亡者数	死亡率	死亡者数	死亡率
死亡者総数	18,785	1,544.8	1,439,856	1,172.7
悪性新生物（がん）	5,135	422.3	381,505	310.7
心疾患（高血圧性を除く）	2,810	231.1	214,710	174.9
老衰	1,801	148.1	152,027	123.8
脳血管疾患	1,496	123.0	104,595	85.2
肺炎	1,118	91.9	73,194	59.6
不慮の事故	597	49.1	38,355	31.2
自殺	284	23.4	20,291	16.5

資料：厚生労働省「人口動態統計」

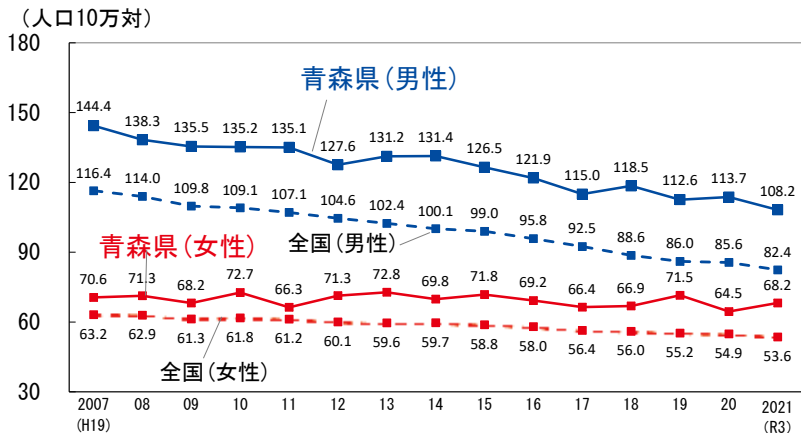
死亡率（人口10万対）は高齢化に伴って全体的に増加傾向にある。2021年は、悪性新生物（がん）（前年比+17.5）、心疾患（同+10.8）、老衰（同+17.8）など上位3つの死因で増加した。（図5）



資料：厚生労働省「人口動態統計」

本県のがんの年齢調整死亡率は減少傾向にあり、2021年は男性が108.2、女性が68.2となっている。(図6)

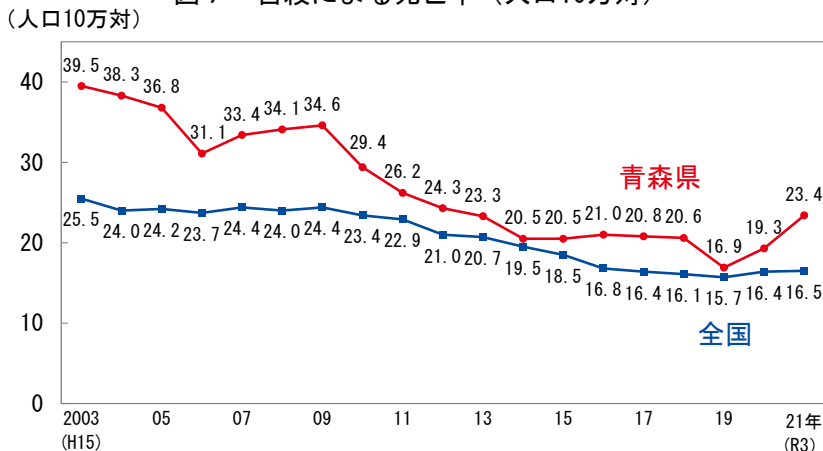
図6 がんの年齢調整死亡率(75歳未満、人口10万対)



資料：国立がん研究センター「がん登録・統計」

本県の自殺による死亡率は、2003年の39.5をピークに減少傾向にあり、2019年は1980年以降で過去最少となる16.9であったが、2020年から増加に転じ、2021年は23.4となっている。(図7)

図7 自殺による死亡率(人口10万対)

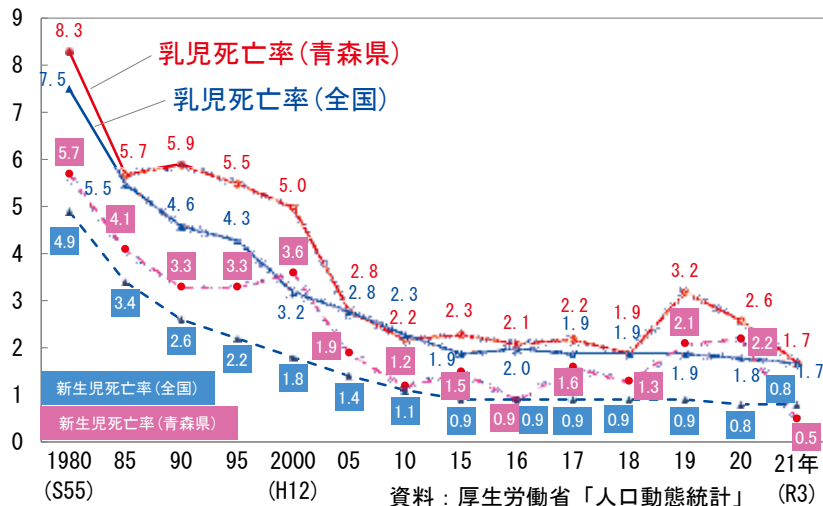


資料：厚生労働省「人口動態統計」

## ④ 乳児・新生児死亡率

2021年の乳児死亡率（生後1年未満の死亡率、出生千対）は1.7と改善し、全国平均に並んだ。新生児死亡率（生後4週間未満の死亡率、出生千対）は0.5と、全国平均を超えて大きく改善した。（図8）

（出生千対） 図8 乳児・新生児死亡率（出生千対）



## ⑤ 喫煙率

本県の成人の喫煙率は減少傾向にあるものの、男性・女性ともに全国平均を上回る喫煙率となっている。（表9）

表9 成人の喫煙率の状況(単位:%)

順位	2013(H25)年		2016(H28)年		2019(R元)年	
	男	女	男	女	男	女
1	青森 40.3	北海道 17.8	佐賀 37.5	北海道 16.1	佐賀 35.8	北海道 14.8
2	佐賀 39.6	青森 14.3	青森 36.5	青森 12.2	岩手 34.8	青森 11.2
3	北海道 39.2	埼玉 13.1	岩手 36.2	群馬 10.9	青森 34.4	福島 10.5
4	福島 38.9	大阪 12.9	北海道 34.6	神奈川 10.9	秋田 33.9	大阪 10.4
5	秋田 38.2	福島 12.1	福島 34.4	千葉 10.8	福島 33.8	千葉 10.4
:	全国平均 33.7	全国平均 10.7	全国平均 31.1	全国平均 9.5	全国平均 28.8	全国平均 8.8
43	愛媛 30.8	福井 7.3	香川 28.3	岐阜 6.0	愛媛 26.5	富山 6.4
44	神奈川 30.1	奈良 7.2	徳島 28.2	福井 6.0	兵庫 25.6	鳥取 6.4
45	徳島 29.9	鳥取 6.9	東京 28.2	鳥取 5.5	東京 25.3	香川 6.0
46	京都 29.5	島根 6.3	奈良 27.6	鹿児島 5.5	奈良 24.5	滋賀 6.0
47	奈良 28.2	徳島 6.1	京都 27.0	島根 5.0	京都 24.3	島根 4.2

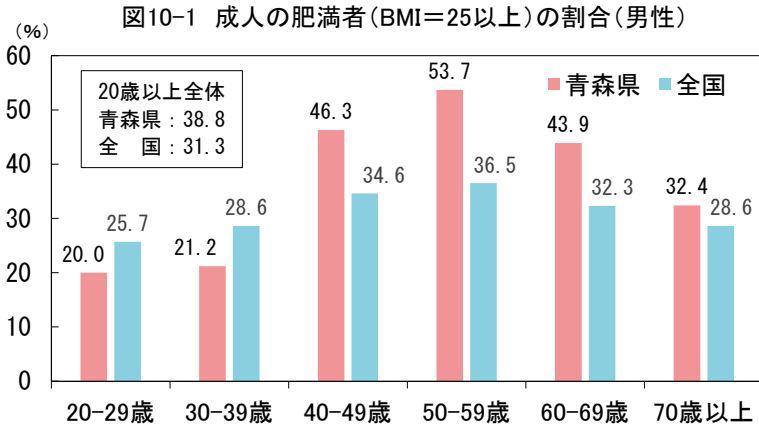
資料：国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」



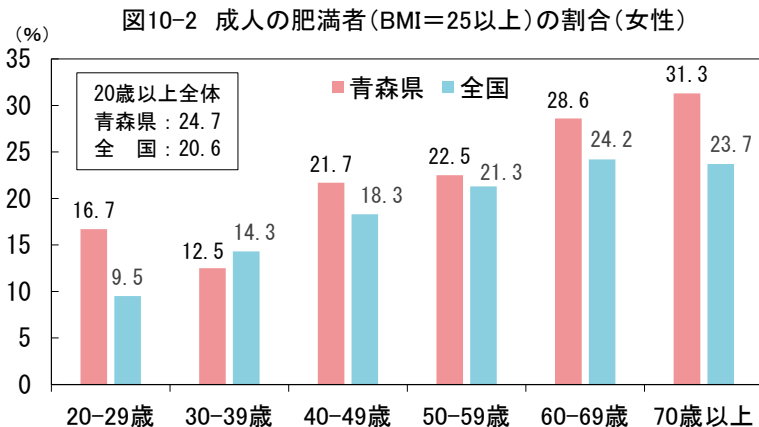
## ⑥ 体型

本県の成人の肥満者（BMI＝25以上）の割合は、男性が38.8%、女性が24.7%と、ともに全国値を上回っている。

年齢階級別にみると、男性の40歳代～60歳代、女性の20歳代で特に全国との差が大きくなっている。（図10-1、10-2）

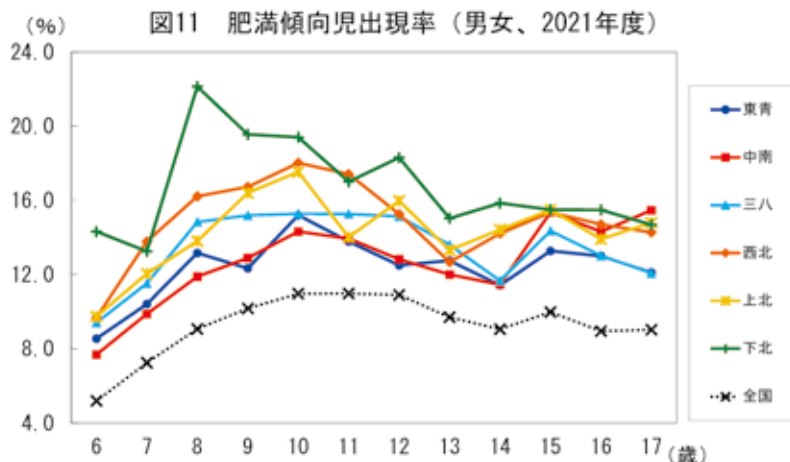


資料：厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査」  
県健康福祉部「平成28年青森県県民健康・栄養調査」



資料：厚生労働省「平成28年国民健康・栄養調査」  
県健康福祉部「平成28年青森県県民健康・栄養調査」

地区別の肥満傾向児の出現率は、全地区の全ての年齢において全国を上回っており、多くの年齢層で下北地区が特に高くなっている。(図 11)

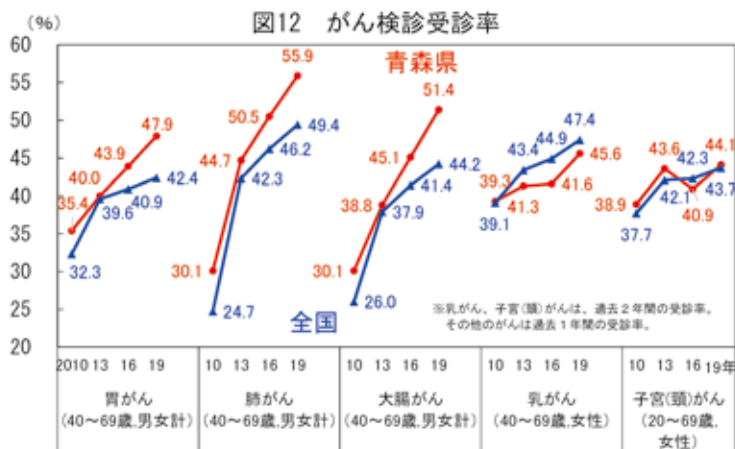


資料：文部科学省「学校保健統計調査」※標本調査  
県教育庁「児童生徒の健康・体力」※全数調査

※肥満度【(実測体重－身長別標準体重) / 身長別標準体重×100%】が20%以上の者を肥満傾向児としている。

## ⑦ がん検診受診率

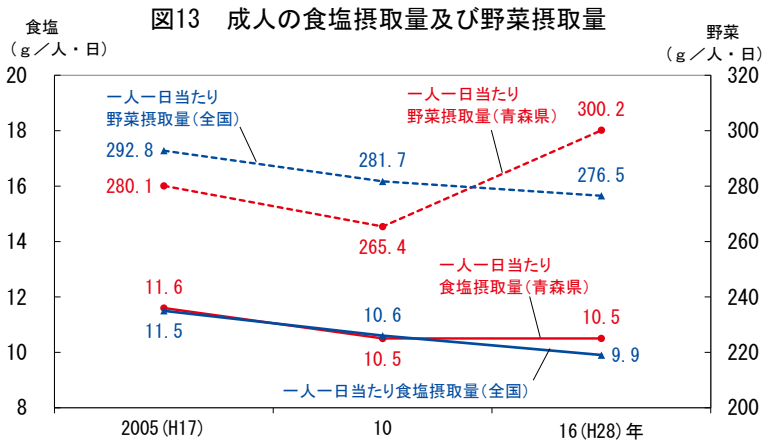
主ながん検診の受診率は全国を上回るか、全国と同水準となっている。(図 12)



資料：厚生労働省「国民生活基礎調査」

### ⑧ 塩分・野菜摂取量

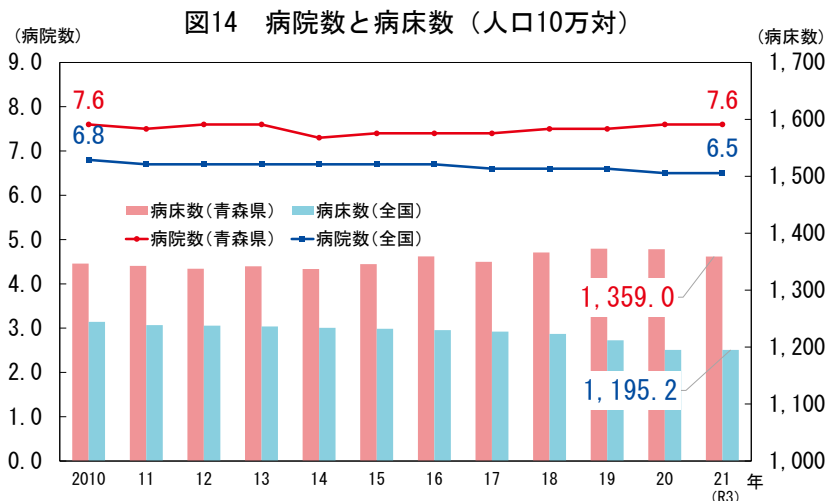
成人一人一日当たりの食塩摂取量は減少傾向にあるが、2016年は全国を上回っている。2016年の野菜摂取量は全国を大きく上回った。(図13)



資料：厚生労働省「国民健康・栄養調査」  
 県健康福祉部「青森県県民健康・栄養調査」

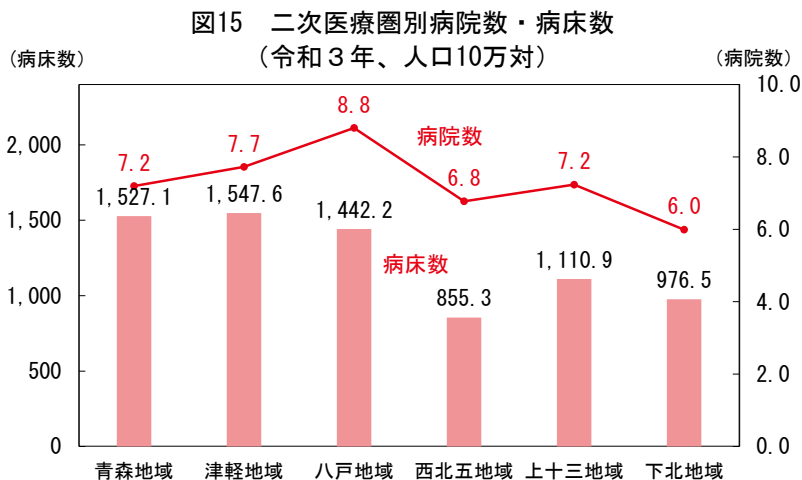
### ⑨ 医療施設数等

2021年10月1日現在の本県の病院数は、人口10万対では7.6施設（全国6.5施設）となっている。長期的にみると全国が微減傾向にあるのに対し、本県は横ばいとなっている。(図14)



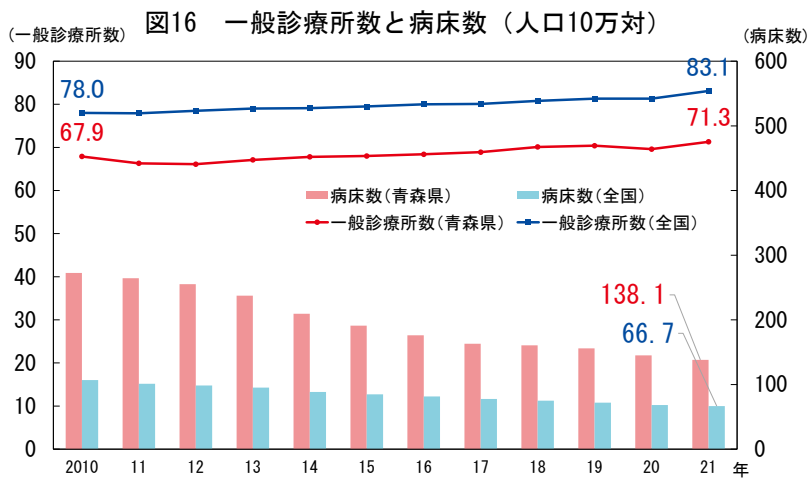
資料：厚生労働省「医療施設調査」

病院について二次医療圏別にみると、人口 10 万人対で病院数は八戸地域が最も多く、病床数は青森地域、津軽地域、八戸地域が多くなっている。(図 15)



資料：厚生労働省「医療施設調査」

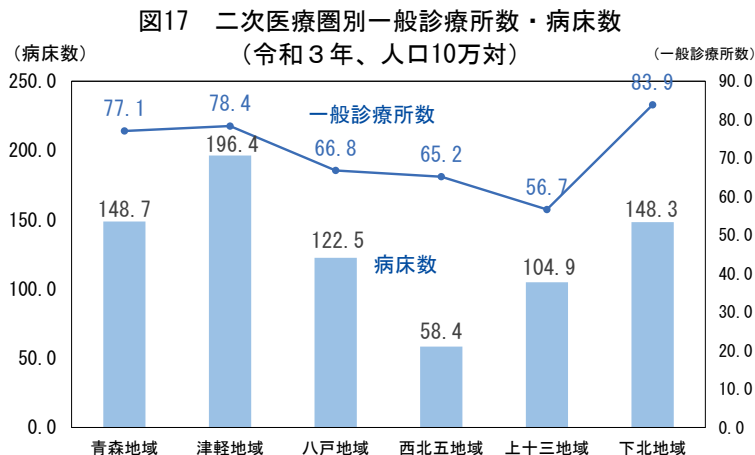
また、一般診療所数は、人口 10 万対で 71.3 施設 (全国 83.1 施設) となっており、微増傾向にあるが、病床数は本県、全国ともに減少傾向にある。(図 16)



資料：厚生労働省「医療施設調査」

※病院とは病床数が 20 床以上の入院施設を有するものをいい、一般診療所とは入院施設を有しないか、又は、病床数が 19 床以下の入院施設を有するものをいう。

一般診療所について二次医療圏別にみると、人口 10 万人対で一般診療所数は下北地域が最も多く、病床数は津軽地域が最も多くなっている。(図 17)

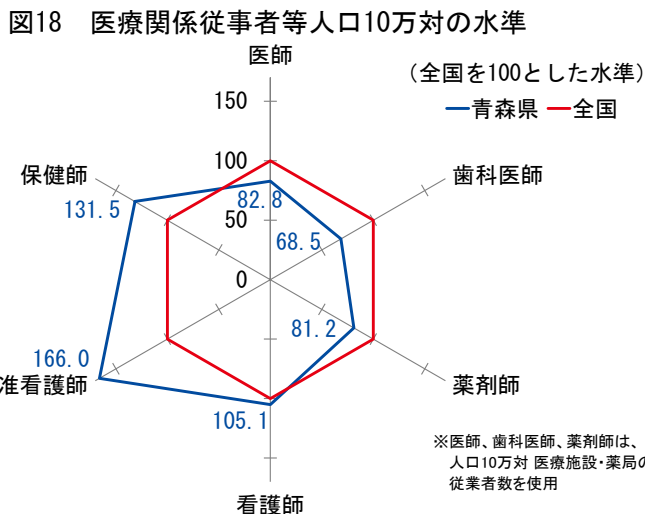


資料：厚生労働省「医療施設調査」

### ⑩ 医療関係従事者等の全国比較

2020年における人口10万対の医療関係従事者等の水準(全国=100)は、医師82.8、歯科医師68.5、薬剤師81.2と、いずれも全国を下回っている。

一方、看護師は105.1、准看護師は166.0、保健師は131.5となっており、いずれも全国を上回っている。(図18)

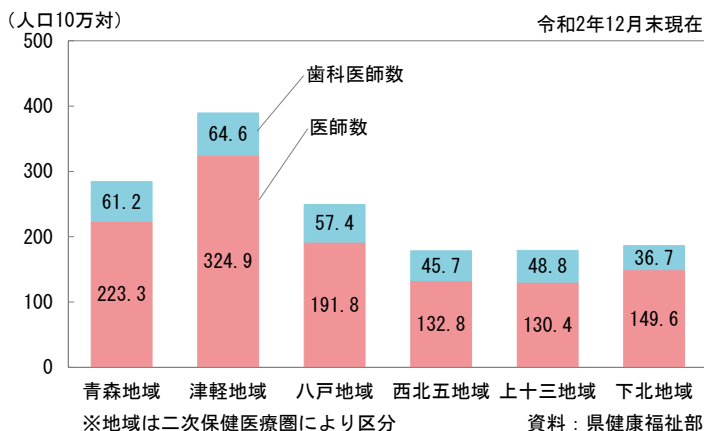


資料：厚生労働省「令和2年医師・歯科医師・薬剤師統計」「令和2年衛生行政報告例」

## ⑪ 医療施設従事医師・歯科医師の地域分布

医師のうち、医療施設に従事している医師の地域別の分布（人口10万対）については、津軽地域が324.9で最も多く、次いで青森地域の223.3、八戸地域の191.8となっており、西北五地域（132.8）、上十三地域（130.4）、下北地域（149.6）との地域差が見られる。歯科医師については、津軽地域の64.6が最も多く、次いで青森地域の61.2、八戸地域の57.4となっている。（図19）

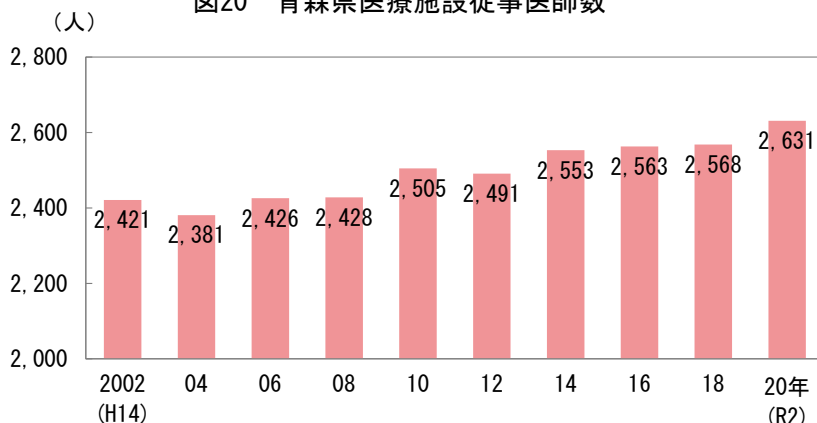
図19 医療施設従事医師・歯科医師数（人口10万対）



## ⑫ 医療施設従事医師数

医師のうち、医療施設に従事している医師数は、2020年末現在で2,631人となっている。（図20）

図20 青森県医療施設従事医師数

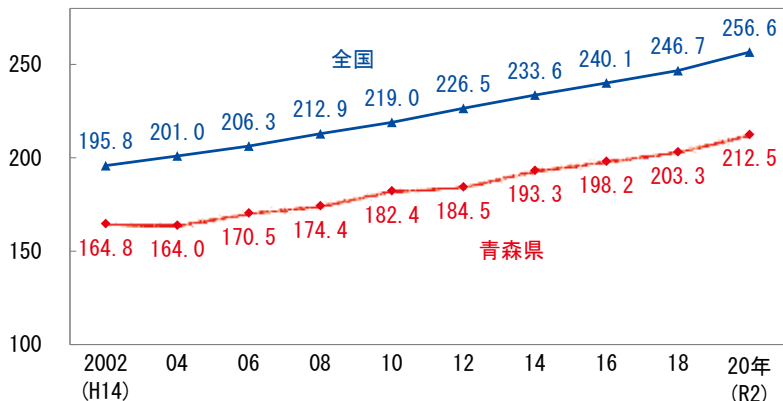


資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

人口10万対でみると、本県の医療施設従事医師数は、年々増加傾向にあるものの、全国を下回る状況が続いている。(図21)

図21 医療施設従事医師数(人口10万対)

(人口10万対)



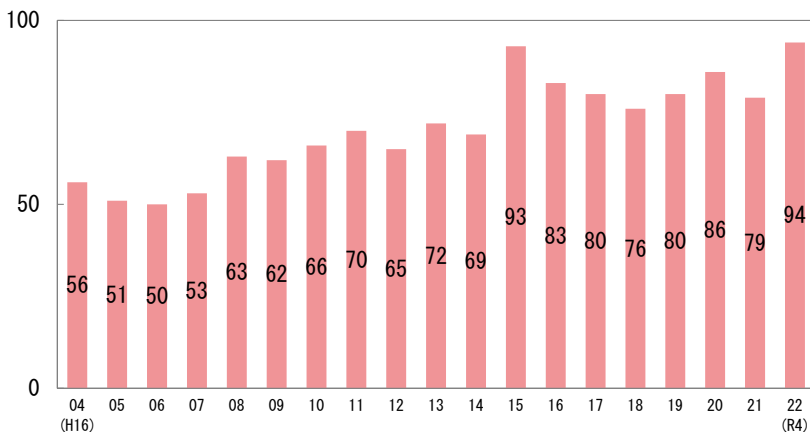
資料：厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計」

### ⑬ 本県における医師臨床研修の状況

2022年度から本県で医師臨床研修を受ける研修医数は過去最高の94人となり、現在の研修制度がスタートした2004年度当時と比較して、高い水準を維持している。(図22)

図22 臨床研修採用者数(青森県)

(人)

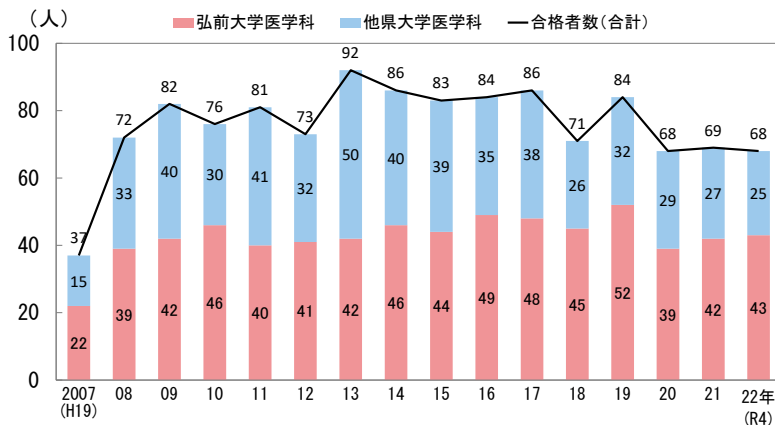


資料：県健康福祉部

#### ⑭ 本県出身医学部医学科合格者の推移

2022年3月卒の県内高等学校からの医学部医学科への合格状況（現浪通算）は、前年比1人減の68人となった。そのうち、弘前大学医学部医学科への合格者は43人（63.2%）となっている。（図23）

図23 本県出身医学部医学科合格者の推移

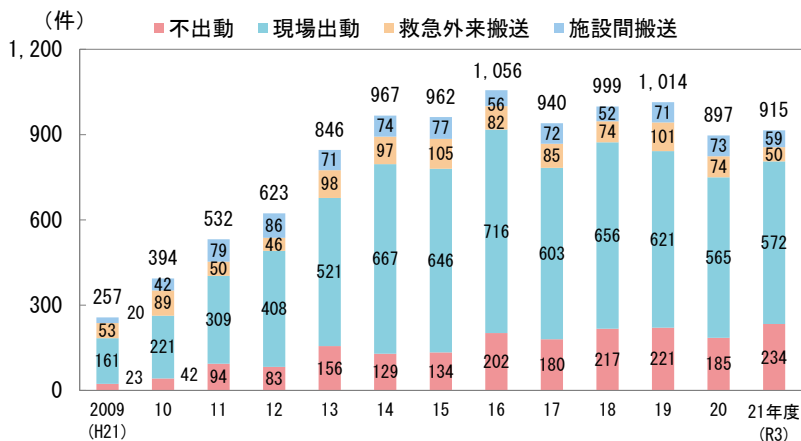


資料：県教育庁（各年3月）

#### ⑮ ドクターヘリ運航状況

2009年3月から運航開始し、2012年10月から2機体制となったドクターヘリは、2021年度は出動要請が915件あり、うち681件の出動となった。（図24）

図24 ドクターヘリの運航実績



資料：県健康福祉部



## (2) 福祉

	青森県	全国
要介護（要支援）認定者数（2022年3月末暫定値）	7万6,744人	689万5,735人
第1号被保険者に占める要介護（支援）認定者の割合（2022年3月末暫定値）	17.9%	18.9%
65歳以上人口の割合（2020年10月1日現在）	33.7%	28.6%

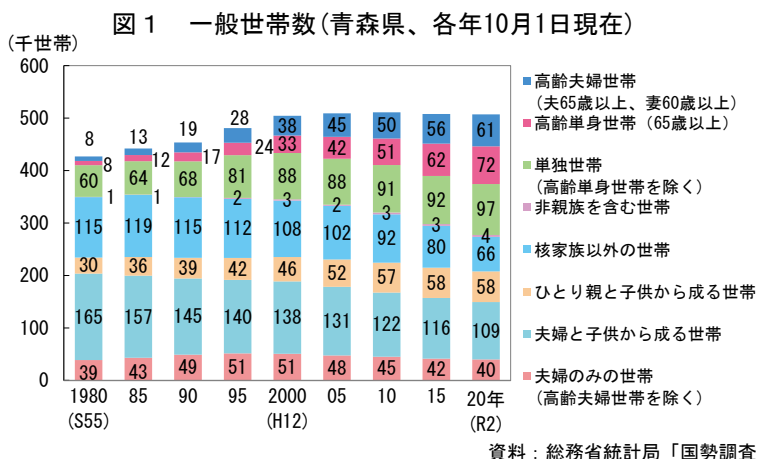
資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」、総務省「令和3年国勢調査」

### ① 世帯数

本県の2020年10月1日現在の総世帯数は51万1,526世帯（一般世帯：50万9,649世帯、施設等の世帯：1,877世帯）で2015年から581世帯増加（一般世帯：408世帯増加、施設等の世帯：173世帯増加）している。

家族類型別では、親族のみの世帯（夫婦のみの世帯、夫婦と子供から成る世帯、ひとり親と子供から成る世帯、核家族以外の世帯の合計）が最も多く、全体の66.0%を占めているが、核家族以外の世帯（三世代家族など）の減少等によって1980年の83.8%から40年間で17.8ポイント減少しており、その割合は減少傾向にある。

高齢化の進展により、高齢夫婦世帯（夫65歳以上、妻60歳以上）、高齢単身世帯（65歳以上）が増えているほか、単独世帯（高齢単身世帯を除く）、ひとり親と子供から成る世帯も増加傾向にある。（図1）



## ② 健康福祉関係施設

2022年4月における本県の健康福祉関係施設は、児童福祉施設が313施設、認定こども園が303施設、老人福祉施設が234施設など、合計1,733施設となっている。(表2)

表2 健康福祉関係施設

施設の種類	施設数	施設の種類	施設数
児童福祉施設	313	生活保護施設	3
保育所	197	老人福祉施設	234
児童館	82	養護老人ホーム	10
児童養護施設	6	特別養護老人ホーム	136
福祉型障害児入所施設	8	軽費老人ホーム（A型）	2
児童自立支援施設	1	軽費老人ホーム（ケアハウス）	25
母子生活支援施設	2	生活支援ハウス （高齢者生活福祉センター）	18
医療型障害児入所施設 （旧肢体不自由児施設）	1	老人福祉センター	43
進行性筋萎縮症児施設等	1	地域包括支援センター	72
医療型障害児入所施設 （旧重症心身障害児施設等）	3	介護老人保健施設	58
児童心理治療施設	1	介護医療院	10
乳児院	3	へき地保健福祉館	3
児童家庭支援センター	1	地域福祉センター	6
助産施設	7	無料低額宿泊所	1
市町村保健センター	7	市町村保健センター	29
認定こども園	303	病院	90
障害者支援施設	58	社会福祉法人（※法人数）	522
地域活動支援センター	31	合計	1,733

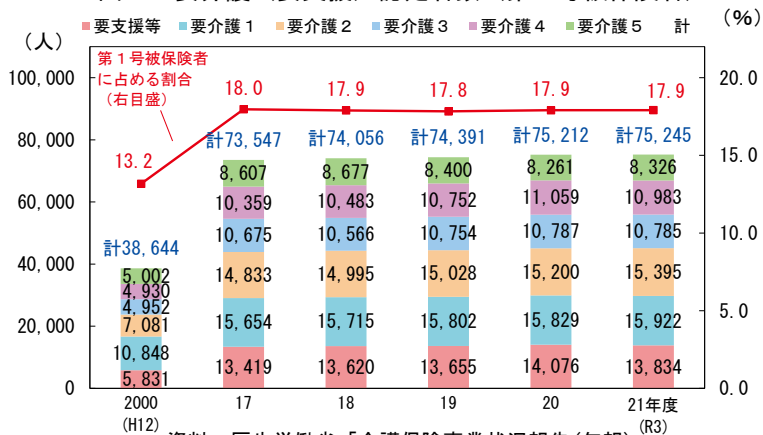
資料：県健康福祉部「青森県健康福祉関係施設名簿」（令和4年4月1日現在）

## ③ 介護保険制度の状況

要介護（要支援）認定者の9割以上を占める第1号被保険者の認定者は2022年3月末で7万5,245人と、介護保険制度初年度である2000年度末（3万8,644人）の約2倍に増えているが、被保険者に占める認定率は、2022年3月末で17.9%と、全国（18.9%）より低い水準となっている。(次頁図3)

一方、要介護（要支援）認定者（総数）のうち、中・重度（要介護2～5）の割合は2022年3月末で60.5%となっており、全国（51.3%）よりも高くなっている。(次頁表4)

図3 要介護（要支援）認定者数（第1号被保険者）



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（年報）」  
 ※2021（令和3）年度は月報（2022（令和4）年3月末）

表4 要介護（要支援）の認定状況【第2号被保険者を含む】

（単位：人）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
青森県	14,072	16,208	15,762	10,993	11,183	8,526	76,744
（構成比）	39.5%		60.5%				100.0%
全国	1,926,008	1,429,433	1,162,082	917,868	874,305	586,039	6,895,735
（構成比）	48.7%		51.3%				100.0%

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告（月報 2022（令和4）年3月末）」

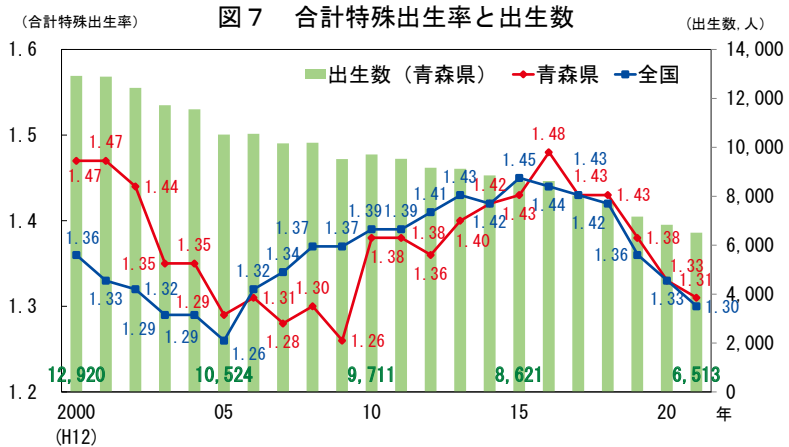
#### ④ 児童福祉の状況

近年の県内6か所の児童相談所における相談件数は、児童虐待を含む養護相談の増加などにより増加傾向にある。2021年度は、養護相談と知的障害相談が多く、特に知的障害相談が前年度から262件増加して1,629件となったことなどにより、全体の相談件数は4年連続で4,000件を超えた。（次項表5）



### ⑤ 合計特殊出生率

本県の合計特殊出生率を長期的にみると、2010年頃までは全国と差が見られるが、その後はほぼ全国と同水準で推移している。(図7)

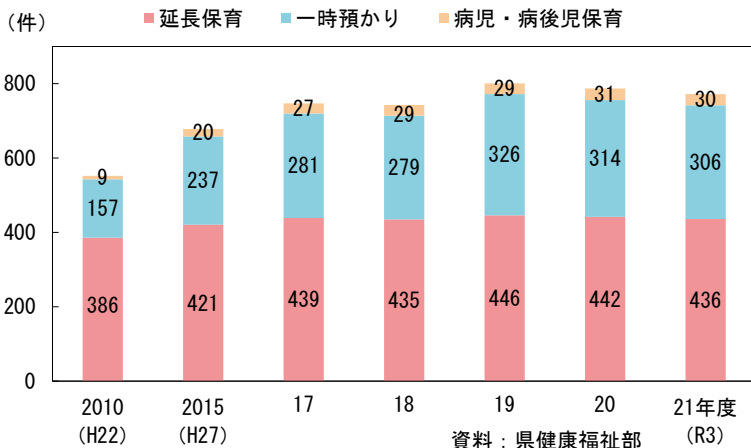


資料：厚生労働省「人口動態統計」

### ⑥ 子育て応援の取組

延長保育、一時預かり、病児・病後児保育の実施か所数は近年横ばいで推移している。一時預かりや病児・病後児保育は10年前に比べて約2～3倍に増加している。(図8)

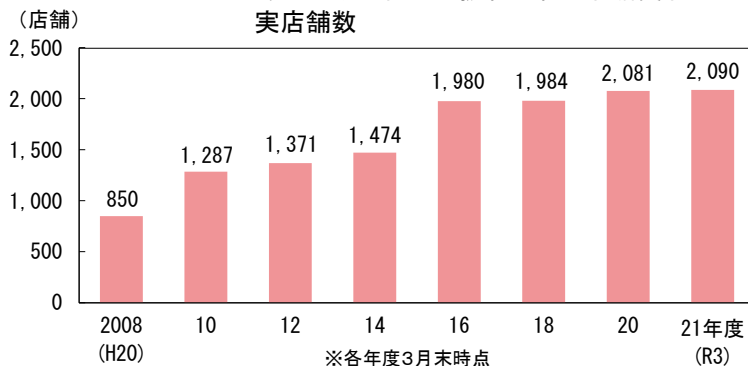
図8 地域子ども・子育て支援事業（保育関係）実施か所数



県では、2007年度から「あおり子育て応援わくわく店事業」を実施し、妊婦や18歳未満の子ども連れ家庭を対象に割引や特典等のサービスを提供する「にこにこ店」と、授乳室やプレイルームの設置など子育て家庭等が出かけやすい環境などに配慮した「ほのぼの店」の拡大を図ってきた。

2022年3月末現在のあおり子育て応援わくわく店協賛店実店舗数は、2,090店舗となっている。(図9)

図9 あおり子育て応援わくわく店協賛店実店舗数



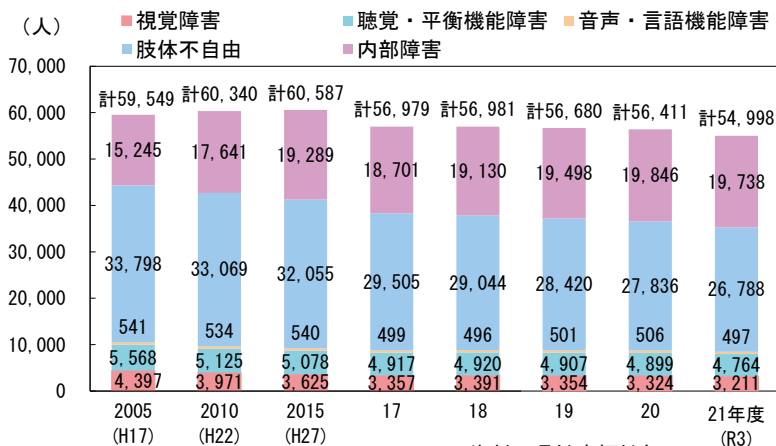
資料：県健康福祉部

## ⑦ 障害福祉の状況

### ア 身体障害者手帳の交付状況

2021年度末現在の身体障害者手帳交付者（児）数5万4,998人の内訳は、肢体不自由が2万6,788人（48.7%）とほぼ半数を占め、次いで内部障害（内臓の機能障害等）が1万9,738人（35.9%）となっている。(図10)

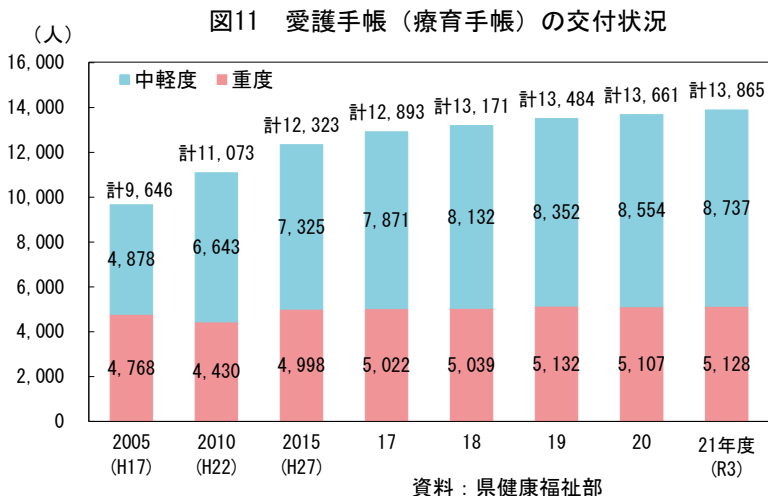
図10 身体障害者手帳の交付状況



資料：県健康福祉部

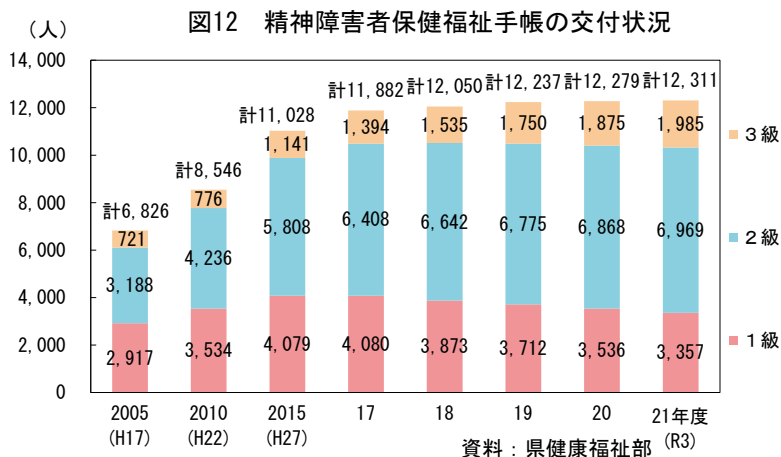
## イ 愛護手帳（療育手帳）の交付状況

2021年度末現在の愛護手帳（療育手帳）交付者数は1万3,865人で、増加傾向にある。児者別では児が2,411人（17.4%）、者が11,454人（82.6%）となっている。障害程度別では重度が5,128人（37.0%）、中軽度が8,737人（63.0%）となっている。（図11）



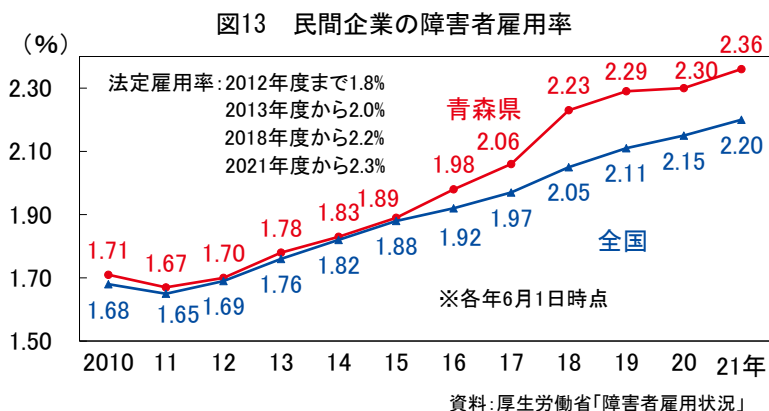
## ウ 精神障害者保健福祉手帳の交付状況

2021年度末現在の精神障害者保健福祉手帳の交付者数は1万2,311人であり、年々増加する傾向にある。（図12）



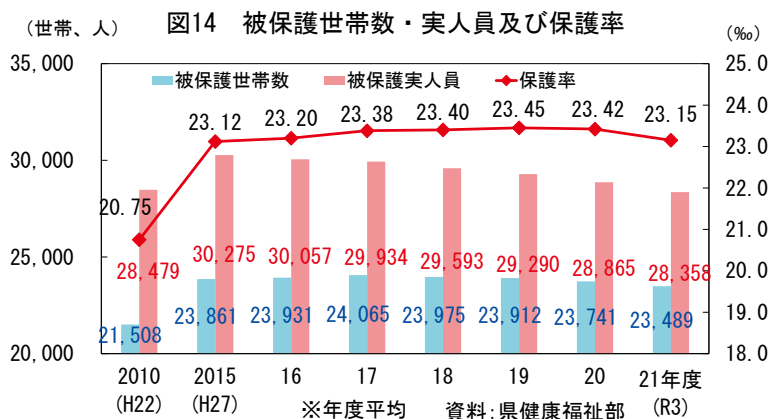
## エ 障害者雇用状況

本県の民間企業における障害者の実雇用率は全国を上回って推移しており、2021年は2.36で過去最高を更新した。(図13)



## ⑥ 生活保護

2021年度の本県の年度平均の被保護世帯数は2万3,489世帯、被保護実人員は2万8,358人、保護率(人口千人に対する被保護実人員の割合、記号は‰[パーミル])は23.15‰となっている。(図14)



なお、平成以降では、被保護世帯数は1996年度から増加、2018年度以降は減少、被保護実人員は1998年度から増加、2015年度以降は減少している。保護率は2015年度以降ほぼ横ばいである。



### (3) 消防・防災

出火件数(2021年)	494件	前年比	12件増
死者数(“)	32人	“	5人増
火災損害額(“)	13億1,444万円	“	1億1,685万円増
救急隊員数(“)	1,386人		10人増

資料：消防庁「令和3年(1~12月)における火災の状況(確定値)」、  
県危機管理局「消防の現況」

#### ① 火災発生件数

2021年の出火件数は494件で、前年から12件の増加となった。内訳は、約半数を占める建物火災が12件増、林野火災が14件減などとなっている。

火災の状況を1日当たりには換算すると、県内のいずれかの場所で何らかの火災が1.3件発生し、約360万円の損害が生じている計算になる。

また、火災による死者数は32人で、前年に比べ5人増加している。(表1)

表1 火災発生の推移

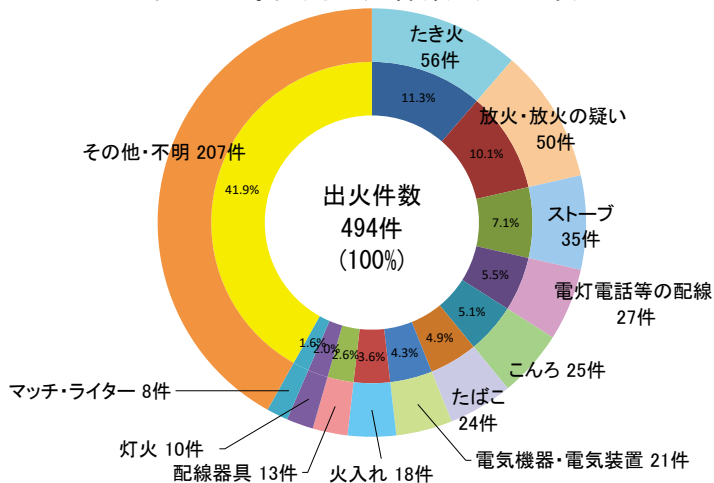
区分	2012 (H24)	13	14	15	16	17	18	19	20	21年 (R3)	前年比 (%)
出火件数(件)	525	524	584	600	472	443	456	606	482	494	102.5
うち											
建物(“)	338	317	291	299	262	277	285	287	263	275	104.6
林野(“)	22	40	58	58	31	23	24	51	31	17	54.8
車両(“)	60	52	51	63	46	43	48	40	45	44	97.8
船舶(“)	1	1	3	2	2	2	1	4	2	2	100.0
航空機(“)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
その他(“)	104	114	181	178	131	98	98	224	141	156	110.6
焼損棟数(棟)	572	485	519	515	510	438	466	510	472	481	101.9
建物焼損床(m <sup>2</sup> )	36,559	25,121	27,087	31,646	32,085	19,595	22,873	32,215	24,590	26,275	106.9
林野焼損面(a)	683	1,938	5,548	2,626	1,837	1,000	1,532	2,860	2,027	146	7.2
死者(人)	36	38	26	35	32	14	29	37	27	32	118.5
負傷者(“)	101	93	96	99	79	84	84	93	96	102	106.3
り災世帯数(世帯)	290	294	263	256	289	254	267	263	236	264	111.9
損害額(億円)	19.2	9.7	13.1	14.3	10.6	7.7	22.6	12.9	12.0	13.1	109.2

消防庁「令和3年(1~12月)における火災の状況(確定値)」

#### ② 原因別出火件数

2021年の原因別出火件数は、多い順から「たき火」56件(11.3%)、「放火・放火の疑い」50件(10.1%)、「ストーブ」35件(7.1%)、「電灯電話等の配線」27件(5.5%)、「こんろ」25件(5.1%)、「たばこ」24件(4.9%)、「火入れ」18件(3.6%)となっている。(次頁図2)

図2 原因別出火件数（2021年）

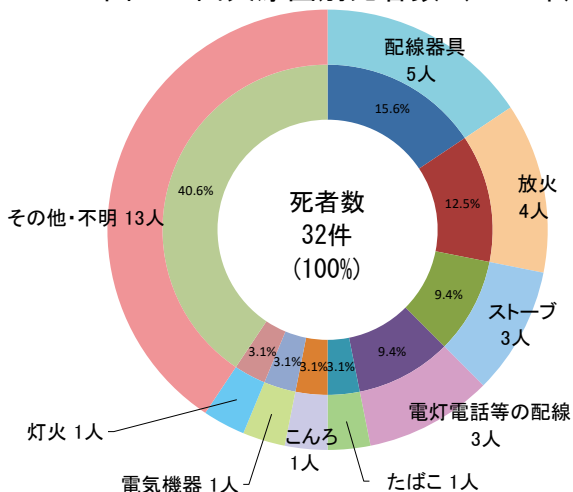


資料：消防庁「令和3年（1～12月）における火災の状況（確定値）」

## ③ 出火原因別死者数

出火原因別の死者数を見ると、多い順に「配線器具」5人（15.6%）、「放火」4人（12.5%）、「ストーブ」「電灯電話等の配線」それぞれ3人（9.4%）となっている。（図3）

図3 出火原因別死者数（2021年）



資料：消防庁「令和3年（1～12月）における火災の状況（確定値）」

#### ④ 救急隊員数及び救急自動車数の推移

2021年4月1日現在の救急隊員数は1,386人で、前年に比べ10人(0.7%)増加している。

救急自動車数は109台で、そのうち高規格救急自動車数は93台となっており、救急自動車数に占める割合は85.3%となっている。(表4)

表4 救急隊員数と救急自動車数

区分	2012年 (H24)	13	14	15	16	17	18	19	20	21年 (R3)	前年比 (%)
救急隊員数(人)	1,318	1,312	1,265	1,361	1,285	1,330	1,402	1,363	1,376	1,386	100.7
うち専任者数	344	318	336	362	366	215	236	224	194	233	120.1
うち救急救命士数	357	366	399	427	422	447	465	494	521	514	98.7
救急自動車数(台)	110	111	110	111	113	113	114	114	113	109	96.5
うち高規格救急自動車数	78	78	80	80	83	82	89	92	93	93	100.0

資料：県危機管理局「消防の現況」

#### ⑤ 救急出動件数及び搬送人員の推移

2020年の救急出動件数は4万6,130件で、前年に比べ4,057件(8.1%)の減少となっており、1日当たり約126回救急自動車が出動したことになる。

内訳では、「急病」が最も多く3万67件で全体の65.2%を占めており、次いで「一般負傷」6,209件、「交通事故」2,724件となっている。

搬送人員は4万2,014人で前年に比べ3,952人(8.6%)減少した。

内訳では、救急出動件数と同様に、「急病」が最も多く、2万7,556人、次いで「一般負傷」5,820人、「交通事故」2,479人の順となっている。(表5)

表5 救急出動件数と搬送人員

区分	2011 (H23)	12	13	14	15	16	17	18	19	20年 (R2)	前年比 (%)
救急出動件数(件)	47,053	48,149	47,223	47,986	47,223	47,452	47,811	49,665	50,187	46,130	91.9
急病	29,578	30,658	30,300	30,651	30,449	30,879	30,823	32,567	32,717	30,067	91.9
一般負傷	5,743	5,918	5,703	5,985	5,745	6,003	6,176	6,288	6,428	6,209	96.6
交通事故	3,520	3,489	3,344	3,332	3,345	3,123	3,120	3,085	3,187	2,724	85.5
その他	8,212	8,084	7,876	8,018	7,684	7,447	7,692	7,725	7,855	7,130	90.8
搬送人員(人)	44,058	44,800	43,870	44,565	43,811	44,080	44,117	45,793	45,966	42,014	91.4
急病	27,486	28,398	28,042	28,452	28,244	28,571	28,407	30,002	30,136	27,556	91.4
一般負傷	5,481	5,615	5,433	5,663	5,449	5,692	5,852	5,910	6,056	5,820	96.1
交通事故	3,705	3,595	3,388	3,365	3,364	3,135	3,086	3,088	2,989	2,479	82.9
その他	7,386	7,192	7,007	7,085	6,754	6,682	6,772	6,793	6,785	6,159	90.8

資料：県危機管理局「消防の現況」

## ⑥ 青森県防災ヘリコプター「しらかみ」

2020年度の防災ヘリコプター「しらかみ」の運航件数は前年度から3件(1.1%)増加の264件であり、飛行時間は前年度に比べ15時間(5.7%)増加し277時間となっている。

内訳では、運航件数、飛行時間ともに、自隊訓練が最多となっており、運航件数では全体の48.1%、飛行時間では全体の52.3%を占めている。(表6)

表6 青森県防災ヘリコプター「しらかみ」出動状況

区 分	2011 (H23)	12	13	14	15	16	17	18	19	20年度 (R2)	前年度比 (%)	
緊急運航	運航件数	76	73	74	95	86	89	65	77	91	93	102.2
	飛行時間	94	93	114	135	85	130	75	92	88	91	103.4
災害予防	運航件数	23	12	12	10	16	9	21	0	12	10	83.3
	飛行時間	5	5	10	4	4	2	4	0	2	2	100.0
自隊訓練	運航件数	105	127	107	110	127	125	127	131	116	127	109.5
	飛行時間	123	146	118	128	143	133	139	146	127	145	114.2
合同訓練	運航件数	19	20	19	31	33	23	29	23	21	15	71.4
	飛行時間	19	23	18	31	34	19	30	24	19	15	78.9
行政利用	運航件数	9	8	8	8	16	11	15	12	12	10	83.3
	飛行時間	10	11	13	10	20	10	12	13	10	11	110.0
その他	運航件数	16	10	6	17	8	13	5	17	9	9	100.0
	飛行時間	14	20	15	29	15	21	12	23	14	13	92.9
合 計	運航件数	248	250	226	271	286	270	262	260	261	264	101.1
	飛行時間	265	297	287	337	300	315	273	298	262	277	105.7

資料：県危機管理局「消防の現況」

※時間未満の端数処理により、項目ごとの計と合計は一致しない場合がある。

## ⑦ 土砂災害・雪崩対策の状況

2021年度末現在の土砂災害及び雪崩対策の状況を対策別にみると、土石流対策では危険箇所数が645箇所、渓流で整備箇所数は175箇所(整備率27.1%)、地すべり対策では危険箇所数が64箇所、整備箇所数は18箇所(整備率28.1%)、急傾斜地対策では危険箇所数が805箇所、整備箇所数は333箇所(整備率41.4%)、雪崩対策では危険箇所数が1,003箇所、整備箇所数は24箇所(整備率2.4%)となっている。(表7)

表7 土砂災害・雪崩対策の状況

(2021年度末)

区分	危険 箇所数	着手箇所及び 着手率		整備箇所及び 整備率	
		箇所数	着手率 (%)	箇所数	整備率 (%)
土石流	645箇所	203	31.5	175	27.1
地すべり	64箇所	19	29.7	18	28.1
急傾斜地	805箇所	538	66.8	333	41.4
雪崩	1,003箇所	24	2.4	24	2.4

## ⑧ 河川改修の状況

本県の河川の指定状況は、2021年度末現在、大臣管理が一級河川の岩木川、馬淵川、高瀬川の3水系で15河川、指定延長は164.7kmとなっている。

また、知事管理が一級河川の岩木川、馬淵川、高瀬川の3水系で129河川、指定延長は918.4km、二級河川の奥入瀬川水系ほかで157河川、指定延長1,003.4kmとなっている。

河川の改修状況を見ると、2021年度末現在、国直轄管理区間は15河川で計画堤防の延長は180.8kmとなっており、このうち完成と暫定を合わせた施工済堤防延長は172.2km（進捗率95.2%）となっている。

また、県管理区間は286河川で要改修延長は1,216.5kmとなっており、このうち施設完成と暫定を合わせた整備水準以上が481.7km（進捗率39.6%）となっている。（表8）

表8 河川改修の状況

(1) 国直轄管理区間(2021年度末)

(単位：km、%)

一級河川	河川数	指定延長	計画堤防延長 (A)	施工済堤防延長			進捗率	
				完成堤防 (B)	暫定堤防	計 (C)	(B) / (A)	(C) / (A)
岩木川	13	114.6	151.9	96.2	47.1	143.3	63.3	94.3
馬淵川	1	10.0	18.3	17.4	0.9	18.3	95.1	100.0
高瀬川	1	40.1	10.6	10.6	0.0	10.6	100.0	100.0
計	15	164.7	180.8	124.2	48.0	172.2	68.7	95.2

資料：県県土整備部

(2) 県管理区間(2021年度末)

(単位：km、%)

区分	水系数	河川数	指定延長	要改修延長 (A)	整備水準以上			進捗率	
					施設完成 (B)	施設暫定	計 (C)	(B) / (A)	(C) / (A)
一級河川	3	129	918.4	658.5	151.7	67.7	219.4	23.0	33.3
二級河川	79	157	1,003.4	558.0	203.8	58.5	262.3	36.5	47.0
計	82	286	1,921.8	1,216.5	355.5	125.6	481.7	29.2	39.6

資料：県県土整備部

## (4) 生活環境、事件・事故

	青森県	前年比	全国
刑法犯検挙率（2021年）	64.1%	0.9ポイント低下	46.6%
重要犯罪検挙率（ " ）	84.7%	4.8ポイント低下	93.4%
人口10万人当たりの			
交通事故死者数（ " ）	2.4人	0.1人増加	2.1人
自動車1万台当たりの			
交通事故件数（ " ）	29.1件	5.0件増加	37.0件

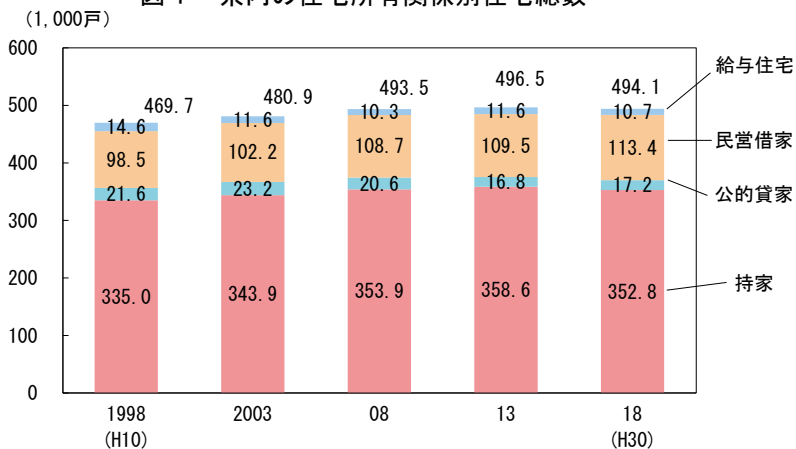
資料：県警察本部

## ① 住宅総数

本県の2018年の住宅総数※は、494,100戸で、前回調査（2013年）に比べて、2,400戸（0.5%）減少した。住宅総数の内訳をみると、持家が352,800戸（71.4%）、民間賃貸住宅が113,400戸（23.0%）となっている。（図1）

※住宅総数には住宅所有関係が不明なものを含まない。

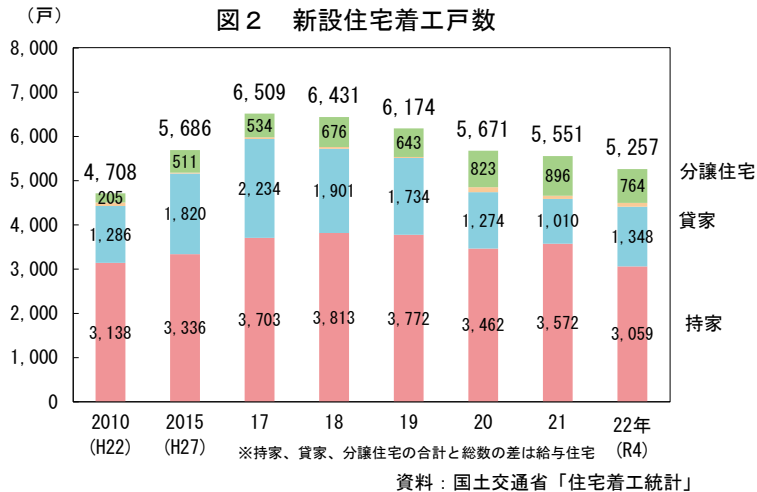
図1 県内の住宅所有関係別住宅総数



資料：総務省「住宅・土地統計調査」

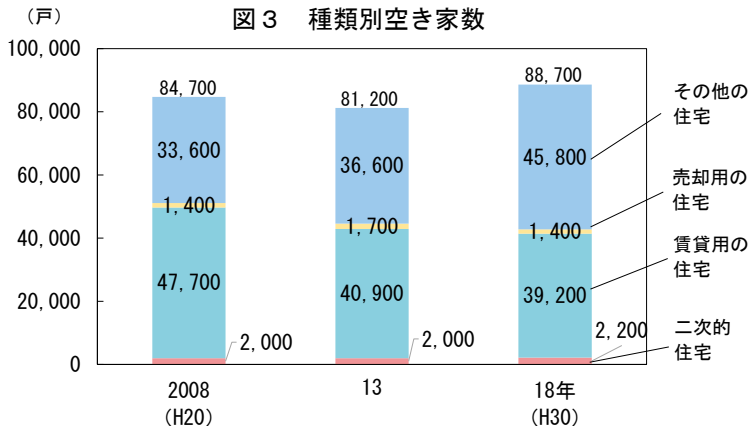
## ② 新設住宅着工戸数

本県の新設住宅着工戸数は、2018年以降減少しており、2022年は前年を294戸下回る5,257戸となった。(図2)



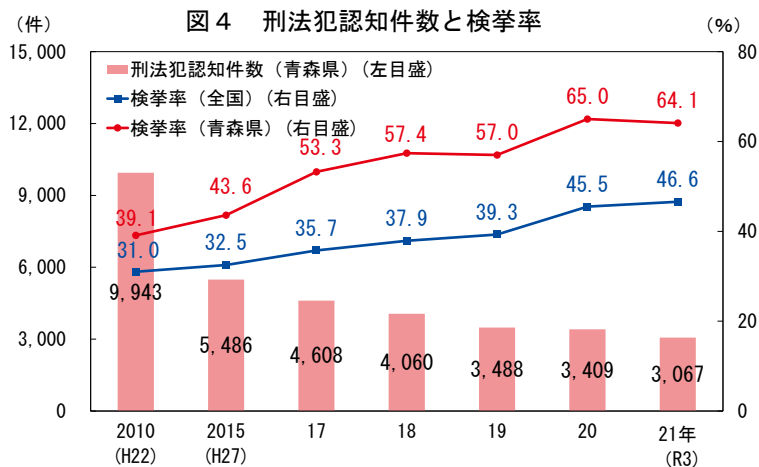
## ③ 空き家

本県の空き家総数は2013年から2018年にかけて増加した。内訳をみると、賃貸や売却目的の住宅等は減少している一方で、使用目的がなく長期間居住者がいない「その他の住宅」は増加している。(図3)



## ④ 刑法犯認知件数

2021年における刑法犯認知件数は3,067件となり、2003年から19年連続で減少している。検挙率は64.1%で前年より0.9ポイント低下している。検挙率の全国平均は46.6%で、本県は12番目(2020年:10番目)に位置している。(図4)



資料：県警察本部

2021年の刑法犯認知件数は、窃盗犯が1,913件(62.4%)で最も多く、次いで、知能犯が391件(12.7%)、粗暴犯が274件(8.9%)となっている。(表5)

表5 刑法犯の包括罪種別認知件数

(単位:件)

年 種別	2012 (H24)	13	14	15	16	17	18	19	20	21年 (R3)
凶悪犯	33 (0.4%)	33 (0.5%)	30 (0.5%)	35 (0.6%)	22 (0.4%)	31 (0.7%)	19 (0.5%)	25 (0.7%)	31 (0.9%)	33 (1.1%)
粗暴犯	602 (8.1%)	455 (7.0%)	427 (7.4%)	421 (7.7%)	414 (8.2%)	423 (9.2%)	435 (10.7%)	329 (9.4%)	322 (9.4%)	274 (8.9%)
窃盗犯	5,102 (68.7%)	4,469 (68.6%)	3,864 (67.2%)	3,609 (65.8%)	3,322 (65.8%)	2,879 (62.5%)	2,664 (65.6%)	2,322 (66.6%)	2,244 (65.8%)	1,913 (62.4%)
知能犯	268 (3.6%)	378 (5.8%)	317 (5.5%)	303 (5.5%)	356 (7.0%)	456 (9.9%)	296 (7.3%)	244 (7.0%)	271 (7.9%)	391 (12.7%)
風俗犯	89 (1.2%)	76 (1.2%)	125 (2.2%)	90 (1.6%)	81 (1.6%)	78 (1.7%)	50 (1.2%)	50 (1.4%)	62 (1.8%)	54 (1.8%)
その他	1,330 (17.9%)	1,104 (16.9%)	990 (17.2%)	1,028 (18.7%)	855 (16.9%)	741 (16.1%)	596 (14.7%)	518 (14.9%)	479 (14.1%)	402 (13.1%)
計	7,424	6,515	5,753	5,486	5,050	4,608	4,060	3,488	3,409	3,067

資料：県警察本部

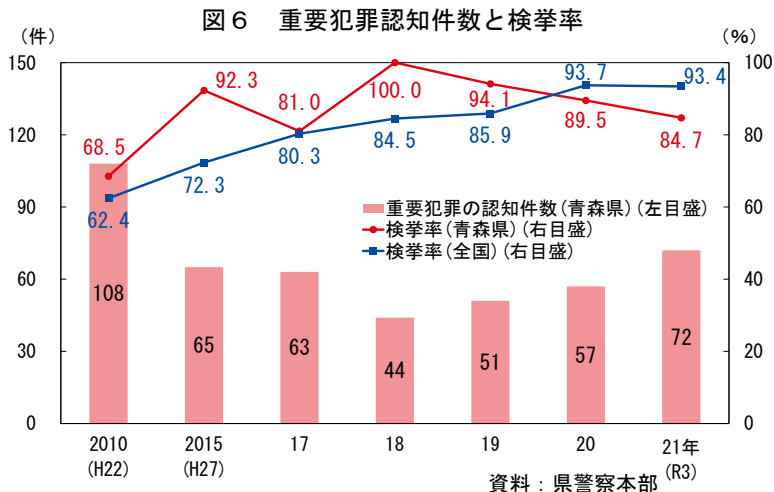
※凶悪犯：殺人、強盗、放火、強制性交等      粗暴犯：暴行、傷害、脅迫、恐喝、凶器準備集合  
 知能犯：詐欺、横領、偽造、贈賄罪、背任等      風俗犯：賭博、わいせつ  
 その他の刑法犯：公務執行妨害、住居侵入、逮捕監禁等



### ⑤ 重要犯罪の認知件数

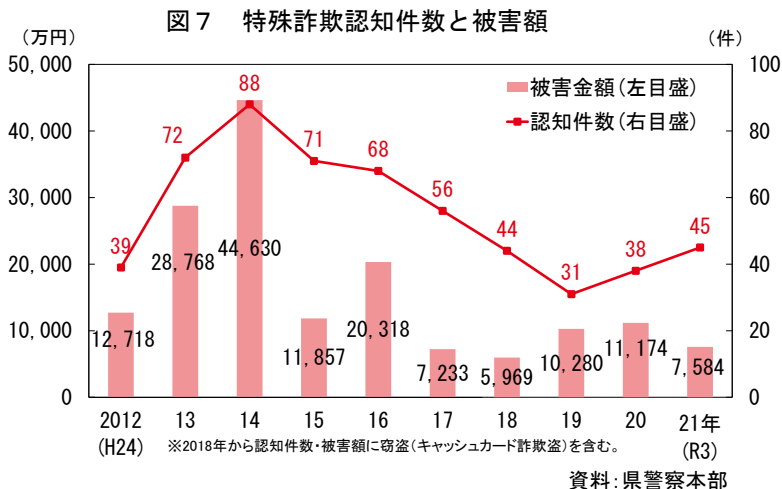
2021年の重要犯罪（殺人、強盗、放火、強制性交等、略取誘拐・人身売買、強制わいせつ）の認知件数は72件と前年より15件増加している。

検挙率は前年より4.8ポイント低下の84.7%（全国値93.4%）となっており、本県は全国で40番目の検挙率となっている。（図6）



### ⑥ 特殊詐欺認知件数と被害金額

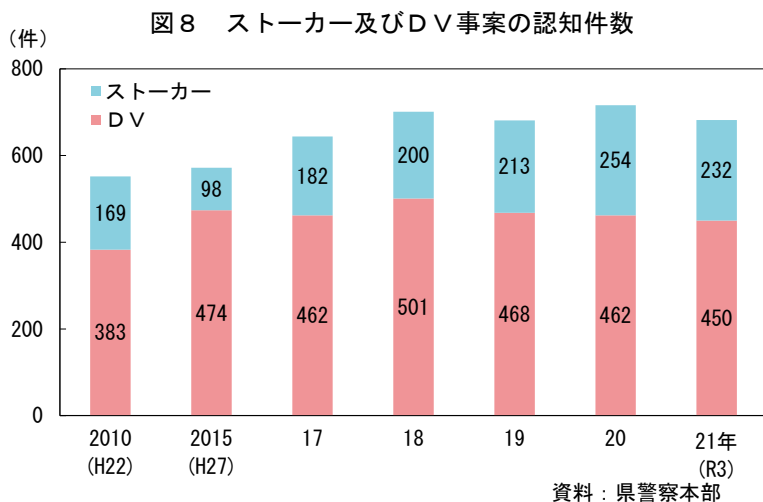
2021年における特殊詐欺認知件数は45件で2年続けて増加したが、被害額は7,584万円と前年より減少した。（図7）



## ⑦ ストーカー及びDV事案の認知件数

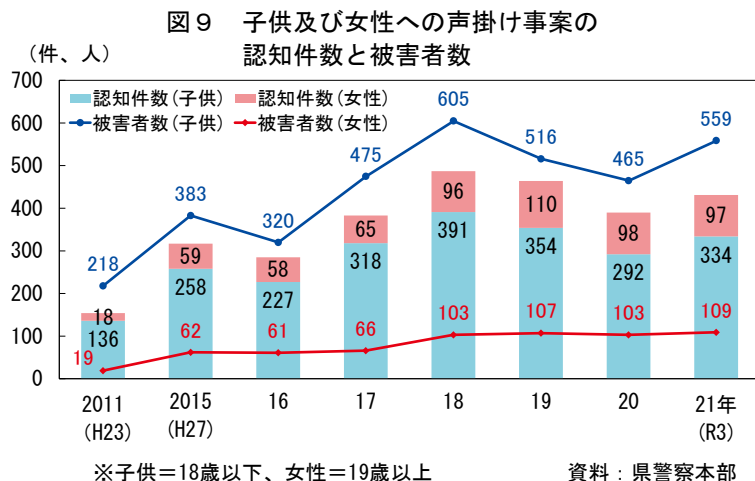
2021年のストーカー事案の認知件数は232件で前年より22件減少した。

DV事案の認知件数は450件で前年より12件減少した。(図8)



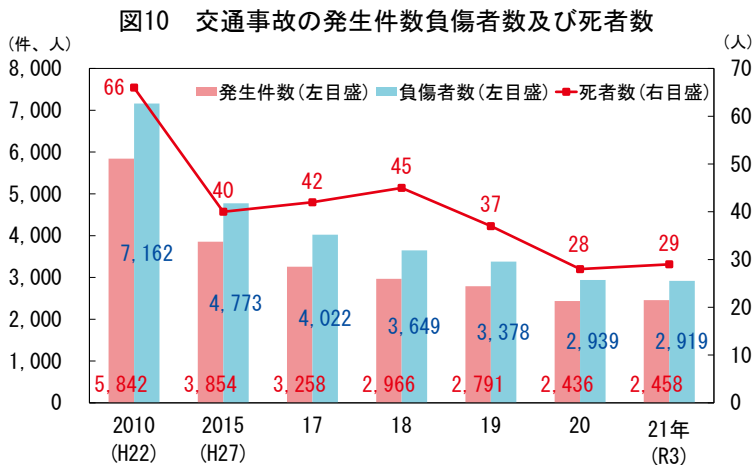
## ⑧ 子供及び女性声掛け事案等

2021年の子供及び女性への声掛け事案(統計は2011年以降)の認知件数は431件で、うち7割以上の334件が子供への事案だった。全体の認知件数、被害者数は前年より増加している。(図9)



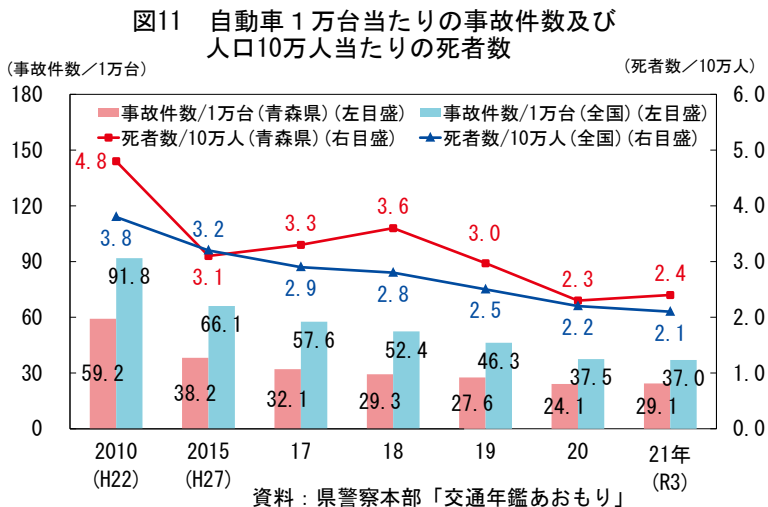
### ⑨ 交通事故発生件数

2021年の交通事故発生件数は2,458件、負傷者数は2,919人であった。死者数は29人で現在の統計方法となった1966年以降最少だった2020年から1人増加したが、負傷者数は過去最多だった2001年(11,927人)から20年連続で減少している。(図10)



資料：県警察本部「交通年鑑あおもり」

人口10万人当たりの交通事故死者数は、概ね全国を上回って推移している一方、自動車1万台当たりの交通事故件数は全国値を大きく下回っている。(図11)

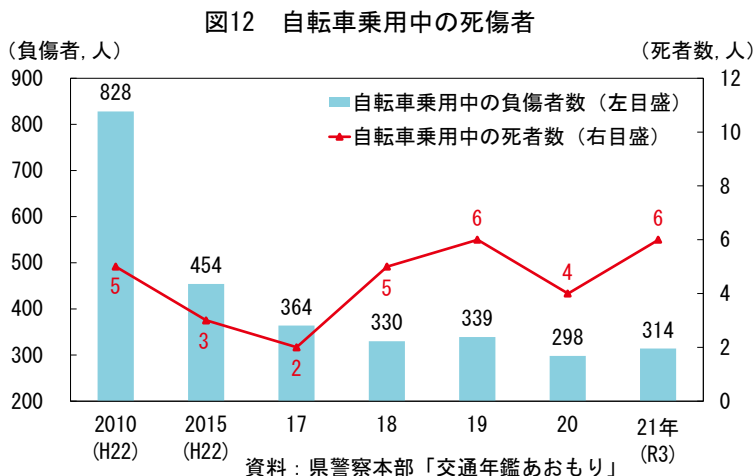


資料：県警察本部「交通年鑑あおもり」

## ⑩ 2021年の交通事故の概要

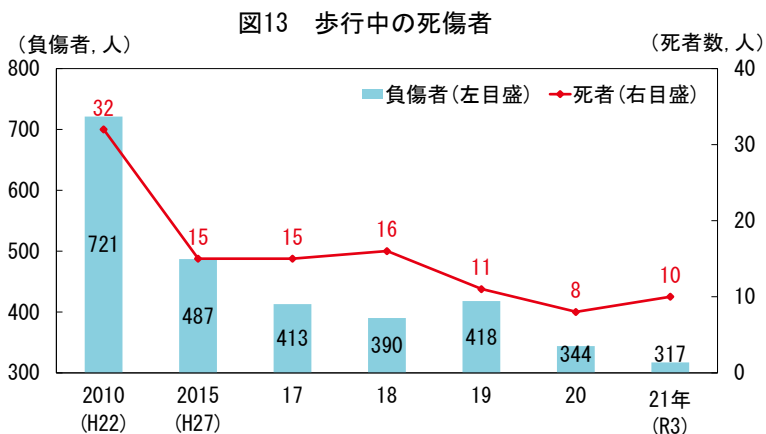
## ア 自転車乗用中の死傷者数

自転車乗用中の負傷者数は314人で前年より16人増加し、死者数は6人で前年より2人増加した。(図12)



## イ 歩行者の死傷者数

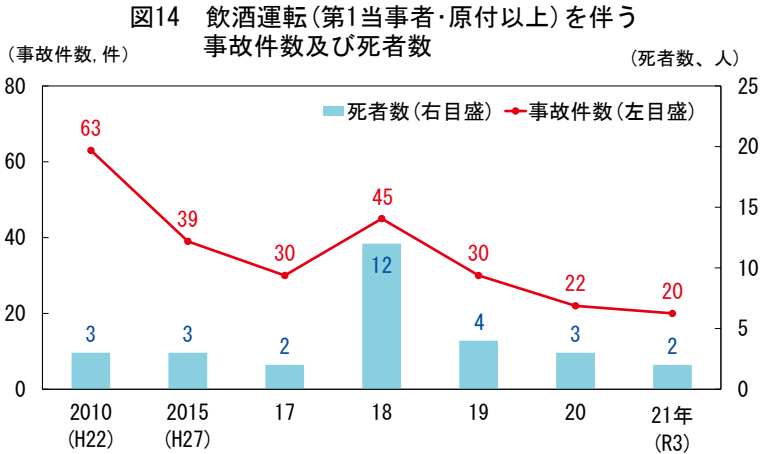
歩行中の負傷者数は317人で前年より27人減少したが、死者数は10人で前年より2人増加した。(図13)



資料：県警察本部「交通年鑑あおもり」

## ウ 飲酒運転による事故件数・死者数

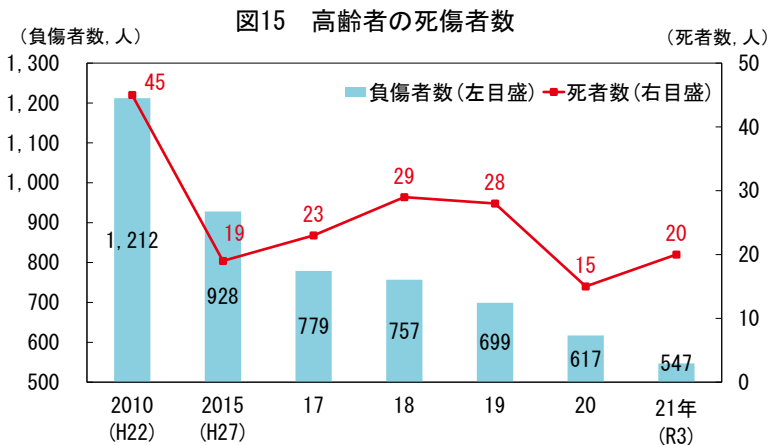
飲酒運転を伴う事故件数は 20 件と着実に減少している。死者数は 2 人で前年から 1 人減少した。(図 14)



資料：県警察本部「交通年鑑あおもり」

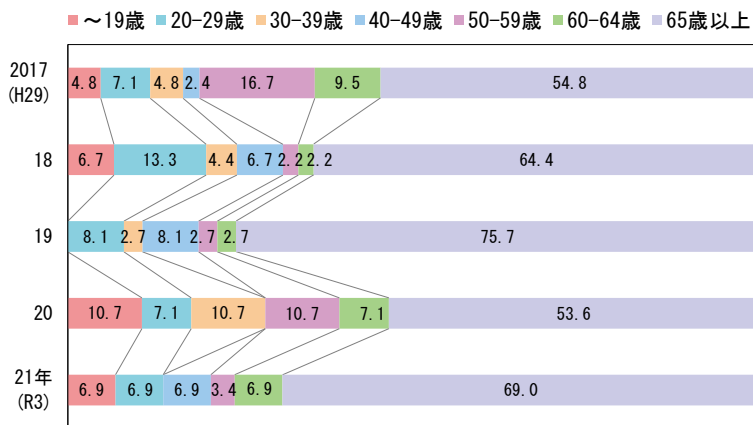
## エ 高齢者の死傷者数

負傷者数は 547 人で前年より 70 人減少したが、死者数は 20 人で前年より 5 人増加した。全死者における高齢者の死者の割合は 69.0% (前年 53.6%) と前年より 15.4 ポイント増加し、過去 5 年間で 2 番目の高さとなった。(図 15、次頁図 16)



資料：県警察本部「交通年鑑あおもり」

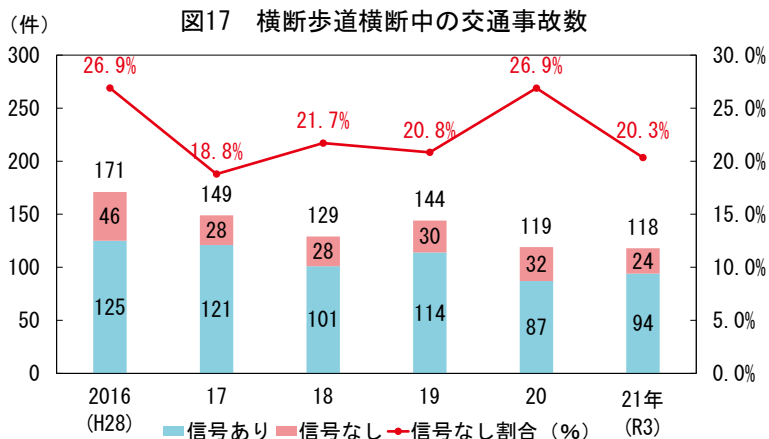
図16 交通事故による死亡者の年齢層別割合



資料：県警察本部「交通年鑑あおもり」

## オ 横断歩道横断中の交通事故数

全体の交通事故発生件数が着実に減少傾向にある中、横断歩道横断中の交通事故はほぼ横ばいとなっている。特に、信号機のない横断歩道での交通事故の割合は2018年から増加傾向にあったが、2021年は減少した。(図17)



資料：県警察本部

### 3 環境分野

#### (1) 自然環境

年平均気温（2022年、青森市）	11.3℃	平年値 10.7℃
年降水量（　　　　　）	1,435.0 mm	平年値 1,350.7 mm
自然公園内観光地点の観光入込客数（2021年）	4,261,549人	前年比 488,083人減
白神山地入込客数（2021年）	141,677人	前年比 32,170人減
民有林造林実績（2021年）	436ha	前年度比 3ha増

資料：気象庁観測データ、県観光国際戦略局ほか

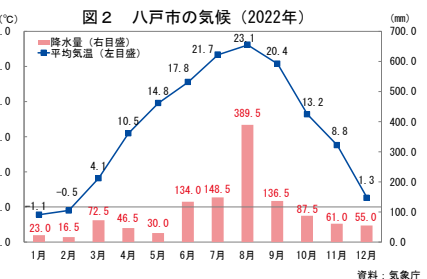
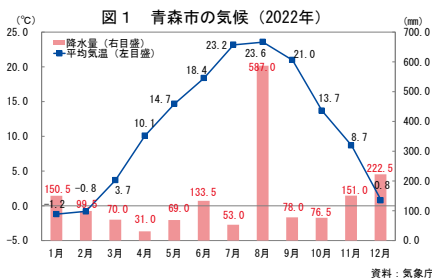
#### ① 県土の概要

本県の総面積は、約96万4,600haであり国土の2.6%を占め、全国第8位の大きさである。三方を海に囲まれ、内湾である陸奥湾があり、海岸線総延長は約800kmに及ぶ。本県全体の65.6%が森林で、南西部に位置し、ブナ天然林の分布する広大な白神山地や、中央部に位置する八甲田連峰、十和田湖・奥入瀬溪流など、水と緑に囲まれた自然あふれる環境に恵まれている。

#### ② 気候

本県は、三方向が海に面していることによる海流の影響と、奥羽山脈が県内を二分している地形の影響などから、県内でも地域によって気候が大きく異なる。

夏季は、太平洋側で、冷たく湿った偏東風である「ヤマセ」の影響で、低温・多湿の日が多くなる。冬季は、日本海側では大雪となり、太平洋側は乾燥した晴天の日が多くなり、奥羽山脈を境として、太平洋側のヤマセの影響と、日本海側の大雪が、本県の気候の特徴となっている。（図1、図2）



### ③ 大気環境

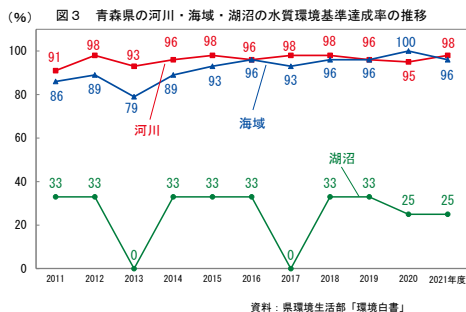
2021年度における本県の大気環境は、環境基準が定められている物質のうち、光化学オキシダント（6地点）を除いて環境基準を達成している。光化学オキシダントについては、全国的に環境基準を超過しており、成層圏オゾンの沈降による影響のほか、アジア大陸からの越境汚染の影響も原因として考えられている。

### ④ 水環境

2021年度調査の結果、河川では、有機性汚濁の代表的指標であるBOD（生物学的酸素要求量）が、類型指定されている56水域のうち55水域で環境基準を達成し、達成率は98%であった。

海域では同じく代表的指標であるCOD（化学的酸素要求量）が、類型指定されている28水域のうち27水域で環境基準を達成し、達成率は96%であった。

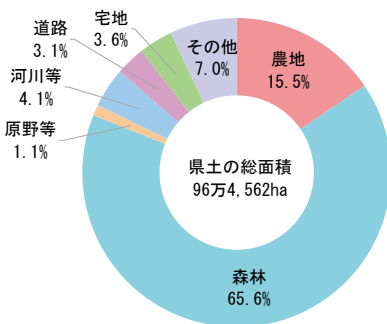
湖沼のCODについては、類型指定されている4水域のうち、1水域で環境基準を達成し、達成率は25%であった。（図3）



### ⑤ 土地利用の状況

県土を土地利用区別に見ると、森林が65.6%と最も大きな割合を占め、次いで農地15.5%、水面・河川・水路4.1%、宅地3.6%、道路3.1%などとなっている。（図4）

図4 土地利用の状況（2021年10月1日現在）



資料：県土整備部「青森県の土地利用」



## ⑥ 自然公園の状況

2022年3月31日現在、国立公園2か所、国定公園2か所、県立自然公園7か所が指定されており、面積は県土面積の11.6%を占めている。

2021年の自然公園内における観光地点（全95地点）の入込客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、426万1,549人（対前年10.3%減）となっている。（表5）

表5 自然公園の概要

種別	名称	関係市町村	面積 (ha)	観光入込客数 (千人、%)				
				観光地点数	2019	2020	2021年 (R3)	前年比
国立公園	十和田八幡平 (十和田・八甲田地域)	青森市、黒石市、十和田市、平川市	38,358	10	2,291	1,214	1,006	82.9
	三陸復興 (種差海岸・階上岳地域)	八戸市、階上町	2,423	9	566	453	466	102.9
国定公園	下北半島	むつ市、大間町、東通村、佐井村	18,641	11	677	344	398	115.7
	津軽	弘前市、五所川原市、つがる市、今別町、外ヶ浜町、鯉ヶ沢町、深浦町、中泊町	25,966	27	2,056	1,235	910	73.7
県立自然公園	浅虫夏泊	青森市、平内町	4,964	10	980	583	583	100.1
	大鰐ヶ関温泉郷	平川市、大鰐町	6,730	5	105	77	78	100.8
	名久井岳	三戸町、南部町	1,076	3	117	96	104	108.2
	芦野池沼群	五所川原市、中泊町	612	—	—	—	—	—
	黒石温泉郷	黒石市、平川市	5,100	7	378	243	238	97.6
	岩木高原	弘前市	2,587	8	548	457	439	96.2
	津軽白神	鯉ヶ沢町、西目屋村	5,341	5	90	49	40	82.7
	小計		26,410	38	2,217	1,504	1,481	98.5
合計			111,798	95	7,808	4,750	4,262	89.7

※表示単位未満の端数を四捨五入したことにより、一部計算が不一致。

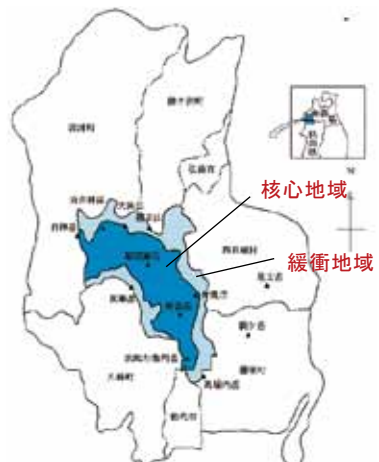
資料：県環境生活部、県観光国際戦略局「令和3年青森県観光入込客統計」

## ⑦ 世界自然遺産白神山地の状況

白神山地は、青森県南西部から秋田県北西部にまたがる130,000haに及ぶ広大な山岳地帯の総称である。このうち、原始的なブナ林で占められている区域16,971haが1993年12月に世界遺産として登録されており、青森県側の面積は、その約4分の3を占め、12,627haとなっている。

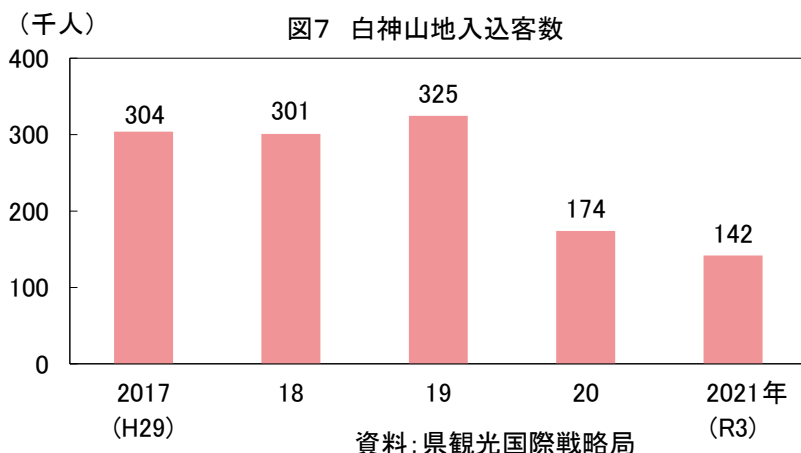
白神山地には、赤石川、追良瀬川、笹内川などの河川があり、各河川の流域を分ける尾根沿いに、白神岳(1,235m)、向白神岳(1,250m)、魔須賀岳(1,012m)、天狗岳(958m)など、標高1,000mから1,200m級の山々が連なっている。（図6）

図6 白神山地の概要図



白神山地の特徴は、人為の影響をほとんど受けていない原生的なブナ林が東アジア最大級の規模で分布していることにある。ブナ林には、ブナーミズナラ群落をはじめ多種多様な植物が生育し、水源涵養機能や地表侵食防止機能が高く、多面的な機能を有している。また、高緯度にもかかわらず、ツキノワグマ、ニホンザル、イヌワシ等をはじめ多くの動物が生息し、特に世界遺産地域は、最も良く原生状態が保たれており、その価値は、地球的に見ても極めて重要であると評価されている。

世界自然遺産白神山地の持続可能な利用に向けて、遺産地域周辺における自然を生かしたエコツーリズム等が推進されており、入込客数は近年 30 万人台で推移していたが、2020 年以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021 年は約 14 万 2,000 人となっている。(図 7)



## ⑧ 森林の状況

### ア 森林の現況

本県の森林面積(2022年)は、63万4,387haで県土面積の65.8%を占めている。そのうち、国有林(官行造林含む)は、39万5,963haで全森林の62.4%、民有林(公有林含む)は23万8,425haで37.6%を占めている。

森林蓄積量は1億2,795万 $\text{m}^3$ で、そのうち国有林は7,433万4,000 $\text{m}^3$ (全体の58%)、民有林は5,361万5,000 $\text{m}^3$ (同42%)となっており、針広別では、針葉樹が全体の64.3%、広葉樹が35.7%となっている。針葉樹ではスギが最も多く針葉樹全体の6割以上を占め、次いでヒバ、アカマツ、カラマツの順となっている。

(次頁表 8)

表 8 森林の現況 2022年 (R4)

(単位 ha、千m<sup>3</sup>、m<sup>3</sup>/ha)

区 分	総 数	国 有 林	民 有 林
森 林 面 積 (ha)	634,387	395,963	238,425
森 林 蓄 積 量 (千m <sup>3</sup> )	127,949	74,334	53,615
針 葉 樹 (〃)	82,228	39,935	42,293
スギ (〃)	51,965	20,567	31,398
アカマツ (〃)	9,428	2,375	7,053
クロマツ (〃)	2,951	888	2,063
ヒノキ (〃)	13,456	13,197	259
カラマツ (〃)	3,897	2,390	1,507
そ の 他 (〃)	531	519	13
広 葉 樹 (〃)	45,715	34,392	11,322
無立木地、除地等 (〃)	7	7	0
1 ha 当 たり 蓄 積 (m <sup>3</sup> /ha)	202	188	225

※国有林には官行造林を含む。

資料：県農林水産部

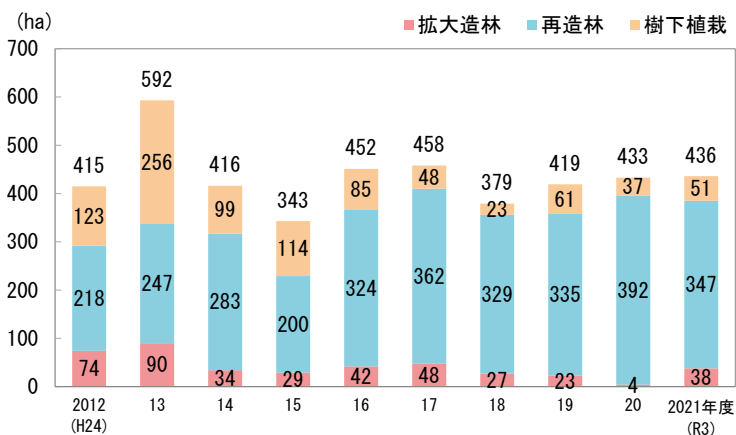
※単位未満の四捨五入の関係で、合計と内訳が一致しない。

### イ 森林の造成状況の推移

木材価格の長期低迷や、林業諸経費の増大等により、民有林造林面積は1970年の6,054haをピークに減少し、近年は300～500ha台で推移している。

民有林の再造林は、6年連続で300haを超えている。(図9)

図9 民有林造林実績の推移



### ウ 企業の森づくりの状況

企業の社会貢献活動の一環として、森林整備（企業の森づくり）の取組が各地で進んでいる。本県においても、企業等が森林整備・保全活動に参加しやすい環

境を整備するため、企業等への情報提供や森林所有者との調整などを行っており、これまで、23の県内企業等と森林づくり協定を締結している。

さらに、2018年度からは、企業等が持つ様々な技術・知識を活用し、森林・林業の魅力発信や担い手の確保・育成など、間接的に将来の安定的な森林整備につながる取組についても対象とし、これまで3企業と協定を締結している。

### ⑨ 有害鳥獣の状況

ツキノワグマの出没件数は増加傾向にあり、特に2016年度から急増し、400件数以上で推移している。ニホンジカやイノシシは全国で生息数が増加しており、本県においては、絶滅したとされていたが、近年目撃頭数が増加している。(表10)

このほか、ニホンザルやアライグマ等による農作物被害が発生しており、被害拡大が懸念されている。

表10 ツキノワグマ、ニホンジカ及びイノシシの目撃・捕獲数

獣類	年度	(頭)				
		2017	2018	2019	2020	2021年度 (R3)
ツキノワグマ	出没件数	424	395	450	423	438
	有害捕獲数	260	152	301	163	209
ニホンジカ	目撃頭数	222	216	350	382	428
	捕獲等数※	52	49	60	104	165
イノシシ	目撃頭数	20	18	10	61	115
	捕獲等数※	0	1	3	13	27

※捕獲等にはロードキル等による死亡個体を含む

資料：県環境生活部

### ⑩ 狩猟免許取得者の状況

狩猟免許の新規取得者は年々増加傾向であったが、2021年度は128名と減少した。(表11)

表11 狩猟免許取得者数

区分	網	わな	第1種 猟銃	第2種 猟銃	(人)		
					計		
					(新規)	(女性)	
2017	56	370	1,192	16	1,634	151	66
2018	74	418	1,122	13	1,627	145	70
2019	79	448	1,125	15	1,667	168	68
2020	87	514	1,169	15	1,785	224	74
2021年度 (R3)	83	461	988	11	1,543	128	73

資料：県環境生活部

## (2) 脱炭素・循環

	青森県（全国順位）	全国
1人1日当たりのごみの排出量（2020年度）	993g（43位）	901g
ごみのリサイクル率（ ” ）	14.0%（42位）	20.0%
1人1日当たりのごみの最終処分量（ ” ）	120g（43位）	79g

資料：県環境生活部

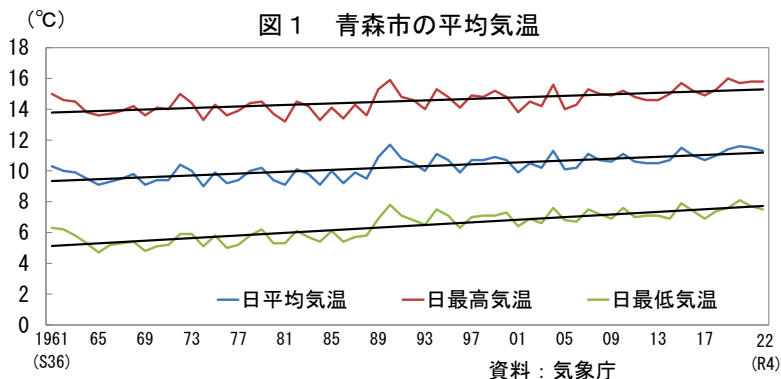
### ① 地球温暖化対策

#### ア 本県における影響

青森市の年平均気温は100年あたり1.9℃の割合で上昇しているほか、夏日日数は10年あたり3.2日の割合で増加、冬日日数は10年あたり3.5日の割合で減少しており、本県においても、地球温暖化による気候変動が生じている。

#### (図1)

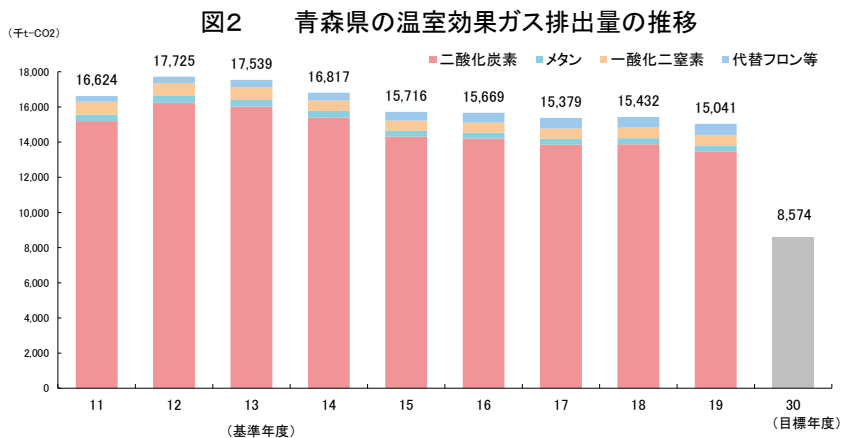
地球温暖化は、熱中症や感染症の増加など県民の健康や、リンゴ栽培適地の移動など農林水産業への影響があるほか、本県の貴重な自然資源が失われていく原因にもなる。



#### イ 本県の温室効果ガス排出量の現況

全国の傾向と同様、2010年度以降は上昇傾向で、2013年度以降概ね減少傾向に転じており、2019年度は15,041千t-CO<sub>2</sub>と前年度比2.5%の減少となった。また、青森県地球温暖化対策推進計画の基準年度である2013年度比では14.2%の減少となっている。

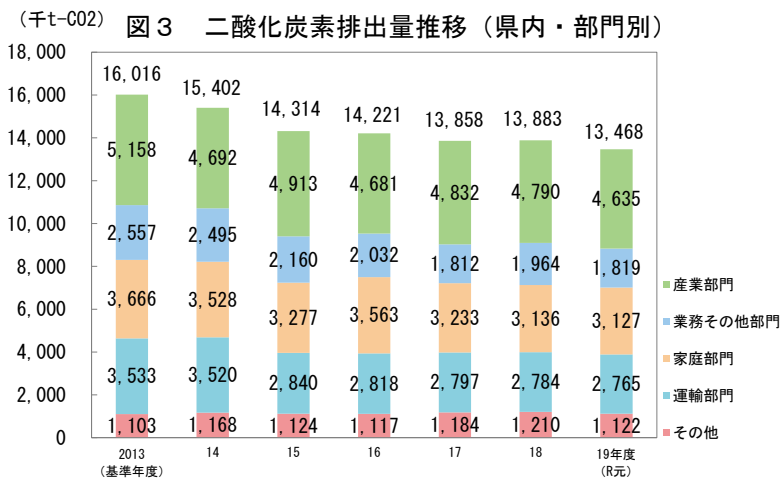
2030年度の目標値達成に向け、引き続き温室効果ガスの排出抑制対策を強化していく必要がある。(次頁図2)



資料：県環境生活部「青森県地球温暖化対策推進計画」、「青森県における2019年度（令和元年度）温室効果ガス排出状況について」を基に県企画政策部が作成

温室効果ガス排出量のうち二酸化炭素排出量の推移を見ると 2019 年度は 13,468 千 t-CO<sub>2</sub> で、前年度比で 3.0% 減少、計画の基準年度である 2013 年度比で 15.9% 減少している。(図3)

2013 年度と比較すると、産業部門が 10.1%、業務その他部門が 28.9%、家庭部門が 14.7%、運輸部門が 21.7% の減少となっている。



資料：県環境生活部

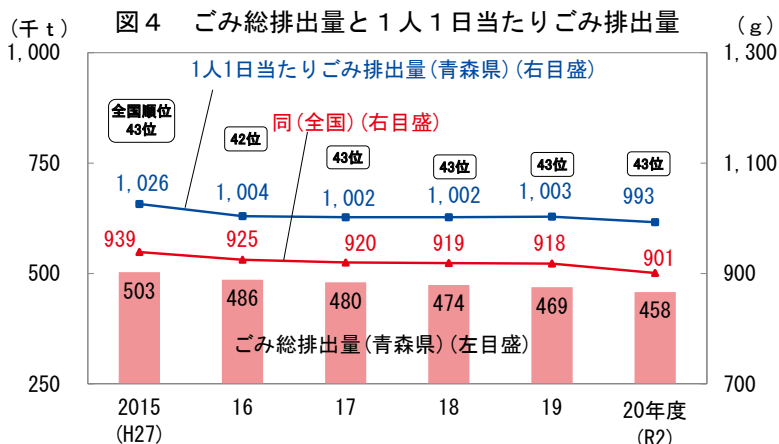
※端数処理により内訳と合計は必ずしも一致しない

## ② 廃棄物・リサイクル

### ア ごみ（一般廃棄物）の排出量

本県のごみ排出量は、年々減少しており、2020年度実績では45万7,849tと前年度と比較して約2.5%減少している。

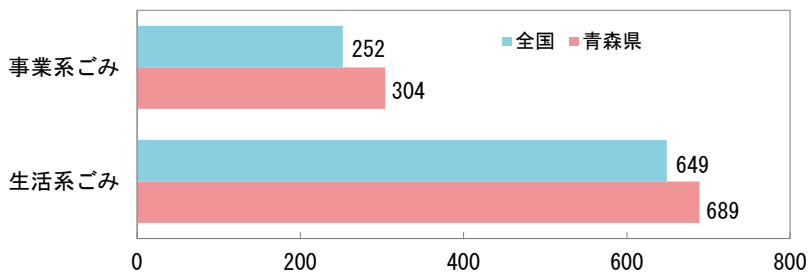
県民1人1日当たりのごみ排出量は993gで、全国値の901gより92g多く、依然として全国値よりも多い状況が続いている。（図4）



資料：県環境生活部「一般廃棄物処理事業実態調査結果について」

内訳では、生活系ごみ・事業系ごみのいずれも全国値と比べて多くなっている。（図5）

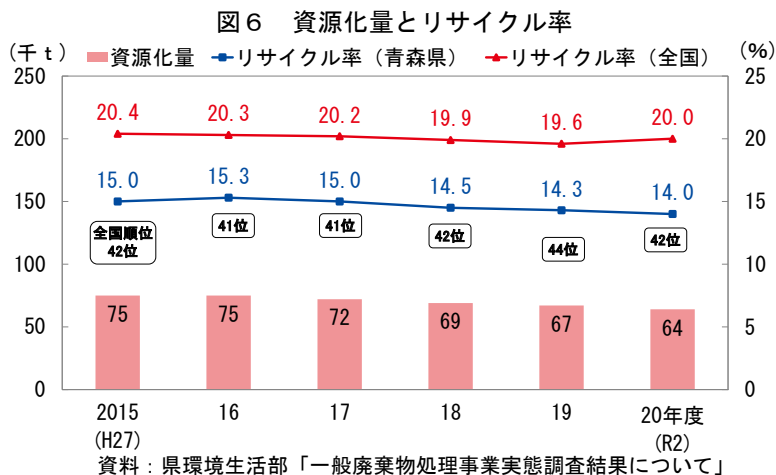
図5 1人1日当たりのごみ排出量の内訳（2020年度）



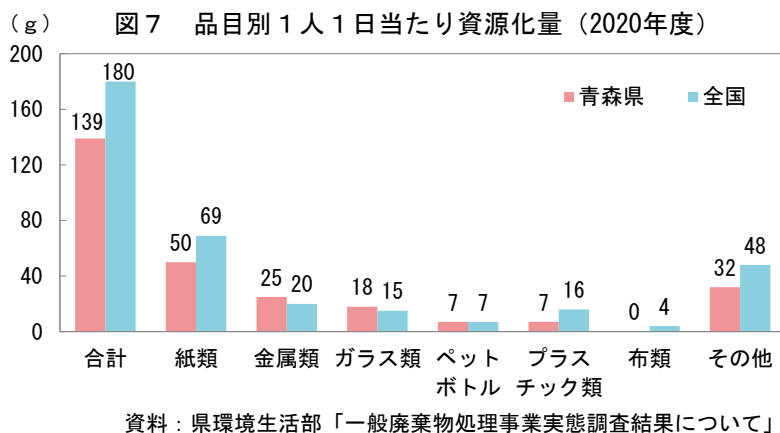
資料：県環境生活部「一般廃棄物処理事業実態調査結果について」（g）を基に県企画政策部が作成

## イ リサイクルの状況

2020年度の本県のごみの総資源化量は6万4,291tであり、前年度と比較して約4.3%減少している。リサイクル率は14.0%で、前年度に比べ0.3ポイント低下し、全国値の20.0%と比べると6.0ポイント低く、依然として全国との差は大きい。(図6)



1人1日当たりの種類別の資源化量を全国と比較すると、紙類、プラスチック類について大きな開きが見られる。(図7)



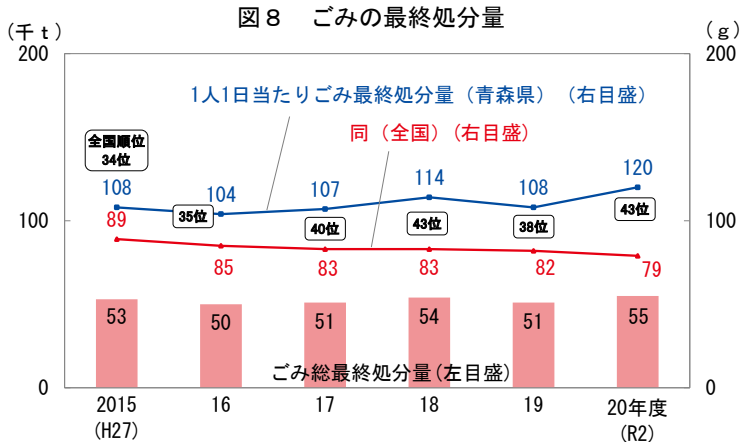


### ウ ごみの最終処分量の状況

不燃ごみや、ごみを焼却した後の燃え殻などは最終処分される。

2020年度における本県のごみ総最終処分量は、5万5,207tと前年度と比較して約8.9%増加している。

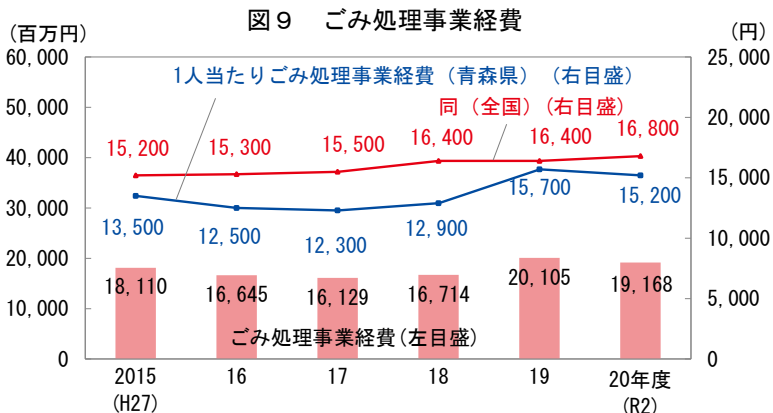
県民1人1日当たりのごみ最終処分量は120gで、前年度に比べ12g減少しているが、全国値の79gと比べて41g多く、全国値よりも多い状況が続いている。(図8)



資料：県環境生活部「一般廃棄物処理事業実態調査結果について」

### エ ごみ処理経費

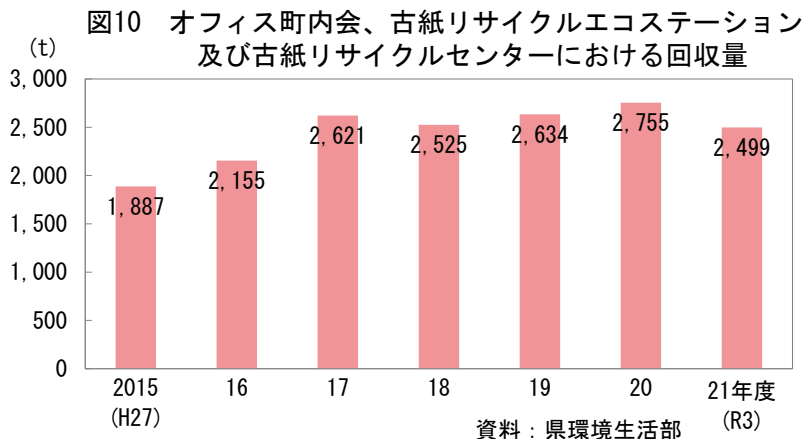
2020年度における県内市町村（一部事務組合含む。）の一般廃棄物処理事業経費のうち、ごみ処理事業経費は19,167,801千円、処理対象人口1人当たりの年間のごみ処理経費は約15,200円となっている。(図9)



資料：県環境生活部「一般廃棄物処理事業実態調査結果について」

## オ 民間事業者等における取組

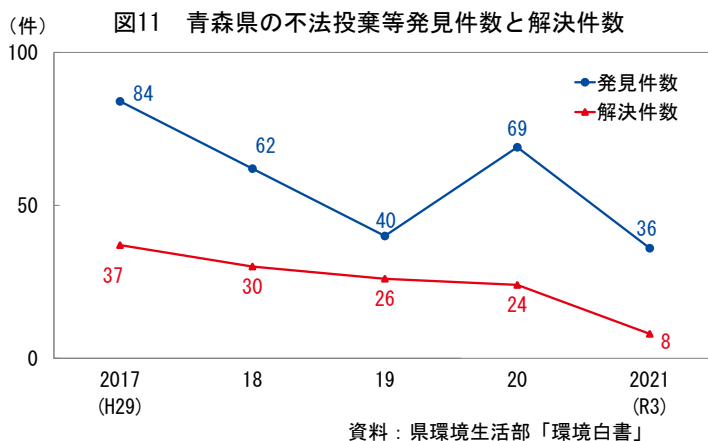
行政による集団回収のほか、レジ袋の無料配布取りやめ、オフィス町内会の設立、古紙リサイクルエコステーションや古紙リサイクルセンターの設置など、民間事業者等によるごみ削減やリサイクルの取組が進んでいる。(図10)



## カ 産業廃棄物の不法投棄等の状況

県内の産業廃棄物の不法投棄等発見件数は近年減少傾向であり、そのため、発見件数のうち、発見した年度内に解決された件数も減少傾向である。(図11)

なお、県境不法投棄事案については、樹木の管理などの「自然再生」、跡地の利活用による「地域の振興」、処理施設等における資料展示やウェブによる「情報発信」の3つの方向性から、跡地の環境再生に向けた施策を展開している。



## 4 教育・人づくり分野

### (1) 教育

高等学校卒業生（全日制・定時制課程）の大学等進学率（2022年3月卒）

青森県 52.1%（男 49.8% 女 54.4%） 全国平均 59.5%

高等学校卒業生（全日制・定時制課程）の就職率（ " ）

青森県 24.2%（男 29.9% 女 18.3%） 全国平均 14.7%

就職者のうち県内就職割合 62.6% 県外就職割合 37.4%

※大学等進学率は、大学・短期大学の通信教育部への進学者を含む。

資料：文部科学省「学校基本調査」

#### ① 学校数・在学者数・教員数の推移

少子化に伴い、県内の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校の園児・児童・生徒数は年々減少している。なお、2015年4月の制度改正により新設された「幼保連携型認定こども園」については、既存の幼稚園や保育所からの移行が進み、年々増加している。（表1）

表1 学校数・在学者数・教員数

（単位：校、人）

区 分	17 (H29)	18	19	20	21	2022年度 (R4)	
幼稚園	園 数	94	88	88	87	86	85
	園児数	5,734	5,078	4,877	4,632	4,287	3,820
	教員数	678	619	637	636	665	643
幼保連携型 認定こども園	園 数	182	209	233	239	245	247
	園児数	15,274	17,338	18,828	18,875	18,884	18,650
	教員数	2,945	3,353	3,748	3,843	3,923	3,890
小学校	学校数	289	287	282	269	263	259
	児童数	59,233	58,394	56,886	55,717	54,460	53,644
	教員数	4,753	4,749	4,677	4,536	4,464	4,444
中学校	学校数	161	162	160	159	157	156
	生徒数	33,921	32,137	31,052	30,206	29,940	29,042
	教員数	3,148	3,068	3,030	3,001	2,970	2,945
高等学校	学校数	78	77	76	77	77	71
	生徒数	36,327	35,350	34,117	32,658	31,087	29,937
	教員数	3,107	3,082	3,039	2,999	2,893	2,758
特別支援 学校	学校数	21	21	21	21	21	21
	生徒数	1,650	1,664	1,693	1,700	1,674	1,661
	教員数	1,068	1,061	1,065	1,084	1,097	1,094

※ 高等学校では全日制、定時制、通信制について記載。併置している学校は1校として計上している。

※ 高等学校・特別支援学校の生徒数は専攻科を除いている。

※ 特別支援学校の生徒数には、幼児・児童・生徒が含まれている。

※ 表中の教員数は本務者のみ計上している。

資料：文部科学省「学校基本調査」

## ② 県立高等学校の規模等（学科、定員）

表2 2023年度県立高等学校全日制・定時制・通信制・八戸水産専攻科 募集人員

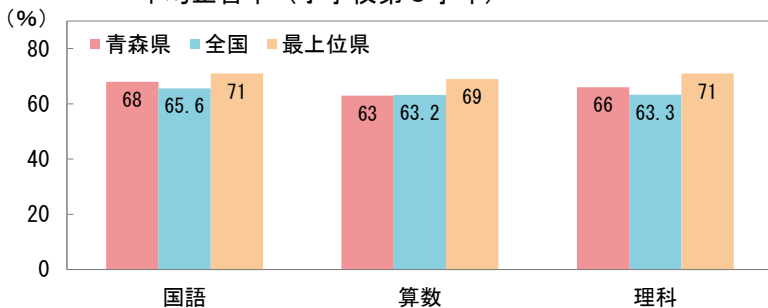
学校名	学科	募集人員(人)	学校名	学科	募集人員(人)	学校名	学科	募集人員(人)
青森	普通	240	柏木農業	生物生産	35	田名部	普通	200
青森西	普通	240		環境工学	35	大湊	総合	160
青森東	普通	240		食品科学	35	大間	普通	70
青森北	普通	160		生活科学	35	むつ工業	機械	35
	スポーツ科学	40	弘前工業	機械	35		電気	35
青森南	普通	160		電気	35		設備・エネルギー	35
	外国語	40		電子	35	八戸	普通	240
青森中央	総合	200		情報技術	35	八戸東	普通	200
浪岡	普通	70		土木	35		表	30
青森工業	機械	35		建築	35	八戸北	普通	240
	電気	35	弘前実業	商業	80	八戸西	普通	200
	電子	35		情報処理	40		スポーツ科学	40
	情報技術	35		家庭科学	40	三戸	普通	40
	建築	35		服飾デザイン	40	名久井農業	生物生産	35
	都市環境	35		スポーツ科学	40		環境システム	35
青森商業	商業	160	三本木	普通	240	八戸水産	海洋生産	35
	情報処理	40		普通	240		水産食品	35
五所川原	普通	160	野辺地	普通	80		水産工学	35
	理数	40	七戸	総合	120	八戸工業	機械	35
木造	総合	160	百石	普通	80		電気	35
鱒ヶ沢	普通	40		食物調理	40		電子	35
五所川原農林	生物生産	35	六ヶ所	普通	40		土木	35
	森林科学	35	三本木農業恵拓	普通	70		建築	35
	環境土木	35		植物科学	35		材料技術	35
	食品科学	35		動物科学	35	八戸商業	商業	80
五所川原工科	普通	70		環境工学	35		情報処理	40
	機械	35		食品科学	35	県立全日制計 7,325		
	電子機械	35	十和田工業	機械・エネルギー	35	北斗	普通(午前)	40
	電気	35		電気	35		普通(午後)	40
弘前	普通	240		電子	35		普通(夜間)	40
弘前中央	普通	240		建築	35	五所川原	普通(夜間)	40
弘前南	普通	200	三沢商業	商業	80	尾上総合	総合(I部)	40
黒石	普通	120		情報処理	40		総合(II部)	40
	情報デザイン	40					総合(III部)	40
	看護	40				三沢	普通(夜間)	40
						田名部	普通(夜間)	40
						八戸中央	普通(午前)	40
							普通(午後)	40
							普通(夜間)	40
						県立定時制計 480		
						北斗	普通	200
						尾上総合	普通	150
						八戸中央	普通	150
						県立通信制計 500		
						八戸水産	漁業	10
							機関	10
						八戸水産専攻科計 20		

資料：県教育庁

### ③ 全国学力・学習状況調査に見る本県の児童生徒の学力

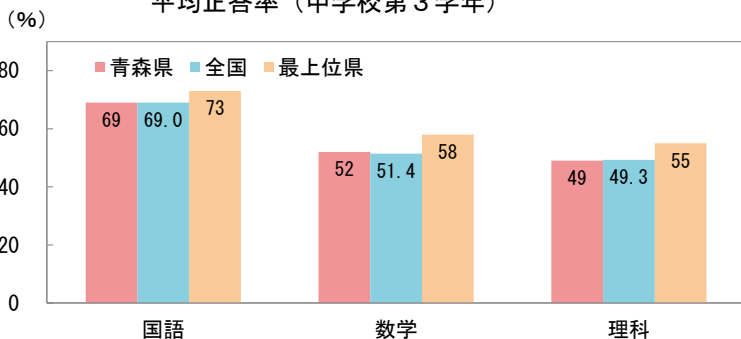
2022年度における本県公立小・中学校の児童生徒の学力は、教科に関する調査（対象：小学校第6学年及び中学校第3学年）の平均正答率を比較すると、小学校は国語及び理科が全国の平均正答率を上回り、算数は全国の平均正答率と同程度であり、中学校は国語、数学及び理科が全国の平均正答率と同程度である。（図3、図4）

図3 令和4年度全国学力・学習状況調査における平均正答率（小学校第6学年）



資料：国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」

図4 令和4年度全国学力・学習状況調査における平均正答率（中学校第3学年）

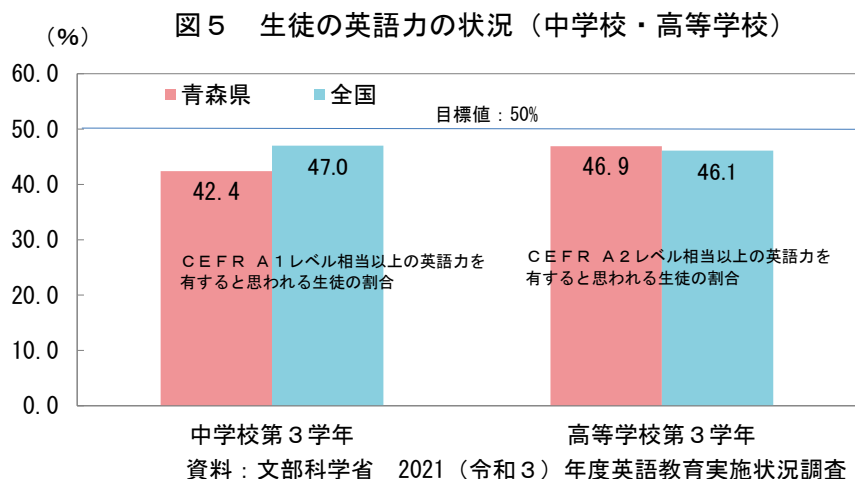


資料：国立教育政策研究所「全国学力・学習状況調査」

#### ④ 本県の生徒の英語力の状況

本県の中学校第3学年に属する生徒のうちCEFR<sup>※</sup> A1レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合は全国平均より低くなっている。高等学校第3学年に属する生徒のうちCEFR A2レベル相当以上の英語力を有すると思われる生徒の割合は全国平均より高いが、国の掲げる目標値（50%）には達していない。（図5）

※ CEFR：外国語の学習、教授、評価のためのヨーロッパ共通参照枠。A1レベルは実用英語技能検定における準2級～3級相当、A2レベルは同検定における2級～準2級相当。

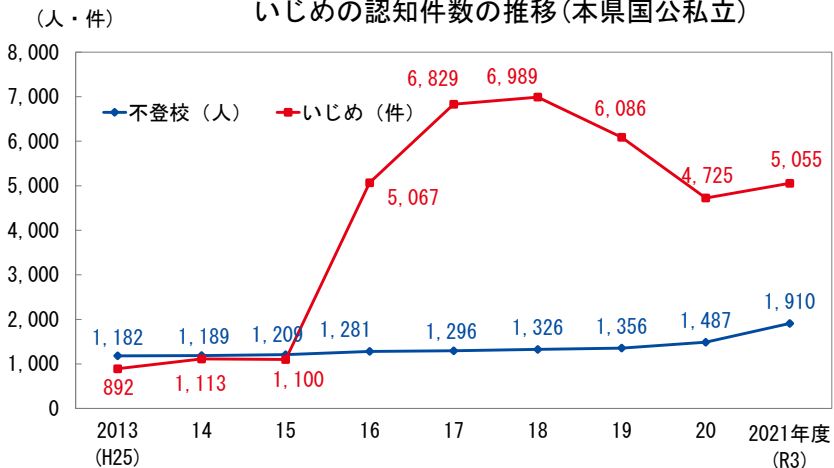


### ⑤ 本県の児童生徒のいじめ・不登校の状況

本県小・中学校における不登校児童生徒数は、2013年以降、増加傾向にある。

また、小・中学校におけるいじめの認知件数は、いじめの早期発見や積極的な認知を働きかけてきたところ、2016年度から大幅に増加した。2019年度から減少に転じたものの、2021年度は再び増加した。いじめの早期発見・解消に向けては、スクールカウンセラーの配置など相談体制の充実に取り組んでいる。(図6、表7)

図6 小・中学校における不登校児童生徒数、  
いじめの認知件数の推移(本県国公立)



資料: 文部科学省「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」

表7 スクールカウンセラー配置・派遣学校数及び延べ相談者数(公立小・中学校)

年度	2013 (H25)	14	15	16	17	18	19	2020	2021 (R3)
スクールカウンセラー配置・派遣学校数(校)	126	144	161	186	275	360	430	416	401
スクールカウンセラー延べ相談者数(人)	12,205	15,148	17,293	21,881	24,301	24,104	20,449	22,244	23,244

資料: 県教育庁

## ⑥ 職場体験・インターンシップ実施状況

公立中学校の職場体験実施率は2019年度において96.8%と前年度より増加した。年間5日以上実施率は2.0%と前年度より3.3ポイント減少し、全国平均を大きく下回っている。

また、公立高等学校におけるインターンシップ実施校の割合は前年度より増加したものの、全国平均を下回る状況が続いている。(表8)

※2020年度以降は新型コロナウイルス感染症に係る学校教育への影響等を考慮し、調査実施が見送られている。

表8 職場体験・インターンシップ実施状況

(単位：校、%)

区 分	2015 (H27)	16	17	18	2019年度 (R1)
職場体験実施校(青森県)	157	153	153	150	149
職場体験実施率(青森県)	98.1	95.6	98.1	96.2	96.8
職場体験実施率(全国)	98.3	98.1	98.6	97.7	97.9
年間5日以上実施率(青森県)	5.1	5.2	3.9	5.3	2.0
年間5日以上実施率(全国)	12.7	12.8	12.2	11.9	13.9
インターンシップ実施校(青森県)	54	51	52	51	53
インターンシップ実施率(青森県)	77.1	73.9	77.6	77.3	81.5
インターンシップ実施率(全国)	81.8	83.7	84.8	84.9	85.0

※ 職場体験は公立中学校、インターンシップは公立高等学校(全日制・定時制)の実施状況。

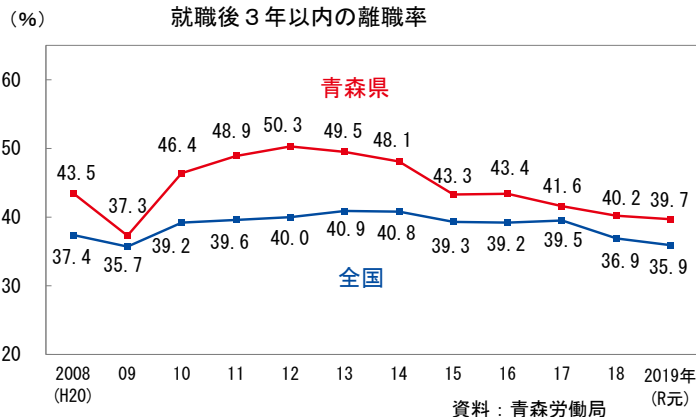
※ 実施率は学校数に対する実施校の割合。

資料：国立教育政策研究所「職場体験・インターンシップ実施状況等調査」

## ⑦ 県内企業における新規高等学校卒業者の離職率

県内企業における新規高等学校卒業者の就職後3年以内の離職率は、2012年以降減少傾向にあるが、全国平均より高い状況が続いている。(図9)

図9 県内企業における新規高等学校卒業者の就職後3年以内の離職率





## ⑧ 高等学校卒業者の大学等進学率・就職率

近年、本県の高等学校卒業者の大学等進学率・就職率は、全国と同様大学等進学率は上昇傾向、就職率は減少傾向にある。2022年3月卒の生徒は全国的に大学等へ進学する傾向が高まったが、本県においてはその傾向がより強く表れている。

本県では経済的な要因等もあり、高等学校卒業後に就職を希望する生徒の割合が高いが、一方で景気動向などの経済情勢の変化や、企業の雇用環境の動向などにより、大学等進学率・就職率に変動が見られる。(図10、図11)

図10 高等学校卒業者の大学等進学率

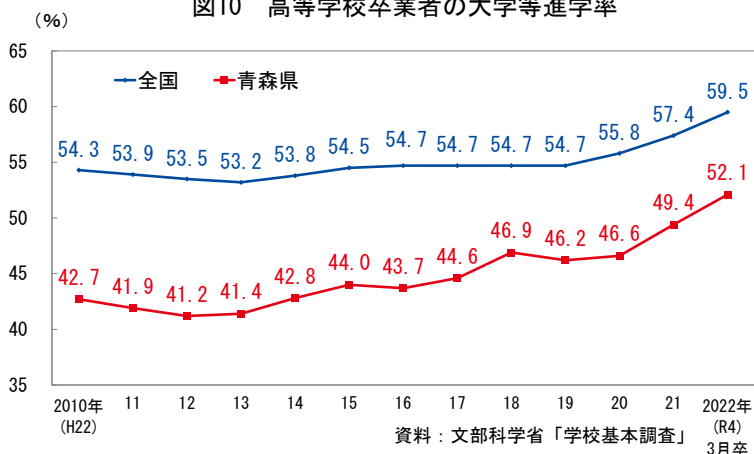
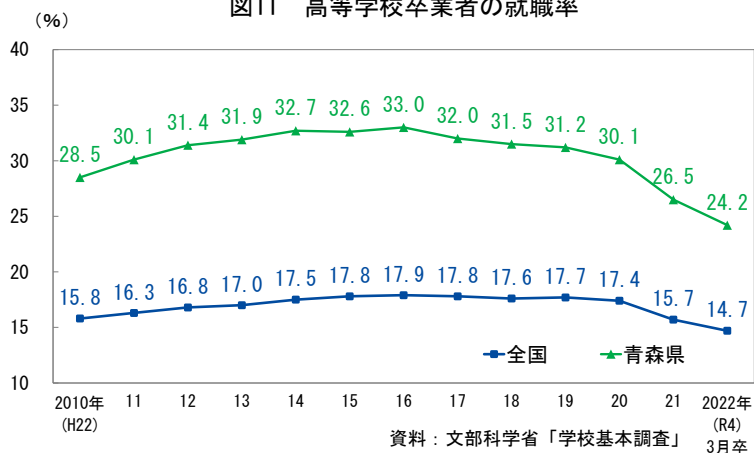


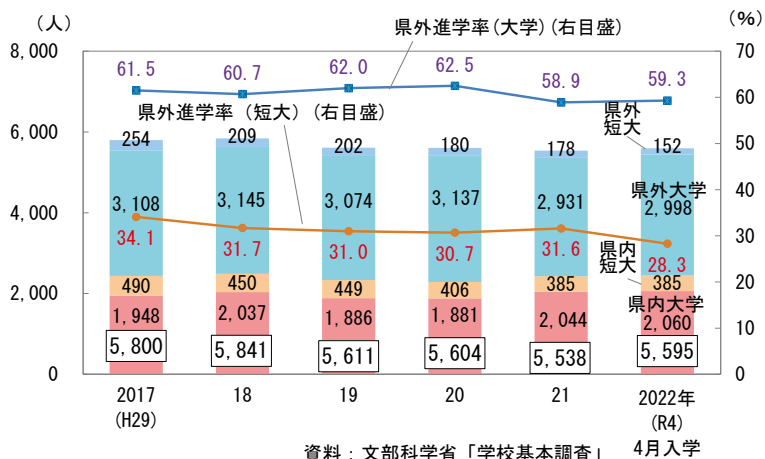
図11 高等学校卒業者の就職率



### ⑨ 県内高校出身者の大学・短期大学への入学状況

県内の高等学校を卒業し、2022年4月に大学・短期大学へ入学した者は、5,595人であり、前年から57人増加した。大学入学者の県外進学率は、近年60%程度となっている。(図12)

図12 県内高校出身者の大学・短大への入学状況



資料：文部科学省「学校基本調査」 4月入学

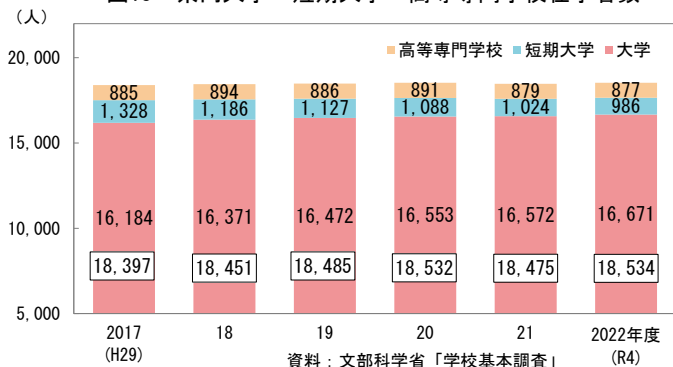
### ⑩ 高等教育機関在学者数の推移

2022年度の県内の大学等の高等教育機関数は、大学が10校（県外に本部を置く北里大学を除く）、短期大学が5校、高等専門学校が1校の計16校、在学者数は1万8,534人となっている。

県内の高等教育機関在学者数は、おおむね1万8,000人台で推移している。

(図13、次頁表14)

図13 県内大学・短期大学・高等専門学校在学者数



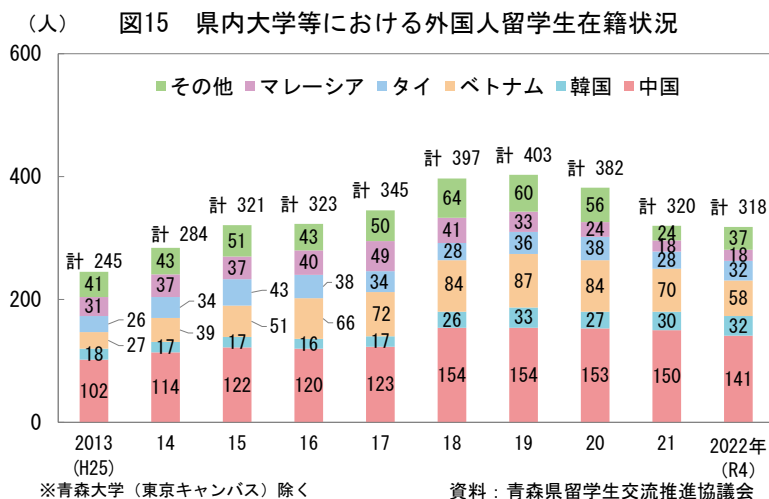
資料：文部科学省「学校基本調査」

表14 青森県内の大学・短期大学等(2023年4月現在)

区分	名称	学 部	学 科	
大 学	弘前大学	人文社会科学部 教育学部 医学部 理工学部	文化創生課程、社会経営課程 学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程 医学科、保健学科、心理支援科学科 数物科学科、物質創成化学科、地球環境防災学科、 電子情報工学科、機械科学科、自然エネルギー学科 生物学科、分子生命科学科、食料資源学科、 国際園芸農学科、地域環境工学科	
		農学生命科学部	人文社会科学専攻 教職実践専攻(専門職学位課程) 医科学専攻 保健学専攻 理工学専攻 機能創成科学専攻、安全システム工学専攻 農学生命科学専攻 地域社会専攻 地域リノベーション専攻、産業創成科学専攻 生物生産科学専攻、生物資源科学専攻、 地域環境創生学専攻	
	(大学院)	人文社会科学研究科(修士課程) 教育学研究科(専門職学位課程) 医学研究科(博士課程) 保健学研究科(博士前期/後期課程) 理工学研究科(博士前期課程) 理工学研究科(博士後期課程) 農学生命科学研究科(修士課程) 地域社会研究科(後期3年博士課程) 地域共創科学研究科(修士課程) 岩手大学大学院連合農学研究科(博士後期課程)		
	青森県立保健大学 (大学院)	健康科学部 健康科学研究科(博士前期/後期課程)	看護学科、理学療法学科、社会福祉学科、栄養学科 健康科学専攻	
	青森公立大学 (大学院)	経営経済学部 経営経済学研究科(博士前期/後期課程)	経営学科、経済学科、地域みらい学科 経営経済学専攻	
	北里大学 (大学院)	獣医学部 獣医学系研究科(修士課程) 獣医学系研究科(博士課程)	獣医学科、動物資源科学科、生物環境科学科 動物資源科学専攻、生物環境科学専攻 獣医学専攻、動物資源科学専攻	
	青森大学	総合経営学部 社会学部 ソフトウェア情報学部 薬学部	経営学科 社会学科 ソフトウェア情報学科 薬学科	
	青森中央学院大学 (大学院)	経営法学部 看護学部 地域マネジメント研究科(修士課程)	経営法学科 看護学科 地域マネジメント専攻	
	私 立	柴田学園大学	生活創生学部	健康栄養学科、こども発達学科、フードマネジメント学科
	大 学	弘前学院大学	文学部 社会福祉学部 看護学部	英語・英米文学科、日本語・日本文学科 社会福祉学科 看護学科
(大学院)			文学研究科(修士課程) 社会福祉学研究科(修士課程)	日本文学専攻 人間福祉専攻
弘前医療福祉大学		保健学部	看護学科 医療技術学科(作業療法学専攻、言語聴覚学専攻)	
八戸工業大学 (大学院)		工学部 感性デザイン学部 工学研究科(博士前期/後期課程)	工学科 感性デザイン学科 機械・生物化学工学専攻 電子電気・情報工学専攻 社会基盤工学専攻	
八戸学院大学		地域経営学部 健康医療学部	地域経営学科 人間健康学科、看護学科	
短 期 大 学		青森明の星短期大学		子ども福祉未来学科
大 学	青森中央短期大学		食物栄養学科、幼児保育学科、専攻福祉専攻	
	柴田学園大学短期大学部		生活科、保育科	
	弘前医療福祉大学短期大学部		救急救命学科、介護福祉学科、口腔衛生学科	
	八戸学院短期大学部		幼児保育学科、介護福祉学科	
独立行政法人国立高等専門学校機構	八戸工業高等専門学校		産業システム工学科(本科) 産業システム工学専攻(専攻科)	

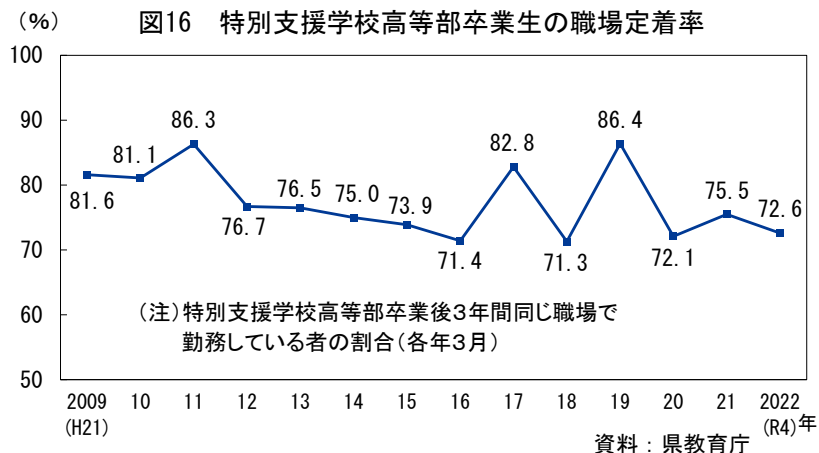
## ⑪ 留学生の在学状況

県内の大学、短期大学、高等専門学校に在籍する外国人留学生は2022年5月1日現在で318人となっており、うち中国からの留学生が全体の44.3%を占めている。教育機関のPR強化等により、2013年以降増加傾向にあり、東日本大震災前の水準に回復していたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う入国制限が影響し、2020年以降は減少が続いている。(図15)



## ⑫ 特別支援学校高等部卒業生の職場定着率

特別支援学校高等部卒業生の職場定着率は、70%以上を維持している。(図16)

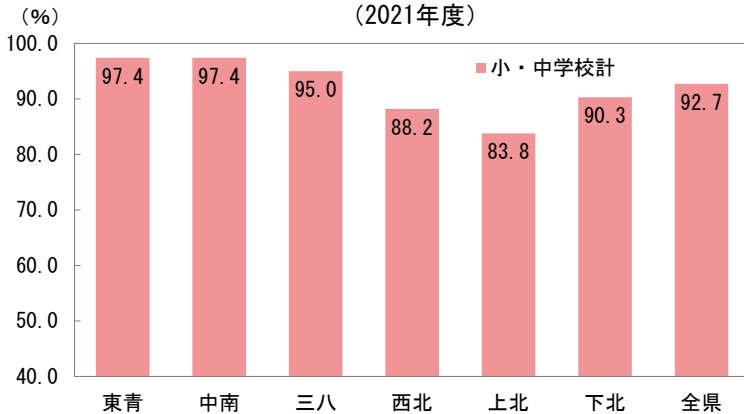


### ⑬ 地域学校協働活動の実施状況

県内の公立小・中学校で、地域学校協働活動を実施している割合は、2021年度において92.7%であり、地域ぐるみの協働活動が広がっている。(図17)

地域学校協働活動の内容は、割合の高い順に「校内外の見まわり、登下校の見守り」(48.2%)、「総合的な学習の時間の指導」(47.9%)、「健康安全・体育的行事の補助」(47.4%)となっている。

図17 県内小・中学校における地域学校協働活動の実施状況 (2021年度)



資料：県教育庁「学校と地域との連携に関するアンケート調査」

### ⑭ 図書館の利用状況

2022年4月1日現在、県内には35の図書館がある。図書を借用して館外に持ち出した者(帯出者)の延べ人数は、2008年度と比較して2018年度は14.4%減少しているが、貸出冊数は1.4%増加している。(表18)

表18 図書館の利用状況

区分	2008	2011	2015	2018年度
登録者数(人)	190,338	180,394	140,097	131,531
うち児童	16,470	22,861	16,871	15,939
帯出者数(人)	1,142,932	1,158,017	1,031,890	978,462
うち児童	161,252	144,897	154,779	135,843
貸出冊数(冊)	3,550,526	3,633,237	3,573,857	3,599,813
うち児童書	633,814	650,672	739,471	908,526

※ 登録者数、帯出者数等で児童数内訳を把握できない図書館あり。

資料：文部科学省「社会教育調査」

## (2) 人づくり、移住・交流

移住相談・情報提供件数（2021年度）	12,854件	
在留外国人数	青森県	全国
（2021年末）	5,693人（男2,197,女3,496）	276万635人
うち中国	888人（男313,女575）	71万6,606人
韓国	699人（男330,女369）	40万9,855人
ベトナム	1,827人（男592,女1,235）	43万2,934人

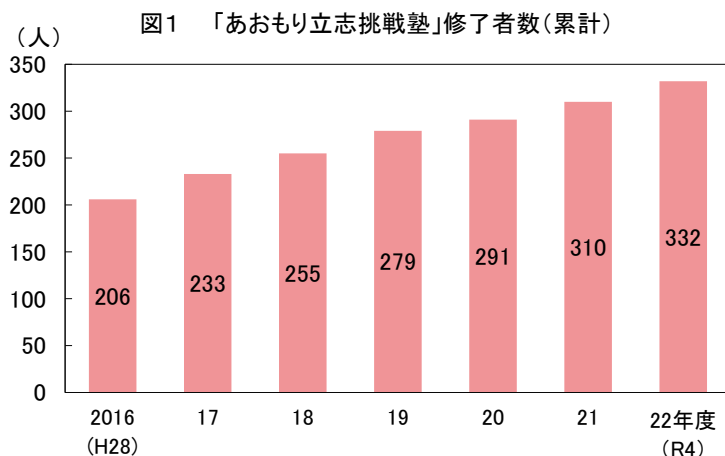
資料：県企画政策部、法務省「在留外国人統計」

### ① あおもり立志挑戦塾の修了者数

「あおもり立志挑戦塾」（寺島実郎塾長）は、本県の経済や地域づくりをけん引していく気概とチャレンジ精神、自由で柔軟な発想力、そして広い視野を持って、何事にも果敢に挑戦していく人材の育成とネットワークづくりを目的に、20～30代の県内社会人を対象に開催される人材育成の取組である。

塾では、塾長や多彩な講師による講話や、同世代の仲間とのグループディスカッション等を通じて、自らが生涯を通じて達成を目指す「人生の志」を立てるなど、自らの人生観や新たな世界観を広げ、成長する場を提供している。

2008年からこれまでに332名（1期～15期生）が塾を修了しており、「あおもり立志挑戦の会」（ARC）を設立し、地域貢献活動を行うなど、県内各地域・各分野で活躍している。（図1）



資料：県企画政策部

## ② 首都圏における移住・相談窓口の設置状況

本県の首都圏における情報発信と移住相談窓口として「青森暮らしサポートセンター」を東京都内に設置し、専属の移住相談員による常時の相談体制を整えるとともに、首都圏等においてセミナーを開催するなど、移住・交流の促進に取り組んでいる。

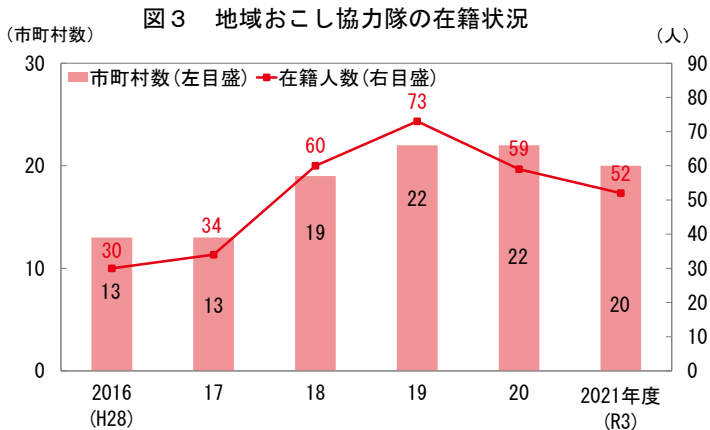
また、東青圏域、弘前市、八戸圏域、つがる市では、首都圏における相談窓口を設置している。(表2)

表2 移住・相談窓口の設置状況

対象エリア	名称	所在地
青森県全域	青森暮らしサポートセンター	東京交通会館 8階 (ふるさと回帰支援センター内)
東青圏域	AoMoLink ～赤坂～あおもり地域ビジネス交流センター	東京都港区赤坂
弘前市	ひろさき移住サポートセンター東京事務所	東京交通会館 6階
八戸圏域	八戸圏域連携中枢都市圏 観光・UIターン窓口	全国都市会館 5階 (八戸市東京事務所内)
	八戸都市圏交流プラザ8base	東京都千代田区内幸町
つがる市	つがる市東京事務所	東京都新宿区神楽坂

## ③ 地域おこし協力隊の在籍状況

2022年3月末時点で、20市町村で52名の隊員が地域活動に従事している。(図3)



※ 在籍状況は、各年度3月末時点の在籍状況。

※ 地域おこし協力隊：都市地域から過疎地域等へ生活の拠点を移し、おおむね1年以上3年以下の期間、地方自治体の委嘱を受けて地域で生活し、農林漁業の応援、住民の生活支援などの各種の地域活動に従事する者をいう。

#### ④ 外国人登録者数

県内外国人登録者数は近年増加傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年以降は減少し、2021年12月末時点で5,693人となっている。

国籍別の内訳は、アジア地域が全体の88.4%を占め、ベトナム、中国、韓国・朝鮮の割合が大きくなっている。近年、ベトナムの伸びが大きく、2018年以降、中国を抜いて1位となっている。(表4)

表4 県内主要国籍別外国人登録者数

(単位：人)

地域・国	2016年 (H28)	17年	18年	19年	2020年	2021年 (R3)
アジア	3,922	4,472	5,069	5,676	5,547	5,035
中国	1,106	1,217	1,285	1,335	1,139	888
韓国・朝鮮	844	838	845	855	781	757
フィリピン	551	589	656	736	732	727
ベトナム	771	1,093	1,502	1,896	2,007	1,827
その他	650	735	781	854	888	836
ヨーロッパ	131	123	141	147	124	138
北アメリカ	425	434	448	438	389	419
南アメリカ	38	37	63	65	48	44
オセアニア	30	35	46	43	35	37
アフリカ	21	19	18	17	20	20
無国籍	1	1	1	0	2	0
計	4,568	5,121	5,786	6,386	6,165	5,693

資料：法務省「在留外国人統計」

在留資格別に内訳を見ると、永住・定住を除き技能実習の割合が最も多く、2019年までは大きく伸びていたが、2020年以降は新型コロナウイルス感染症の影響により減少傾向にある。同様に他の在留資格においても、2020年以降の伸び率は減少傾向にある。(次頁表5)



表5 県内在留資格別外国人登録者数

(単位：人)

在留資格	2016年 (H28)	17年	18年	19年	2020年	2021年 (R3)	構成比	対前年
							(%)	伸び率 (%)
留学	352	384	414	438	311	251	4.4	△ 19.3
技能実習	1,271	1,650	2,099	2,552	2,354	1,835	32.2	△ 22.0
高度専門職(※2015年新設)	3	6	12	10	11	13	0.2	18.2
技能	81	67	55	49	47	42	0.7	△ 10.6
技術・人文知識・国際業務	151	188	247	337	344	337	5.9	△ 2.0
教育	143	144	159	164	130	158	2.8	21.5
教授	15	14	17	18	19	13	0.2	△ 31.6
永住・定住	2,232	2,242	2,268	2,295	2,206	2,212	38.9	0.3
その他	320	426	515	523	743	832	14.6	12.0
計	4,568	5,121	5,786	6,386	6,165	5,693	100.0	△ 7.7

資料：法務省「在留外国人統計」

※在留資格者の該当例

留学：大学、短期大学、高等専門学校、高等学校中学校及び小学校等の学生・生徒

技能実習：技能実習生

高度専門職：ポイント制による高度人材

技能：外国料理の調理師、スポーツ指導者、航空機の操縦者、貴金属等の加工職人等

技術・人文知識・国際業務：機械工学等の技術者、通訳、デザイナー、私企業の語学教師、マーケティング業務従事者等

教育：中学校・高等学校等の語学教師等

教授：大学教授等

永住・定住：法務大臣から永住の許可を受けた者、日本人の配偶者・子・特別養子、永住者・特別永住者の配偶者及び本邦で出生し引き続き在留している子、第三国定住難民、日系3世、中国在留邦人等

⑤ 本県の友好提携

本県の国際交流に係る協定等は、1980年にサンタ・カタリーナ州（ブラジル連邦共和国）、1992年にハバロフスク地方（ロシア連邦）、1994年にメーン州（アメリカ合衆国）、2002年にリグーリア州（イタリア共和国）、2004年に大連市（中華人民共和国）、2016年に済州特別自治道（大韓民国）及び台中市（台湾）、2017年に台南市（台湾）と締結している。

市町村では20市町村が友好提携（2022年12月現在）を結び、教育、文化、芸術など様々な分野で地域の特色を生かした交流を行っている。（次頁表6）

表6 県内自治体の姉妹・友好提携一覧

団体名	国名・地域	姉妹・友好提携先	提携年月日	
青森県	ブラジル連邦共和国	サンタ・カタリーナ州	1980. 10. 23	
	ロシア連邦	ハバロフスク地方	1992. 8. 27	
	アメリカ合衆国	メーン州	1994. 5. 25	
	イタリア共和国	リグーリア州	2002. 5. 7	
	中華人民共和国	遼寧省大連（ダイレン）市	2004. 12. 24	
	大韓民国	済州（チェジュ）特別自治道	2016. 8. 8	
	台湾	台中市 ※平川市を含む三者による協定	2016. 12. 14	
	台湾	台南市 ※弘前市を含む三者による覚書	2017. 12. 4	
市	青森市	ハンガリー共和国	バーチ・キシュクン県ケチケメート市	1994. 8. 4
		大韓民国	京畿道平澤（ピョンテク）市	1995. 8. 28
		中華人民共和国	遼寧省大連市	2004. 12. 24
		台湾	新竹県	2014. 10. 17
	弘前市	台湾	台南市 ※県を含む三者による覚書	2017. 12. 4
	八戸市	アメリカ合衆国	ワシントン州フェデラルウェイ市	1993. 8. 1
		中華人民共和国	甘肅省蘭州（ランシュウ）市	1998. 4. 14
	黒石市	アメリカ合衆国	ワシントン州ウエナッチ市	1971. 10. 5
		大韓民国	慶尚北道永川（ヨンチョン）市	1984. 8. 17
	三沢市	アメリカ合衆国	ワシントン州ウエナッチ市	1981. 10. 4
		アメリカ合衆国	ワシントン州東ウエナッチ市	2001. 8. 23
	むつ市	アメリカ合衆国	ワシントン州ポートエンジェルズ市	1995. 8. 14
	つがる市	アメリカ合衆国	メーン州パス市	2006. 7. 6
	平川市	台湾	台中市 ※県を含む三者による協定	2016. 12. 14
	鯉ヶ沢町	ブラジル連邦共和国	サンパウロ州サン・セバスチオン市	1984. 10. 26
	深浦町	フィンランド共和国	ラップランド州ラヌア郡	1990. 6. 26
	西目屋村	中華人民共和国	吉林省梨樹県葉赫満族鎮（ヨウカクマンゾクチン）	1985. 4. 29
	大鰐町	アメリカ合衆国	ミシガン州ノーバイ市	1991. 12. 20
	板柳町	アメリカ合衆国	ワシントン州ヤキマ市	1972. 2. 3
		中華人民共和国	北京市昌平（ショウヘイ）区	1993. 6. 23
鶴田町	アメリカ合衆国	オレゴン州フッドリバー市	1977. 7. 27	
七戸町	大韓民国	慶尚南道河東（ハドン）郡	1994. 11. 16	
六ヶ所村	ドイツ連邦共和国	メクレンブルク・フォアポンメルン州ヴァーレン市	1994. 4. 22	
大間町	台湾	雲林県虎尾鎮（コピチン）	1979. 10. 10	
三戸町	オーストラリア連邦	ニューサウスウェールズ州タムワース市	2001. 7. 5	
五戸町	フィリピン共和国	ヌエバ・ビスカヤ州バヨンボン町	1983. 12. 22	
	大韓民国	忠清北道沃川（オクチョン）郡	1997. 8. 28	
田子町	アメリカ合衆国	カリフォルニア州ギルロイ市	1988. 4. 18	
	イタリア共和国	ピアツェンツァ郡モンティチェリ・ドンジーナ町	1992. 9. 11	
	大韓民国	忠清南道瑞山（ソサン）市	2012. 6. 22	

資料：県観光国際戦略局

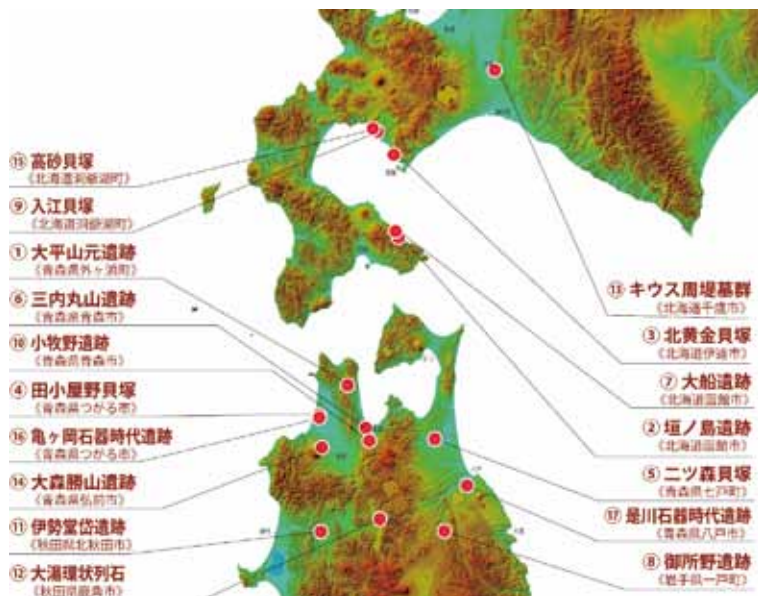
### (3) 文化・スポーツ

県立郷土館利用者数（2021年度）	約1万4千人
県立美術館入館者数（ ” ）	約4万2千人
県内の公共スポーツ施設（2018年度）	798施設
第77回国民体育大会（2022年）	天皇杯42位（前回45位）

資料：文部科学省「2018（平成30）年度体育・スポーツ施設現況調査」、県教育庁、県観光国際戦略局

#### ① 「北海道・北東北の縄文遺跡群」構成資産

2021年7月に世界文化遺産に登録された「北海道・北東北の縄文遺跡群」は、17の構成資産のうち8つが県内に所在している。



※国土地理院タイルを使用して作成

地理院タイル一覧ページ (<https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html>)

青森県：三内丸山遺跡、小牧野遺跡、大森勝山遺跡、是川石器時代遺跡、田小屋野貝塚、亀ヶ岡石器時代遺跡、大平山元遺跡、二ツ森貝塚

北海道：大船遺跡、垣ノ島遺跡、キウス周堤墓群、北黄金貝塚、入江・高砂貝塚（入江貝塚）、入江・高砂貝塚（高砂貝塚）

岩手県：御所野遺跡

秋田県：大湯環状列石、伊勢堂岱遺跡

## ② ユネスコ無形文化遺産

重要無形民俗文化財「八戸三社大祭の山車行事」など18府県33件の祭りで構成される「山・鉾・屋台行事」が、2016年12月にユネスコ無形文化遺産に登録されている。

## ③ 日本遺産

県無形民俗文化財である「鱒ヶ沢白八幡宮の大祭行事」や、県重宝である深浦町の円覚寺宝篋印塔、野辺地町の町指定史跡「浜町の常夜燈」などの文化財を含む「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」が、日本遺産に認定されている。（日本海及び瀬戸内海沿岸自治体により構成）

## ④ 文化財

表1 国・県指定文化財一覧（2023年2月1日現在）

【国指定】		【県指定】		【国選定等】	
国宝		県重宝		選定	
工芸品	2	建造物	46	重要伝統的建造物群保存地区	2
考古資料	1	絵画	7	選定保存技術	1
重要文化財		彫刻	31	登録	
建造物	34	工芸品	30	登録有形文化財（建造物）	101
彫刻	2	書跡	3	登録有形民俗文化財	1
工芸品	7	考古資料	31	登録記念物	4
考古資料	13	歴史資料	12	記録選択	
重要無形文化財		無形文化財		記録作成等の措置を講ずべき	
工芸技術	1	県技芸	2	無形文化財	1
民俗文化財		民俗文化財		記録作成等の措置を講ずべき	15
重要有形民俗文化財	8	県有形民俗文化財	12	無形の民俗文化財	
重要無形民俗文化財	8	県無形民俗文化財	56	重要美術品	
記念物		記念物		書跡	4
特別史跡	1	県史跡	20	考古資料	1
史跡	22	県名勝	1	合計	130
特別名勝及び天然記念物	1	県天然記念物	40		
名勝及び天然記念物	1	合計	291		
名勝	8				
特別天然記念物	2				
天然記念物	16				
合計	127				

資料：県教育庁

## 【国指定の主な文化財】

### 国宝〔工芸品〕

あかいとおどしよろい かぶと おおそでつき しろいとおどしつまりよろいかぶと おおそでつき  
赤糸威 鎧 兜、大袖付、白糸威 褌取 鎧 兜、大袖付（いずれも八戸市）

### 国宝〔考古資料〕

合掌土偶（八戸市風張<sup>かざはり</sup>1遺跡出土）

### 重要文化財〔建造物〕

弘前城、最勝院五重塔（いずれも弘前市）、櫛引八幡宮本殿（八戸市）

### 重要無形文化財〔工芸技術〕

津軽塗

### 重要無形民俗文化財

青森のねぶた、八戸のえんぶり、下北の能舞

### 記念物〔特別史跡〕

三内丸山遺跡（青森市）

### 記念物〔特別名勝及び天然記念物〕

十和田湖および奥入瀬溪流（十和田市）

## ⑤ 伝統工芸

県内には、津軽塗や南部裂織を始め、地域に生まれ、生活の中で育まれてきた優れた伝統工芸品が数多く存在する。これらの多くは、後継者や販路の確保といった課題を抱えていることから、県では、伝統工芸品の価値の再評価とその作り手の意識の向上を図るため、一定の要件を満たすものを「青森県伝統工芸品」に指定している。（表2）

表2 青森県伝統工芸品一覧表

工芸品名	市町村名	工芸品名	市町村名
津軽塗	弘前市	津軽びいどろ	青森市
津軽焼	弘前市	錦石	青森市、弘前市、外ヶ浜町
八戸焼	八戸市	南部姫毯	南部町
下川原焼土人形	弘前市	えんぶり烏帽子	八戸市
あけび蔓細工	弘前市	きみがらスリッパ	十和田市
津軽竹籠	弘前市	目屋人形	西目屋村
こぎん刺し	青森市、弘前市、五所川原市	津軽打刃物	弘前市
南部裂織	青森市、八戸市、十和田市 むつ市、七戸町、佐井村 五戸町	津軽桐下駄	弘前市
南部菱刺し	八戸市、十和田市、 おいらせ町、五戸町	南部総桐箆箆	八戸市
温湯こけし・ずぐり独楽	黒石市	太鼓	弘前市
大罎こけし・ずぐり	大罎町	ねぶたハネト人形	青森市
弘前こけし・木地玩具	弘前市	津軽裂織	青森市、平内町、つがる市
八幡馬	八戸市	津軽組ひも	五所川原市
善知鳥彫ダルマ	青森市	五戸ばおり	五戸町
津軽風	弘前市	ブナコ	弘前市
		南部花形組子	八戸市
		金魚ねぶた	弘前市
		津軽傳統組子	弘前市

資料：県商工労働部

## ⑥ 祭り

本県には、日本を代表する火祭り「青森ねぶた祭」、歴史と文化に彩られた津軽の夏の風物詩「弘前ねぶたまつり」、様々な趣向を凝らした山車の迫力や華麗さが魅力の「八戸三社大祭」、奥津軽の夏の夜空を焦がす勇壮絢爛な「五所川原立佞武多」、京都祇園祭の流れを汲む豪華絢爛な「田名部まつり」などの夏祭りや、三八地域に春を呼ぶ豊作祈願の祭りである「えんぶり」を始め、県内各地に四季折々の伝統的な祭りが数多くある。

これらの祭りは、観光資源としてはもとより、少子化・高齢化が進む中において、地域の絆を強め、コミュニティ機能を維持していく上でも重要な役割を担っており、地域に根ざした県民共通の財産として、未来へ伝えていく必要がある。

## ⑦ 本県出身の主な文化人、著名人、スポーツ選手

本県の豊かな自然や風土に育まれて、多くの県人が文学やアート、芸能、スポーツなど様々な分野で多彩な活躍をしている。(表3：敬称略)

表3 本県出身の主な文化人、著名人、スポーツ選手など

文学・ ジャー ナリス ム	クガ カツナン 陸 羯南 (1857～1907)	新聞「日本」を創刊し、明治時代における我が国の言論界をリードした。	科学 技術	イシダテ モリツグ 石館 守三 (1901～1996)	薬学の世界的権威で、東京大学初代薬学部長。ハンセン病の治療薬「プロミン」の国産化や、国産初のがん化学療法剤「ナイトロミン」の創製に成功した。
	ハニ 羽仁 もと子 (1873～1957)	日本初の女性記者。「家庭之友」(のち「婦人之友」)を創刊するとともに、自由教育を推進するため、「自由学園」を創設した。		キムラ ヒロササ 木村 秀政 (1904～1986)	東京帝国大学(現東京大学)航空研究所が設計し、長距離飛行記録を達成した「航研機」の制作や、初の国産旅客機「YS11」の開発に携わった。
	イシザカ ヨウジロウ 石坂 洋次郎 (1900～1986)	軽快な青春小説で国民的な人気を博した作家。戦後発表された「青い山脈」が大ヒットし、「百万人の作家」と称され、一世を風靡した。		ニシヤマ ショウジ 西山 正治 (1922～1993)	医師。世界初の「レントゲン車」を考案、開発するとともに、多方向から患部を撮影できる「ジャイロスコープ」の開発に取り組んだ。
	ダライ オサム 太宰 治 (1909～1948)	近代日本文学を代表する作家。「人間失格」「斜陽」「走れメロス」を始め、多くの作品を世に出した。2009年に生誕100周年を迎え、作品が映画化されるなど再び人気が高まっている。		カワグチ ジュンイチロウ 川口 淳一郎 (1955～)	小惑星探査機「はやぶさ」プロジェクトマネージャー。2010年、「はやぶさ」は7年の歳月を経て、小惑星「イトカワ」から帰還するという世界初の快挙を達成した。
	ミウラ テツオ 三浦 哲郎 (1931～2010)	1961年「忍ぶ川」で、異人初となる、第44回芥川賞を受賞。その後も様々な作品を発表し、数多くの文学賞を受賞した。			
	オサベ ヒデオ 長部 日出雄 (1934～2018)	弘前市出身の小説家、評論家。1973年、「津軽じよんがら節」と「津軽世去れ節」により第69回直木賞を受賞。			
	テラヤマ シュウジ 寺山 修司 (1935～1983)	歌人、詩人、劇作家、映画監督など、多くの分野で活躍。演劇実験室「天井桟敷」を結成し、海外公演も手がけるなど、マルチな才能を発揮した。			
	サワダ キョウイチ 沢田 教一 (1936～1970)	報道カメラマンとして、ベトナム戦争の最前線で取材を行った。撮影した写真は国際的に高い評価を受け、「安全への逃避」はヒューリッツナー賞に輝いた。			
	ウメナイ ミカコ 梅内 美華子 (1970～)	歌人。2011年、歌集「エクス」が高い評価を受け、文化庁の芸術選奨新人賞を受賞。			
	タカハシ ヒロキ 高橋 弘希 (1979～)	十和田市生まれの小説家。2018年、「送り火」で第159回芥川賞を受賞。県出身者では、三浦哲郎以来57年ぶりの受賞。			
	ゴ カツヒロ 呉 勝浩 (1981～)	八戸市生まれの小説家。2020年、「スワン」で第73回日本推理作家協会賞及び第41回吉川英治文学新人賞を受賞。			

美術・音楽	ムナカタ ショウ 榎方 志功 (1903～1975)	「世界のムナカタ」と呼ばれ、20世紀を代表する世界的な「版画家」である。大胆かつ独創的な表現で、他に類を見ない独特の世界を築いた。	スポーツ選手など	オオタ シノブ 太田 忍 (1993～)	五戸町出身。2016年リオデジャネイロオリンピック男子レスリンググレコローマン59キロ級で、銀メダルを獲得。
	アワヤ 淡谷 のり子 (1907～1999)	東洋音楽学校（現在の東京音楽大学）を首席で卒業し、歌謡界へ。日本のシンチンソンの先駆者となる。「別れのブルース」「雨のブルース」が大ヒットし、「ブルースの女王」と呼ばれた。		イズミヤ 泉谷 しげる (1948～)	青森市長島で生まれ、東京都で育つ。フォークシンガーや役者として活躍中。東北新幹線全線開業のテレビCMでは、新青森駅長を好演した。
	タカヤマ ウイチ 藤木 宇一 (1908～1999)	画家。花やチョウなどをモチーフに、幻想的な画風で日本画壇に新風を巻き込むとともに、二科会の重鎮としても活躍した。		キノ ハナ 野花 花 (1948～)	女優・演出家。弘前大学教育学部美術学科卒業。80年代小劇場ブームの旗手的な存在。2013年NHK連続テレビ小説「あまちゃん」にレギュラー出演。
	タカハシ チクザン 高橋 竹山 (1910～1998)	津軽三味線を国内はもとより海外へも広めた津軽三味線演奏の第一人者。アメリカ公演では、「三味線の名匠」と絶賛された。		ミカミ カン 三上 寛 (1950～)	日本を代表するフォークシンガー。青森をバックボーンに津軽を原風景とした人間の生き様を歌い続ける。詩人として詩集やエッセイも多数。
	クドウ コウシ 工藤 甲人 (1915～2011)	現代日本画界を代表する一人。戦後、湧き起こった新しい日本画の創造を目指す活動に共感し、心象イメージを絵画世界に表す独特の作風を築き上げた。		ヨシ イクワ 吉 幾三 (1952～)	歌手。1977年に自身の作詞・作曲による「俺はぜったい！ブルース」がヒット。代表曲「俺ら東京さ行くだ」「雪国」「酒よ」など。
	ナリタ トオル 成田 亨 (1929～2002)	彫刻家、特撮美術監督。「ウルトラマン」シリーズの多くの怪獣、宇宙人、宇宙メカのデザインを手がけ、現代日本文化を代表するモチーフを生み出した。		2代目 イチカワ エミヤ 市川 笑也 (1959～)	歌舞伎俳優。スーパー歌舞伎のヒロインの座を射止め、一躍スターに。2003年に本県で開催された第5回冬季アジア競技大会では、開閉会式の総合演出を担当。
	ナラ ヨシトモ 奈良 美智 (1959～)	我が国を代表する現代美術家。国際的にも高い評価を受けており、独特の風貌の少女を描いた作品や、青森県立美術館にある「あおもり犬」で有名。		サトウ チクザン 佐藤 竹善 (1963～)	ロックバンド「Sing Like Talking」のボーカル。音楽プロデューサーとして活躍。1998年、青森市制100周年記念公演を発表。
	ナンシー 塞キ (1962～2002)	著名人の似顔絵の消しゴム版画と、これを挿絵として使ったコラムで人気を博した。		フクシ ミツル 吹越 満 (1965～)	俳優。数多くの映画、ドラマに出演。シリアスなものからコミカルなものまで、幅広い役柄を演じ、独特の存在感を発揮している。
	ネキワ 沖澤 のどか (1987～)	世界的指揮者の登竜門で小澤征爾さんらを輩出した仏プザンソン国際若手指揮者コンクールで、2019年に優勝を果たした。日本人として10人目。観客賞とオーケストラ賞も総なめする快挙。		サカモト 坂本 サトル (1967～)	シンガーソングライター。路上、飲食店、レコード店などでの「CD実演販売ライブ」が話題に。代表曲「天使達の歌」など。
	サイトウ ハルカ 齋藤 春香 (1970～)	八戸市出身。ソフトボール選手・指導者。2000年シドニー、2004年アテネオリンピックに出場し、主砲として活躍し、2大会連続で銀メダルを獲得。2008年北京オリンピックでは、ソフトボール日本代表監督として金メダルに導いた。		コサカ ダイマオウ 古坂 大魔王 (1973～)	青森市出身。お笑いタレント。「ピコ太郎」の音楽プロデューサーとして「PPAP」を歌う動画の再生回数が1億回を超えるなど世界的に話題となった。
オハラ ヒトミ 小原 日登美 (1981～)	八戸市出身。2012年ロンドンオリンピック女子レスリング48キロ級で金メダルを獲得。	キタヤマ ヨウイチ 北山 陽一 (1974～)	人気男性ヴォーカルグループ、ゴスペラーズのメンバーとして活躍。2008年には八戸市から八戸大使に任命される。		
イチヨウ テハル 伊調 千春 (1981～)	八戸市出身。2004年アテネ、2008年北京オリンピック女子レスリング48キロ級で、2大会連続銀メダルを獲得。	ヨコハマ サトコ 横浜 聡子 (1978～)	青森市出身。2008年、商業映画デビュー作「ウルトラミラクルラブストーリー」を監督。全国公開され、多くの海外映画祭にて上映された。		
イズミ ヒロシ 泉 浩 (1982～)	大間町出身。2004年アテネオリンピック男子柔道90キロ級で銀メダルを獲得。	じろう (1978～)	弘前市出身。お笑いコンビ「シノズ」のボケ担当。キングオブコント2014優勝。コントで培った演技力が評価され俳優として活動するほか、ドラマの脚本を手掛けるなど活躍の場を広げている。		
イチヨウ カオリ 伊調 馨 (1984～)	八戸市出身。2004年アテネ、2008年北京、2012年ロンドン、2016年リオデジャネイロオリンピック女子レスリングで、金メダルを獲得。女子個人種目では五輪史上初となる4大会連続覇を成し遂げ、2016年に国民栄誉賞を受賞。	ニヤマ テハル 新山 千春 (1981～)	青森市生まれ。タレント、クイズ番組などのバラエティ番組で活躍中。		
フルカワ タカハル 古川 高晴 (1984～)	青森市出身。2012年ロンドンオリンピックアーチェリー男子個人に出場し銀メダルを獲得、2021年東京オリンピックでは男子個人と男子団体で銅メダルを獲得した。	マツヤマ 松山 ケンイチ (1985～)	むつ市出身の俳優。映画「デスノート」で一躍脚光を浴びる。全編青森県ロケ、全編津軽弁の映画「ウルトラミラクルラブストーリー」に主演。2012年NHK大河ドラマ「平清盛」主演。		
テンマ ユキ 天摩 由貴 (1990～)	青森市出身。2021年東京パラリンピックに日本代表チームキャプテンとして出場し銅メダルを獲得。	エリー ELLY (1987～)	三沢市出身。人気グループ「三日月」SOUL BROTHERS from EXILE TRIBE」のパフォーマー。		
シバサキ ガク 柴崎 岳 (1992～)	野辺地町出身。プロサッカー選手。2018年FIFAワールドカップにおいて、青森県勢初の日本代表として健闘し、決勝トーナメント進出に貢献した。	ヨマイ レン 駒井 蓮 (2000～)	平川市出身の女優。2021年全編津軽地方でロケ撮影が行われた映画「ひとみち」に映画単独初主演したほか、NHK大河ドラマ「青天を衝け」に出演。		

## ⑧ 体育・スポーツ施設

2018年度にスポーツ庁が実施した「体育・スポーツ施設現況調査」によれば、県内の公共スポーツ施設は798施設ある。2022年12月1日現在の主な県有体育施設は、次のとおりである。このほか、2024年4月からの開業に向けて、新青森県総合運動公園内に新水泳場の整備を進めている。

- カクヒログループアスレチックスタジアム〔新青森県総合運動公園陸上競技場〕（青森市）
- マエダアリーナ〔新青森県総合運動公園総合体育館〕（青森市）
- 青森県総合運動公園野球場、屋外水泳場（青森市）
- 盛運輸アリーナ〔青森県営スケート場〕（青森市）
- 青森県武道館（弘前市）

## ⑨ 県内を拠点に活動するプロスポーツチーム

県内には、地域と深く密着しながら活動するプロスポーツチームがあり、スポーツ振興や地域の活性化に貢献している。

### 【主なプロスポーツチーム】

- 青森ワッツ（バスケットボール）  
青森県を本拠地とするプロバスケットボールチーム。青森県内に初めて設立されたプロスポーツチームで、B.LEAGUE に参戦している。
- HACHINOHE DIME（3人制バスケットボール）  
3人制のプロバスケットボールチーム。2019年から3x3.EXE PREMIER に参戦している。
- ヴァンラーレ八戸FC（サッカー）  
2018年11月にJ3昇格が正式決定。Jリーグ入会は青森県勢初。
- 東北フリースタイルアイスホッケー（アイスホッケー）  
八戸市と福島県郡山市をホームタウンとして活動。2009年からアジアリーグに加盟している東北初のトップリーグチーム。

## ⑩ 総合型地域スポーツクラブ

「誰でも、いつでも、いつまでも」スポーツができる環境づくりと地域コミュニティの形成に向け、「多世代」、「多志向」、「多種目」により、地域住民が主体となって運営する「総合型地域スポーツクラブ」が全国で展開されている。

本県では、2022年5月31日現在、33市町村で42の総合型地域スポーツクラブが創設されている。また、1町1クラブが創設に向け準備を進めている。（次頁表4）



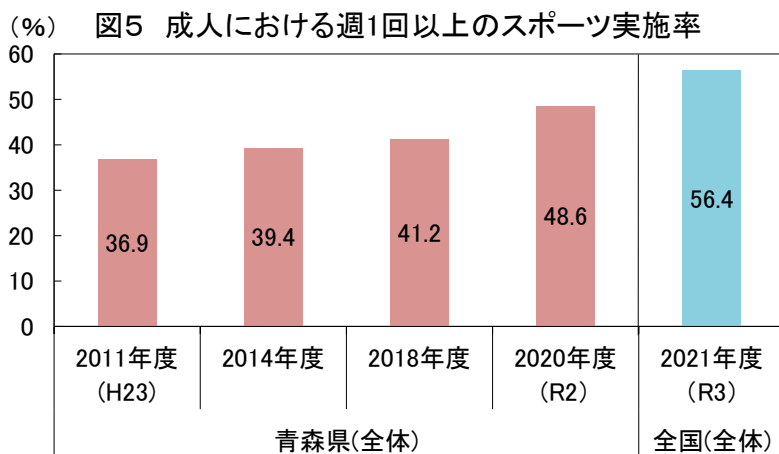
表4 県内の総合型地域スポーツクラブ

クラブ名	市町村名
青森総合スポーツクラブ Willスポーツクラブ 総合型地域スポーツクラブ CLUB Salute Inizio青森	青森市
株式会社リベロスポーツクラブ NPO法人スポネット弘前	弘前市
ヴァンラーレ八戸スポーツクラブ リベロ八戸SC (旧ウインズスポーツクラブ) 一般社団法人総合型地域スポーツHachinohe Club 総合型地域スポーツ・文化クラブ デポルターレ八戸	八戸市
くろいしアスリート アンド エンジョイクラブ	黒石市
五所川原総合スポーツクラブ	五所川原市
総合型スポーツクラブ RED HORSE	十和田市
スポーツクラブみさわ	三沢市
むつアスリートクラブ	むつ市
いなぎスポーツクラブ 車力楽笑スポーツクラブ	つがる市
ひらかわスポーツクラブ	平川市
平内ふれあいスポーツクラブ 平内町総合型地域スポーツクラブACE	平内町
今別町地域総合型クラブWAND	今別町
よもっと元気スポーツクラブ	蓬田村
東津軽郡スポーツクラブ	外ヶ浜町
鱒ヶ沢町スポーツ協会	鱒ヶ沢町
総合型地域スポーツクラブ Joy Spo! ふかうら	深浦町
ふじさきいきいきスポーツクラブ	藤崎町
一般社団法人 Roots 大鰐	大鰐町
田舎館村総合型地域スポーツクラブ	田舎館村
りんごの里スポーツクラブ	板柳町
鶴田町放課後子どもプラン・子どもスポーツクラブ	鶴田町
六戸町B&Gクラブ	六戸町
横浜町総合型地域スポーツクラブ	横浜町
東北町旭町地区総合型地域スポーツクラブ	東北町
ひばりさわやかスポーツクラブ	六ヶ所村
大間町総合型地域スポーツクラブ	大間町
東通村総合型地域スポーツクラブ	東通村
五戸町スポーツクラブ	五戸町
スポネットたっこ	田子町
一般社団法人総合型クラブななっち	南部町
一般社団法人ライズはしかみ	階上町
一般社団法人さんのへスポーツクラブEnjoy	三戸町
三ツ岳スポーツクラブ	新郷村

資料：青森県広域スポーツセンター（県教育庁スポーツ健康課内）

## ⑪ 県民のスポーツ実施率

成人における週1回以上のスポーツ実施率は、着実に増加しているものの全国平均を下回っている。(図5)



資料: 県教育庁「県民の健康・スポーツに関する意識調査」、  
スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」

## ⑫ あおもりアスリートネットワーク

本県にゆかりのあるオリンピックやトップアスリート、指導者等が主体となり、スポーツを通じた様々な社会貢献活動を展開する「あおもりアスリートネットワーク」が2012年11月に設立され、県民のスポーツを推進するための活動や、本県における競技力向上のための活動、青少年の健全育成や健康増進のための活動を行っている。(令和4年12月時点、メンバー41名)(次頁表6)

表6 あおもりアスリートネットワークメンバー（2022年12月現在）

No.	役員	氏名	競技種目
1	代表	齋藤 春香	ソフトボール
2	副代表	赤石 光生	レスリング
3	副代表	金濱 康光	スピードスケート
4	副代表	三ヶ田 礼一	ノルディックスキー
5	幹事	野澤 英二	車椅子マラソン・バイアスロン
6	幹事	山下 祐史	ラグビー
7	幹事	山谷 千春	レスリング
8	会計監事	吉田 理子	ボート
9		五十嵐 理一	ボクシング
10		泉 浩	柔道
11		伊調 馨	レスリング
12		岩谷 高峰	アルペンスキー
13		蝦名 康一	レスリング
14		小原 日登美	レスリング
15		金浜 良	レスリング
16		岸本 鷹幸	陸上競技(400mハードル)
17		熊谷 克仁	アルペンスキー
18		蹴揚 将行	柔道
19		古川 純一	ノルディックスキー
20		齊藤 直飛人	相撲
21		坂本 勉	自転車競技
22		坂本 朋子	アルペンスキー・シッティングバレーボール
23		佐々木 一成	ノルディックスキー
24		春藤 るみ	新体操
25		当麻 成人	水球
26		高橋 一馬	アイスホッケー
27		鳥谷部 真弓	柔道
28		中澤 祐政	ノルディックスキー
29		中嶋 亜矢	女子ラグビー
30		長濱 一年	ノルディックスキー
31		新山 夏葵	テコンドー
32		野口 紀子	ボート
33		籾 修子	ノルディックスキー
34		畑山 茂雄	陸上競技(円盤投げ)
35		藤田 博臣	柔道
36		福士 加代子	陸上競技(長距離)
37		古川 高晴	アーチェリー
38		三浦 孝之	アイスホッケー
39		三上 正貴	ラグビー
40		宮崎 未樹子	柔道・レスリング
41		吉本 岳史	サッカー

## IV 地域別情報

本県は、東青地域、中南地域、三八地域、西北地域、上北地域、下北地域の6つの地域で構成され、地域ごとに産業や風土など様々な特色がある。

ここでは、地域の産業構造の比較やその特長を紹介するとともに、地域別の主な指標について掲載する。

地域県民局管内図

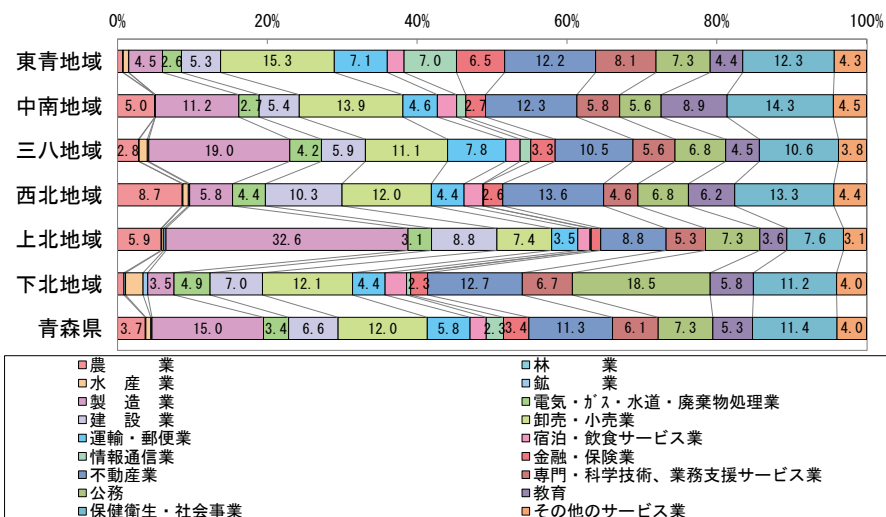


# 1 地域別の産業構造

各地域の域内総生産について、経済活動別に構成割合を見ると、上北地域を除いた5地域で第3次産業の割合が7割を超えており、特に、東青地域・下北地域では8割超と高くなっている。(図1)

他地域との比較では、総生産額の推計上、持家の帰属家賃の影響が大きい「不動産業」を除くと、東青地域は「卸売・小売業」、中南地域・西北地域は「保健衛生・社会事業」、三八地域・上北地域は「製造業」、下北地域は「公務」が大きな割合を占めている。

図1 地域別の域内総生産（2019年度）



※ 税等を控除していないため、合計は100%を超える。 資料：県企画政策部「令和元年度市町村民経済計算」

## ※ 産業分類

第1次産業：農業、林業、水産業

第2次産業：鉱業、製造業、建設業

第3次産業：電気・ガス・水道・廃棄物処理業、卸売・小売業、  
 運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業、金融・保険業  
 不動産業、専門・科学技術、業務支援サービス業、公務、教育、  
 保健衛生・社会事業、その他のサービス業

※ 持家の帰属家賃…持家の住宅から得られるサービスに相当する価値を見積もり、これを住宅費用とみなした場合に支払われるであろう家賃のこと。実際には金銭の受払を伴わない。

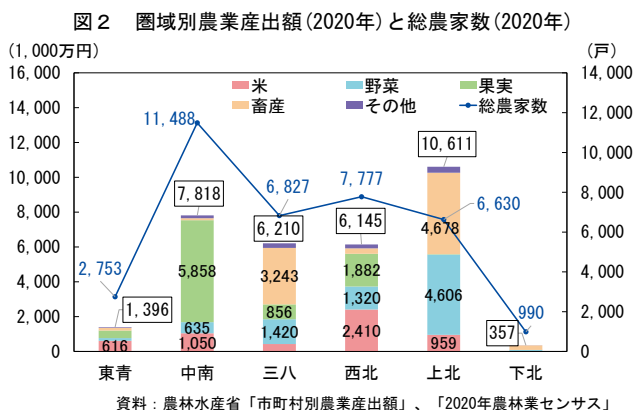
## 2 産業別に見る地域の特長

### (1) 農業の盛んな上北・中南・三八・西北地域

2020年の農業産出額は上北地域が最も高くなっており、県全体の約33%を占める。上北地域・三八地域は畜産や野菜、中南地域はりんごを中心とした果実、西北地域は米が多いなど、地域ごとに特長がある。

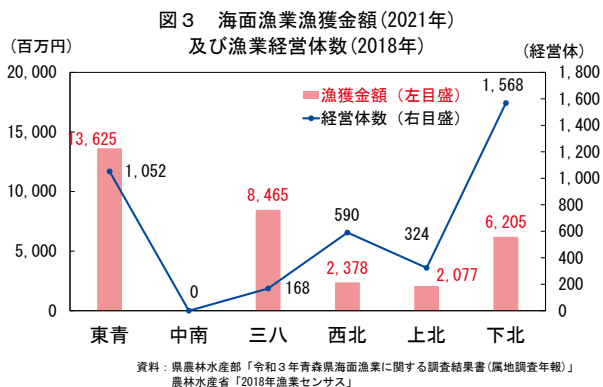
総農家数は中南地域が最も多く、次いで西北地域、三八地域の順となっている。

(図2)



### (2) 水産業の盛んな東青・三八・下北地域

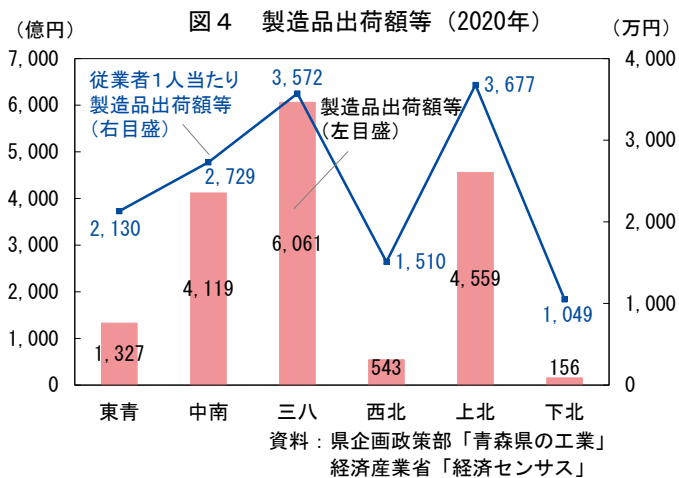
2021年の海面漁業漁獲金額は、東青地域が約136億円と最も高くなっており、2020年の約97億円から約40.6%の増となった。一方、三八地域は約85億円で、2020年の約132億円から約35.9%の減となった。大規模経営体が多い三八地域は下北、東青地域と比べて漁業経営体数は少なくなっている。(図3)



### (3) 製造業を支える三八・上北地域

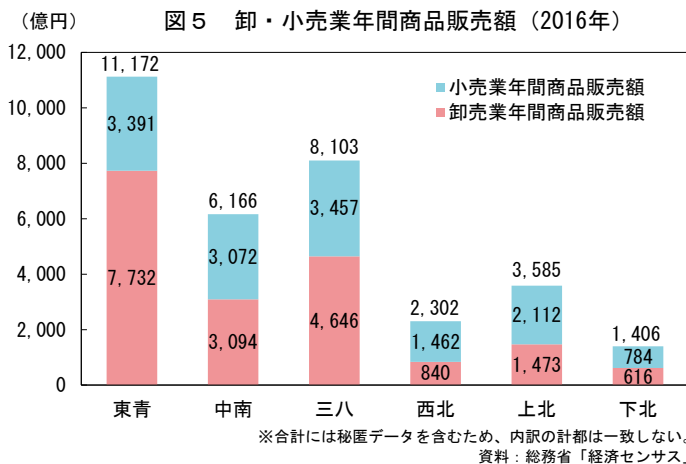
2020年の製造品出荷額等は、八戸市での食料品、飲料・飼料、パルプ・紙、鉄鋼などの出荷額が多い三八地域が6,061億円と最も高く、県全体の約36.2%を占めている。従業者1人当たりについては、上北地域が最も高い水準となっている。

(図4)



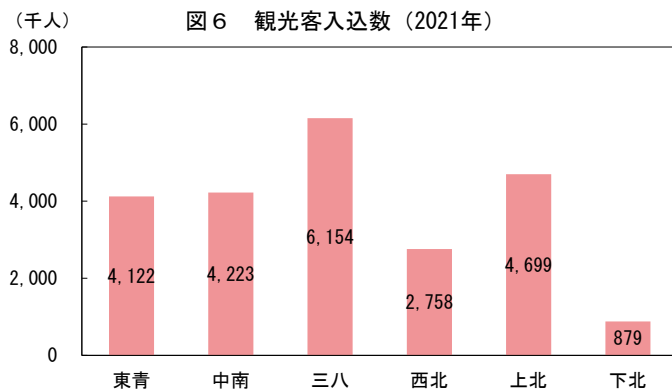
### (4) 商業の中心地・東青地域

2016年の小売業・卸売業年間商品販売額をみると、東青地域が11,172億円と最も多く、県全体の約34.1%を占めている。(図5)



## (5) 観光客が多く訪れる三八地域

2021年の県の観光客入込数は22,835千人と、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ禍前の2019年より大幅に減少(-35.6%)している。地域別では、三八地域が2010年から11年連続で入込数が最多となっている。(図6)

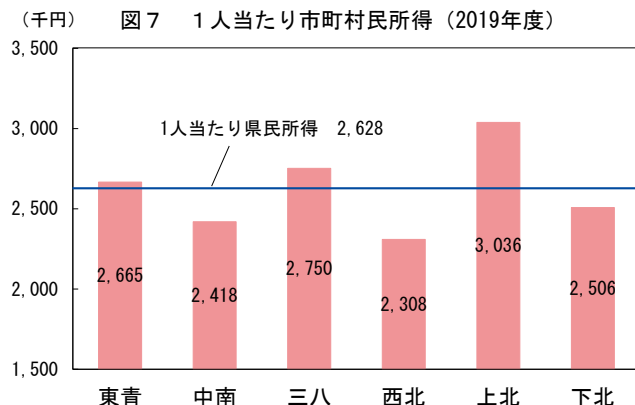


資料：県観光国際戦略局「青森県観光入込客統計」

## (6) 1人当たり市町村民所得の高い上北地域

2019年度の市町村民経済計算における1人当たり市町村民所得は、六ヶ所村、東通村、八戸市、おいらせ町、横浜町の順に高くなっている。

地域別では上北地域の3,036千円が最も高く、次いで三八地域2,750千円、東青地域2,665千円となっている。(図7)



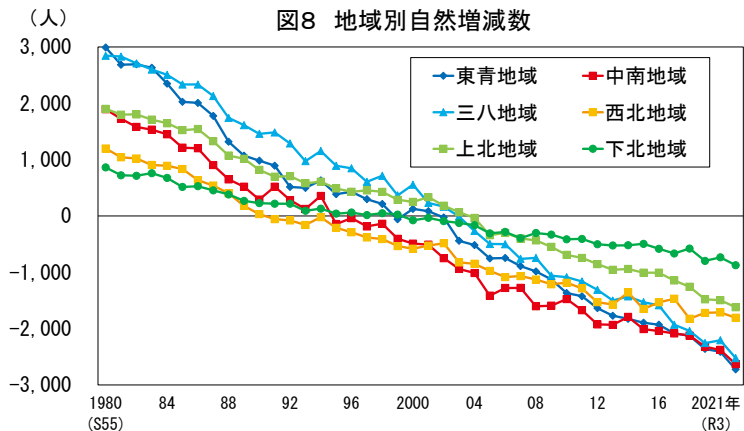
資料：県企画政策部「令和元年度市町村民経済計算」



## (7) 各地域の人口動態

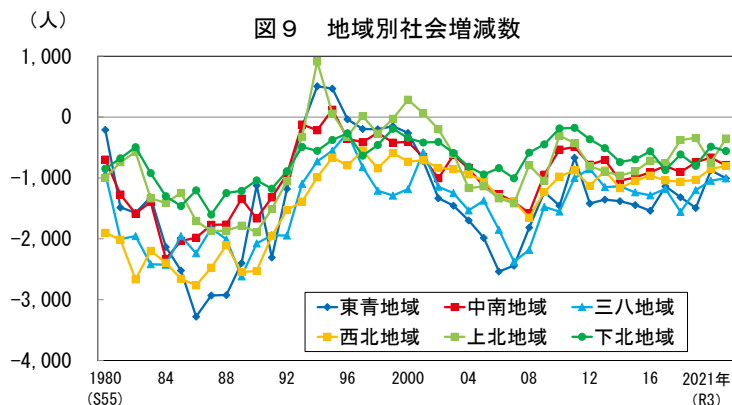
### <自然動態>

自然動態（出生数－死亡数）は、西北地域が他地域に先駆けて1991年から自然減に転じた。全県的に自然減に転じたのは1999年であったが、三八地域は2003年、上北地域は2004年と、比較的遅い段階で自然減となり、その後は、全ての地域において自然減が続いている。（図8）



### <社会動態>

社会動態（転入者数－転出者数）では、特に東青地域や上北地域において年ごとに大きな変化が見られ、経済情勢等による影響を大きく受けているものと考えられる。三八、西北、下北地域では1980年以降一貫して、2002年以降は全ての地域において社会減が続いている。（図9）



### 3 地域の現状



## 東青地域

	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
青森市	272,752	136,781	824.61
平内町	10,332	4,826	217.09
今別町	2,375	1,357	125.27
蓬田村	2,625	1,144	80.84
外ヶ浜町	5,448	2,738	230.30
合計	293,532	146,846	1,478.11

資料：総務省（人口・世帯数, 2022年4月1日現在, 住民基本台帳）  
国土地理院（面積, 2022年10月1日現在）

地点	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)
青森						
平年値	10.7	27.8	-3.5	1,589.2	1,350.7	567
2022	11.3	34.8	-8.2	1,765.1	1,700.0	600

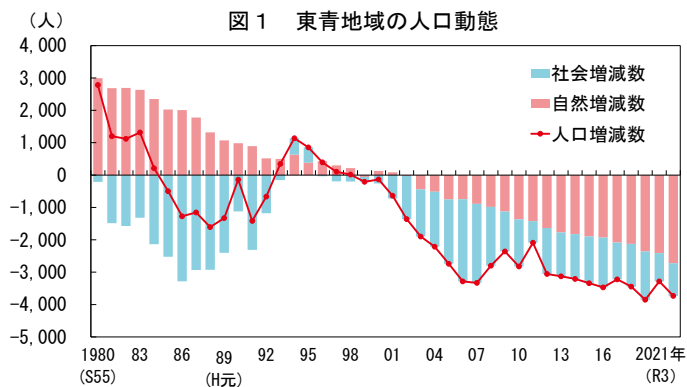
※平年値：1991～2020年の累年平均値

資料：気象庁

### ■人口動態

自然動態は、2002年以降減少が続いており、減少幅が年々拡大している。社会動態は、2020年に減少幅が縮小したものの、2021年には減少幅が拡大している。

(図1)

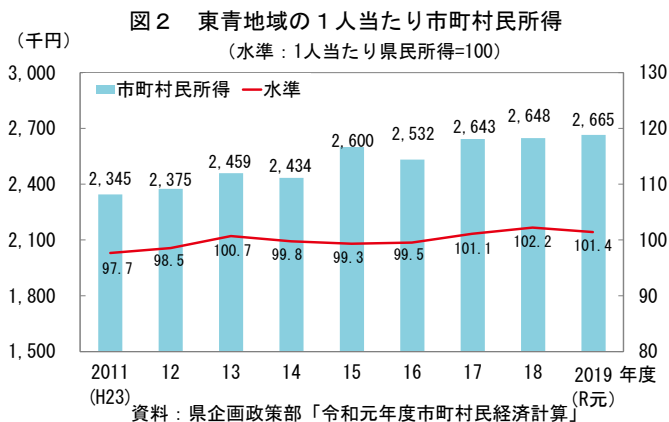


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

## ■ 1人当たり市町村民所得

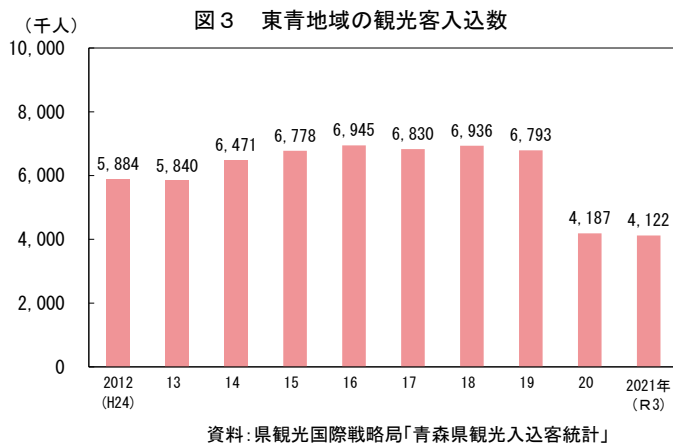
1人当たり市町村民所得は、2011年度以降は概ね増加傾向にある。

また、1人当たり県民所得に対する1人当たり市町村民所得の水準は、県と同程度の水準を概ね横ばいで推移している。(図2)



## ■ 観光客入込数

観光客入込数は、2014年以降600万人以上で推移していたが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021年は約412万人となっている。(図3)





## 中南地域

	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
弘前市	164,831	80,099	524.20
黒石市	31,824	13,863	217.05
平川市	30,336	12,221	346.01
西目屋村	1,289	551	246.02
藤崎町	14,627	6,131	37.29
大鰐町	8,865	4,135	163.43
田舎館村	7,529	2,828	22.35
合計	259,301	119,828	1,556.35

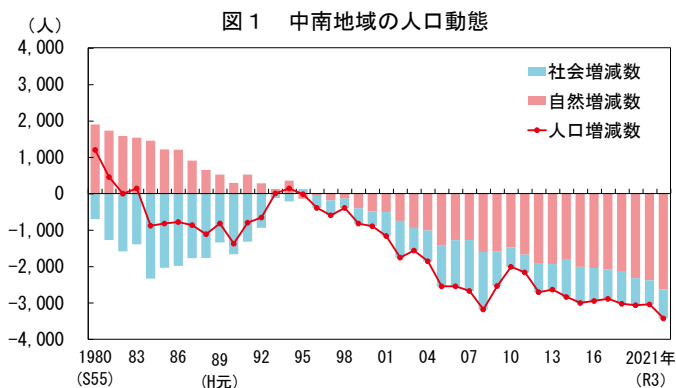
資料：総務省（人口・世帯数、2022年4月1日現在、住民基本台帳）  
国土地理院（面積、2022年10月1日現在）

地点	平均気温 (°C)	最高気温 (°C)	最低気温 (°C)	日照時間 (時間)	降水量 (mm)	降雪量 (cm)
弘前						
平年値	10.6	28.8	-4.6	1,585.1	1,255.3	679
2022	11.1	34.9	-8.4	1,783.0	1,699.5	478

※平年値：1991～2020年の累年平均値  
資料：気象庁

## ■人口動態

自然動態は、1995年以降減少が続いており、減少幅も拡大傾向にある。社会動態は、2012年以降の減少幅は概ね横ばいで推移している。（図1）

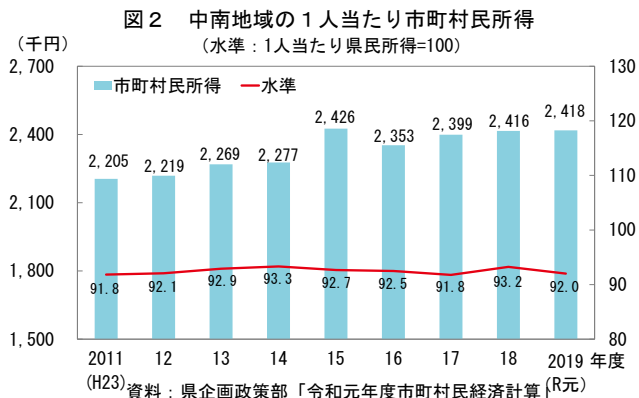


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

## ■ 1人当たり市町村民所得

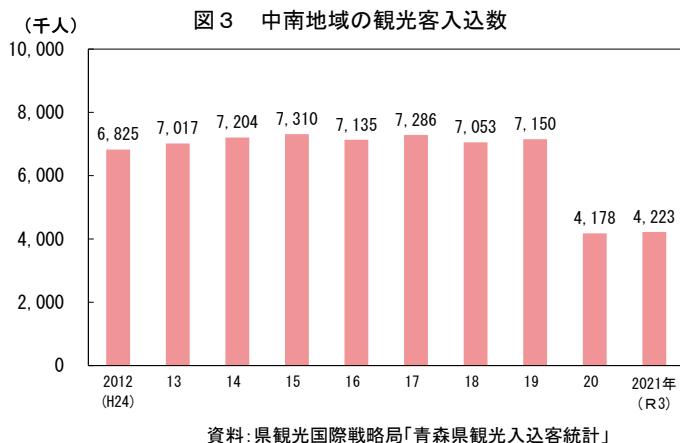
1人当たり市町村民所得は、2011年度から概ね増加傾向にある。

また、1人当たり県民所得に対する1人当たり市町村民所得の水準は、県より低い水準を概ね横ばいで推移している。(図2)



## ■ 観光客入込数

観光客入込数は、東日本大震災以降横ばいであったが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021年は約422万人となっている。(図3)



## 三八地域



	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
八戸市	222,173	109,635	305.56
三戸町	9,353	4,175	151.79
五戸町	16,260	7,004	177.67
田子町	5,084	2,111	241.98
南部町	17,160	7,486	153.12
階上町	13,006	6,010	94.00
新郷村	2,272	905	150.77
合 計	285,308	137,326	1,274.89

資料：総務省（人口・世帯数、2022年4月1日現在、住民基本台帳）  
国土地理院（面積、2022年10月1日現在）

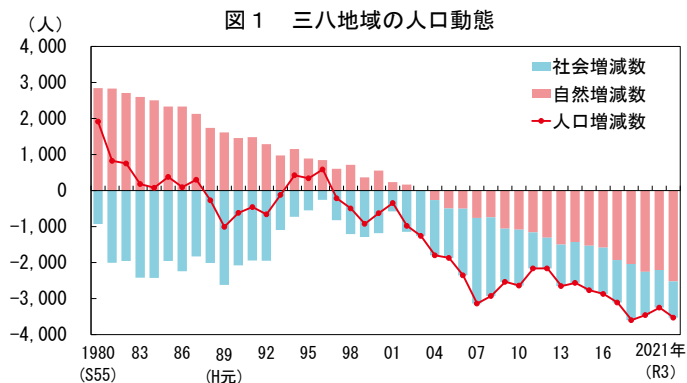
地点 八戸	平均気温 （℃）	最高気温 （℃）	最低気温 （℃）	日照時間 （時間）	降水量 （mm）	降雪量 （cm）
平年値	10.5	26.5	-3.9	1,844.3	1,045.1	134
2022	11.2	34.4	-8.8	1,947.5	1,199.5	132

※平年値：1991～2020年の累年平均値  
資料：気象庁

### ■人口動態

自然動態は、2003年に減少に転じて以降、減少幅が拡大傾向にある。社会動態は、2011年以降の減少幅は概ね横ばいで推移している。

（図1）

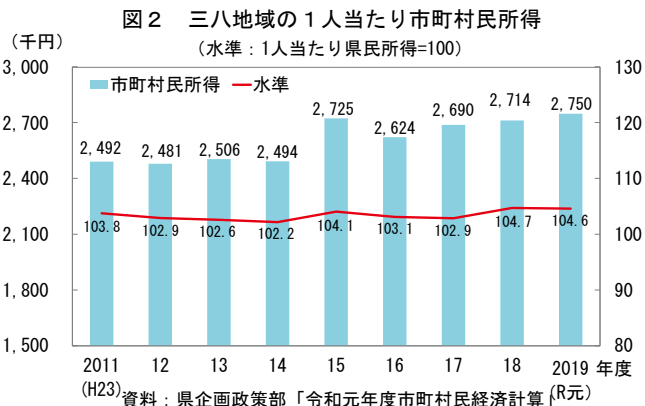


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

## ■ 1人当たり市町村民所得

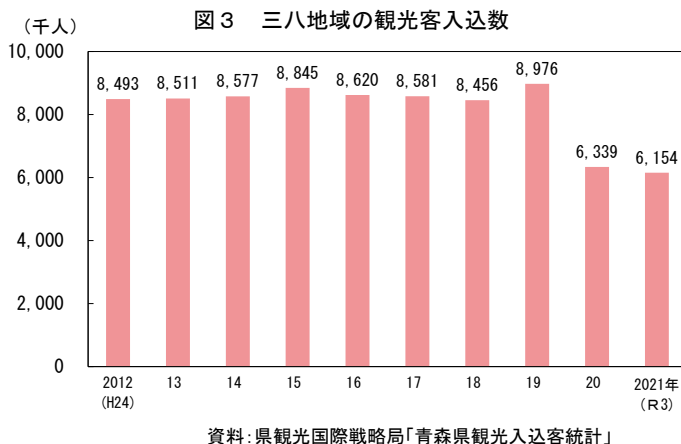
1人当たり市町村民所得は、2015年度に大きく増加し、以降はほぼ横ばいで推移している。

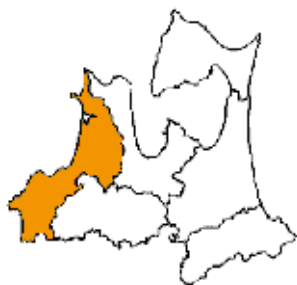
また、1人当たり県民所得に対する1人当たり市町村民所得の水準は、県をやや超える水準を概ね横ばいで推移している。(図2)



## ■ 観光客入込数

観光客入込数は概ね横ばい傾向であったが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021年は約615万人となっている。(図3)





## 西北地域

	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
五所川原市	52,104	25,608	404.20
つがる市	30,525	13,493	253.55
鱒ヶ沢町	9,156	4,442	343.08
深浦町	7,421	3,586	488.91
板柳町	12,837	5,445	41.88
鶴田町	12,144	5,383	46.43
中泊町	10,166	4,991	216.34
合 計	134,353	62,948	1,794.39

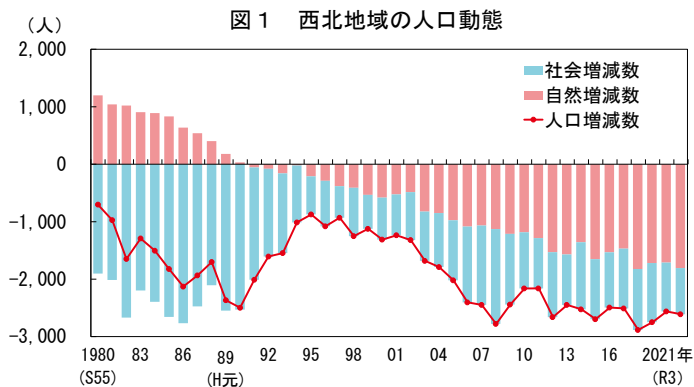
資料：総務省（人口・世帯数、2022年4月1日現在、住民基本台帳）  
国土地理院（面積、2022年10月1日現在）

地点	平均気温 （℃）	最高気温 （℃）	最低気温 （℃）	日照時間 （時間）	降水量 （mm）	降雪量 （cm）
五所川原						
平年値	10.6	28.2	-4.2	1,497.4	1,280.4	543
2022	11.2	33.7	-9.2	1,677.0	1,700.5	405

※平年値：1991～2020年の累年平均値  
資料：気象庁

### ■人口動態

自然動態は、県内で最も早い1991年に減少に転じており、これ以降、年々減少幅が拡大する傾向にある。社会動態は2009年以降の減少幅は概ね横ばいで推移している。（図1）



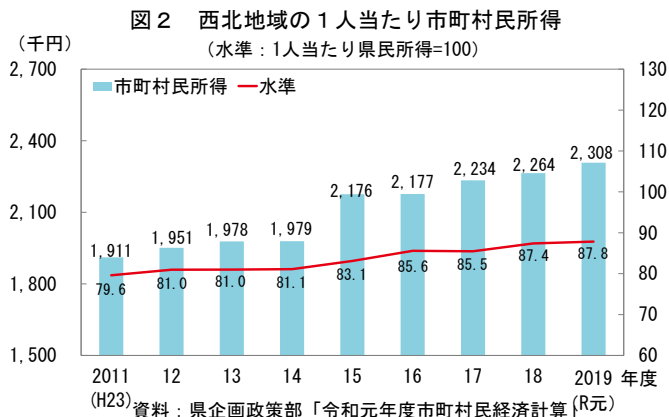
資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」



## ■ 1人当たり市町村民所得

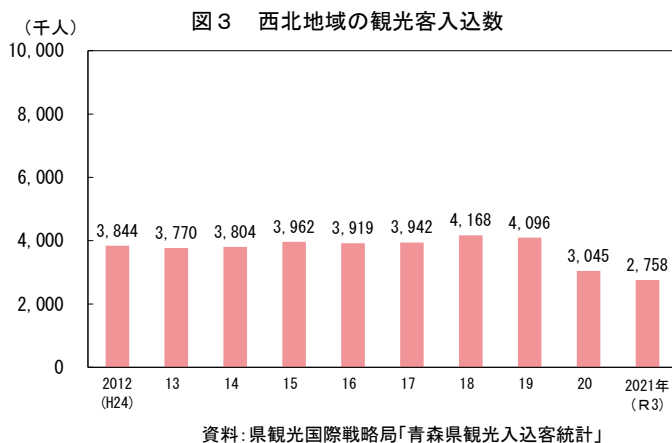
1人当たり市町村民所得は、2011年度から増加傾向にある。

また、1人当たり県民所得に対する1人当たり市町村民所得の水準は、他地域と比較して低い水準となっているものの、近年その差は縮小が続いている。(図2)

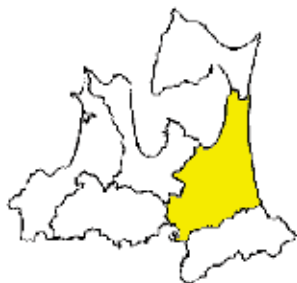


## ■ 観光客入込数

観光客入込数は、微増傾向で推移していたが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021年は約276万人となっている。(図3)



## 上北地域



	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
十和田市	59,201	27,911	725.65
三沢市	38,185	19,287	119.87
野辺地町	12,526	6,403	81.68
七戸町	14,769	6,817	337.23
六戸町	10,869	4,591	83.89
横浜町	4,291	2,096	126.38
東北町	16,789	7,259	326.50
六ヶ所村	9,965	4,977	252.94
おいらせ町	25,230	10,675	71.96
合 計	191,825	90,016	2,126.10

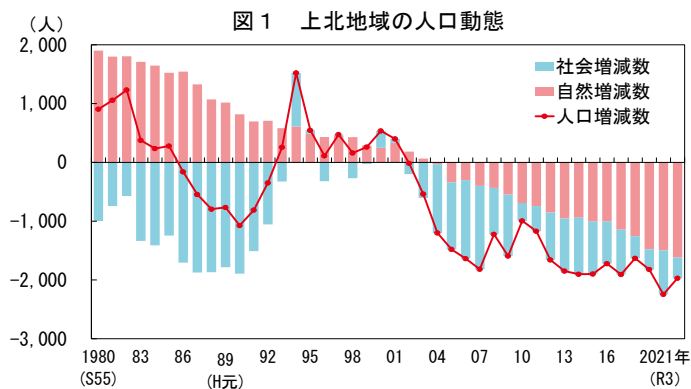
資料：総務省（人口・世帯数、2022年4月1日現在、住民基本台帳）  
国土地理院（面積、2022年10月1日現在）

地点	平均気温 （℃）	最高気温 （℃）	最低気温 （℃）	日照時間 （時間）	降水量 （mm）	降雪量 （cm）
十和田						
平年値	9.8	26.7	-6.2	1,755.1	1,031.1	395
2022	10.5	33.6	-13.2	1,856.2	1,287.0	215

※平年値：1991～2020年の累年平均値  
資料：気象庁

## ■人口動態

自然動態は、2004年から減少に転じ、年々減少幅が拡大している。社会動態は、2020年に減少幅が拡大したものの、2021年は減少幅が縮小している。（図1）

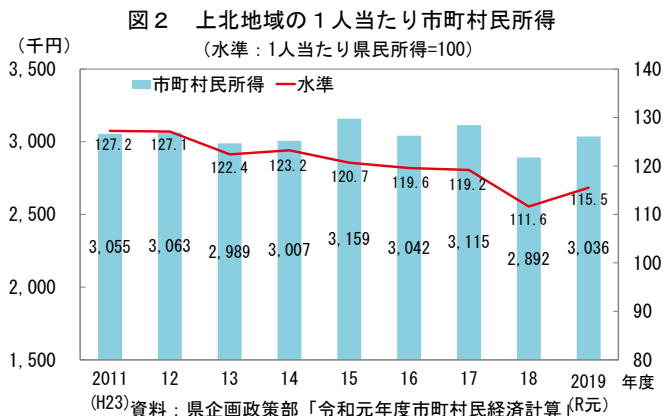


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

## ■ 1人当たり市町村民所得

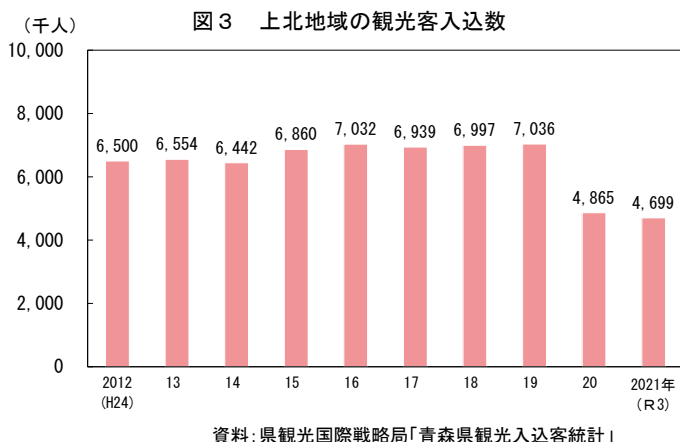
1人当たり市町村民所得は、製造業の製造品出荷額等の増加などにより大きく伸びている。

また、1人当たり県民所得に対する1人当たり市町村民所得の水準は、他地域と比較して最も高い水準にあるが、近年その差は縮小してきている。(図2)



## ■ 観光客入込数

観光客入込数は、近年は700万人前後で推移していたが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021年は約470万人となっている。(図3)



## 下北地域



	人口（人）	世帯数	面積（km <sup>2</sup> ）
むつ市	54,364	28,571	864.20
大間町	4,890	2,473	52.09
東通村	6,006	2,818	295.32
風間浦村	1,728	875	69.46
佐井村	1,777	886	135.05
合計	68,765	35,623	1,416.12

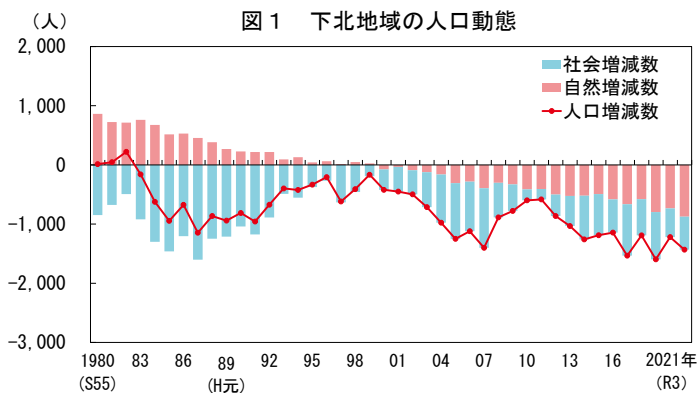
資料：総務省（人口・世帯数、2022年4月1日現在、住民基本台帳）  
国土地理院（面積、2022年10月1日現在）

地点 むつ	平均気温 （℃）	最高気温 （℃）	最低気温 （℃）	日照時間 （時間）	降水量 （mm）	降雪量 （cm）
平年値	9.8	25.8	-4.9	1,577.4	1,357.6	365
2022	16.5	31.8	-16.2	1,707.5	1,606.0	383

※平年値：1991～2020年の累年平均値  
資料：気象庁

### ■人口動態

自然動態は、2000年に減少に転じ、年々減少幅が拡大する傾向にある。社会動態は、2020年の-485人から2021年は-558人と減少幅が拡大した。（図1）

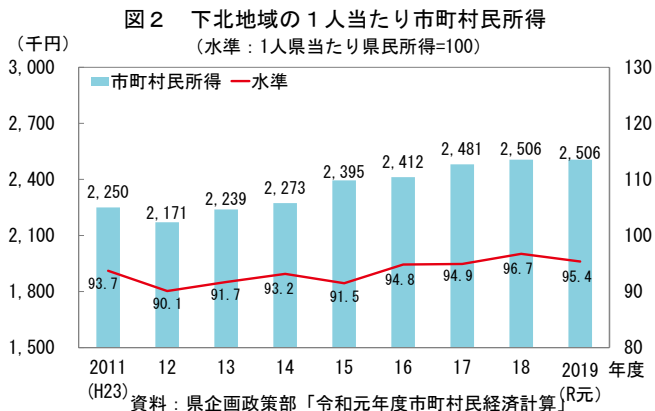


資料：県企画政策部「青森県の推計人口年報」

## ■ 1人当たり市町村民所得

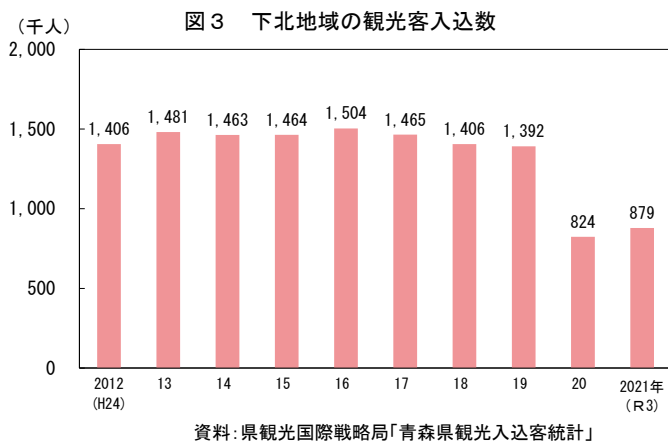
1人当たり市町村民所得は、2013年度以降は概ね増加傾向にある。

また、1人当たり県民所得に対する1人当たり市町村民所得の水準は、県の水準を下回っているものの、近年その差は縮小傾向にある。(図2)



## ■ 観光客入込数

観光客入込数は、東日本大震災以降横ばいであったが、2020年からは新型コロナウイルス感染症の影響により減少し、2021年は約88万人となっている。(図3)



## 4 地域のここが推し

### 東青地域のここが推し

#### ◆いまべつ牛～幻の黒毛和牛～

県内の肉好きの方は「いまべつ牛」をご存じでしょうか。「いまべつ牛」は、赤身とサシのバランスが最高の今別町のブランド牛です。肥育頭数が少なく、市場にほとんど出回らないことから、「幻の牛」とも言われています。

現在、「いまべつ牛」は道の駅いまべつ半島プラザ「アスクル」で提供しており、ステーキなどで堪能できます。分厚いステーキ肉は非常に柔らかく、あふれ出す旨みたっぷりの肉汁はまさに絶品！また、アスクルでは冷凍肉も販売しており、自宅でもジューシーな霜降り肉を楽しめます。

今別町へお出かけの際は、至高の牛肉「いまべつ牛」を是非ご賞味ください！



いまべつ牛ステーキ

#### ◆トマトの村の物産館～「マルシェよもぎた」～



蓬田村のブランドトマト

蓬田村は県内有数のトマトの生産地。よもぎた物産館「マルシェよもぎた」では地元特産品や新鮮野菜、そして糖度が高く、みずみずしいブランドトマトが多く揃います。寒暖差のある気候で育つブランドトマトは、甘みと酸味のバランスが絶妙なおいしさ。最盛期は津軽の雫（桃太郎）、北の雅、サマーセレブ、高級ミニトマト「ベビーベビー」などのブランドトマトが並びます。

また、「マルシェよもぎた」は玉松海岸海水浴場に隣接しており、陸奥湾を眺めながらテラスでトマト料理が楽しめます。

旨みがぎゅっと濃縮した完熟トマトを使ったパスタやオムライスが絶品です。

他では味わえないトマトを堪能してみませんか。

お出かけの際は、是非「マルシェよもぎた」にお立ち寄りください。



テラスから望む陸奥湾の風

## 中南地域のここが推し

### ◆津軽に残る数々の鬼伝説。「鬼神社」と「巖鬼山神社」



鬼神社拝殿

一般的には畏れられる鬼。ですが、津軽地方の鬼は人々を助け、地域に災いが入り込むのを防いでくれる頼れる存在なんです。弘前市鬼沢には、水不足に苦しむ村のために一晩で水路を作り、村人を助けた鬼を祀る「鬼神社（きじんじゃ 通称：おにじんじゃ）」があります。そんな人々の味方の鬼を祀る鬼神社の鳥居や拝殿の「鬼」の漢字には、ツノ（ノの字）がなく、また鬼沢では節分の豆まきはやりません。鬼は地域を守る神様として人々に大切にされています。

弘前市十腰内には津軽の山岳信仰の発祥の地とされている「巖鬼山神社（がんきさんじんじゃ）」があります。清水が湧き、大きな杉の木に囲まれる境内はまさにパワースポット。鳥居から拝殿へと延びる参道はまるで鬼が通ったあとのようです。鬼にじっと見つめられているような荘厳な空気の中、樹齢1000年以上の大杉や拝殿内の鬼の顔に圧倒されます。ぜひ、鬼のパワーを貰いに鬼神社や巖鬼山神社を訪れてみてください。



巖鬼山神社

### ◆弘南鉄道に今も残る手法「焼き嵌め（やきばめ）」



焼き嵌め作業の様子

弘南鉄道は、黒石～弘前間、弘前中央～大鰐間を運行するローカル線。鉄道の運行を支え続けている車輪整備の手法を1つ紹介します。

最近の車両の車輪は、タイヤとホイール部分（「輪心」と言います）が一体となっていますが、弘南鉄道の車両の車輪は、自動車と同じように、タイヤとホイールが取り外せる構造になっています。

そこで、タイヤが磨耗してくると、古いタイヤを外して、新しいタイヤと交換します。約200度までタイヤを加熱し、膨張させた状態で嵌め込み、温度が下がると収縮して固く嵌まる仕組みです。このようにして嵌め込む手法を「焼き嵌め」といいます。

この方法で整備する会社は全国的に減り続け、今では県外の鉄道会社からも交換作業の依頼があるんだとか。事前予約で見学することができます。

## 三八地域のここが推し

### ◆全国巨木フォーラム開催予定！「巨木の郷はしかみ」

階上町には、巨木・古木が沢山あります。推定樹齢 1,000 年で幹周が国内最大級の「銀杏木窪の大銀杏」や、推定樹齢 850 年で大きい葉が特徴的な「茨島のトチノキ」等が、民家の庭や道路沿いに立っていて、気軽に見ることができます。



「茨島のトチノキ」の花

ボランティアガイドの「階上売込み隊」が案

内する巨木めぐりも大人気！令和 5 年度には「巨木を語ろう全国フォーラム青森・階上大会」を開催予定で、全国の巨木ファンが「巨木の郷はしかみ」に集まります！



銀杏木窪の大銀杏

### ◆キャンプの醍醐味“熱々、うまい！キャンプ飯”

戸来岳を望む標高 350m の高原に広がり 65ha の広大な敷地を有する「間木ノ平グリーンパーク」では、上級ソロキャンパーからファミリー、女性キャンパーまで、互いのスタイルを邪魔することなくキャンプを楽しめます。そんなキャンプの醍醐味といえば、自然の中で出来立てを味わうキャンプ飯！

ウインナーやベーコンを野菜と一緒に煮込んだスープに南部せんべいを割り入れた

「洋風せんべい汁」や香辛料薫るチューリングャーブルスト（ドイツ・チューリングル地方由来のソーセージ）をコッペパンに挟んだ「ホットドック」など、誰でも手軽に作れて美味しいキャンプ飯は、新郷村の大自然の中で食せば美味しさも倍増すること間違いなしです。

材料はパーク内に併設されている地場産品直売センターで揃えることができます。

是非、新郷村での美味しいキャンプ飯をお楽しみください。



おすすめキャンプ飯



間木ノ平グリーンパークキャンプ場



## 西北地域のここが推し

### ◆白山山地の清流で育つ「赤石川の金アユ」

世界自然遺産登録 30 周年を迎える白山山地を源流とする赤石川に生息するアユは、魚体が金色を帯びていることから「金アユ」と呼ばれ、美しく輝く魚体と優れた香り・食味から、毎年、アユ釣りが解禁となる7月から9月にかけて、全国各地から多くの釣り人が訪れます。

金アユは、シンプルに塩焼きがおすすめです。アユ特有の香りと風味をしっかりと味わうことができます。

また、アユの味わいにはワタ（内臓）が欠かせません。ぜひ「がぶっ」と丸かじりでお楽しみください。そのほか、田楽やうるか（内臓の塩漬け）、飯ずしでも食べられています。

鱒ヶ沢町では、金アユの資源維持のため、アユ増養殖事業を展開しています。鮮魚は、7月～8月上旬の期間限定で提供。活締め・瞬間冷凍した「青森・赤石川の金の鮎」は通年で提供しており、ふるさと納税の返礼品としても人気があります。



青森・赤石川の金の鮎

わきつぼ

### ◆もう一つの青池「沸壺の池」

世界自然遺産登録 30 周年を迎える白山山地の麓に位置する深浦町内観光スポット「十二湖」。その奥には青く澄み切った青池が佇んでおり、県内外から毎年多くの観光客が訪れています。

その青池から遊歩道を 10 分程度歩くと、ザーッと水のせせらぎが聞こえ、その流れに沿って歩くと、もう一つの青池が現れます。

この池は「沸壺の池（わきつぼのいけ）」と呼ばれ、青く湖底が見えるほどの透明度で、青池に引けをとらない美しさです。その水は「沸壺池の清水（わきつぼいけのみず）」として環境省の「平成の名水百選」にも選定されており、休憩所「十二湖庵」ではその水で立てた抹茶をいただくことができます。

青池を巡った後には、ぜひもう一つの青池にも訪れてはどうでしょうか。きっとその幻想的な青の美しさに驚くことでしょう。



沸壺の池

## 上北地域のここが推し

### ◆旨味や歯応えを高めた特別飼育「青森シャモロック ザ・プレミアム#6」

マスコミなどにも幾度となく取り上げられ知名度向上中の「青森シャモロック」。県内の指定生産農場のみで育てられ、宮内庁管轄の御料牧場にひなが出荷されている唯一の地鶏です。

六戸町は、さらに旨味や歯応えなどを向上させた「プレミアムな青森シャモロック」の生産に2016年度（平成28年度）から着手しています。通常の出荷日齢である100日を迎えた雄に、にんにく粉末等を加えた仕上げ飼料をさらに30日間与え、飼育密度を減らし丁寧に飼育、「青森シャモロック ザ・プレミアム#6（ナンバー・シックス）」として名付け、デビューさせました。



青森シャモロック  
ザ・プレミアム#6

「美食の世界カップ」とも言われる「ボキューズ・ドール国際料理コンクール2023」の日本代表選考会「ひらまつ杯2022」において、課題食材に選ばれるなど、料理のプロも認める「深いコクと旨味」が特徴です。通常飼育と比較して、旨味の目安となるグルタミン酸が約1.6倍、歯応えが1.4倍、健康に良いとされるα-リノレン酸が2.6倍含まれています。

特産の野菜と一緒にあつあつの鍋料理でいただくと、肉と野菜の旨味が互いを引き立て合い、最後の一滴まで飲み干したくなります。「滋味あふれる特産の野菜が引き立つ」奥深い味わいで、濃厚なのに雑味の無いすっきりした出汁が一番の特徴です。また、肉はきめが細かく締まっていて、噛めば噛むほど肉汁が「ジュワ〜ッ」と口いっぱいに広がり、地鶏本来の旨味を感じさせます。

現在、六戸町で年間500羽のみの限定生産のため、町内飲食店や東京都内レス



希少な青森シャモロック  
ザ・プレミアム#6なべ

トラン等数店舗のみの取扱いとなっています。

おススメは、町内にある「仕出し・宴会のもりとみ」。鉄板焼きや鍋物、炊込みご飯等のコース料理が人気で、青森シャモロック ザ・プレミアム # 6 の肉やお出汁の味をシンプルに味わうことができます。昼と夜どちらもお食事可能ですが、要事前予約です。

ぜひ一度、六戸町でしか飼育されていない、青森シャモロック ザ・プレミアム # 6 をご賞味くださいませ。

#### ◆いちよう公園と日本一の自由の女神像

おいらせ町にあるいちよう公園は、町のシンボルである自由の女神像と四季折々の景色を楽しめる公園です。春は桜が一面に広がり、夏は紫陽花が堤の周りを賑やかに彩ります。そして秋には、いちようの黄葉が公園中を黄色く埋め尽くし、冬には町の鳥である白鳥が飛来するなど、一年を通じて、その時期にしか見られない姿があるので、いつ訪れても新しい発見ができるスポットです。



満開の桜に囲まれた自由の女神像

公園のシンボル、自由の女神像は、おいらせ町がアメリカのニューヨーク州と同じ北緯 40 度に位置する事を縁として、実物の 4 分の 1 のサイズでつくられた、日本一大きな自由の女神像です。2020 年に 30 周年を迎え、塗装を新たにした自由の女神像は、四季折々の景色になじんで、おいらせ町でしか見られない風景を見せてくれますので、皆さん是非お越しください。

## 下北地域のここが推し

### ◆澄んだ青い空に映える「白亜の灯台」

尻屋埼灯台は、本州最北東端の岬、尻屋崎の先頭に建つ灯台です。

イギリス人技師、ブラントンの設計により 1876（明治 9）年に完成したこの灯台は、東北地方で最も古い洋式灯台で、高さは 32.8m とレンガ造りでは日本一の高さを誇ります。

また、霧が発生しやすい海域であることから、明治 10 年に日本で初めて霧信号が設置されました。

このような歴史的価値等が評価され、国重要文化財に指定されました。

尻屋埼灯台は現役の灯台ですが、毎年 4 月から 11 月上旬まで中に入って見学することができます。

128 段のらせん階段を上ると、そこには空、青い海、草原という絶景が広がっています。尻屋崎では津軽海峡と太平洋が交わっており、灯台の上からその波がぶつかる様子を眺めることができます。

本州最北東端で、歴史と絶景に触れてみてはいかがでしょうか。



尻屋埼灯台

### ◆大間の陸マグロ「大間牛」

黒いダイヤモンドと称される最高級品「大間まぐろ」で有名な大間町には、「陸（おか）マグロ」と呼ばれる食材があることをご存知でしょうか。それは、西吹付山の麓にある大間牧場で飼育肥育されている黒毛和種の「大間牛」です。

本マグロにも引けを取らない最高等級の A5 ランクに評価されることもある美味しさ

の秘密は、津軽海峡から吹き付ける強い潮風を浴びてミネラル分を豊富に含んだ牧草にあるとされています。かつての下北地方は、南部藩の官営牧場として大間、奥戸で優秀馬の飼育に当たっており、古来から畜産に適した環境であったことが伺われます。

「マグロ」の本場で、大間まぐろと陸マグロの贅沢な食べ比べはいかがでしょうか。



大間牛のすき焼き



## □ 資料編 □

- I 青森県長期計画の変遷と計画を取り巻く社会経済状況の変化  
本県の長期計画の変遷を国の総合開発計画や社会経済状況の変遷と併せて紹介する。
- II 個別計画  
県が進める様々な計画の概要を紹介する。
- III 地域資源カレンダー  
本県の地域資源の中から「食材」と「催事」を取り上げ、カレンダー形式で紹介する。
- IV 統計データ  
都道府県別・市町村別の主要統計にて各種データを紹介する。

I

# 青森県長期計画の変遷と計画を取り巻く社会経済状況の変化

西暦	1962	1963	1964	1965	1966	1967	1968	1969	1970	1971	1972	1973	1974	
和暦	S37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	
青森県	名称	第1次長期経済計画					第2次長期経済計画				新長期計画			
	策定期間	昭和37年11月 昭和36~45年					昭和43年6月 昭和43~50年度				昭和46年8月 昭和46~60年度			
	基本目標等	・所得格差の是正					・能率のよい住み良い地域社会 ・労働力の不足の深刻化 ・交通部門の革新・情報収集・処理伝達機構の革新 ・住民意識の変化				・豊かで住み良い地域社会の実現 ・県民の福祉水準の飛躍的向上 ・むつ小川原大規模工業開発の具 ・東北縦貫自動車道の供用、東北交通時代への対応 ・米生産調整に伴う総合農政の展開			
	背景	①日本経済の高度成長 ・既成4大工業地帯への過度集中による生産基盤の隘路の増大と都市生活環境の悪化 ・日本経済の二重構造ないし所得格差の顕在化					①生産性の向上と組織化の推進 ②産業基盤の整備 ③都市開発と農村社会開発の推進 ④産業近代化のための新しい担い手の養成 ⑤雪の克服のための創意工夫				①新しい交通通信体系とその対応 ②県民を豊かにする産業開発 ③住みよい地域社会をめざす環境 ④国土の保全及び水資源の開発			
	施策の推進方向・めざすべき社会像	①農林水産業の近代化 ②工業の発展 ③産業基盤の整備 ④国土の保全 ⑤労働力の質的向上と教育の振興 ⑥社会保障の充実												
	地域別計画等						地域総合開発の基本方向 (4地域・32頁)				広域生活圏開発の基本構想 (4圏域・16頁)			
知事	山崎岩男 (S31.7.22~38.1.26)		竹内俊吉 (S38.3.2~54.2.25)											
国	名称	全国総合開発計画						新全国総合開発計画						
	策定期間	昭和37年10月 目標年次：昭和45年						昭和44年5月 目標年次：昭和60年度						
基本目標	<地域の均衡ある発展>						<豊かな環境の創造>							
内閣総理大臣	池田勇人 (S35.7.19~39.11.9)			佐藤栄作 (S39.11.9~47.7.7)			田中角栄 (S47.7.7~49.12.9)							
県の経済動向等	名目経済成長率	20.3%	11.6%	15.3%	13.4%	12.2%	17.7%	14.3%	14.1%	16.0%	14.2%	18.8%	22.0%	21.9%
	実質経済成長率					9.9%	9.0%	7.1%	8.2%	7.7%	9.3%	8.3%	6.0%	1.9%
社会経済白書(経済白書、県民生活白書)のテーマ	・経済成長への課題(S43 経済) ・70年代への課題(S45 経済) ・新局面													
国の経済動向等	名目経済成長率	13.5%	14.4%	17.6%	11.3%	16.1%	17.2%	18.4%	17.5%	17.9%	10.0%	14.5%	21.8%	19.3%
	実質経済成長率	8.6%	8.8%	11.2%	5.7%	10.2%	11.1%	11.9%	12.0%	10.3%	4.4%	8.4%	8.0%	-1.2%
経済財政白書(H12までは経済白書)のテーマ	・景気循環の変わらぬ道(S37) ・先遣国への道(S38) ・開放体制下の日本経済(S39) ・安定成長の課題(S40) ・国際化のなかの日本経済(S43) ・豊かさへの挑戦(S44) ・日本経済の新しい次元(S45) ・内外均衡達成への道(S46) ・新しい福祉社会の建設(S47) ・インフレなき福祉													
日本の景気循環(通称・俗称)	好況	オリンピック景気			いざなぎ景気				ニクソン不況		列島改造景気			
	不況	証券不況							第一次オイルショック					
青森県に関する主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野内村の青森市編入で県内67市町村(S37)</li> <li>・八戸地区新産業都市指定(S38)</li> <li>・青森市で「一日内閣」開催(S38)</li> <li>・青森空港開港(S39)</li> <li>・青函トンネル本州側調査坑掘入式(S39)</li> <li>・台風23号でりんご100万箱落果(S40)</li> <li>・「津軽岩木スカイライン」開通(S40)</li> <li>・全国高校総体開催(S41)</li> <li>・八戸港の水揚げ高100億円突破(S41)</li> <li>・フジ製糖青森工場閉鎖(S42)</li> <li>・原子力船むつが母港に大浜港決定(S42)</li> <li>・十勝沖地震発生(S43)</li> <li>・東北本線複線電化(S43)</li> <li>・むつ小川原開発計画決定(S44)</li> <li>・三沢高校が夏の甲子園準優勝(S44)</li> <li>・原子力船むつ大浜港入港(S45)</li> <li>・棟方志功、県人初の文化勲章受章(S45)</li> <li>・三沢基地の日米共同使用決定(S46)</li> <li>・弘前市で気温39.2度を記録、全国観測史上4位(S46)</li> <li>・交通事故死者238人で史上最悪(S47)</li> <li>・りんご黒星病が異常発生(S47)</li> <li>・上北鉱山閉山(S48)</li> <li>・原子力船むつが母港に大浜港決定(S48)</li> <li>・原子力船むつが母港に大浜港決定(S48)</li> <li>・三沢沖地震発生(S43)</li> <li>・東北本線複線電化(S43)</li> <li>・むつ小川原開発計画決定(S44)</li> <li>・三沢高校が夏の甲子園準優勝(S44)</li> </ul>													
	国内・世界の主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キューバ危機(S37)</li> <li>・日本人ヨットで太平洋横断(S37)</li> <li>・ケネディ大統領暗殺(S38)</li> <li>・三井三池炭鉱爆発事故(S38)</li> <li>・東京オリンピック開催(S39)</li> <li>・東海道新幹線東京大阪間開業(S39)</li> <li>・米国防務省が日本に軍事介入(S40)</li> <li>・日韓基本条約成立(S40)</li> <li>・ビートルズ来日(S41)</li> <li>・集団テロ事件(S41)</li> <li>・羽田学生テロ(S42)</li> <li>・小笠原諸島返還決定(S42)</li> <li>・3億円事件(S43)</li> <li>・川端康成ノーベル賞受賞(S43)</li> <li>・アポロ11号月面着陸(S44)</li> <li>・東大安田講堂火災(S44)</li> <li>・日本万国博覧会、大阪で開催(S45)</li> <li>・作家の三島由紀夫刺殺自殺(S45)</li> <li>・成田空港反対闘争(S46)</li> <li>・全日空機と自衛隊機空中衝突(S46)</li> <li>・連合赤軍浅間山荘事件(S47)</li> <li>・日中国交正常化(S47)</li> <li>・石油危機(S48)</li> <li>・日航機ハイジャック(S48)</li> <li>・三菱重工業が長崎造船所を開設(S44)</li> <li>・長島茂</li> </ul>												

※ 県の実質経済成長率については、基準年次や推計方法の見直しにより、必ずしも接続しない。よって、正式なデータとしてではなく参考値

1975	1976	1977	1978	1979	1980	1981	1982	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989
50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	H1
<b>第4次長期総合計画</b>														
昭和52年11月 昭和51～60年度														
<ul style="list-style-type: none"> <li>豊かで住みよい活力のある地域社会の建設</li> </ul>														
体化	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域格差の存在</li> <li>県外への出稼ぎ</li> <li>若年層の流出</li> <li>高度成長から低成長への移行</li> </ul>													
新幹線等による高速														
開														
第5次長期総合計画 (次頁)														
の保全と整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>①活力と豊かさを支える産業の発展</li> <li>②安心した生活と快適な生活環境の確保</li> <li>③県土の発展を支える基礎条件の整備</li> <li>④人間性豊かな人づくりと地域の発展を担う人材の育成</li> <li>⑤コミュニティの形成</li> </ul>													
地域別構想(4地域・12頁)[地域発展の基本方向]														
北村正哉(S54. 2.26～H7. 2.25)														
第三次全国総合開発計画 昭和52年11月 目標年次：昭和52年から概ね10か年間 ＜人間居住の総合的環境の整備＞ (H1. 6.3～H1. 8.10)														
第四次全国総合 開発計画(次頁)														
三木武夫 (S49. 12. 9～ 51. 12. 24)	福田赳夫 (S51. 12. 24～ 53. 12. 7)	大平正芳 (S53. 12. 7～ 55. 7. 17)	鈴木善幸 (S55. 7. 17～ 57. 11. 27)	中曽根康弘 (S57. 11. 27～62. 11. 6)								竹下登 (S62. 11. 6 ～H1. 6. 3)	宇野宗佑	
15.3%	12.8%	10.5%	9.7%	11.8%	4.5%	7.1%	3.9%	2.0%	6.3%	6.6%	1.0%	3.2%	4.6%	7.7%
4.4%	4.0%	4.9%	1.2%	9.3%	1.1%	3.7%	2.0%	-0.3%	3.9%	1.5%	-1.8%	1.9%	3.6%	4.7%
<ul style="list-style-type: none"> <li>産業構造の質的高度化をめざして(S59 経済)</li> <li>雪と県民生活(S60 生活)</li> <li>成長力の涵養をめざして(S61 経済)</li> <li>高齢化社会へ向けて(S62 生活)</li> <li>新たな環境変化と県経済(S63 経済)</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>を迎えて(S49 経済)</li> <li>県民生活の回顧と福祉水準(S50 生活)</li> <li>低成長下の構造変化と県経済の課題(S52 経済)</li> <li>新局面を迎える県経済(S55 経済)</li> <li>新たな環境変化と県経済(S63 経済)</li> <li>全天候型の産業構造をめざして(S57 経済)</li> </ul>														
10.5%	12.3%	11.4%	10.1%	8.4%	8.4%	7.5%	5.0%	4.0%	6.3%	7.4%	4.7%	4.0%	7.5%	7.7%
3.1%	4.0%	4.4%	5.3%	5.5%	2.8%	4.2%	3.4%	3.1%	4.5%	6.3%	2.8%	4.1%	7.1%	5.4%
<ul style="list-style-type: none"> <li>経済を超えて(S49)</li> <li>先進国日本の試練と課題(S55)</li> <li>日本経済の創造的活力を求めて(S56)</li> <li>国際的調和をめざす日本経済(S61)</li> <li>進み構造転換と今後の課題(S62)</li> <li>新たな発展への基礎のため(S51)</li> <li>経済効率性を活かす道(S57)</li> <li>持続的成長への足固め(S58)</li> <li>内需型成長の持</li> <li>安定成長への適応を進める日本経済(S52)</li> <li>構造転換を進めつつある日本経済(S53)</li> <li>新たな国際化に対応する日本経済(S59)と国際社会へ</li> <li>めざして(S48)</li> <li>すぐれた適応力と新たな出発(S54)</li> <li>新しい成長とその課題(S60)</li> <li>の貢献(S63)</li> </ul>														
<span style="color: red;">⇐</span> 安定成長景気 <span style="color: red;">⇐</span> 公共投資景気 <span style="color: red;">⇐</span> 第二次オイルショック <span style="color: red;">⇐</span> ハイテク景気 <span style="color: red;">⇐</span> 円高不況 <span style="color: red;">⇐</span> バブル景気														
<ul style="list-style-type: none"> <li>三沢空港東京便就航(S50)</li> <li>岩木山百沢で土石流発生(S50)</li> <li>強風でりんご360万箱落果(S51)</li> <li>63年ぶりの冷害と冷害(S51)</li> <li>あすなろ国体開催(S52)</li> <li>青森市積雪195cmの豪雪で政府が豪雪対策本部設置(S52)</li> <li>本県人口150万人を超える(S53)</li> <li>八戸港水揚げ75万トンで日本一に(S53)</li> <li>東北自動車道青森-大館間開通(S54)</li> <li>台風20号でりんご200万箱落果(S54)</li> <li>東北新幹線青森駅が石江地区に決定(S55)</li> <li>冷害で水稲作況指数47の大凶作(S55)</li> <li>国鉄黒石線・大畑線の廃止決定(S56)</li> <li>水稲作況指数65と2年連続の冷害(S56)</li> <li>東北新幹線盛岡-大宮間開業(S57)</li> <li>原子力船むつ佐世保での改修終了4年ぶりに大津へ帰港(S57)</li> <li>日本海中部地震発生(S58)</li> <li>青函トンネル先導坑貫通(S58)</li> <li>黒石線・大畑線の民営化(S59)</li> <li>県内、記録的な豪雪被害(S59)</li> <li>核燃サイクル基地六ヶ所村立地決定(S60)</li> <li>むつ小川原国家石油備蓄基地完成(S60)</li> <li>東北自動車道青森-浦和間開通(S61)</li> <li>県観光物産館アスラム開館(S61)</li> <li>新青森空港開港(S62)</li> <li>台風12号で水稲・りんごに100億円被害(S62)</li> <li>青函トンネル開業、青函橋開港(S63)</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>キングオブロックンロール</li> <li>エルビス・プレスリー死去(S52)</li> <li>宮城県沖地震(S53)</li> <li>英で試験管ベビー誕生(S53)</li> <li>東名高速日本坂トンネル事故(S54)</li> <li>東京で先進国首脳会議開催(S54)</li> <li>ジョン・レノン射殺(S55)</li> <li>1億円拾得事件(S55)</li> <li>ローマ法皇初来日(S56)</li> <li>深川通り殺人事件(S56)</li> <li>ホテルニュージャパン火災(S57)</li> <li>フォークランド紛争(S57)</li> <li>大韓航空機墜落事件(S58)</li> <li>三宅島大噴火(S58)</li> <li>グリコ森永事件(S59)</li> <li>ロス五輪(S59)</li> <li>日航ジャンボ機墜落、520人死亡(S60)</li> <li>国鉄同時多発列車(S60)</li> <li>チェルノブイリ原発事故(S61)</li> <li>英ファミー皇太子717妃来日(S61)</li> <li>国鉄分割・民営化(S62)</li> <li>世界の人口50億人突破</li> <li>リクルート疑惑(S62)</li> <li>疑念</li> <li>疑念</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>船むつ強行出航し、放射能漏れ事故発生(S49)</li> <li>の生産が日本一に(S49)</li> </ul>														
<ul style="list-style-type: none"> <li>ツク(S48)</li> <li>エビル爆破事件(S49)</li> <li>雄引退(S49)</li> <li>沖縄海洋博(S50)</li> <li>日本女性エレベーター初登頂(S50)</li> <li>鹿児島で日本初の五つ子誕生(S51)</li> <li>ロッキード事件(S51)</li> </ul>														

として利用された。



		西暦								和暦																
		1990	1991	1992	1993	1994	1995	1996	1997	1999	1998	1999	2000	2001	2002											
		H1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15										
青森県	名称	第5次長期総合計画								新青森県長期総合プラン																
	策定時期	昭和61年12月								平成9年2月																
	計画期間	昭和61～平成12年度								平成9～18年度																
	基本的目標等	・豊かで住みよい活力のある地域社会の建設								・ニュールネサンス 一人間性復活																
	背景	・人口の急速な高齢化 ・所得水準の伸び悩み ・県民意識の多様化 ・高速交通時代の到来・情報化、国際化の進展								・従来の開発主導型による発展の限界 ・自然との共存や心の豊かさを求める新たな動き ・「地方分権」「新地方時代」の始まり ・県民の意欲と能力が問われる時代																
	施策の推進方向・めざすべき社会像	①新時代を担う人づくりと個性豊かな学術・文化の創造 ②豊かな地域社会を築く産業の振興 ③快適でゆめくもりのある新しい調和型社会の創出 ④高度ネットワーク型社会の創出 ⑤美しい県土の保全と豊かな資源の活用								①誰もがゆとりを持って、安心し、快適に暮らせる「悠々・安心・快適社会」の実現 ②自立性と自主性を育む、可能性に富んだ「未来力あふれる社会」の実現 ③新たな生活空間を提案する「彩りある美しい社会」 ④多様な交流ネットワークの形成を通じて、新たな可能性を創造する「先進創造社会」の実現																
地域別計画等	地域別構想(4地域・12頁)[地域別の発展方向と主要施策]								県土のグランドデザイン(3圏域・40頁) [各圏域の整備方向]																	
知事	北村正哉(S54.2.26～H7.2.25)								本村守男(H7.2.25～15.5.16)																	
国	名称	第四次全国総合開発計画								21世紀の国土のグランドデザイン																
	策定時期	昭和62年6月								平成10年3月																
	目標年次	目標年次：概ね2000年 目標年次：(H5.8.9～H6.4.28) (H6.4.28～6.6.30)								目標年次：2010年から2015年 <多軸型国土構造形成の基礎づくり>																
	基本的目標	<多極分散型国土の構築>								<多軸型国土構造形成の基礎づくり>																
県の経済動向等	内閣総理大臣	海部俊樹 (H1.8.10～3.11.5)		宮澤喜一 (H3.11.5～5.8.9)		細川護国寺 羽田孜		村山富市 (H6.6.30 ～8.1.11)		橋本龍太郎 (H8.1.11～10.7.30)		小淵恵三 (H10.7.30～ 12.4.5)		森喜朗 (H12.4.5 ～13.4.26)		小泉純一郎 (H13.4.26～ 18.9.26)										
	名目経済成長率 実質経済成長率	5.9%	4.5%	4.0%	0.5%	4.7%	2.4%	2.1%	-1.9%	-0.4%	0.2%	1.3%	-2.5%	-1.7%	2.9%	2.2%	2.2%	-0.3%	4.4%	3.0%	2.2%	-2.9%	0.7%	2.3%	2.2%	-0.8%
国の経済動向等	社会経済白書 (経済白書、県民生活白書)のテーマ	・自立調和型経済に向けて(H2 経済) ・県民生活と快適生活環境(H3 生活) ・産業の質的向上のために(H4 経済)								・戦後50周年を経た県民生活の変遷(H9 生活) ・21世紀の産業づくりと雇用の創出に向けて(H10 生活) ・少子社会の中での県民生活(H11 生活) ・本県経済と情報通信技術(IT)																
	経済財政白書 (H12までは経済白書)のテーマ	・平成経済の門出と日本経済の新しい潮流(H1・日本経済のダイナミズムの復活をめざして(H7)) ・持続的拡大への道(H2) ・改革が展望を切り開く(H8)								・消費生活を通る情勢と消費生活向上に向けての対応(H7 生活) ・高齢者の就業 ・本県経済成長の道りと未来(H8 経済)																
	経済財政白書 (H12までは経済白書)のテーマ	・長期拡大の条件と国際社会における役割(H3) ・調整をこえて新たな展開をめざす日本経済(H4) ・パールの教訓と新たな発展への課題(H5)								・改革へ本格起動する日本経済(H9) ・創造的発展への基礎固め(H10) ・経済再生への挑戦(H11) ・激しい調整を越えて新たなフロンティアへ(H6・新しい世の中が始まる(H12))																
日本の景気循環 (通称・俗称)	<p>好況 → 不況</p> <p>バブル景気 第一次平不況 (複合不況) ← カンフル景気 → 第二次平不況 (日本列島総不況) ← IT景気 → 第三次平不況 (デフレ不況)</p>																									
青森県に関する主な出来事	<p>・東北自動車道八戸線全通(H1)</p> <p>・県産米「つがるおとめ」デビュー(H1)</p> <p>・津軽岩木リゾート構想承認(H2)</p> <p>・青森空港全面開港(H2)</p> <p>・東北新幹線盛岡-青森開工(H3)</p> <p>・台風19号でりんご34万ト落果、被害額1,129億円余(H3)</p> <p>・六ヶ所ウラン濃縮工場の本格操業開始(H4)</p> <p>・弘沼湿原のオオセッコク国内希少野生動物種に指定(H4)</p> <p>・白神山地世界遺産登録(H5)</p> <p>・全国最低の作況指数28で大正2年以来の大凶作(H5)</p> <p>・三内丸山遺跡から本柱等が出土(H6)</p> <p>・三陸はるか沖地震発生(H6)</p> <p>・ソウル便・ハロフスク便就航(H7)</p> <p>・東北新幹線盛岡-八戸間フルカバー化工(H7)</p> <p>・五所川原立俣武多復活(H8)</p> <p>・八戸港が国の輸入促進地域に指定(H8)</p> <p>・三内丸山遺跡の国史跡指定(H9)</p> <p>・県産米「つがるロマン」デビュー(H9)</p> <p>・東北新幹線八戸-新青森開工(H10)</p> <p>・弘南鉄道黒石線廃止(H10)</p> <p>・東通原発電工(H11)</p> <p>・県立保健大学開学(H11)</p> <p>・三内丸山遺跡特別史跡指定</p> <p>・六ヶ所村再処理工場への使用</p> <p>・下北交通大畑線</p> <p>・八戸市が特例市に</p> <p>・東北新幹線</p> <p>・青い森鉄道</p>																									
国内・世界の主な出来事	<p>・ベルリンの壁崩壊(H1)</p> <p>・消費税スタート(H1)</p> <p>・乳宮さま・紀子さま御結婚(H2)</p> <p>・東西ドイトが統一(H2)</p> <p>・海岸戦争(H3)</p> <p>・雲仙普賢岳で火砕流(H3)</p> <p>・パルセロナ五輪で日本メダル22個(H4)</p> <p>・皇太子・雅子さま御結婚(H5)</p> <p>・北海道南西沖地震(H5)</p> <p>・中華航空機着陸失敗、264人死亡(H6)</p> <p>・関西国際空港開港(H6)</p> <p>・阪神・淡路大震災(H7)</p> <p>・地下鉄サリン事件(H7)</p> <p>・0-157による集団食中毒(H8)</p> <p>・ベルー日本大使館入員事件(H8)</p> <p>・ダイアナ元妃、パリで交通事故(H9)</p> <p>・9.11アメリカ</p> <p>・長野冬季五輪(H10)</p> <p>・国内初の狂牛病</p> <p>・和歌山カローラ毒物混入事件(H10)</p> <p>・西暦2000年問題(H11)</p> <p>・初の脳死判定による</p> <p>・移種手術実施(H11)</p> <p>・三宅島雄山噴火(H12)</p> <p>・シドニー五輪(H12)</p>																									

※ 県の実質経済成長率については、基準年次や推計方法の見直しにより、必ずしも接続しない。よって、正式なデータとしてはあく参考値

2003 15	2004 16	2005 17	2006 18	2007 19	2008 20	2009 21	2010 22	2011 23	2012 24	2013 25											
生活副産物推進プラン						青森県基本計画未来への発展															
平成16年12月 平成16～20年度 暮らしやすさのトップランナーをめざして 経済のグローバル化 少子・高齢化の進行 地方分権の進展 環境への意識の高まり 情報ネットワーク社会の進展						平成20年12月 平成21～25年度 「生産（なりわい）」に裏打ちされた豊かな「生活」が実現している社会 人口減少幅の拡大や高齢化・少子化の進行 浮揚感なく経済や厳しい雇用情勢 人口減少下でのグローバル展開の必要性 「食」に対する県民・国民の関心の高まり 地球環境問題のクローズアップ 平成22年度中の東北新幹線全線開業															
①人財・青森の豊かさを知り、夢をもって未来を拓く社会 ②産業・雇用いきいきと働ける豊かな社会 ③健康・健やかで安心して暮らせる社会 ④環境・環境と共生する循環型社会 ⑤安全・安心・安全・安心で快適な社会						①産業・雇用分野（仕事づくりと所得の向上） ②安全・安心・健康分野（命と暮らしを守る） ③環境分野（低炭素・循環型社会の形成） ④教育、人づくり分野（生活創造社会の礎）															
地域別計画（6地域・36頁）〔特性と課題、概況、めざす姿、取組の展開方向と重点施策〕																					
三村申吾（H15.6.29～）																					
国土形成計画 平成20年7月 目標年次：平成20年から概ね10か年間																					
小泉純一郎 (H13.4.26～18.9.26)		安倍晋三 (H18.9.26～19.9.26)		福田康夫 (H19.9.26～20.9.24)		麻生太郎 (H20.9.24～21.9.16)		鳩山由紀夫 (H21.9.16～22.6.8)		菅直人 (H22.6.8～23.9.2)		野田佳彦 (H23.9.2～24.12.26)		安倍晋三 (H24.12.26～)							
-1.4%		-0.4%		-2.9%		8.2%		-0.8%		-6.0%		-0.8%		0.5%		0.5%		0.0%		-0.5%	
-0.4%		0.8%		-1.8%		9.1%		-0.6%		-6.5%		1.0%		0.4%		1.0%		0.8%		-0.2%	
・人口減少社会への対応（H15） 経済） ・県民生活の豊かさを支える生活と本県経済の活性化に向けて（H16） ・高速度交通体系の整備と本県経済、県民生活の活性化（H17） ・持続的・自立可能な地域経済の実現を目指して（H18） ・世界的な経済危機と本県経済（H22） ・東日本大震災と本県経済（H23） ・活力ある地域社会の形成に向けて（H24） ・課題解決を通じた地域コミュニティの再構築（H25）											・世界経済危機からのゆるやかな回復と本県経済（H22） ・東日本大震災と本県経済（H23） ・活力ある地域社会の形成に向けて（H24） ・課題解決を通じた地域コミュニティの再構築（H25）										
・県民生活の今日的課題（H13生活） 就業環境づくりに向けて（H14）											・人口減少社会における地域の活性化に向けて（H19） ・平成14年2月～平成19年10月の景気回復期における本県経済の動向（H20） ・世界的な経済危機と本県経済（H21）										
0.5%		0.6%		0.8%		0.6%		0.2%		-4.1%		-3.6%		1.5%		-1.0%		-0.1%		2.7%	
1.9%		1.7%		2.2%		1.3%		1.1%		-3.6%		-2.4%		3.3%		0.5%		0.6%		2.7%	
なし（H13） 成長なしⅡ（H14） ・改革なくして成長なしⅢ（H15） ・成長なくして成長なしⅣ（H16） ・改革なくして成長なしⅤ（H17） ・成長条件が復元し、新たな成長を目指す日本経済（H18）											・生産性上昇に向けた挑戦（H19） ・リスクに立ち向かう日本経済（H20） ・危機の克服と持続的回復への展望（H21） ・需要の創造による成長力の強化（H22） ・日本経済の本質的な力を高める（H23） ・日本経済の復興から発展的創造に向けて（H24） ・経済の好循環の確立に向けて（H25）										
いざなぎ景気											デジャブ景気										
世界金融不況											欧州経済危機										
・第5回アジア冬季競技大会開催（H15） ・青森自動車道青森IC-青森東IC間開通（H15） ・五戸町と倉石村が合併（H16） ・県、六ヶ所村、日本原燃がウラン試験安全協定調印（H16） ・八甲田トンネル貫通（H17） ・東通原発運転開始（H17） ・県立美術館開館（H18） ・平成の大合併で40市町村に、青森市が中核市に移行（H18） ・青森空港CAT化（H19） ・八甲田で雪崩、死者2名重軽傷8名（H19） ・G8エネルギー担当大臣会合開催（H20） ・本県人口140万人割れ（H20）											・記録的猛暑による陸奥湾養殖ホタテへ被害（H22） ・東北新幹線全線開業（H22） ・M9.0の巨大地震を記録した東日本大震災で大津波が発生、県南を中心に漁港・住宅等に被害（H23） ・弘前城築城400年祭（H23） ・大宮で国道279号車数百台立ち往生（H24） ・八戸せんべい汁ボーリングランプリ金賞（H24） ・三陸復興国立公園の指定（H24） ・三浦雄一郎氏が80歳でエベレスト登頂に成功（H25）										
(H12) 廃核燃料本格搬入（H12） 廃止（H13） 移行（H13） 八戸駅開業（H14） 開業（H14）											・太宰治生誕100年（H21） ・東北新幹線東京-新青森間がレール1本で繋がる（H21） ・新型インフルエンザ流行で学校等閉鎖措置が増加（H21）										
会談（H14） W杯日韓共催（H14） ・新型肺炎SARSの世界的流行（H15） ・スペイン・バルセロナピョートル7号墜落事故（H15） ・スマトラ島沖地震（H16） ・新潟県中越地震（H16）											・食品偽装問題（H19） ・中国食品等の安全性問題（H19） ・秋葉原無差別殺傷事件（H20） ・オバマ氏が史上初の黒人系大統領に就任（H20） ・マイケル・ジャクソン死去（H21） ・衆院選で民主党が大勝、政権交代（H21） ・民間航空機が中国海軍艦隊と衝突（H22） ・WBCで王ジャパン世界一（H18） ・小惑星探査機「はやぶさ」帰還（H22）										
・東日本大震災、福島原発事故発生（H23） ・サッカー女子W杯などでロシア世界一（H23） ・ロンドン五輪で日本メダル最多の38個（H24） ・東京スカイツリー開業（H24） ・富士山が世界文化遺産に登録される（H25） ・2020年の東京オリンピック開催決定（H25）																					

として利用された。

西暦 和暦	2014 26	2015 27	2016 28	2017 29	2018 30	2019 31/R1	2020 2	2021 3	2022 4	2023 5	
青森県	名称	青森県基本計画「未来を築る挑戦」					青森県基本計画「選ばれる青森」への挑戦				
	策定期間	平成25年12月 平成26～30年度					2018(平成30)年12月 2019(平成31)～2023年度				
	基本的目標等	青森県の「生業(なりわい)」と「生活」が生み出す価値が世界に貢献し広く認められている状態 ・人口減少・少子高齢化の進行 ・平均寿命の低位停滞 ・ICT技術の普及と県民生活への浸透 ・北海道新幹線新青森・新函館北斗間開業(H27年度) ・東日本大震災からの創造的復興					「生業(なりわい)」と「生活」が好循環する地域へ「世界が認める「青森ブランド」の確立」～ ・歯止めのかからない人口減少・少子高齢化の進行 ・第4次産業革命の進展による地域社会の変化(Society5.0の実現) ・各産業分野で労働力不足の顕在化 ・国際社会での「持続可能な開発目標」(SDGs)に対する関心の高まり				
	背景	①産業・雇用分野(仕事づくりと所得の向上) ②安全・安心、健康分野(命と暮らしを守る) ③環境分野(自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会の形成) ④教育、人づくり分野(生活創造社会の礎)					①産業・雇用分野(しごとづくりと所得の向上) ②安全・安心、健康分野(命と暮らしを守る) ③環境分野(自然との共生、低炭素・循環による持続可能な地域社会) ④教育・人づくり分野(生活創造社会の礎)				
	施策の推進方向・めざすべき社会像										
地域別計画等	地域別計画[2030年におけるめざす姿、概要、特性と課題、取組の基本方針と主な取組]					地域別計画[2030年におけるめざす姿、概要、特性と課題、取組の基本方針と主な取組]					
知事	三村申吾(H15.6.29～)										
国	名称	第二次国土形成計画									
	策定期間	平成27年8月 目標年次：平成27年から概ね10か年間									
内閣総理大臣	安倍晋三 (H24.12.26～R2.9.16)							菅義偉 (R2.9.16～3.10.4)		岸田文雄 (R3.10.4～)	
県の経済動向等	名目経済成長率	0.4%	5.2%	0.4%	-1.1%	-1.7%	1.1%				
	実質経済成長率	-1.2%	4.6%	-0.3%	-2.0%	-1.9%	0.8%				
社会経済白書(経済白書、県民生活白書)のテーマ	・健康長寿社会の実現に向けて(H26) ・県民一人ひとりの経済基盤の確立にむけて(H27) ・魅力あふれる「あおりワーク」の確立に向けて(H28) ・「ひと」が支える持続可能な地域づくり(H29) ・人口減少社会に対応した地域公共交通の構築に向けて(H30) ・労働力不足の克服に向けて(R元) ・働く場として選ばれるために(R2)					・コロナ禍収束後における新たなビジネスモデル構築に向けて(R3) ・コロナ禍における本県経済と人口の動向について(R4) ・人への投資を原動力とする成長と分配の					
国の経済動向等	名目経済成長率	2.1%	3.3%	0.8%	2.0%	0.1%	0.2%	-3.5%	2.4%		
	実質経済成長率	-0.4%	1.7%	0.8%	1.8%	0.2%	-0.7%	-4.1%	2.5%		
経済財政白書(H12までは経済白書)のテーマ	・よみがえる日本経済、広がる可能性(H26) ・四半世紀ぶりの成果と再生する日本経済(H27) ・リスクを超えて好循環の確立へ(H28) ・技術革新と働き方改革がもたらす新たな成長(H29) ・「白書」：今、Society5.0の経済へ(H30) ・「令和」新時代の日本経済(R元) ・コロナ危機：日本経済変革のラストチャンス(R2)					・レジリエントな日本経済へ：強さ柔軟性を持つ経済社会に向けた変革の加速(R3) ・人への投資を原動力とする成長と分配の					
日本の景気循環(通称・俗称)	アベノミクス景気										
青森県に関する主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天皇、皇后両陛下ご来県(H26)</li> <li>・県産米新品種「青天の霹靂」特Aランク取得(H27)</li> <li>・県産米新品種「青天の霹靂」発売開始(H27)</li> <li>・北海道新幹線新青森・新函館北斗間開業(H28)</li> <li>・伊調馨選手、五輪4連覇で国民栄誉賞(H28)</li> <li>・八戸市が中核市に移行(H29)</li> <li>・全国高校サッカーで青森山田高が県勢初優勝(H29)</li> <li>・津軽国が国の重要無形文化財に指定(H29)</li> <li>・国際定期便「青森・天津線」が就航(H29)</li> <li>・弘前さくらまつり100周年(H30)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック聖火リレー実施(R3)</li> <li>・縄文遺跡群が世界文化遺産に登録(R3)</li> <li>・下北で大雨、橋の崩落等で約800人が一時孤立(R3)</li> <li>・県産米新品種「はれわたり」販売開始(R4)</li> <li>・北上自動車道全線開通(R4)</li> </ul>					
国内・世界の主な出来事	<ul style="list-style-type: none"> <li>・FIFAの評価を問う衆院選自民圧勝(H26)</li> <li>・STAP細胞論文に改ざんなど不正(H26)</li> <li>・環太平洋パートナーシップ(TPP)協定大筋合意(H27)</li> <li>・社会保障・税番号(マイナンバー)制度開始(H28)</li> <li>・陸上100m、日本人初の9秒台(H29)</li> <li>・経団連が2021年春から就労ルールを撤廃(H30)</li> <li>・史上初の米朝首脳会談が開催(H30)</li> <li>・米国抜きでTPP11が発効(H30)</li> <li>・「平成」に幕、新時代「令和」へ(R元)</li> <li>・ラグビーW杯日本大会開催(R元)</li> <li>・日米貿易協定発効(R元)</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルスの感染増加、全都道府県に緊急事態宣言発令(R2)</li> <li>・米大統領選史上最多総得票数、バイデン氏勝利へ(R2)</li> <li>・東京2020オリンピック・パラリンピック開催</li> <li>・オリンピックで日本メダル最多の58個(R3)</li> <li>・ロシアによるウクライナへの軍事侵襲開始(R4)</li> <li>・安倍元首相銃撃事件(R4)</li> </ul>					

## Ⅱ 個別計画

## 産業・雇用分野

青函圏交流・連携ビジョン	
企画政策部 交通政策課	期間：2021～2030年度 (2021年7月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森県及び北海道道南圏（渡島、檜山地域）からなる「青函圏」が交流拡大と連携強化を図ることによって、一体的な経済文化圏の形成をめざすための指針</li> <li>○ 行政はもとより、圏域住民、NPOを含めた各種団体、企業等の多様な主体による積極的な参加と協力により、今後の圏域の発展をめざしていくための目標と基本的な考え方や取組の方向性を示すもの</li> <li>○ めざす姿として、「地域資源を活かした活力ある青函圏の形成」及び「地域の特性を活かした豊かな青函圏の形成」を明示</li> <li>○ 当面の重点分野として、「『食』を通じた青函圏の魅力づくり」及び「『観光』を通じた青函圏の魅力づくり」及び「『人財』を通じた青函圏の魅力づくり」を明示</li> </ul>	

青森ライフィノベーション戦略アクションプラン【2021-2025】	
商工労働部 新産業創造課	期間：2021～2025年度 (2021年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県の優位性を最大限に活かしたライフ（医療・健康・福祉）関連産業の振興を図るため、基本的目標や重点的に取り組む分野を定めたもの</li> <li>○ 基本的目標 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 QOLの向上</li> <li>2 新たな産業化</li> <li>3 新規ビジネス創出</li> <li>4 ブランド確立</li> </ol> </li> <li>○ 重点分野 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 医療・福祉現場とものづくり企業が連携した製品開発の促進</li> <li>2 健康寿命の延伸に繋がるサービスの創出</li> <li>3 “商品”に“体験”をプラスした健康美容産業の振興</li> </ol> </li> </ul>	

第1次青森県職業能力開発計画	
商工労働部 労政・能力開発課	期間：2021～2025年度 (2021年10月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 職業能力開発促進法第7条の規定に基づき、都道府県が定める職業能力の開発に関する基本となるべき計画</li> <li>○ 基本方針 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 経済・社会環境の変化を踏まえた産業人材の育成</li> <li>2 多様な人材が活躍するための職業能力開発</li> <li>3 産業界や地域の人材ニーズを踏まえた職業訓練の実施</li> <li>4 技能承継の促進</li> </ol> </li> </ul>	

「攻めの農林水産業」推進基本方針	
農林水産部 農林水産政策課	期間：2019～2023年度 (2019年2月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県農林水産業の総合的、体系的な振興策であり、生産者や事業者等の収益力アップを目指した政策及び施策の基本的な方向性を定めた基本方針</li> <li>○ 「消費者起点」に立ち、「水」、「土」、「人」の3つの基盤の下に、安全・安心で高品質な県産品づくりを徹底しながら、国内外に売り込むという「攻めの農林水産業」の基本的理念の下で、「農林水産業の収益力強化」と「共助・共存の農山漁村づくり」につながる施策を展開するもの</li> </ul>	

あおり農山漁村地域経営推進プログラム	
農林水産部 農林水産政策課	(2012年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 集落などの「地域」を一つの会社と見立てて経営していくという「地域経営」の考え方に立ち、地域の核となる人財の育成・確保に取り組み、他産業と連携しながら、農山漁村の持つ地域資源を高度に生かす経営活動を展開し、地域の経済・社会を支える仕組みづくりを推進するもの</li> <li>○ おおむね10年後(2021年度)を目標年とし、300地域経営体を育成し、「地域経営」の確立を目指すもの</li> </ul>	

青森県総合販売戦略第4ステージ	
農林水産部 総合販売戦略課	期間：2019～2023年度 (2019年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「攻めの農林水産業」の推進に当たり、生産者・流通関係者・消費者の信頼関係を深める販売活動の強化を図るため、ブランド産品づくりや情報発信など、施策の基本的な方向を明らかにしたもの</li> <li>○ 戦略全てに係る「基本戦略」のほか、これを具体的に実践するものとして「商品づくり」「流通」「情報」「地産地消」の4つの分野別戦略から構成</li> </ul>	

「あおりの旨い米」活性化推進計画	
農林水産部 農産園芸課	期間：2019～2023年度 (2019年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「攻めの農林水産業」推進基本方針の具体的な行動計画であり、今後の本県の米づくりの進むべき方向を明らかにし、これに基づく運動を展開するために策定したもの</li> <li>○ 基本方向 <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県産米をけん引する「青天の霹靂」のブランド力の強化</li> <li>2 市場ニーズに対応した米づくりの推進</li> <li>3 労働力不足に対応した生産技術の導入促進</li> <li>4 飼料用米等による水田の有効活用</li> </ol> </li> </ul>	

青森県花き振興方策	
農林水産部 農産園芸課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
○ 県内全域で生産されているトルコギキョウ、キクの 2 品目を重要品目に、各産地ごとに特徴ある品目として生産されているアルストロメリア、カンパニュラ、ヒマワリ、デルフィニウム、ケイオウザクラの 5 品目を地域振興品目に位置付け、生産振興を図るために策定したもの	

あおりながいも産地力強化戦略	
農林水産部 農産園芸課	期間：2017～2026 年度 (2017 年 3 月策定)
○ 本県がながいも出荷量日本一の座を奪還し、それを維持していくための生産・販売・流通面にわたる総合的な戦略	
○ 生産者や関係者が一体となって産地力強化に取り組み、安全・安心で食味が良く粘りがあるながいもを生産し、出荷量を確保していくことにより、消費者の期待に応えることができる産地を目指す	
○ 戦略の内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・革新技術の開発や省力技術の導入による生産力の向上</li> <li>・ながいもプロフェッショナル養成所の開設による担い手の育成・確保</li> <li>・効率的な流通体制の整備や年間を通じた需要の確保による流通・販売力の強化</li> </ul>	

青森県果樹農業振興計画	
農林水産部 りんご果樹課	期間：2021～2030 年度 (2021 年 3 月策定)
○ 果樹農業振興特別措置法第 2 条の 3 の規定に基づき、本県果樹農業の振興を図るために取り組む内容を総括的かつ体系的に示した基本方針	
○ 生産基盤強化・市場拡大のための対策の推進方針や 2030 年度の栽培面積・生産の目標、経営の指標を掲げ、関係機関の連携・協力の下、果樹農業の持続的発展と成長産業化に向けた取組を計画的かつ一体的に進めていくもの	

青森県における獣医療を提供する体制の整備を図るための基本計画	
農林水産部 畜産課	期間：2021～2030 年度 (1995 年 3 月策定、2022 年 3 月改定)
○ 獣医療法第 11 条の規定に基づく、本県の獣医療を提供する体制の整備を図るための基本方針	
○ 社会的ニーズに対応した獣医療を提供できる獣医師の確保、偏在等により今後不足が予測されている分野の獣医師の確保、良質かつ適切な獣医療を提供していくための獣医師と獣医療に携わる関係者との連携・協力の推進等についての指針を示すもの	

青森県酪農・肉用牛生産近代化計画	
農林水産部 畜産課	期間：2021～2030年度 (2021年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 酪農及び肉用牛生産の振興に関する法律第2条の3の規定に基づき、2030年度を目標とした本県の酪農及び肉用牛生産の近代化を計画的に推進するための基本方針</li> <li>○ 「海外市場も含めた需要に応えるための生産基盤強化」及び「次世代に継承できる持続的な生産基盤の創造」の視点から、取組を展開</li> </ul>	

青森県獣医師職員確保プラン	
農林水産部 畜産課	期間：2021～2030年度 (2022年3月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県における食産業の安全を守る県獣医師職員を将来にわたり安定的に確保するための基本方針</li> <li>○ 獣医師を育てる環境を整えるため、修学資金の給付、北里大学との連携強化等のほか、魅力ある環境を整えるため、各種研修会の実施等によるスキルアップ支援体制の整備、勤務条件の検討等の取組を展開</li> </ul>	

青森県養豚・養鶏振興プラン	
農林水産部 畜産課	期間：2022～2031年度 (2022年3月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県における養豚・養鶏を総合的に振興するための基本方針</li> <li>○ 2021年度における生産目標（飼育頭数・産出額）を定め、これを達成するための振興方向のほか、県産畜産物の認知度を向上させるため、県内の特色ある取組事例などを示したもの</li> </ul>	

あおり水土里づくり推進プラン (青森県農業農村整備中期推進方針)	
農林水産部 農村整備課	期間：2019～2023年度 (2019年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農地、農業用排水路などの農業生産基盤を整備し、適切に維持管理することにより、安定的な食料の生産・供給のみならず、自然環境や県土の保全、美しい農村景観の形成などに貢献してきた農業農村整備について、今後の、本県の農業・農村の持続的な発展に向けた農業農村整備の展開方向を定めたもの</li> <li>○ 「豊かで持続可能な農業・農村の実現」を目指し、「豊かで力強い農業により攻める」、「農業・農村の安全・安心を守る」、「魅力的で活力ある農村をつくる」を柱に施策を展開</li> </ul>	

青森県サケ漁業振興プラン	
農林水産部水産局 水産振興課	(2018年10月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持続的なサケ漁業の振興に向けて、安定したふ化放流事業を実施するため、回帰率向上に向けた取組やふ化放流の実施体制、10年後の目標値などを定めたもの</li> </ul>	

青森県ロジスティクス戦略 2nd ステージ	
県土整備部 港湾空港課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 時間、距離、コスト、情報の壁を乗り越えて、需要（消費市場）と供給（生産市場）が円滑につながる環境づくりが不可欠。</li> <li>○ また、トラックドライバー不足や物流業界における業務効率化の動きなど、ロジスティクスをめぐる環境は大きな転換期。</li> <li>○ これらに対応するため、ロジスティクス基盤（円滑な商流環境や最適な物流環境）を中長期的な視野の下に育成・整備し、国内・世界との経済交流の拡大をめざす。</li> <li>○ 戦略の将来像           <ul style="list-style-type: none"> <li>【拠点像 1】 アグリビジネスを支えるロジスティクス拠点</li> <li>【拠点像 2】 国際的な物流動脈と直結したグローバル志向のロジスティクス拠点</li> <li>【拠点像 3】 食糧・資源・エネルギーに関するロジスティクス拠点</li> </ul> </li> </ul>	

青森の港湾ビジョン「青い海と港から明日へ、世界へ」	
県土整備部 港湾空港課	期間：2006 年度からおおむね 30 年間 (2006 年 4 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 将来（おおむね 30 年後）の港湾の果たすべき役割や方向性を示すもの</li> <li>○ 地域産業や経済活動の活性化及び市民生活の利便性と生活環境の向上に資することが目的</li> <li>○ 青森県内に所在する港湾のうち、むつ小川原港と関根浜港を除く、重要港湾 2 港・地方港湾 11 港の計 13 港を対象</li> </ul>	

第二次青森空港活性化ビジョン	
県土整備部 港湾空港課	期間：2018～2025 年度 (2018 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森空港を取り巻く事業環境が変化する中、青森空港関係者が目的意識を共有し、連携を強化することにより、真に魅力ある空港に発展するための指針</li> <li>○ 青森空港に関連する既存の施策及び取組を集約して取りまとめるとともに、5 年間で想定される施策・取組について策定したもの</li> </ul>	

青森県観光戦略	
観光国際戦略局 観光企画課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「未来へのあおもり観光戦略セカンドステージ」の後継となる戦略であり、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」の基本的な方向性を踏まえ、民間が主役となるとともに、県民、民間、行政のそれぞれが適切な役割分担のもとで連携・協働して取り組むための指針として、「青森県観光国際戦略推進本部」が策定。</li> <li>○ 観光を取り巻く状況や本県観光の現状と課題を踏まえ、概ね 10 年後のめざす姿とその実現に向けた方向性を共有し、幅広い分野での連携・協働を推進していくことにより、旅の目的地として世界から「選ばれる青森」となることをめざす。</li> </ul>	



青森県輸出・海外ビジネス戦略	
観光国際戦略局 国際経済課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農林水産品の生産者・事業者、県内中小企業等の輸出促進・機運醸成により、輸出額全体の底上げと輸出にチャレンジする県内中小企業等の増加を図るとともに、輸出以外の新たな海外ビジネスに取り組む県内中小企業等の増加を図るもの。</li> <li>○ グローバル市場で次の3つを実現し、青森ブランドを確立することで、様々なチャネルを通して継続的に利益を生む状態をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Made in AOMORI 青森県産品が世界で愛され、価値が定着していること</li> <li>・ Made by AOMORI 青森で生まれた資源や技術、仕組が世界に貢献していること</li> <li>・ Made with AOMORI 世界の中で青森県と一緒に進めるパートナーシップの取組が増えること</li> </ul> </li> </ul>	

青森県エネルギー産業振興戦略	
エネルギー総合対策局 エネルギー開発振興課	期間：2016～2030 年度 (2016 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東日本大震災以降のエネルギーを取り巻く環境変化や国のエネルギー政策、本県におけるエネルギー産業の現状と課題を踏まえ、再生可能エネルギーや熱エネルギーを効果的に活用し、「エネルギーの地産地消」「自立分散型エネルギーシステム」を普及させることによって、「人材」「資金」等が地域の中で循環し、地域の産業振興や雇用創出の原動力となる地域社会をめざして策定</li> <li>○ 「トリプル 50 (フィフティ)」(2030 年度にエネルギー自給率 50%、エネルギー利用効率 50%、化石燃料依存率 50%を達成) の考え方に沿って、本県のエネルギー構造の将来ビジョンを定めるとともに、新たな視点からエネルギー産業の振興方向と、太陽光や風力、地熱・地中熱や水素など、11 の主要なエネルギー分野ごとに重点的に取り組むべきプロジェクトを提示</li> </ul>	

新むつ小川原開発基本計画 —世界に貢献する新たな「科学技術創造圏」の形成を目指して—	
エネルギー総合対策局 エネルギー開発振興課	期間：2007 年度～2020 年代 (2007 年 5 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ むつ小川原開発を進めるに当たっての基本的な方向性を示すもので、2020 年代までの基本的指針として取りまとめたもの</li> <li>○ 環境、エネルギー及び科学技術の分野における研究開発機能の展開と成長産業等の立地展開などによる、世界に貢献する新たな「科学技術創造圏」の形成をめざすもの</li> </ul>	

「青森の縄文遺跡群」活用推進ビジョン	
教育庁 文化財保護課	期間：2020～2030 年度 (2020 年 3 月策定)
<p>○ 「青森の縄文遺跡群」の世界遺産登録による効果を、地域づくり、人づくり、観光など幅広い分野で最大限活用するため、行政と民間が一体となって、各々の役割のもと連携・協力しながら取り組むための活動指針</p> <p>○ 将来像と基本方針</p> <p>2030 年における将来像の実現をめざし、3 本の基本方針を柱として、8 つの分野（保存管理、景観形成、受入態勢整備、人づくり、誘客・集客、生業づくり、情報発信、多種多様な連携）において、行政、地域住民、関係団体等が短期（2021 年前後）、中長期（2030 年まで）の視点で実施する取組の方向性などを明示</p> <p><b>【将来像】</b> みんなが集う憩いの場。世界に誇る「J OMON」遺跡群。</p> <p><b>【基本方針】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 『未来へつなぐ、縄文遺跡群』遺跡が映えるまちの魅力づくり</li> <li>2 『おもてなしあふれる、縄文遺跡群』遺跡を核とした活力ある地域づくり</li> <li>3 『世界から選ばれる、縄文遺跡群』価値・魅力の発信と多様な連携の仕組みづくり</li> </ol>	

## 安全・安心、健康分野

青森県地域公共交通計画	
企画政策部 交通政策課	期間：2023～2027 年度 (2023 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づく法定計画であり、本県の地域公共交通の情勢等を踏まえた、新たな方針や取組の方向性等を示すもの</li> <li>○ 「青森県型地域共生社会の実現を支える地域公共交通」、「誰もが使いやすく地域を元気にする地域公共交通」、「行政・事業者・地域が共に支え合う持続可能な地域公共交通」を基本方針とし、主に市町村間を跨いで運行する広域的・幹線的な地域公共交通を対象に、具体的な施策等を定めている</li> </ul>	

あおもりユニバーサルデザイン推進基本指針	
環境生活部 県民生活文化課	(2003 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ひとりひとりが、住み、働き、遊ぶといった社会生活を普通におくることができ、社会においてそれぞれの役割を果たすことができるような社会、ユニバーサル社会の実現」が基本理念</li> </ul> <p>具体的な取組内容</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全で、ひとびとがふれあえる「まち」が文化を拓くあおもり</li> <li>2 創意にみち、工夫された「もの」が豊かにいきわたるあおもり</li> <li>3 ひとりひとりに「情報」が等しく、的確に伝わるあおもり</li> <li>4 ひとりひとりを大切にする「サービス」が行き届いたあおもり</li> <li>5 ひとりひとりの「こころ」が豊かでやさしいあおもり</li> </ol>	

青森県犯罪のない安全・安心まちづくり推進計画（第5次）	
環境生活部 県民生活文化課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪のない安全で安心なまちづくりに関する具体的な施策を総合的かつ計画的に展開するため、青森県犯罪のない安全・安心まちづくり推進条例第8条に基づき次の事項を定めたもの</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 安全・安心まちづくりの推進に関する目標</li> <li>2 安全・安心まちづくりの推進に関する施策の方向</li> <li>3 その他安全・安心まちづくりの推進に関する重要な事項</li> </ol>	

第 1 1 次青森県交通安全計画	
環境生活部 県民生活文化課	期間：2021～2025 年度 (2021 年 10 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 交通安全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、交通安全対策基本法第 25 条第 1 項の規定に基づき次の事項を定めたもの               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 計画の基本的事項</li> <li>2 計画の基本理念</li> <li>3 道路交通の安全</li> <li>4 鉄道交通の安全</li> <li>5 踏切道における交通の安全</li> </ul> </li> <li>○ 第 11 次青森県交通安全計画における数値目標 2025 年までに、年間の交通事故 24 時間死者数を 28 人以下とするとともに、重傷者数を 203 人以下とすることをめざす</li> </ul>	

第 4 次青森県消費生活基本計画	
環境生活部 県民生活文化課	期間：2022～2026 年度 (2022 年 1 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 消費生活に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、青森県消費生活条例第 8 条の規定に基づき次の事項を定めたもの               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 消費生活に関する施策の大綱に関する事項</li> <li>2 消費生活に関する施策の実施についての総合調整に関する事項</li> <li>3 消費生活に関する苦情及び相談を適切かつ迅速に処理するために必要な体制の整備に関する事項</li> <li>4 その他消費生活に関する施策の推進に関する重要な事項</li> </ul> </li> <li>○ 消費者教育の推進に関する法律第 10 条の規定に基づく、都道府県の区域における消費者教育の推進に関する施策についての計画の性格を併せ持つもの</li> </ul>	

青森県犯罪被害者等支援推進計画	
環境生活部 県民生活文化課	期間：2021～2025 年度 (2021 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 犯罪被害者等支援に関する施策を総合的かつ計画的に推進するため、青森県犯罪被害者等支援条例第 9 条に基づき次の事項を定めたもの               <ul style="list-style-type: none"> <li>1 犯罪被害者等支援に関する施策の方向</li> <li>2 その他犯罪被害者等支援に関する施策の推進のために必要な事項</li> </ul> </li> </ul>	

青森県地域福祉支援計画（第 3 次）	
健康福祉部 健康福祉政策課	期間：2021～2025 年度 (2021 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会福祉法第 108 条の規定に基づき、市町村の「地域福祉計画」の推進を支援するために都道府県が定めるもの</li> <li>○ 地域福祉の推進は、主に市町村が主体となってその推進を図ることとなっており、この計画は本県における地域福祉に係る施策を計画的かつ総合的に推進していく基本の方針を示すもの</li> <li>○ 住民に最も身近な自治体である市町村や地域を構成する住民、様々な団体等が協働してそれぞれの役割を果たしていくことができるよう、県が広域的な観点から支援していく方向性とその方策を定めるもの</li> </ul>	

<b>青森県における保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進方策（指針）</b>	
健康福祉部 健康福祉政策課	(1999年3月策定、2014年3月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森県における保健・医療・福祉の連携を推進するための基本方針</li> <li>○ 県が推進する包括ケアシステムと国が行う様々な包括的支援制度との関係を整理</li> <li>○ 青森県のめざす保健・医療・福祉包括ケアシステムは、全てのライフステージを対象とし、支援を要する住民に包括的な保健・医療・福祉サービスを提供するとともに、予防の視点を持って地域全体の健康づくりや介護予防等につなげ、住民を要援護状態にしないことに取り組んでいくものである</li> </ul>	

<b>青森県再犯防止推進計画</b>	
健康福祉部 健康福祉政策課	期間：2021～2025年度 (2021年6月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 再犯の防止等の推進に関する法律第8条第1項の規定に基づき、国の再犯防止推進計画を勘案し、本県の実情に応じた施策を推進するための地方再犯防止推進計画として位置づけるもの</li> <li>○ 再犯の防止等に関する施策を総合的かつ計画的に推進することで、県民が犯罪による被害にあうことを防止し、安全で安心して暮らせる社会の実現をめざすもの</li> </ul>	

<b>第三期青森県がん対策推進計画</b>	
健康福祉部 がん・生活習慣病対策課	期間：2018～2023年度 (2018年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ がん対策基本法第12条第1項の規定に基づき、本県のがん対策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本的方向を定めたもの</li> <li>○ 県民、医療関係者、行政等の各主体が、それぞれの役割に応じて主体的にがん対策に取り組むための基本指針</li> <li>○ 「がん患者を含めた県民の視点」に立ち、「科学的根拠に基づくがん予防・がん検診の充実」、「患者本位のがん医療の実現」及び「尊厳を持って安心して暮らせる社会の構築」を全体目標に、がん対策の推進を図るもの</li> </ul>	

<b>青森県健康増進計画「健康あおもり21（第2次）」</b>	
健康福祉部 がん・生活習慣病対策課	期間：2013～2023年度 (2013年3月策定、2019年4月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健康増進法第8条第1項の規定に基づく県民の健康の増進の推進に関する施策についての基本的な計画</li> <li>○ 子どもの頃からよりよい生活習慣を身に付け、また、疾病にかかっても重症化予防することで、県民一人ひとりが、健やかな生命と心を育み、豊かな暮らしを送ることができる活力ある長寿県の実現をめざすもの</li> </ul>	

青森県肝炎総合対策	
健康福祉部 がん・生活習慣病対策課	期間：2018～2023 年度 (2018 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 肝炎対策基本法及び国の「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」の趣旨を踏まえ、県が取り組むべき施策を示すもの</li> <li>○ B型肝炎及びC型肝炎は適切な治療を行わないまま放置すると慢性化し、肝硬変や肝がんといったより重篤な病態に進行するおそれがある。このため、肝炎患者等が安心して生活できる環境づくりに取り組むとともに、関係者が連携して対策を進めることが重要であることを基本的な方向として、必要な施策を実施していくもの</li> </ul>	

青森県脳卒中・心血管病対策推進計画	
健康福祉部 がん・生活習慣病対策課	期間：2022～2023 年度 (2022 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「健康寿命の延伸等を図るための脳卒中・心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法」第 11 条第 1 項の規定に基づき、本県の循環器病対策の総合的かつ計画的な推進を図るための基本計画であり、県民、医療関係者、行政等の各主体が、それぞれの役割に応じて主体的に循環器病対策に取り組むための基本方針</li> <li>○ 「2040 年までに 3 年以上の健康寿命の延伸」及び「循環器病の年齢調整死亡率の減少」を全体目標に掲げ、「循環器病の予防や正しい知識の普及啓発」、「保健・医療・福祉に係るサービス提供体制の充実」、「循環器病対策推進に係る基盤整備」を施策の柱として循環器病対策の推進を図るもの</li> </ul>	

青森県保健医療計画	
健康福祉部 医療薬務課	期間：2018～2023 年度 (2018 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療法第 30 条の 4 第 1 項の規定に基づく本県の保健医療に関する基本計画</li> <li>○ 県民、保健・医療機関、関係団体、市町村等の参画と協働のもと、それぞれの役割に応じて主体的に保健・医療分野の取組を進めるための基本指針</li> <li>○ 限られた医療資源を有効に活用し、効率的で質の高い医療を実現できる体制を各地域に構築するとともに、患者や地域住民が必要とする医療情報を分かりやすく伝えることをねらいとし、本県における保健・医療提供体制のあるべき姿を示すもの</li> <li>○ 2020 年度から「青森県医師確保計画」及び「青森県外来医療計画」を追加</li> <li>○ 2021 年 3 月に中間見直しにより、一部計画を変更</li> </ul>	

青森県地域医療構想	
健康福祉部 医療薬務課	期間：2016～2025 年度 (2016 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 医療法第 30 条の 4 第 2 項の規定に基づき、青森県保健医療計画の一部として策定したものの</li> <li>○ 地域の医療需要の将来推計や医療機関から報告された情報等を活用して、構想区域ごとに、各医療機能の将来の必要量を含む地域の医療提供体制の将来のめざす姿を示すもの</li> <li>○ 本県の地域医療構想の特徴としては、構想を実現するための施策として、構想区域ごとに自治体病院等の機能分化・連携の方向性を盛り込んでいる</li> </ul>	

「良医」を育むグランドデザイン	
健康福祉部 医療業務課	(2005年11月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良医を育む地域づくりをめざし、中長期的・総合的な医師確保の戦略を定めたもの</li> <li>○ 取組戦略               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 「優れた医育環境を整える」 医師が、職業生活全体にわたって医学・医術の勉強をできるような学ぶ環境を整える</li> <li>2 「意欲が湧く環境を整える」 医師の勤務環境を改善し、生き生きと働くことができるよう、働く意欲が湧く環境を整える</li> <li>3 「仕組みを整える」 戦略1・2がうまく機能するよう、自治体病院の機能を再編成し、大学・市町村・県がそれぞれの役割を果たしつつ、連携と支援のネットワークを整える</li> </ol> </li> </ul>	

青森県動物愛護管理推進計画	
健康福祉部 保健衛生課	2021～2030年度 (2008年3月策定・2021年3月改正)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 動物の適正飼養及び動物愛護の思想の普及啓発を図るために、青森県における動物愛護管理行政のめざすべき目標、その手段及び体系的実施方法等を明らかにしたもの</li> <li>○ 目標値               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 2030年度の犬の致死処分頭数 2018年度比50%減</li> <li>2 2030年度の猫の致死処分頭数 2018年度比50%減</li> </ol> </li> </ul>	

青森県感染症予防計画	
健康福祉部 保健衛生課	(2000年12月策定、 2018年3月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第10条の規定に基づき、厚生労働大臣が定める基本指針に即して、本県における感染症の予防のための施策の実施について定めたもの</li> <li>○ 本県の感染症対策の実施に当たっては、本計画に基づき具体的な施策を講ずる</li> </ul>	

青森県福祉・介護人材確保定着グランドデザイン	
健康福祉部 高齢福祉保険課	(2016年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者・児童・障害者の各福祉分野の計画で掲げる「人材の確保・育成」について、関係主体が一体となって、具体的に取り組むための基本方針を定めるもの</li> <li>○ 福祉・介護サービス事業所において「より魅力ある職場づくり」を進め、やりがいと誇りを持って働ける良質な雇用の場の増加と福祉・介護サービスの安定的な提供を進める</li> <li>○ 推進戦略は、「1 参入促進」、「2 労働環境・処遇の改善による定着促進」、「3 資質の向上」</li> </ul>	

あおり高齢者すこやか自立プラン 2021 (青森県老人福祉計画、青森県介護保険事業支援計画)	
健康福祉部 高齢福祉保険課	期間：2021～2023 年度 (2021 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 老人福祉法第 20 条の 9 第 1 項の規定に基づき都道府県が定める「都道府県老人福祉計画」、介護保険法第 118 条第 1 項の規定に基づき都道府県が定める「都道府県介護保険事業支援計画」並びに介護保険法第 118 条第 2 項第 2 号及び第 3 号の規定に基づき都道府県が定める「介護給付適正化計画」を一体的に策定したもの</li> <li>○ 高齢者が生きがいをもち、介護が必要になっても住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりをめざすもの</li> </ul>	

青森県医療費適正化計画（第三期）	
健康福祉部 高齢福祉保険課	期間：2018～2023 年度 (2018 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 高齢者の医療の確保に関する法律第 9 条第 1 項の規定に基づき、本県の医療費適正化を推進するため策定したもの</li> <li>○ 県民の健康の保持の推進と医療の効率的な提供の推進を図ることにより、その結果として医療費の適正化をめざすもの</li> </ul>	

青森県国民健康保険運営方針	
健康福祉部 高齢福祉保険課	期間：2018～2023 年度 (2017 年 12 月策定、2021 年 2 月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国民健康保険法第 82 条の 2 の規定に基づき、県と市町村が一体となり、保険者としての事務を互いに共通認識のもとで実施するとともに、国民健康保険の安定的な財政運営及び国民健康保険事業の広域的及び効率的な運営の推進を図ることを目的に策定したもの</li> <li>○ 主な記載事項               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 国民健康保険の医療に要する費用の見通しと財政の状況</li> <li>(2) 国民健康保険事業費納付金及び保険料の標準的な算定方法に関する事項</li> <li>(3) 市町村における保険料の徴収の適正な実施に関する事項</li> <li>(4) 市町村における保険給付の適正な実施に関する事項</li> <li>(5) 医療費適正化の取組に関する事項</li> <li>(6) 市町村の国民健康保険事業の効率化に関する事項</li> <li>(7) 保健・医療・介護・福祉・その他の関連施策との連携に関する事項</li> </ol> </li> </ul>	



<b>青森県次世代育成支援行動計画</b> <b>「のびのびあおもり子育てプラン」(後期計画)</b>	
健康福祉部 こどもみらい課	期間：2020～2024 年度 (2020 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 次世代育成支援対策推進法第 9 条第 1 項の規定に基づき、本県の全ての子育て家庭を対象に、次世代育成支援施策の方向性や目標を総合的に定めたもの</li> <li>○ 子ども・子育て支援法第 62 条に基づき、教育・保育等の提供体制の確保等の実施に関する計画を定めた「青森県子ども・子育て支援事業支援計画」、母子保健対策の充実等に係る取組を定めた「青森県母子保健計画」、社会的養育の推進に向けた取組等を定めた「青森県社会的養育推進計画」と一体的に策定したもの</li> <li>○ 子どもとともに、親とともに、地域とともに育ち合い、一人ひとりが安心と幸せを実感し、結婚・妊娠・出産・子育てに希望と喜びを持てるふるさと青森県をめざすもの</li> </ul>	

<b>第 4 次青森県 DV 防止・被害者支援計画</b>	
健康福祉部 こどもみらい課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律第 2 条の 3 第 1 項の規定に基づき、DV（ドメスティック・バイオレンス）の防止と被害者の保護及び自立支援に関して県が実施する施策について定めたもの</li> </ul>	

<b>第 2 次青森県子どもの貧困対策推進計画</b>	
健康福祉部 こどもみらい課	期間：2021～2025 年度 (2021 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの貧困対策の推進に関する法律第 9 条の規定に基づき、本県の子どもの貧困対策の推進に係る施策の方向性を定めたもの</li> <li>○ 母子及び父子並びに寡婦福祉法第 12 条の規定に基づき、本県のひとり親家庭等に対する就業・自立に向けた総合的な支援施策の方向性を定めたもの</li> <li>○ 「教育の支援」、「生活の安定に資するための支援」、「保護者に対する職業生活の安定と向上に資するための就労の支援」、「経済的支援」、「新型コロナウイルス感染症等の影響への支援」の 5 つの重点項目を基本方針として施策を体系化</li> </ul>	

<b>第 4 次青森県障害者計画</b>	
健康福祉部 障害福祉課	期間：2023～2026 年度 (2023 年 3 月策定、2027 年 3 月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者基本法第 11 条第 2 項の規定に基づき、本県における障害者施策の推進方向を定めたもの</li> <li>○ 本県における障害者のための福祉施策を推進していくための指針として、障害者施策の推進方向を総合的、体系的に整理</li> <li>○ 住み慣れた地域で、障害のある人もない人も分け隔てられることなく相互に人格と個性を尊重し、ともに暮らせる共生社会づくりをめざすもの</li> </ul>	

青森県障害福祉サービス実施計画（第6期計画）	
健康福祉部 障害福祉課	期間：2021～2023 年度 (2021 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者総合支援法第 89 条第 1 項の規定に基づく「都道府県障害福祉計画」及び児童福祉法第 33 条の 22 第 1 項の規定に基づく「都道府県障害児福祉計画」として「第 3 次青森県障害者計画」の「生活支援の充実」に掲げられている障害福祉サービス等に関して、2021～2023 年度までの 3 年間の実施計画として策定したもの</li> <li>○ 第 3 次及び第 4 次青森県障害者計画の基本理念を踏まえ、障害者及び障害児が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、本県における障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業、障害児通所支援、障害児入所支援及び障害児相談支援の提供体制の計画的な確保を図ることを目的とするもの</li> </ul>	

いのちを支える青森県自殺対策計画	
健康福祉部 障害福祉課	期間：2018～2023 年度 (2018 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自殺対策基本法第 13 条第 1 項の規定に基づく県の自殺対策についての計画</li> <li>○ 保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策との有機的な連携を図り、自殺対策を「生きることの包括的支援」として推進するための基本的な方向性を定めるもの</li> </ul>	

青森県アルコール健康障害対策推進計画	
健康福祉部 障害福祉課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アルコール健康障害対策基本法第 14 条第 1 項の規定に基づく県のアルコール健康障害対策に関する計画</li> <li>○ アルコール健康障害の発生、進行、再発の防止、またアルコール健康障害を有する者等に対する支援の充実を図ることにより、県民の健康を守り、安心して暮らすことのできる地域の実現に向けて、本県におけるアルコール健康障害対策を総合的に推進するための施策を定めるもの</li> </ul>	

青森県ため池の安全・安心カアップ中期プラン	
農林水産部 農村整備課	期間：2018～2024 年度 (2018 年 3 月策定、2020 年 9 月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県内の農業用ため池について「決壊時の被害」、「堤体の劣化状況」、「堤体の強度（安定性）」を指標として防災・減災対策の優先度を判断した「ため池診断書」に基づき、ソフト対策を中心としつつ優先度に基づきため池のハード対策を進める実行計画 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「ため池診断書」のため池管理者、関係市町村への配布による防災意識の向上</li> <li>・ 日常、地震・豪雨時の適正管理や、ハザードマップ等を活用した情報伝達体制等の整備</li> <li>・ 防災・減災対策の優先度の高いため池から、詳細調査・対策工事を実施</li> </ul> </li> </ul>	

防災公共推進計画	
県土整備部 整備企画課	(2014年3月策定)
<p>○ 災害時に、人命を守ることを最優先に「孤立集落をつくらない」という視点と「逃げる」という発想を重視した防災対策と危機管理体制の強化などのハード・ソフト一体となった取組を推進するため、必要な施策について県と市町村が一体となって取りまとめたもの</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最適な避難場所の確保に必要な施策</li> <li>・最適な避難経路の確保に必要な施策</li> <li>・孤立した際の救援物資等の輸送手段の確保に必要な施策</li> </ul>	

防災物流インフラ強化計画	
県土整備部 整備企画課	(2018年9月策定)
<p>○ 大規模災害時に、避難とともに必要となる被災者への救援物資輸送を確保するため、県・市町村や関係機関と協力し選定した物資拠点間を結ぶ「防災物流強化路線」を設定し、その路線にある優先的に強化すべき脆弱箇所を、事業性や緊急性を基に選定し、強化対策箇所としてとりまとめたもの</p>	

青森県橋梁長寿命化修繕計画	
県土整備部 道路課	期間：2021～2031年度 (2008年4月策定、2022年3月改定)
<p>○ 県管理橋梁の長寿命化を図ることにより、将来にわたる維持更新コストを大幅に削減するため、「いつどの橋梁にどのような対策が必要か」を定めた計画</p>	

青森県住生活基本計画	
県土整備部 建築住宅課	期間：2021～2030年度 (2007年3月策定、2022年3月改定)
<p>○ 住生活基本法第17条の規定に基づき都道府県計画であり、積雪寒冷地である本県の特性を反映した住宅行政の指針として策定したもの</p> <p>○ 「生活創造社会につながる賢くて豊かな住生活の実現をめざして」のテーマのもと、県民の住生活の安定確保及び向上促進を図るための施策の基本方針、目標及び基本的な施策について、「住まい手・コミュニティ」、「住宅・住環境」、「住宅関連産業」及び「住教育」の各視点から設定</p>	

第2次青森県消防広域化推進計画	
危機管理局 消防保安課	期間：2019～2024年度 (2019年3月策定)
<p>○ 消防組織法第33条の規定に基づき、市町村の消防の広域化を推進するため、本県における自主的な市町村の消防の広域化の推進及び広域化後の消防の円滑な運営の確保に関する基本的な事項を定めたもの</p> <p>○ 自主的な市町村の消防の広域化を推進することにより、将来にわたって県民の安全・安心を守っていくための消防力を維持・確保し、持続可能な消防体制をめざす</p> <p>○ 概ね10年後の消防の広域化の実現に向けて、広域化対象市町村の組合せや推進期間内の取組等を示す</p>	

青森県国土強靱化地域計画	
危機管理局 防災危機管理課	期間：概ね5年程度 (2022年3月改定)
○ 「強くしなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」に基づき、国土強靱化の着実な推進を図るための指針となるもの	
○ 「命と暮らしを守る青森県」をめざし、県民の命を守ることを最優先に、大規模自然災害が発生しても、機能不全に陥らない、迅速な復旧・復興が可能な、強靱な地域づくりを推進するためのもの	

## 環境分野

### 第6次青森県環境計画

環境生活部 環境政策課	期間：2020～2023年度 (2020年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森県環境の保全及び創造に関する基本条例第10条の規定に基づき、環境の保全及び創造に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための計画として策定</li> <li>○ 県の取組の方向を示すだけでなく、県民、事業者、学校、環境保全団体及び行政などの各主体が環境への負荷が少ない日常生活や事業活動を進めていくための役割・行動指針をも併せて示すもの</li> </ul>	

### 第4次青森県循環型社会形成推進計画

環境生活部 環境政策課	期間：2021～2025年度 (2021年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 廃棄物処理法第5条の5及び循環型社会形成推進基本法第32条の規定に基づき、本県の地域性を生かした循環型社会の形成を目指し、廃棄物の適正処理と資源の循環利用を一体的に推進するための計画として策定</li> <li>○ 本県の食品ロス削減推進計画及びごみ処理広域化・集約化計画としても位置づけ</li> <li>○ 本県における循環型社会の形成に向けて、各主体がそれぞれの役割の中で、互いに連携しながら、取組を進める重点取組を設定</li> <li>○ 一般廃棄物処理の目標（2025年度）             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 1人1日当たりの排出量は生活系ごみ640g、事業系ごみ300g、計940g</li> <li>2 リサイクル率は行政関与分17%、民間回収分を合わせた全体分34%</li> <li>3 1人1日当たりの最終処分量は85g</li> </ol> </li> <li>○ 産業廃棄物処理の目標（2025年度）             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 排出量は317万4千t</li> <li>2 再生利用量は152万4千t</li> <li>3 最終処分量は7万t</li> </ol> </li> </ul>	

### 青森県地球温暖化対策推進計画

環境生活部 環境政策課	期間：2023～2030年度 (2011年3月策定、2023年3月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第3項の規定に基づき、本県における温室効果ガスの量の削減等を行うための施策を推進するための計画として策定</li> <li>○ 豊かな暮らしと希望にあふれる脱炭素社会の実現に向け、県内における温室効果ガス排出量を2030年度までに2013年度比で51.1%削減するとともに、自家消費型等による再生可能エネルギーを2030年度までに1.34億kWh相当導入することを目標に設定</li> <li>○ 環境と経済の好循環を生み出し、本県が直面する経済・社会課題の解決と環境保全の両面に資するよう施策を推進することとしている</li> </ul>	

青森県海岸漂着物対策推進地域計画	
環境生活部 環境政策課	(2011年3月策定、2023年3月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海岸漂着物処理推進法第14条の規定に基づき、国の基本方針に沿って、本県における海岸漂着物対策を総合的かつ効果的に推進するための計画として策定</li> <li>○ 海岸漂着物対策を重点的に推進する区域及び関係者の役割分担と相互協力に関する事項等を定め、地域の海岸漂着物対策の基本的な方向性を示すとともに、それぞれの対策の内容を明らかにするもの</li> </ul>	

青森県災害廃棄物処理計画	
環境生活部 環境政策課	(2018年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 災害廃棄物が人の健康や生活環境に重大な影響を及ぼすおそれがあることを踏まえ、生活環境の保全及び公衆衛生上の支障の防止の観点から、平常時の備えとして、県内市町村、関係機関及び関係団体等と広域的な連携を図りながら、災害廃棄物の適正処理の確保、円滑かつ迅速な処理の推進を図るもの</li> <li>○ 「第3次青森県循環型社会形成推進計画」をはじめ、国の対策指針及び行動指針等を踏まえ、「青森県地域防災計画」等との整合を図るとともに、災害廃棄物の処理に必要な基本的事項や方策を取りまとめ、具体的かつ技術的な情報を盛り込んだ実用的な計画</li> <li>○ 災害廃棄物処理対策に関して地域で取り組み、更に教育訓練を通じて人材育成に努め、より実効性のあるものに高めていくこととしている</li> </ul>	

青森県気候変動適応取組方針	
環境生活部 環境政策課	期間：2021～2025年度 (2021年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 強靱で持続可能な社会を構築していくため、現時点での本県における気候変動への適応策や推進体制などを取りまとめたものであり、気候変動適応法第12条に基づく地域気候変動適応計画として位置付けるもの</li> <li>○ 現在取り組んでいる適応策のさらなる推進とともに、現時点において本県で特段の対応がない分野についても、気候変動の影響に備え、今後の施策に適応の考え方を組み込んでいくことが必要であることを認識する契機とする</li> </ul>	

青森県生物多様性戦略	
環境生活部 自然保護課	期間：2014～2023年度 (2014年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本県における生物多様性の現状と課題を整理し、生物多様性の保全及び持続可能な利用を推進するために、県民を始め、様々な主体が担う役割や取組の内容などを定め、今後取り組むべき具体的な施策を示す行動計画として策定</li> </ul>	

白神山地保全・利用基本構想	
環境生活部 自然保護課	(2007年1月策定)
<p>○ 構想の趣旨 「調和と永続」を基本理念に、白神山地における自然環境の保全及び利用の基本的方向と、これを実現するための基本的方策に関する総合的な構想を明らかにするもの</p> <p>○ 構想の基本的な考え方 次の5項目を柱として白神山地における保全・利用の秩序を確立するとともに、地域の振興にも資することを基本的な考え方としたもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 保護管理体制の推進</li> <li>2 学術研究及び環境学習の推進</li> <li>3 周辺地域での地場産業の振興</li> <li>4 交通基盤の整備</li> <li>5 文化観光の振興</li> </ol>	

第3期「日本一健康な土づくり」推進プラン	
農林水産部 食の安全・安心推進課	期間：2022～2026年度 (2022年3月策定)
<p>○ 農業生産の基本となる「健康な土づくり」に持続的に取り組み、安全・安心で良質な県産農産物を生産拡大していくための推進方向を明示するとともに、以下の取組の推進方策や目標を定めたもの</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 人材の確保・育成や土づくり技術・データの活用による「健康な土づくりの取組強化」</li> <li>2 指導者育成や技術実証などの支援強化による「環境にやさしい農業の取組拡大」</li> <li>3 消費者等に向けた情報発信の強化による「消費者との相互理解の増進」</li> </ol>	

青い森再造林推進プラン	
農林水産部 林政課	(2015年1月策定)
<p>○ 本県のスギを主体とする人工林資源が本格的な伐採期を迎え、伐採跡地における再造林の放棄が懸念されている中、森林の持つ多面的な機能を持続的に発揮させるとともに、将来にわたり森林資源の循環利用を図るため、再造林を促進するための基本方向や推進方策などをまとめたもの</p> <p>○ 伐採から再造林までの作業の一体的な実施や、従来よりも少ない本数で造林するなど、低コスト造林技術の普及を行うとともに、関係者それぞれの役割に応じた取組を明示</p>	

青森県森林・林業基本方針	
農林水産部 林政課	期間：2019～2023年度 (2019年2月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 戦後造成された人工林資源の充実、県内への大型木材加工施設等の立地や再造林率の低迷、松くい虫被害の発生やニホンジカの侵入など、近年の本県森林・林業を取り巻く環境変化に対応していくため、当面取り組む具体的方策などを主な内容として策定</li> <li>○ 基本理念に掲げる「緑豊かな森づくりと森林資源の循環利用」の達成に向けて、「森林の持つ多面的機能の発揮」、「林業の持続的かつ健全な発展」、「県産材の安定供給と利用の確保」、「山村地域の活性化」の4つの政策・施策による実践プラン</li> </ul>	

あおもり環境公共推進基本方針	
農林水産部 農村整備課	(2008年2月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 環境を「公共財」として位置付け、地域の協働を促進しながら、農林水産業や農山漁村の基盤づくりのための「投資」を通じて環境保全を図ることを「環境公共」と定義</li> <li>○ 当方針は、地場の資源や技術、人財の有効活用を基本とし、持続可能で地域振興に資する新しい国土づくり、社会システムづくりとして、青森県が全国に向けて提唱する「環境公共」の基本的方向や実施手法などを示したもの</li> </ul>	

青森県国土利用計画	
県土整備部 監理課	期間：2026年（目標年次） (2017年2月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県土利用の配分とその利用方向を定める長期計画であり、県土利用に関する行政の指針であるとともに、全国計画及び市町村計画と併せて国土利用計画体系を構成するもの</li> </ul>	

青森県土地利用基本計画	
県土整備部 監理課	(1981年5月策定、2023年2月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 県の区域について適正かつ合理的な土地利用を図るため定めるものであり、都市地域、農業地域、森林地域、自然公園地域及び自然保全地域の5地域を定めるとともに、5地域区分が重複する地域における土地利用の調整等に関する事項を定めるもの</li> </ul>	

ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する基本方針	
県土整備部 河川砂防課	(2002年12月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青森県ふるさとの森と川と海の保全及び創造に関する条例第5条の規定に基づき、本県の森林、河川及び海岸が、農林水産業の生産活動及び人の生活と結びついて地域文化を形成していることに鑑み、すべての県民の参加の下に、ふるさとの森と川と海ができるだけ自然の状態に維持されることを基本として保全及び創造に関する施策の基本事項を定めたもの</li> </ul>	



## 教育・人づくり分野

### あおもりを愛する人づくり戦略

企画政策部 地域活力振興課	(2007年9月策定、2018年4月改定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各分野の課題に挑戦する多様な人財に共通して求められる資質、能力、マインドを備えたチャレンジ精神あふれる人財の育成をねらいとするもの</li> <li>○ 自主自立の青森県づくりを進め、「生活創造社会」を実現する上で、最も基本となる人財の育成に県民総ぐるみで取り組んでいくため、人財育成の基本的考え方を明らかにするとともに、県が関係主体との連携により、めざす人財像の実現に向けて重点的に進めていく取組戦略を明示</li> <li>○ 人財育成の基本理念として、「ふるさとあおもりを愛し、ふるさとあおもりの元氣をつくる人財の育成」を掲げ、ふるさにと愛着と誇りを持ち、自ら考え、自ら行動し、ふるさとの元氣をつくるために挑戦していくチャレンジ精神あふれる人財の育成を進めていくことを明示</li> <li>○ 基本理念の実現に向け、未来を担う子どもたちや若者を「あおもりの未来をつくる人財」、地域産業や地域づくり・生業づくりの担い手を「あおもりの今をつくる人財」として、それぞれ育成していくことを基本目標に掲げ、中長期的な視点に立って具体的な取組を推進していくことを明示</li> </ul>	

### 青森県文化芸術推進計画

環境生活部 県民生活文化課	期間：2022～2026年度 (2022年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文化芸術基本法第7条の2第1項に基づき、本県の文化芸術の推進に関する施策に総合的かつ計画的に取り組むため策定したもの</li> <li>○ 本県の文化芸術施策のめざす姿や基本方針等を示すもの</li> <li>○ 基本方針             <ol style="list-style-type: none"> <li>1 あおもりの文化芸術を育む人づくり</li> <li>2 あおもりの文化芸術に親しむ環境づくり</li> <li>3 あおもりの文化芸術を活用した地域づくり</li> </ol> </li> </ul>	

### 第3次青森県子ども・若者育成支援推進計画

環境生活部 青少年・男女共同参画課	期間：2023～2027年度 (2023年2月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども・若者育成支援推進法第9条第1項に規定する「都道府県子ども・若者計画」として、子ども・若者の育成支援に関する県の施策を総合的かつ計画的に推進するための基本計画</li> <li>○ あおもりの未来を担う人財である子ども・若者の成長と自立を支援していく社会づくりを目指し、関係機関及び県民が一体となって取り組んでいくための指針として、5つの基本目標及び15の重点目標に沿って施策の取組方向を示すもの</li> </ul>	

第4次青森県食育推進計画	
農林水産部 食の安全・安心推進課	期間：2021～2025年度 (2021年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 食育基本法第17条の規定に基づき、本県の特性を生かした食育を県全体で推進するための基本指針として策定</li> <li>○ 「健康で活力に満ちた『くらし』と持続可能な『食』の実現」を目標に、次の3つを基本方向として取り組む               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 ライフステージや暮らし方・働き方に対応した食育の推進</li> <li>2 健康で充実した食生活の実現</li> <li>3 青森の「食」を支える環境づくり</li> </ol> </li> </ul>	

青森県若手農業トップランナー育成方針	
農林水産部 構造政策課	(2008年3月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「攻めの農林水産業」を担う柔軟な発想と大胆な行動力を持った若手農業者（トップランナー）を育成するために策定</li> <li>○ 本県がめざす若手農業トップランナーの姿               <p>人財育成の目標像は次の3つとして、将来的な農業所得は1,000万円程度が目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 青森県の各地域が地域力を発揮し、新たな付加価値を創造して自立した地域農業を実現させ、これを次世代へと引き継いでいく、自ら構想し、行動し、自立していく力強い若手農業者</li> <li>2 斬新な発想の源となる知識や経験の蓄積に積極的に取り組み、新たな付加価値を創造し、ビジネスチャンスを生み出していく発想力を備えた若手農業者</li> <li>3 農業経営分析の基礎となる経理会計力を兼ね備えた総合的能力の高い若手農業者</li> </ol> </li> </ul>	

青森県教育振興基本計画	
教育庁 教育政策課	期間：2019～2023年度 (2019年1月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育基本法第17条第2項の規定に基づく、県の教育の振興のための施策に関する基本的な計画</li> <li>○ 本県が抱える教育課題について、教育委員会と知事部局が密接に連携し歩調を合わせて取り組むため、「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」のうち、教育関連部分を青森県教育振興基本計画とするもの</li> </ul>	

<b>青森県特別支援教育推進ビジョン</b>	
教育庁 学校教育課	期間：2019～2028 年度 (2019 年 2 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 特別支援学校学習指導要領等の改訂等を踏まえ、インクルーシブ教育システムを構築するため、今後の本県特別支援教育の方向性を示し、更なる充実・発展を図るもの</li> <li>○ 基本方針               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 特別支援学校のセンター的機能の充実・強化</li> <li>2 教職員の専門性の維持・向上</li> <li>3 特別支援学校の学習環境の充実</li> <li>4 キャリア教育・職業教育の充実</li> <li>5 特別支援学校と地域等との連携推進</li> </ol> </li> </ul>	

<b>青森県子ども読書活動推進計画（第四次）</b>	
教育庁 生涯学習課	期間：2020～2024 年度 (2020 年 2 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもの読書活動の推進に関する法律第 9 条の規定に基づく子どもの読書活動の推進に関する施策についての計画</li> <li>○ 基本方針               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 子どもが読書に親しむ機会の充実に向けた取組の推進</li> <li>2 子どもの読書活動を支える環境の整備・充実</li> <li>3 子どもの読書活動に関する理解と関心の普及・啓発</li> </ol> </li> </ul>	

<b>青森県スポーツ推進計画</b>	
教育庁 スポーツ健康課	期間：2023～2027 年度 (2023 年 1 月策定)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ スポーツ基本法第 10 条第 1 項の規定に基づき策定</li> <li>○ 本県の実情に即したスポーツを推進するため、市町村及び関係団体等と連携を図りながら、県民の生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現をめざすもの。</li> <li>○ 重点項目               <ol style="list-style-type: none"> <li>1 県民のスポーツ参画人口の拡大</li> <li>2 スポーツを通じた活力ある社会の実現</li> <li>3 本県の競技力向上と次世代アスリートの発掘・育成・強化</li> </ol> </li> </ul>	

青森県スポーツ振興基盤整備計画	
教育庁 スポーツ健康課	(2011年10月策定)
<p>○ ライフステージを通じてスポーツに親しむことができる「豊かなスポーツライフ」の創出に向け、子どもから大人まで県民だれもが生涯にわたって主体的にスポーツに親しめる環境（＝スポーツ振興基盤）整備に係る考え方・方向性を取りまとめたもの</p> <p>○ 計画の視点</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 競技力向上に向けた人財（選手・指導者）の育成</li> <li>2 スポーツを通じた地域づくりの推進</li> <li>3 県有体育施設の計画的な整備推進</li> </ol>	

青森県学校保健推進計画（第3次）									
教育庁 スポーツ健康課	期間：2019～2023年度 (2019年2月策定)								
<p>○ 児童生徒が自らの体力や健康に関心を持ち、生涯にわたって自ら進んで運動に親しみ、健康・安全で活力のある生活を送ることができるよう、家庭や地域社会との連携を図りながら、心と体を一体として捉え、健やかな体を育む健康教育の充実をめざすもの</p> <p>○ 重点項目</p> <table border="0"> <tr> <td>1 学校保健推進体制の確立</td> <td>5 心の健康問題への対応の推進</td> </tr> <tr> <td>2 望ましい生活習慣定着の推進</td> <td>6 アレルギー疾患への対応の推進</td> </tr> <tr> <td>3 感染症予防対策の推進</td> <td>7 その他の慢性疾病等への対応の推進</td> </tr> <tr> <td>4 性に関する指導の推進</td> <td>8 子どもの傷害予防の推進</td> </tr> </table>		1 学校保健推進体制の確立	5 心の健康問題への対応の推進	2 望ましい生活習慣定着の推進	6 アレルギー疾患への対応の推進	3 感染症予防対策の推進	7 その他の慢性疾病等への対応の推進	4 性に関する指導の推進	8 子どもの傷害予防の推進
1 学校保健推進体制の確立	5 心の健康問題への対応の推進								
2 望ましい生活習慣定着の推進	6 アレルギー疾患への対応の推進								
3 感染症予防対策の推進	7 その他の慢性疾病等への対応の推進								
4 性に関する指導の推進	8 子どもの傷害予防の推進								

青森県文化財保存活用大綱	
教育庁 文化財保護課	(2020年3月策定)
<p>○ 地域における文化財の総合的かつ計画的な保存及び活用を図るため、県全体の文化財の保存・活用に関する基本的な方向性を明確化し、県内における各種の取組を進めていく上での共通の基盤とするもの</p> <p>○ 主な記載事項</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 青森県文化財保存活用大綱策定の背景と目的、大綱の位置付け</li> <li>・ 青森県の文化財の保存・活用に関する基本的な方針</li> <li>・ 文化財の保存・活用を図るために講ずる措置</li> <li>・ 各市町村への支援方針</li> <li>・ 防災・防犯・災害発生時の対応</li> <li>・ 文化財の保存・活用の推進体制</li> </ul>	

### 青森県立高等学校教育改革推進計画

教育庁  
高等学校教育改革推進室

基本方針：2018年度からおおむね10年間  
(2016年8月策定、2020年8月改定)  
第1期実施計画：2018～2022年度  
(2017年7月策定)  
第2期実施計画：2023～2027年度  
(2021年11月策定)

- 社会の急速な変化や生徒数の更なる減少等を踏まえ、将来、高等学校教育を受けることとなる子どもたちのための教育環境の充実に向け、2018年度以降の概ね10年間を見据えた県立高等学校教育改革に関する基本的な考え方を示す基本方針と、2018年から2022年度までの具体的な学校規模・配置等を示す第1期実施計画及び2023年から2027年度までの具体的な学校規模・配置等を示す第2期実施計画を策定し、県立高等学校教育改革に取り組むこととしたもの
- 基本方針
  - 1 学校・学科の充実
  - 2 学校規模・配置の方向性
  - 3 魅力ある高等学校づくり
  - 4 県民の理解と協力の下での県立高等学校教育改革の推進
- 第1期実施計画
  - 1 学校・学科の充実
  - 2 学校規模・配置
  - 3 県民の理解と協力の下での県立高等学校教育改革の推進
- 第2期実施計画
  - 1 学校・学科の充実
  - 2 学校規模・配置
  - 3 魅力ある高等学校づくり
  - 4 県民の理解と協力の下での県立高等学校教育改革の推進

## 計画の推進

青森県行財政改革大綱	
総務部 行政経営課	期間：2019～2023 年度 (2008 年 12 月策定、2018 年 12 月改定)
<p>○ 「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」に基づく各施策の戦略的な推進に向けて、時代の変化とともに高度化・複雑化する諸課題に的確に対応するため、県行財政のめざす姿を次のとおり設定し、改革に取り組むもの</p> <p>1 徹底した業務改革を行い、生産性の向上に挑み続ける青森県 ～業務プロセスの改革、内部統制体制の確立～</p> <p>2 地域の多様な主体との連携・協働を進める青森県 ～県民との連携・協働、分権型社会の推進～</p> <p>3 将来にわたり持続可能な行財政基盤を確立する青森県 ～職員力の向上・執行体制の強化、安定的な財政運営の実現～</p>	

青森県過疎地域持続的発展方針	
総務部 市町村課	期間：2021～2025 年度 (2021 年 8 月策定)
<p>○ 「過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法」に基づき、過疎地域の持続的発展のために実施すべき施策に関する基本的な事項等を定めたもの</p> <p>○ 「過疎地域等を巡る新たな動きを捉えた人財の確保・育成や雇用機会の拡充」及び「それぞれの地域の豊富な資源を生かした自立的な地域づくり」の2つの視点に重点を置いて各種施策に取り組むことにより、過疎地域等が人口減少を克服し、地域住民の誰もが地域で安心して暮らしていくことができる、持続可能な地域となることをめざすもの</p> <p>○ 過疎市町村は、本方針に基づき市町村過疎計画を策定することで、過疎対策に係る支援制度（過疎対策事業債、国庫補助負担の嵩上げ、代行事業、地方税の課税免除等）を活用することが可能</p>	

あおり ICT 利活用推進プラン	
商工労働部 新産業創造課	期間：2019～2023 年度 (2019 年 3 月策定)
<p>○ 「青森県基本計画『選ばれる青森』への挑戦」を踏まえた ICT 分野の個別計画という位置づけ</p> <p>○ 4つの基本方針（「安全・安心、健康」を支える ICT、「産業・雇用」を支える ICT、「行政経営」を支える ICT（官民データ活用）、ICT利活用を支える「基盤の整備、人財の育成・確保」）で構成</p>	

第5次あおり男女共同参画プラン	
環境生活部 青少年・男女共同参画課	期間：2022～2026 年度 (2022 年 2 月策定)
<p>○ 男女共同参画社会基本法第 14 条及び青森県男女共同参画推進条例第 8 条の規定に基づく県の男女共同参画の推進に関する基本計画</p> <p>○ 女性の職業生活における活躍の推進に関する法律第 6 条第 1 項の規定に基づく県の女性活躍推進に関する計画</p> <p>○ 男女共同参画社会の実現に向けて県が取り組むべき具体的目標と施策の方向を示すもの</p>	

本県には、食、伝統工芸、自然、歴史、文化など、世界に誇る多種・多様な地域資源が存在している。

こうした地域資源を再評価し、その魅力を県内外に情報発信していくことは、外貨獲得と域内循環を強化していく上で極めて重要である。また、地域資源の再評価などの営みは、新たな地域の魅力の再発見や、自らの地域に対する誇りの醸成にもつながり、地域社会の活性化に寄与するものと考えられる。

このため、青森県が有する地域資源を把握するための一助となるよう、多彩な地域資源の中から最も地域の特徴が現れやすい「食材」と「催事」を取り上げ、カレンダー形式で情報を整理した。

## 1 食材カレンダー

本県の主要な食材について、出荷量の多い月と少ない月を把握できるよう、年間出荷量に占める当月のシェアを「3%未満」、「3%～5%」、「5%～10%」、「10%以上」の4段階に色分けし、最も出荷量が多い月に「◎」、2番目に多い月に「○」を付した。

また、データの出典については下記のとおりであり、原則として2019年から2021年の3か年平均値を使用した。

なお、掲載品目については、月別出荷量のデータを入手できたものに限られるほか、年間を通じて出荷量の変動がほとんどない畜産物及び栽培きのこ類などは掲載しなかった。

### ※出典資料

#### (果 樹)

りんご：県りんご果樹課「りんご県外出荷実績」、特産果樹：県りんご果樹課「特産果樹産地市場調査」、カシス：青森カシスの会「集荷実績」

#### (野 菜)

J A全農あおもり「出荷実績」

#### (水産物)

海面魚種：県水産振興課「青森県海面漁業調査」、内水面魚種：(地独) 青森県産業技術センター内水面研究所調べ





## (2) 野菜

3%未満	3%～5%	5%～10%	10%以上
------	-------	--------	-------

種類	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	主産地
ながいも					○	◎							東北町、十和田市、三沢市
にんじん		○										◎	十和田市、七戸町、東北町
にんじん							◎			○			おいらせ町、三沢市、六戸町
だいこん									○	◎			おいらせ町、三沢市、東北町
ばれいしょ							○	◎					横浜町、三沢市、東北町
ごぼう										○	◎		三沢市、十和田市、六戸町
こかぶ						◎	○						野辺地町、東北町
トマト							○	◎					五所川原市、三戸町、七戸町
ミニトマト							○	◎					平川市、つがる市、八戸市
きゅうり									◎	○			五戸町、十和田市、南部町
かぼちゃ									◎	○			五所川原市、八戸市、つがる市
ピーマン									◎	○			八戸市、三戸町、南部町
スイートコーン									◎	○			弘前市、青森市
さやえんどう						◎	○						三戸町、南部町、田子町
さやいんげん									◎	○			五戸町、三戸町、七戸町
えだまめ									◎	○			田子町、鶴田町、弘前市
キャベツ									◎	○			おいらせ町、弘前市、東北町
はくさい										◎			おいらせ町、三沢市、弘前市
レタス						○	◎						黒石市、平川市、弘前市
ほうれんそう						◎	○						弘前市、新郷村、南部町
ブロッコリー						◎	○						つがる市、南部町、田舎館村
アスパラガス						◎	○						鱒ヶ沢町、田舎館村、藤崎町
ねぎ									○	◎			十和田市、つがる市、階上町
すいか							○	◎					つがる市、鱒ヶ沢町
メロン							○	◎					つがる市
いちご													八戸市、田舎館村、おいらせ町

(3) 水産物

種類	3%未満												3%~5%		5%~10%		10%以上		主産地
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月							
まいわし							◎			◎								八戸市、むつ市、青森市	
かたくちいわし										◎	◎							八戸市、外ヶ浜町、むつ市	
まぐろ							◎			◎								深浦町、大間町、中泊町、外ヶ浜町	
さば											◎	◎						八戸市	
ぶり							◎				◎							八戸市、深浦町	
たら	◎																◎	八戸市	
すけとうたら				◎			◎											八戸市	
さめ	◎						◎											大間町、八戸市、外ヶ浜町	
たい							◎	◎										深浦町、むつ市、横浜町	
まがれい																		外ヶ浜町、深浦町、鯉ヶ沢町	
いしがれい																		むつ市、横浜町、外ヶ浜町	
はばがれい																		八戸市、深浦町、東通村	
まこがれい	◎	◎																八戸市、三沢市、外ヶ浜町	
むしがれい																		八戸市、深浦町、東通村	
ひらめ																		東通村、むつ市、深浦町	
ほっけ																		深浦町、八戸市、鯉ヶ沢町	
あじ																		外ヶ浜町、深浦町、むつ市	
さけ																		東通村、八戸市、三沢市	
さくらます																		東通村、むつ市、深浦町	
にじます																		今別町、外ヶ浜町、深浦町	
こうなご																		東通村、六ヶ所村、今別町	
あいなめ																		八戸市、東通村、むつ市	
そい																		東通村、深浦町、むつ市	
うすめぼる																		中泊町、東通村、深浦町	
めぬけ																		八戸市	
きちじ																		八戸市	
あんこう																		八戸市、風間浦村、むつ市	
さわら																		深浦町、東通村、佐井村	
はたはた																		深浦町、鯉ヶ沢町	
ほたてがい																		平内町、むつ市、外ヶ浜町	
うばがい																		三沢市、八戸市、おいらせ町	
さざえ																		深浦町、中泊町、鯉ヶ沢町	
あわび																		東通村、階上町、深浦町	
するめいか																		八戸市	
やりいか																		深浦町、鯉ヶ沢町、八戸市	
あかいか																		八戸市	
たこ																		八戸市、東通村、むつ市	
かに																		深浦町、八戸市、むつ市	
うに																		大間町、東通村、むつ市	
なまこ																		平内町、むつ市、横浜町	
ほや																		青森市	
こんぶ																		東通村、大間町	
シジミ																		十三湖、小川原湖	
シラウオ																		小川原湖	
ヒメマス																		十和田湖	
ワカサギ																		小川原湖	

## 2 催事カレンダー

本県の主要な祭り、伝統芸能、イベント等について、開催時期と概要を掲載したほか、催事の内容を「観る」、「知る」、「食べる」、「体験する」の4つの要素で表示し、一目で分かるように整理した。また、県内各地域の特徴的な催事の紹介記事を掲載した。

なお、掲載データは、県、市町村のホームページや観光案内等から入手した情報をもとに作成した。

### 表中項目[名称]の分類

緑色：イベント

青色：祭事、伝統芸能等

### 表中項目[内容]の分類方法

観：観て楽しい

知：知って楽しい

食：食べて楽しい

体：体験して楽しい

## 4月

時期	名称	市町村	概要	内容
10日	福浦の歌舞伎上演	佐井村	130年以上伝承されてきた歌舞伎が「歌舞伎の館」で上演される。	観知食体
	高山稻荷神社春奉大祭	つがる市	高山稻荷神社に古より伝わる津軽平野に春を告げる祭典。	観知食体
上旬	湯の鳥カタクリ祭り	青森市	渡し船で島に渡り、カタクリの花を間近で鑑賞することができる。	観知食体
中旬	あおもり桜マラソン	青森市	野木和公園をスタートし、桜の咲き始める青森市内を走ることができる。	観知食体
	青森春まつり(～5月上旬)	青森市	合浦、野木和、各公園の桜の下に出店が並ぶ。	観知食体
	薫嶋まつり	八戸市	神社の神輿運行を始め、演芸など、さまざまな催しが行われる。	観知食体
	白神十二湖山開き安全祈願祭	深浦町	登山や森林浴に訪れる観光客の安全祈願。白神が一番の山開き。	観知食体
下旬	なみおか桜まつり	青森市	浪岡城跡の桜の下に出店が並び、ステージイベントなど盛りだくさん。	観知食体
	海峽いまべつ春まつり	今別町	連休周辺が桜の旬。多くの店が立ち並び、荒馬踊りも披露される。	観知食体
	弘前さくらまつり(～5月上旬)	弘前市	日本最古級のソメイヨシノなど、約2,600本の桜が園内を埋め尽くす。	観知食体
	黒石さくらまつり	黒石市	イベント盛りだくさんで花見客で賑わい、夜はライトアップされる。	観知食体
	津軽くろいしかたくりの小径公開	黒石市	春告げ花とも呼ばれるカタクリの群生地ですツアーを行う。	観知食体
	本場津軽民謡全国大会	黒石市	津軽じょんから節発祥の地黒石で、民謡・三味線の各部門で参加者が腕を競う。	観知食体
	平川さくらまつり(～5月下旬)	平川市	園内約330本の桜が咲き誇る中、様々なイベントが開催される。	観知食体
	八戸市緑化まつり(～5月上旬)	八戸市	庭園樹、草花類等の物販や園芸講習会の他、歌謡ショーがある。	観知食体
	はちのへ公園春まつり(～5月上旬)	八戸市	フリーマーケットや歌謡ショー等様々なイベントを開催。	観知食体
	さんのへ春まつり	三戸町	芸能発表、マラソンなどイベントが盛りだくさん。	観知食体
	水芭蕉開花	新郷村	群生地に約10万株の水芭蕉。1周約900mの遊歩道を散策。	観知食体
	金木桜まつり(4月下旬～5月上旬)	五所川原市	約1,500本が開花する戸野公園は「日本の桜名所100選」にも選ばれている。	観知食体
	津軽金山焼 春の陶器祭り	五所川原市	約2,000点にもなる窯出し即売会などを行う。夏、秋にも同様の祭りが行われる。	観知食体
	鶴の舞橋桜まつり	鶴田町	約2,000本の桜の中で各種イベントが開催される。	観知食体
	竜泊ラインウォーキング	中泊町	全長約12kmを歩き、ゴールである道の駅「こどもり」を目指す。	観知食体
いたやな桜まつり	板柳町	雪の残る岩木山を眺めながら、桜の下で出店のほか様々なイベントを開催。	観知食体	
桜流騎馬	十和田市	全国から集った女性騎士による「やぶさめ競技大会」が行われる。	観知食体	
十和田市春まつり	十和田市	日本の道・100選「駒街道」の桜の下で、各種イベントが行われる。	観知食体	

時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	中央公園桜ライトアップ	三沢市	桜の開花に合わせてライトアップが行われる。	観知 食体
	楡沢の枝垂れ桜ライトアップ	五戸町	蒼前神社に佇む樹齢100年以上の大桜。地元特産物販売も行われる。	観知 食体
	正子のチューリップ園	五戸町	7,000㎡の園地に約300種10万株が咲き誇る丘巻のチューリップ園です。	観知 食体
	南部町春まつり	南部町	「稚児入山行列」や多彩なステージイベントで賑わう。果樹の花見ウォークも同時開催。	観知 食体
	へのへ春まつり	野辺地町	ライトアップされる700本の夜桜と灯籠は趣がある。	観知 食体
	東北町春まつり	東北町	「湖畔の千本桜」と呼ばれる桜並木の下で、様々なイベントを開催。	観知 食体
23・24	芦崎湾潮干狩り	むつ市	年に1日だけの潮干狩りを楽しむことが出来る。	観知 食体
	つがる市春まつり	つがる市	つがる市木造館岡地区の平滝沼公園で開催される桜まつり。	観知 食体

## 5月

時期	名称	市町村	概要	内容
3日	ひらないの春まつり「夜越山」	平内町	夜越山で参加者体験型のイベントを開催。	観知 食体
	夜越山クロスカントリー大会	平内町	県内唯一のクロスカントリー大会。終了後にはホタテの抽選会も。	観知 食体
月上旬	AOMORI春フェスティバル	青森市	ねぶた出陣、よさこいに加え、ベリーダンスが豪華に共演。	観知 食体
	アスパム春まつり	青森市	県内のご当地グルメの出店がずらり。クラフト体験も実施。	観知 食体
	津軽三味線日本一決定戦	青森市	唄づけ伴奏と曲強き演奏の両部門を審査、日本一を決める大会。	観知 食体
	GW春の味覚まつり	平内町	格安活ばたてやぼたて貝焼きの販売。多彩なステージイベントで賑わう。	観知 食体
	津軽三味線世界大会	弘前市	全世界の奏者が腕を競う、奏者の登壇門の大会。	観知 食体
	津軽五大民謡全国大会	弘前市	津軽じょんから節など、各部門で参加者が腕を競う。	観知 食体
	弘前りんご花まつり	弘前市	りんごにちなんだ体験イベントやフードコーナーで春のりんご公園を満喫。	観知 食体
	岩木全国風揚げ大会	弘前市	風の無料貸出もある種でも参加できる風揚げ大会。アトラクションや風オーケションもある。	観知 食体
	牧場まつり	新郷村	間木ノ平グリーンファームでの牛の乳搾り体験やパーベキュー、乾草転がし大会など。	観知 食体
	親子ウォーキング地球村	つがる市	岩木山を眺めながらウォーキング。抽選会もある。	観知 食体
	マコバチ感謝祭	枹柳町	マコバチに感謝し、神事を通じてりんごの豊作と農作業の安全を祈願する。	観知 食体
	津軽富士見周一周マラソン&ウォーキング大会	鶴田町	大人から子供まで楽しみながら参加できる。	観知 食体
	レールバスとあそぼう	七戸町	撮影会や車輛展示、デモ走行に体験乗車会が行われる。	観知 食体
	天王つつじまつり	七戸町	約500本のつつじが咲き乱れ、夜にはライトアップが行われる。	観知 食体
	寺山修司記念館フェスティバル 春	三沢市	寺山修司を感じられて家族で楽しめる参加型イベント。	観知 食体
	花切川へら鮎釣り全国大会	東北町	へら鮎釣りメッカとして有名な小川原湖に流入する花切川で開催。	観知 食体
	春の牧場まつり	おいらせ町	カヨグリーン牧場でのパーベキューの他、様々な体験コーナーを開催。	観知 食体
	来さまい大畑さくらロードまつり	むつ市	約8kmにわたる約1,400本の桜並木、大畑中央公園でイベントが行われる。	観知 食体
	むつ桜まつり	むつ市	桜が咲き乱れる「早掛沼公園」と「水源地公園」が名所。	観知 食体
	わきのさわ桜まつり	むつ市	むつ湾を展望しながら美しい桜を楽しめる。	観知 食体
ひがしどおり新緑そば街道まつり	東通村	東通村産のそば粉を使用した手打ちそばの提供。	観知 食体	
浪岡りんご花まつり	青森市	りんごの花を觀賞して人工授粉を体験。農産物販売や各種イベントを実施。	観知 食体	
中旬	黒石緑化まつり	黒石市	植木や樹木を始め花など様々な植物を販売。出店も立ち並ぶ。	観知 食体
	大鰐温泉つつじまつり	大鰐町	約15,000本のつつじが咲き誇る中、芸能発表などが開催される。	観知 食体
	おがみ神社法霊神楽祭	八戸市	法霊神楽が、権現舞・山の神・翁等を舞手を代えながら奉納する。	観知 食体
	八戸うみねこマラソン全国大会	八戸市	八戸水産公社前を発着点とするコースを爽やかな海風を感じながら走ることができる。	観知 食体
	大間町桜まつり	大間町	カラオケ大会、歌謡ショー、大間牛焼肉デー等開催。	観知 食体
	菜の花フェスティバルinよこはま	横浜町	一面黄色の菜の花畑の会場で、菜の花大迷路などを開催。	観知 食体
下旬	津軽森	弘前市	個性豊かな食事とグラス、ホ、染色等オリジナル商品を提案してくれるショップが岩木山の麓に集まる。	観知 食体
	白岩まつり	平川市	雪のような白岩と新緑が美しい公園で様々な催しが行われる。	観知 食体
	農家蔵・農家庭園めぐり	平川市	蔵や庭園文化を語りながら、金屋地区をガイドする。	観知 食体
	田植え体験ツアー	田舎館村	稲を植え分けて図柄を作る田んぼアートの日植えを体験できる。	観知 食体
南部町ぼたんまつり	南部町	130種8,000本のぼたんが咲き誇るその景色は、東北有数の美しさを誇る。	観知 食体	

時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	寺下観音例祭	階上町	無病息災、家内安全、五穀豊穡などを願う多くの参拝者が訪れる。	観知 食 体
	はしかみ臥牛山まつり	階上町	階上岳の麓でジンギスカンや地場産品を楽しめる。	観知 食 体
	はしかみつつじマラソン大会	階上町	3陸復興国立公園の階上岳を横目に、豊かな自然を感じながら走ることができる。	観知 食 体
	宮越家一般公開（～7月上旬）	中泊町	大正浪漫がほるステンドグラスが美しい離れと庭園を公開する。	観知 食 体
春の十二湖33湖めぐり	深浦町	新緑の十二湖と希少な野鳥や植物を満喫するガイド付き散策。	観知 食 体	

## 6月

### 地域の特徴的な催事 佐井村うに祭り（佐井村）

毎年6月に津軽海峡文化館アルサスで開催される「佐井村うに祭り」は、佐井村で獲れた旬真っ盛りのウニを特産で味わうことができるイベントです。新鮮なキタムラサキウニをふんだんに使ったウニ丼を目当てに大勢の人で賑わいます。また、鮮魚や水産加工品などの販売も行われており、佐井村の豊かな海の幸を堪能できます。



時期	名称	市町村	概要	内容
上旬	ひらないの春まつり「大島」	平内町	大島でホタテ拾いや親子で磯遊びのイベントを開催。	観知 食 体
	津軽路ロマン国際ツーデーマーチ	弘前市、平川市	自分の体力にあったコースを選び、津軽を満喫できるウォーキングの祭典。	観知 食 体
	万国ホラ吹き大会	大鰐町	大会は1人5分間の持ち時間の中でいかに大法螺を吹くかを競う。	観知 食 体
	島守春まつり	八戸市	歌謡ショーや神楽などの伝統芸能が披露される。	観知 食 体
	春の巨木めぐり	階上町	町内に点在している巨木の生命力あふれる自然の息吹を感じることができる。	観知 食 体
	大黒森つつじまつり	田子町	精霊が住んでいると言われる山に、10万本のつつじが咲き誇る。	観知 食 体
	キリスト祭	新郷村	盆踊りのようなナニヤドヤでキリストの霊を慰める風変わりな祭。	観知 食 体
	つがる市定期観光バスツアー	つがる市	ベンセ温泉や高山稲荷神社などの観光名所を巡るバスツアー。	観知 食 体
	三沢アメリカンデー	三沢市	パレードや日米食べ物広場設置など多彩な催しが行われる。	観知 食 体
	東北馬力七戸大会	七戸町	力強い農耕馬がおもりを乗せたソリを引く競技で、9月と年2回開催。	観知 食 体
中旬	たのしむべ！フェスティバル	六ヶ所村	音、レーザー光線を合わせた花火など、各種イベントを開催。	観知 食 体
	東八甲田つつじ祭り	青森市	田代高原のレンゲツツジを満喫。グダリ沼の景色も美しい。	観知 食 体
	古郡ひろさき花火の集い	弘前市	花火大会に、よさこいや津軽三味線ライブ等各種イベントもある。	観知 食 体
	こでんてん黒石こみせ	黒石市	中町こみせ通り界隈で行われる、手しごとクラフトマーケット。	観知 食 体
	南部町さくらんぼ祭り	南部町	県内一の生産量を誇る初夏の味覚「さくらんぼ」が食べ放題。	観知 食 体
	奥津軽虫と火まつり	五所川原市	五穀豊穡を祈願する祭り。上旬には相内地区でも行われる。	観知 食 体
	太宰治顕彰事業	五所川原市	太宰治銅像の前での作品朗読・文化講演・献花等が行われる。	観知 食 体
	THRCホースショー	十和田市	乗馬体験、ホースショーなどのイベントを開催。	観知 食 体
	花菖蒲まつり	十和田市	たくさんのお花菖蒲や、ルビナス・芍薬等が咲き誇る園地が公開される。	観知 食 体
	大畑海峡サーモン祭り	むつ市	即売のほか、サーモンレースなどの体験型イベントも開催。	観知 食 体
佐井村うに祭り	佐井村	ウニ丼や活ウニを特産で提供するイベント。	観知 食 体	

時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	アップルヒルペンダーまつり	青森市	一面に咲くペンダーの刈り取り体験や写真コンテストなど。	観 知 食 体
	津軽海峡今別産ウニ・サーモンまつり	今別町	旬の今別産のウニ丼や津軽半島今別サーモンなどを販売。	観 知 食 体
	よさこい津軽	弘前市	よさこいソーランをベースに、独自の曲で独自の踊りを披露する祭りイベント。	観 知 食 体
	ふじワングランプリ	藤崎町	B-1形式で町店舗・団体が考案したふじさきグルメのNo.1を決める食の祭典。	観 知 食 体
	カヌー・ジャパンカップ、自神カップカヌー大会	西目屋村	全国各地からカヌーの精鋭が集結し、その技とスピードを競う。	観 知 食 体
	神明宮茅の輪祭(6月30日～7月1日)	八戸市	カヤでできた大きな輪「茅の輪」をくり、その前半の厄払いと後半の無病息災を祈るお祭り。	観 知 食 体
	田子にんにく収穫祭	田子町	にんにく収穫体験、限定メニューなどににんにくだけのイベント。	観 知 食 体
	今泉の河原地蔵尊例大祭	中泊町	イタコの口寄せが行われる。	観 知 食 体
しちのへバラまつり	七戸町	バラの摘み取り体験や苗木の特別販売会などが行われる。	観 知 食 体	
マリンフェスタin大湊	むつ市	海上自衛隊大湊音楽隊の演奏や海軍カレー、海軍ロックの販売など。	観 知 食 体	

## 7月

時期	名称	市町村	概要	内容
上旬	横町納涼夜店まつり	黒石市	七夕の時期にたくさんの短冊や出店が立ち並ぶ。	観 知 食 体
	三嶋神社春季例祭(三嶋まつり)	八戸市	JR八戸線の線路沿いに露天が立ち並び幻想的な光景は、八戸のハマの風物詩。	観 知 食 体
	ジャックだまつり	南部町	なまず勝ちレースや定番の屋台村、県南地域ではシーズン最初の花火大会も開催。	観 知 食 体
	はしかみいちご煮祭り	階上町	元祖いちご煮や新鮮な海の幸を満喫しながら各種遊びを楽しむことができる。	観 知 食 体
	津軽鉄道風鈴列車運行(～8月31日)	五所川原市・中泊町	津軽山焼の風鈴を客車内に吊るし、傍目の短冊を下げた涼味豊かな風鈴列車。	観 知 食 体
海の日	鹿嶋祭り	深浦町	最後には、鹿嶋船に大漁、悪疫退散等の願いを乗せ海上に流す。	観 知 食 体
	奥入瀬ろまんパークフェスティバル	十和田市	芸能フェスティバル、チビっ子よさこい等を開催。	観 知 食 体
	氣比神社例大祭	おいらせ町	安全無病息災を願う絵馬を買い求める、県内外からの参拝者で賑わう。	観 知 食 体
	天妃様行列	大間町	1996年から大漁祈願祭に合わせて行列が繰り歩く。	観 知 食 体
	青森安湯みなとまつり	青森市	伝言花火が夜空を彩り、様々なフードコーナー＆ビールも魅力的。	観 知 食 体
	浅虫温泉ねぶた祭り	青森市	ねぶた発祥の地と言われる浅虫をねぶたが練り歩く。7・8月実施。	観 知 食 体
	よもぎた玉松びーチバレーボール大会	蓬田村	特産品をはじめとした豪華景品あり。中学生以上であれば参加可能。	観 知 食 体
	外ヶ浜町港まつり	外ヶ浜町	上磯の旬のほたてや加工品が勢ぞろい。風太鼓などの地元芸能も。	観 知 食 体
	星まつりinそうま	弘前市	星の観察会等、様々なイベントが盛りだくさん。	観 知 食 体
	クラシックカークラブ青森ミーティングinこみせ	黒石市	情緒漂う「中町こみせ通り」に往年の名車・旧車が大集合。	観 知 食 体
中旬	温湯温泉丑湯まつり	黒石市	悪い所を治すといわれる丑の御神体を乗せた御輿を子ども達が引く。	観 知 食 体
	ふじめぐり総選挙	藤崎町	町内参加店舗のイチオシに投票しNo.1を決める周遊イベント。	観 知 食 体
	大野温泉サマーフェスティバル	大野町	納涼フェア&ビアガーデン、燈籠流し等多様なイベントを開催。	観 知 食 体
	種差海岸観光まつり	八戸市	種差芝生地で開催され、生ウニなどの地元魚介類の販売が人気。	観 知 食 体
	八戸七夕まつり	八戸市	歩行者天国の中心街に、七夕飾りや様々な出店が並ぶ。	観 知 食 体
	夕陽海岸ふかうら海開き安全祈願祭	深浦町	水難事故の防止と遊泳者の安全を祈願する。	観 知 食 体
	花上り祭り	深浦町	五穀豊穣を願い、笛や太鼓に合わせて、若者たちが勇壮華麗に踊る。	観 知 食 体
	ちびビーチサッカーフェスタ	中泊町	県内各地からの参加チームが熱戦を繰り広げる。	観 知 食 体
	十和田湖湖水まつり	十和田市	夜にスカイランタンをリリースし、湖畔の幻想的な景色を楽しむ。	観 知 食 体
	ホテル&湧き水まつり	横浜町	ホテルを見ながら、〇×クイズ、ミニ緑日などが楽しめる。	観 知 食 体
下旬	泊合同例大祭	六ヶ所村	海上安全などを願い、流し踊り・花火大会・大漁祈願祭等を行う。	観 知 食 体
	元祖鳥賊様レース(～10月)	風間浦村	イカのオーナーとなってレースに参加できる。	観 知 食 体
	浅虫温泉花火大会	青森市	間に浮かび上がる光の輪が海面に反射し、迫力と美しさもひとしお。	観 知 食 体
	鯉ヶ湯温泉丑湯祭り	青森市	土用の丑の日丑の刻に温泉に入る伝統行事。各種催しも実施。	観 知 食 体
	百石町納涼夜店まつり	弘前市	沿道に各種出店が並び、大人も子供も楽しめるイベント。	観 知 食 体
	鯉温泉丑湯まつり	弘前市	鯉温泉にある特設ステージで、民謡や盆踊りなど盛りだくさんのイベントが楽しめる。	観 知 食 体
	岩木夏まつり	弘前市	ねぶたの合同運行、パレード、夜道などの盛りだくさんのお楽しみイベントが、真田商店街を舞台に行われる。	観 知 食 体

時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	黒石ねぶた祭り(～8月5日)	黒石市	風情ある街並みを人形ねぶたと囃ねぶたが練り歩く。	観知 食体
	浅瀬石川ダム ダム湖ふれあいデー	黒石市	7/21～31の「森と湖に親しむ旬間」に合わせて開催される、大人も子供も楽しめるイベント。	観知 食体
	平川市蓮の花まつり(～8月下旬)	平川市	淡いピンク色の「和蓮」が咲き誇るなか、多くのイベントが開催される。	観知 食体
	白神山地ビジターセンター夏のふれあいデー	西目屋村	大型スクリーンによる特別上映や、木工体験、棒ハシ体験、地域の特産品の販売等を開催。	観知 食体
	変わり湯・薬湯丑湯まつり	西目屋村	村内温泉施設で変わり湯を実施。	観知 食体
	にしめやランド2023	西目屋村	ステージや飲食、体験など様々なイベントが盛りだくさん。	観知 食体
	丑湯まつり(温泉祈禱式)	大鰐町	毎年土用丑の日に半に乗った大日如来像を温泉に浮かべ無病息災を祈禱する伝統行事。	観知 食体
	八戸三社大祭(7月31日～8月4日)	八戸市	ユネスコ無形文化遺産。豪華絢爛な山車の合同運行が見物。	観知 食体
	さめ浜まつり	八戸市	蘆島に隣接する海浜公園を主会場に、神興の海上渡御や多彩なステージを開催。	観知 食体
	南郷サマージャズフェスティバル	八戸市	国内外からの有名ジャズアーティスト達が素晴らしい演奏を披露。	観知 食体
	三新田まつり	つがる市	商店街に出店が並び楽しいイベントも開催。	観知 食体
	上原げんと杯争奪のど自慢大会	つがる市	つがる市出身の作曲家「上原げん」とを称え県内外のアマチュアが歌唱力を競う。	観知 食体
	小川原湖水まつり	三沢市	小川原湖の自然を生かしたカヤック体験などのイベントが盛りだくさん。	観知 食体
	みさわ七夕まつり	三沢市	ゲストライブやダンスコンテストが行われる。	観知 食体
	東北町湖水まつり	東北町	手作りイカダレース、わかさぎマラソン大会、花火大会などを開催。	観知 食体
ろくのへサマーフェスティバル	六戸町	キンキンに冷えた生ビールと一緒に食事やステージショーを堪能できます。	観知 食体	
ゆかい村海鮮どんぶりまつり	風間浦村	名物イベント「元祖 鳥賊球レース」や「花火大会」等開催。	観知 食体	
20～24日	恐山大祭	むつ市	大般若祈禱、大施食法要会などが行われる。	観知 食体
25日	泉山七歳児初参り	三戸町	数え年七歳の男児が父親に伴われ、名久井岳月神社奥院に参拝する行事。(国重要無形民俗文化財)	観知 食体
25～27日	ビックリ夜店	五戸町	五戸町の中心商店街を歩行者天国にし、路上イベントの他、出店が並ぶ。	観知 食体
28～29日	つがる市ネプタまつり	つがる市	県内で一番早いネプタ出陣。名物「けんか太鼓」が鳴り響く。	観知 食体
30日	まさかりレガッタ	むつ市	むつ市の夏の風物詩。新田名部川ホーコースを舞台に、レースが繰り広げられる。	観知 食体

## 8月

### 地域の特徴的な催事 玉松海まつり(蓬田村)

毎年8月第1日曜日に玉松海水浴場で行われる蓬田村最大級のイベント。豪華な景品付きの宝探しゲームや〇×クイズ、トマトジュース早飲み大会、村名産のホタテの貝焼きの無料配布などの楽しいイベントが行われ、浜が大騒ぎとなります！蓬田村で夏を満喫しましょう！



時期	名称	市町村	概要	内容
1日	弘前ねぶたまつり(～7日)	弘前市	勇壮で色鮮やかな武者絵の囃ねぶた、組ねぶたが市内を練り歩く。	観知 食体
	大鰐温泉ねぶたまつり(～7日)	大鰐町	じつちやもばつちやもみてけるじゃ♪ ねぶたが大鰐の夜を彩る。	観知 食体
2日	青森ねぶた祭(～7日)	青森市	国の重要無形民俗文化財である、青森の夏を代表する祭り。	観知 食体
	平川ねぶたまつり(～3日)	平川市	高さ12mの「世界一の囃ねぶた」が最後尾から出陣。夏の風物詩を満喫できる。	観知 食体
	加賀美流騎馬打撃	八戸市	紅白2軍の騎馬武者が、毬門に紅白各4つの毬を入れ合う競技。	観知 食体

時期	名称	市町村	概要	内容
3日	五所川原花火大会「水と光と音の祭典」	五所川原市	噴水や照明、BGMに合わせて約5,000発の花火が打ち上げられる。	観知 食体
4日	五所川原立佞武多(～8日)	五所川原市	高さ23m、重さ19tの大型立佞武多が圧倒的。	観知 食体
7日	青森ねぶた海上運行、花火大会	青森市	ねぶた大賞などの受賞ねぶたを台船に乗せ、港内を海上運行。	観知 食体
8～11日	大間稲荷神社例大祭	大間町	山車がすれ違う時のお互い負けまいと叫びあう姿が見物。	観知 食体
第1倉-日	大湊ネプタまつり	むつ市	町内会等が作成した大型ネプタの運行、盆囃の流し踊りを実施。	観知 食体
	荒馬まつり	今別町	いまべつの夏は「荒馬」。男女ペアで囃子に合わせ乱舞する。	観知 食体
	玉松海まつり	蓬田村	宝探しやトマジューズ早飲みなど、誰でも気軽に楽しめる夏まつり。	観知 食体
	大森勝山じょうもん祭り	弘前市	追跡展望台や追跡探検隊、じょうもんクイズラリー、地元町会によるおもてなし等。	観知 食体
	ながしこ合同運行	藤崎町	七夕行事で、人間が「生き人形」として乗った山車が町を練り歩く。	観知 食体
	さんのへ夏まつり	三沢市	別名「提灯まつり」。提灯と「11びきのねこ灯籠」が夜の町を明るく彩る。	観知 食体
	ごのへ夏まつり	五戸町	豪華ゲストを迎えてのお笑いライブと、夜の鎮上に花開く約2,000発の花火が最大の見どころ。	観知 食体
	真夏のストープ列車	五所川原市	五所川原立佞武多祭り期間中2日実施。	観知 食体
	川倉妻の河原地蔵草例大祭	五所川原市	イタコの口寄せが行われる。	観知 食体
	チェスポローカップ水泳駅伝	つがる市	米国帆船チェスポロー号遭難救助の史実を語り継ぐための水泳イベント。	観知 食体
メロン・スイカフェスティバル	つがる市	メロン・スイカの即売会をはじめ、ステージイベントやゲームなど家族みんなで楽しめるイベント。	観知 食体	
「りんごの星いたやせぎ」りんご灯まつり、老火大会	板柳町	「レサ！レサ！」の掛け声で練り歩く「りんご山笠」と約3,000発の花火。	観知 食体	
寺山修司記念館フェスティバル 夏のへじルミネーション	野辺地町	寺山修司を感じられて家族で楽しめる参加型イベント。	観知 食体	
		野辺地町	約一万球のライトが公園を彩ります。	観知 食体
中旬	浪岡北畠まつり	青森市	南北朝時代の武将・北畠顯家にちなんだ武者行列やねぶたの合同運行。	観知 食体
	霊谷高原夏祭り	青森市	ひまわり畑を眺めながらの乗馬体験や、最終日には大文字焼き、盆踊り、花火大会を実施。	観知 食体
	ひらない夏まつり	平内町	平内音頭流し踊りや、盆踊りなどの他、「ねぶた」の運行もある。	観知 食体
	黒石よされ	黒石市	「エッチャホー、エッチャホー」が掛け声。踊り踊り・組踊り・流し踊りの3つで構成。	観知 食体
	大川原の火流し	黒石市	船子が舟の帆柱に火をつけ下流の大川原橋まで流し下す。	観知 食体
	ふるさと元気まつり	黒石市	黒石の夏祭りが一堂に結集。花火の打ち上げもあり。	観知 食体
	浅瀬石川灯流し	黒石市	先祖の霊を慰めながら家内安全や無病息災を祈る。	観知 食体
	平川あどの祭り	平川市	平川の熱い祭りは二度やってくる。ねぶたはもちろん、ステージイベントも楽しめる。	観知 食体
	田子夏祭り	田子町	「打ち上げ花火」、「ナニヤドヤら盆踊り大会」など多様な催しを開催。	観知 食体
	南部まつり	南部町	昼は楽しい催し物がいっぱい。夜には花火大会を開催。	観知 食体
	つがる市盆踊り大会	つがる市	地域住民をはじめ市外からも多く訪れる参加型の盆踊り大会。	観知 食体
	十三の砂山まつり	五所川原市	民謡「十三の砂山」に合わせて人々が踊る。下旬に十三湖高原まつりが開催。	観知 食体
	つるたまつり	鶴田町	ねぶたの運行や花火大会。最終日には津軽富士見湖上を龍神船が運航。	観知 食体
	なかどまりまつり	中泊町	中里地域・小泊地域で行われ、それぞれの地域の特色を生かした催しがある。	観知 食体
	三沢まつり	三沢市	山車運行の他、仮装行列や国際サマーフェスティバル等も開催。	観知 食体
	のへじ祇園まつり	野辺地町	山車の合同運行や神楽の共演、海上渡御など伝統ある祭りが優雅に行われる。	観知 食体
	横浜町ふるさとのまつり	横浜町	いも煮会や魚の掴み取り大会、花火など多様なイベントを開催。	観知 食体
おいらせ全国将棋祭り	おいらせ町	プロ棋士の対局や人間将棋などの将棋関連イベントを多数開催。	観知 食体	
14日	十和田市夏まつり花火大会	十和田市	中心市街地で約3,000発の花火が豪華に打ち上げられる。	観知 食体
	ブルーマリンフェスティバル	大間町	舟競争・ライブショー・大間産花火分解体打ち等を開催。	観知 食体
14日予定	東通ドン！と盆盆フェスタ	東通村	東通村の新たなイベント「住民が考え住民が参加する」住民参加型イベント。花火大会も開催。	観知 食体
15日	佐井村夏まつり	佐井村	歌謡ショーや花火大会等を開催。	観知 食体
16日	種生川灯ろう流し	十和田市	家内安全・商売繁盛などの願いを託した灯ろうを流す。	観知 食体
16日	しちのへ夏まつり	七戸町	郷土芸能や有名ゲストの歌謡ショー等、多様なイベントを開催。	観知 食体
18日	おもしろ流し踊り	むつ市	田名部神社例大祭の1日目に開催される。「おしまこ」とは美しい人の意味。	観知 食体
18～18日	奥戸春日神社例大祭	大間町	山車が地区を練り歩き、住民は家内安全や航海安全を願う。	観知 食体
18～20日	田名部神社例大祭	むつ市	豪華絢爛な山車、祇園囃子、そして最終日の「五車別れ」が見物。	観知 食体
下旬	しんまちふれあい広場	青森市	新町通りで食べて遊んで、道路が楽しい広場になる。	観知 食体
	ファッション甲子園	弘前市	全国の高校生を対象としたファッションデザインコンクール。	観知 食体



時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	レッツウォークお山参詣	弘前市	五穀豊饒・家内安全を岩木山に祈願する伝統行事を気軽に体験できる。	観 知 食 体
	虹の湖ROCK FESTIVAL	黒石市	「虹の湖公園」野外ステージを使った黒石発のロックフェスティバル。	観 知 食 体
	津軽花火大会	藤崎町	幻想的な灯籠流しの後、約5,000発もの花火が打ち上げられる。	観 知 食 体
	八戸花火大会	八戸市	八戸港を背景に約6,000発の花火が打ち上がる。	観 知 食 体
	たっこグルメマラソン	田子町	「給菜所」で食材を集めながらゴールを目指す。ゴール後はBBQが楽しめる。	観 知 食 体
	相米慎二監督映画祭り	田子町	町出身の相米監督の作品を上映。当時出演した俳優のトークショーも開催。	観 知 食 体
28～29日	東北町秋まつり	東北町	山車運行に流し踊り、仮装行列や神楽、よさこい踊りなどが行われる。	観 知 食 体
29～30日	つがる市馬まつり	つがる市	新田開拓に尽くした農耕馬を偲ぶ祭り。パレードやのど自慢など各種イベントを開催。	観 知 食 体

## 9月

### 地域の特徴的な催事 古津軽ウィーク（津軽地域）

岩木山を中心に広がる津軽地域に、古くから現在まで伝わっている祭りや信仰、芸能、食文化などを、津軽に息づくたくさんの”ものがたり”とともに楽しむ旅「古津軽（こつがる）」。

各地のまちあるき、見学や製作体験、伝承料理の堪能など、古津軽を満喫できますよ！



### 地域の特徴的な催事 名川秋まつり（南部町）

250年の歴史を誇り、毎年剣吉地区で開催される伝統の秋まつり。

お通りとお還りは、諏訪神社の神楽や御神輿など郷土色豊かな芸能や町内から集まった山車の行列が見所。

山車に設けられた舞台では、尺八や三味線、太鼓に合わせて南部手踊りが披露される全国的にも珍しいまつりで、沿道に詰めかけた多くの観客を魅了します。



## 地域の特徴的な催事 日の本中央まつり（東北町）

9月中旬に開催され、メインイベントは「日の本中央たいまつ祭」です。

起源は「日の本中央の碑」と坂上田村麻呂伝説に由来し、この地方を支配していた蝦夷の一族が五穀豊穡や無病息災などを祈願した風習を再現した祭りです。



時期	名称	市町村	概要	内容
1日	古津軽ウィーク(～10月10日)	弘前市ほか	古津軽を堪能できるイベント満載の期間。	観知 食体
	かかしロード280(～9月下旬)	青森市ほか	国道280号バイパス沿いにさまざまなかかしが一堂に展示される。	観知 食体
	黒石こみせまつり	黒石市	津軽太鼓や津軽三味線の演奏、よさこい等イベントを多数開催。	観知 食体
	ひらかわフェスタ	平川市	津軽の郷をはじめとする地元農産物や加工品などの販売のほか、ステージイベントや抽選会、各種展示を行う。	観知 食体
	フジロックフェスタ	藤崎町	音楽やダンス、お笑いといったパフォーマンスを発信する地域のエンターテインメントイベント。	観知 食体
	大鰐観光りんご園	大鰐町	りんご収穫体験、販売などを農園で行う。	観知 食体
	流鏝馬(櫛引八幡宮)	八戸市	射手奉行が馬場を疾走し、馬上から3枚の的を目掛けて矢を放つ。	観知 食体
	映画監督相米慎二をしのぶ会	田子町	町出身の相米監督をしのび、生前の功績を讃え語り継ぐ。	観知 食体
	五戸まつり	五戸町	装飾された山車が急な坂を登るのは迫力満点。	観知 食体
	津軽鉄道節虫列車(～10月中旬)	五所川原市・中泊町	秋の可憐な美しい虫声が聞ける鈴虫列車。	観知 食体
	しちのへ秋まつり	七戸町	昔話や伝説等が題材の山車が市街地を練り歩く。前夜祭も開催。	観知 食体
	大戸秋まつり	六戸町	豪華絢爛な山車や、流行の風刺を込めた仮装行列が練り歩く。	観知 食体
	日曜日はマグロだDAY(～10月)	大間町	マグロの解体ショーとマグロの試食・即売会等を開催。	観知 食体
	8～10日	名川秋まつり	南部町	珍しい山車の上での手踊りや、能踊り、袴舞など郷土色豊かな芸能が披露される。
ほたての祭典		平内町	ホタテ詰め込み、ホタテ釣り、ホタテ焼きなど、まさにホタテづくし。	観知 食体
よもぎた村民祭		蓬田村	村の食・芸術・文化・芸能を堪能できるイベント。	観知 食体
カルチュアロード		弘前市	弘前市土手町通りが歩行者天国になり、地域交流の場や文化など、産業に対する認識を深める。	観知 食体
さんのへ秋まつり		三戸町	色鮮やかな山車が、笛や太鼓の音とともに町を練り歩く。	観知 食体
とまべちまつり		南部町	合同運行では4台の山車が練り歩く。楽しいステージイベントも開催。	観知 食体
津軽三味線全日本金木大金・仁太坊まつり		五所川原市	津軽三味線の始祖、神原の仁太坊の業績を讃え開催。	観知 食体
龍元岩山神社大祭		五所川原市	江戸時代より龍元岩山山として信仰されている露山で行われる大祭。	観知 食体
十和田市秋まつり		十和田市	伝統芸能である「南部駒踊り」や、山車、太鼓車等が次々と練り歩く。	観知 食体
三沢基地航空祭		三沢市	航空自衛隊機、米軍機による展示飛行の他、出店も多数。	観知 食体
日の本中央まつり		東北町	10台の大たいまつの炎と川面に映る光が神秘的な彩りを見せる。	観知 食体
おいらせ百石まつり		おいらせ町	豪華絢爛な山車運行と、ユーマア溢れる仮装パレードが行われる。	観知 食体
八幡神社例大祭		横浜町	神楽、御神輿などの行列が、町内を練り歩く。	観知 食体
14～16日		大畑八幡宮例大祭	むつ市	神輿、山車、神楽、能舞などの行列が町内を練り歩く。
	前根森八幡宮例大祭	佐井村	神楽、御神輿、山車が連なり、夜遅くまで村内を練り歩く。	観知 食体
	龍飛・義経マラソン	外ヶ浜町	義経伝説が残る、太宰も歩いた龍飛を走るマラソン。全国から参加。	観知 食体
	雲谷高原コスモスまつり	青森市	コスモス迷路や回廊ご当地グルメ出店のほか、最終日にはよさこいチームの演舞も実施。	観知 食体
下旬	いまべつ秋まつり	今別町	いまべつ牛のほか、今別町の特産物を販売する食欲の秋満喫イベント。	観知 食体
	ひろさきりんご収穫祭	弘前市	秋のりんご公園で、様々な体験イベントやフードコーナーで収穫を祝う。	観知 食体

時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	鎌賀神社十五夜大祭(旧暦8月14日～16日)	平川市	津軽神楽奉奏、県下獅子踊大会等様々な祭事や神賑行事を実施する。	観知 食体
	南部七唄七踊り全国大会	南部町	南部七唄七踊り祭神の地・南部町、伸びやかな明声と躍動感溢れる手踊りを観う。	観知 食体
	おいらせ下田まつり	おいらせ町	生き人形と呼ばれる仮装した人々が山車に乗るユニークな祭。	観知 食体
	川内八幡宮例大祭	むつ市	太神楽を先頭に、豪快優美な神輿や山車が町を練り歩く。	観知 食体

## 10月

時期	名称	市町村	概要	内容
9～11日	下風呂稻荷神社祭典	風間浦村	宵宮、祈禱に始まり、お神輿や山車が練り歩く。	観知 食体
	弘前・白神アップルマラソン	弘前市、西目屋村	りんごの里から世界自然遺産白神山地へと続くコースを走るマラソンイベント。	観知 食体
	稲刈り体験ツアー	田舎館村	田んぼアートの稲を昔ながらの手作業で鎌を使って刈り取る。	観知 食体
	新田城まつり	八戸市	遠野への出行行列の再現のほか、地元芸能の披露など。	観知 食体
	史跡根城まつり	八戸市	日本百名城の史跡根城の広場で開催。郷土芸能の披露など。	観知 食体
	縄文なべまつり	八戸市	八戸公園の縄文なべを使って調理した「ほちのへせんべい汁」の提供や、ステージイベント等の開催。	観知 食体
	にんにくとべごまつり	田子町	町特産の「たっこにんにく」と「田子牛」を豪快に食べつくすイベント。	観知 食体
	にんにくロードウォーク	田子町	秋の景色を楽しみながら、田子町開地区～みらくの滝までの往復15kmを歩くイベント。	観知 食体
	階上岳横断ウォーク	階上町	三陸復興国立公園に指定されている階上岳・階上海岸をウォーキングする。	観知 食体
	巨木を巡ろう全国フォーラム青森・階上大会	階上町	巨木を巡るエクスカッションや基調講演などを実施。	観知 食体
	新郷ふるさとまつり	新郷村	せんべい汁や地場産品の販売。牧場まつりや川魚つかみどり大会も開催。	観知 食体
	ホコタマルシェごしよがわら	五所川原市	中心街に歩行者天国とマルシェが出現！特産物やグルメが大集合。	観知 食体
	十三湖高原まつり	五所川原市	大人気の十三湖産しじみすくいや、市浦牛を使ったグルメイベント。	観知 食体
	大空のまち・みさわスカイフェスタ	三沢市	ミス・ビードルカップ紙飛行機大会、グライダー操縦体験、親子で参加できるゲームなど。	観知 食体
	MISAWA BBQジャンボリー ～地産地消みさわ～	三沢市	市民から広く愛される食文化BBQを中心とした参加型イベント。	観知 食体
	ふれあい牧場デー	おいらせ町	バーベキューや様々なステージイベント、体験コーナー等を開催。	観知 食体
	恐山秋祭り	むつ市	先祖供養と家内安全、豊作を祝う秋祭り。	観知 食体
上旬～9日	ひがしおどり新そば街道まつり	東通村	収穫したばかりの東通産十割そばを提供する新そばまつり。	観知 食体
中旬	しんまちハロウィンストリート	青森市	仮装をした子ども達に商店街のお店からお菓子をプレゼント。	観知 食体
	青森秋まつり	青森市	露店や物販、流鏝馬観覧、風揚げなど多様な催しがある。	観知 食体
	雲谷新そばまつり	青森市	新そばを使用したおそばの提供、そば打ち体験。	観知 食体
	青い森鉄道まつり	青森市	レールスクーターの乗車体験や沿線の特産品販売など盛りだくさん。	観知 食体
	夏泊半島ブルーロードライド	平内町	秋の夏泊半島で、サイクルを楽しみ、青森グルメを味わうイベント。	観知 食体
	弘前城菊と紅葉まつり	弘前市	ラフアートの菊による装飾で会場が彩られ、夜にはもじと桜の輝やかな紅葉が特別ライトアップされる。	観知 食体
	津軽の食と産業まつり	弘前市	津軽地域最大の「食」と「産業」の祭典。交流都市物販コーナーもあり。	観知 食体
	全国伝統こけし工人フェスティバル	黒石市	全国各系統の工人による実演、販売。	観知 食体
	秋の巨木めぐり	階上町	紅葉の季節ならではの色合いと神秘的なパワーを体感することができる。	観知 食体
	りんごの里板柳まるかじりウォーク	板柳町	りんごの匂い香る板柳町を「ウォーキング」で満喫。	観知 食体
	ステューベンぶどうまつり	鶴田町	道の駅あるじやにて開催。ステューベンの販売や様々なイベントを実施。	観知 食体
	大沢内ため池ウォーキング	中泊町	秋の東北自然道歩道と大沢内の「湧きつば(平成の名水百選)」を歩く。軽食の提供や抽選会の開催もあり。	観知 食体
	宮越家一般公開(～11月中旬)	中泊町	大正浪漫かほるステンドグラスが美しい離れと庭園を公開する。	観知 食体
	世界流鏝馬選手権	十和田市	全国各地より強豪騎手が集結し、流鏝馬の腕を競う。	観知 食体
	ハロウィンフェスタ IN MISAWA	三沢市	仮装コンテストやパレードなど街中がハロウィン一色になる。	観知 食体
フィッシングトーナメントin六ヶ所	六ヶ所村	ワサ・フリ・イナダ釣りをジギングというアーフィッシングで楽しめる。	観知 食体	
奥薬研温泉郷紅葉まつり	むつ市	紅葉舞う中、大畑の味覚やバンド演奏を楽しめる。	観知 食体	

時期	名称	市町村	概要	内容
下旬	ひらない秋まつり	平内町	町の産業・文化・特産物が一堂に楽しめるイベント。	観知 食体
	みんまや秋の物産フェア	外ヶ浜町	津軽海峡産のマグロ解体・即売やマグロ丼の販売イベント。	観知 食体
	中野もみじ山ライトアップ(～11月上旬)	黒石市	夜間はライトアップし、幻想的な光景が見られる。	観知 食体
	鎌賀公園紅葉まつり(～11月上旬)	平川市	紅葉が真っ赤に色づく園内で様々な催しが行われる。	観知 食体
	白神山地ビクターセンター秋のふれあいデー	西目屋村	大型スクリーンによる特別上映や、木工体験、棒(竹)体験、地域の特産品の販売等を開催。	観知 食体
	ごのへでハロウィン	五戸町	子どもも大人も楽しめる各種ワークショップとフードいっぱいのイベント。	観知 食体
	新田そばまつり	田子町	水車で搗(つ)いた、打ちたて・茹でたてのそばが味わえる。	観知 食体
	田子ひととくめや文化祭	田子町	作品の展示やステージイベントの鑑賞のほか、健康測定も体験出来る。	観知 食体
	秋の十二湖33湖めぐり	深浦町	黄金色に包まれるブナ林と紅葉を満喫するガイド付散策。	観知 食体
	奥入瀬渓流エコロードフェスタ	十和田市	マイカー交通規制を行い、本来の渓流美が楽しめる。シャトルバスの運行もある。	観知 食体
	戸鎮新そばまつり	六ヶ所村	新そば、そばもちの販売。	観知 食体
	東通村産業祭り	東通村	東通牛をはじめ、秋の産品やそばが味わえる。鮭のつかみどりやビンゴゲームも。	観知 食体
	階上早生新そばまつり	階上町	挽き、打ち、茹でたての風味豊かな階上早生階上そばが味わえる。	観知 食体
	おさかなまつり	佐井村	鮮魚や漁協加工品等佐井村の特産品を販売。おさかな抽選会なども開催。	観知 食体

## 11月

時期	名称	市町村	概要	内容
上旬	はちのへ菊まつり	八戸市	八戸市民の花「菊」の祭り。奥州菊や懸崖菊などを展示。	観知 食体
	五戸町文化まつり	五戸町	五戸町の文化の祭典。制作展示のステージ発表なども。	観知 食体
	階上町民文化祭	階上町	町民の作品展や郷土芸能などのステージ発表が行われる。	観知 食体
	日本一のスイチョウライトアップ(ビッグイエロー)	深浦町	大迫力の日本一の黄葉がライトアップされる。	観知 食体
	メイプルタウンフェスタ	六戸町	一戸～九戸の特産品を集めた即売会「戸のじまん市」等を開催。	観知 食体
	生き生き産業文化まつり	大北町	農業、商工、健康展、バラエティショー等多様な催し物を開催。	観知 食体
	ろっかしよ産業まつり	六ヶ所村	鮭の販売、ふるさと新鮮市等多様なイベントを開催。	観知 食体
	地産地消運動協力店感謝祭	むつ市	地産地消運動に取り組み店舗が参加し、美味しい食べ物やステージイベント等で楽しめる。	観知 食体
	わきのさわかさまいまつり	むつ市	よさこい等の他に、特産品の海産物等も販売。	観知 食体
	黒石りんごまつり	黒石市	りんごの即売など、様々な催しを通じ黒石のりんごをPRするお祭り。	観知 食体
中旬	ふじさき秋まつり	藤崎町	ジャンボおにぎりづくりや物産展など、様々なイベントを開催。	観知 食体
	収穫感謝祭&シクラメン市	田舎館村	村の芸能・文化・産業が一堂に会する村最大のイベント。	観知 食体
	町民文化祭・いのちのまつり	鶴田町	健康に関することをはじめ、さまざまな作品の展示やイベントが行われる。	観知 食体
下旬	りんごトラック市	弘前市	採れたてのりんごや加工品の直売を実施。りんご公園では収穫体験も可。	観知 食体
	ひらかわ利用ミネーションプロムナード(～2月中旬)	平川市	平川市の冬をLEDのほか台湾提灯と竹キャンドルが鮮やかに彩る。	観知 食体
	まるごと大饗祭の感謝祭	大鰐町	大鰐でしか「買えない」「味わえない」大鰐ならではのものを一箇所に集めたイベント。	観知 食体
	階上どんご祭り	階上町	どんご汁販売のほか、階上産海産物を味わうこともできる。	観知 食体
	あおもり鍋自慢	南部町	鍋条例が制定されている南部町。県内や岩手県北のご当地鍋が一堂に会する。	観知 食体
	南部町産物フェア	南部町	あおもり鍋自慢と同時開催。野菜や果物など秋の味覚を販売。	観知 食体
	つがる市食と産業まつり	つがる市	農・商・工の連携による「つがる市 食と産業まつり」を開催。	観知 食体
ミサワ・パンタシア	三沢市	16mのビックツリーをシンボルに冬を彩るイルミネーションスポット。	観知 食体	
大間町産業祭	大間町	大間町の特産品などを販売。ガラポン抽選会も。	観知 食体	

## 12月

時期	名称	市町村	概要	内容
上旬	あおもり灯りと紙のページェント(～2月)	青森市	モトーンの雪景色の中に幻想的な世界をつくりあげるイルミネーション。	観知 食体
	冬に咲くさくらライトアップ(～2月)	弘前市	雪が積もった桜の木をピンク色にライトアップすることで桜が咲いているような幻想的な光景が広がる。	観知 食体
	Town'sイルミネーション	五戸町	歴史みらいパークが、イルミネーションによって光空間へと姿を変える。	観知 食体
	なんぶりんご市	南部町	贈答用から家庭用まで選りすぐりのりんご等の即売会。	観知 食体
	しんごろホワイトイルミネーション	新郷村	橋を渡るとそこに煌めくイルミネーションの世界が広がる。	観知 食体
	津軽鉄道ストープ列車(～3/31)	五所川原市・中泊町	ダルマストープが置かれ、車内は懐かしいノスタルジックな作りとなっている。	観知 食体
	津軽すこつが三味線世界大会	五所川原市	変装やパフォーマンス等を変えた個性豊かなステージが繰り上げられる。	観知 食体
	中泊ウィンターイルミネーション(～1月中旬)	中泊町	町内各所にイルミネーションを飾り、冬の中泊町を明るく彩る。	観知 食体
	金多豆蔵人間コンテスト	中泊町	金多豆蔵人形芝居の人間版コンテストを開催する。	観知 食体
	りんご里イルミネーション	板柳町	ソリー、アーチ、雪だるまなどのイルミネーションが冬の夜空を幻想的に彩る。点灯期間：主に12月中	観知 食体
中旬	冬の巨木めぐり	階上町	冬ならではの豪快な枝ぶりと冬芽の観察ができる。	観知 食体
	風間浦鮫鱈まつり(～3月)	風間浦村	下風呂温泉旅館で鮫鱈のフルコースやお手軽な昼食プランを堪能。	観知 食体
	大鰐温泉スキー場オープン	大鰐町	上級者からお子さんまで、多様なコースで皆さまのご来場をお待ちしています。	観知 食体
	アートワダウィンターイルミネーション	十和田市	現代美術館アート広場を青色LEDが埋め尽くす。	観知 食体
15日	おこもり(1月15日も実施)	佐井村	「めしー!」「しるー!」と叫びながらごはんと汁を食べ続ける伝統行事。	観知 食体
下旬	飯詰地区裸参り	五所川原市	若者がふんどし姿で集落内を練り歩き、神社へお供えものを奉納。	観知 食体
	おぼつなご(裸参り産土講)	深浦町	「サイギ」「サイギ」の掛け声勇ましく町内を練り歩き、裸参りする。	観知 食体
	鶴田八幡宮弥生奉納	鶴田町	五穀豊穡を祈願し、鶴田八幡宮に弥生画を奉納する。	観知 食体
31日	八甲田丸カウントダウン	青森市	汽笛の一斉吹鳴、ニューイヤークワ火大会などの年越しイベント。	観知 食体
31日	薫崎神社 千支花火昇遷祈願祭	八戸市	カウントダウン花火の打ち上げや、奉納演奏の披露、歌謡ショーが行われる。	観知 食体

## 1月

時期	名称	市町村	概要	内容
1日	常盤八幡宮年縄奉納行事	藤崎町	五穀豊穡や家内安全を祈願し、常盤八幡宮に年縄を奉納する。	観知 食体
	元旦マラソン	三戸町	当日はおもち、雑煮のサービスや、お楽しみ抽選会もある。	観知 食体
上旬	あおもり雪灯りまつり	青森市	市民が制作した雪とキャンドルの雪灯り2,000個が優しく迎えます。	観知 食体
	東通村郷土芸能保存連合会発表会	東通村	国の重要無形民俗文化財に指定されている能舞などが楽しめる。	観知 食体
中旬	カバカバと福徳	田舎館村	子どもたちが家々をまわり、無病息災、家内安全を願います。	観知 食体
	スノーシュートレッキング	五所川原市	初心者でも、雪の森や高原を楽しみトレッキングできる。	観知 食体
	大畑どんぐり焼き	むつ市	無病息災、五穀豊穡を願い、祈禱やしめ縄等の炊き上げを行う。	観知 食体
15～16日	田植え餅つき祭り	東通村	色鮮やかな衣装をまとった女性たちが豊作を祈り、田植え歌や餅つき踊りを披露	観知 食体
下旬	鬼神社しめ縄奉納裸参り(旧暦元旦)	弘前市	鬼沢地区に伝わる伝統行事で、弘前市の無形民俗文化財に指定されている。	観知 食体
	一夜限りの幻想的な農家庵ライトアップ	平川市	ライトアップされた農家庵や蔵並み通りが幻想的な世界を造りだす。	観知 食体
	地吹雪体験(～2月上旬)	五所川原市・中泊町	厳寒の津軽の地吹雪を体験しながら巡るユニークな体験ツアー。	観知 食体
	十和田湖冬物語(～2月下旬)	十和田市	会場内でのアクティビティ体験や花火が幻想的に彩るイベント。	観知 食体
	冬の下半島「食の祭典」	むつ市	地元食材の鍋、大湊海軍コロッケほか「北のうまいもの」が大集合。	観知 食体

## 2月

時期	名称	市町村	概要	内容
上旬	弘前城雪燈籠まつり	弘前市	約150基の雪燈籠、大雪像や大型滑り台など多数制作。	観知 食体
	沢田ろうそくまつり(旧暦小正月)	弘前市	約400年以上の歴史があり、五穀豊穡や家内安全を祈らうとろうそくに火をとます。※令和3年中止	観知 食体
	りんご公園ウィンターフェスティバル	弘前市	雪に触れ思いっきり遊ぶ、冬を楽しむフェスティバル。	観知 食体
	黒石旧正マッコ市	黒石市	商品の割引とともに、ものすごいマッコ(お年玉)がもらえる。	観知 食体
	全日本ずぐり回し選手権大会	黒石市	津軽地方冬の遊び「ずぐり回し」の全日本大会。	観知 食体
	平賀はしご酒まつり	平川市	まつり参加飲食店をはしごしてスタンプを集めると抽選で豪華賞品がもらえる。	観知 食体
	瀬賀神社七日堂大祭(旧暦1月7日)	平川市	柳の大枝をたたきつけて今年の豊凶や天候を占う神事などを行う。	観知 食体
	冬の田んぼアート	田舎館村	光と影の芸術、「スノーアート」を中心としたイベント。	観知 食体
	イガ米～来てけフェア	中泊町	アスパムで開催。中泊町の大地と海の恵みを味わえる。	観知 食体
	八戸ピヤベースフェスタ(～3月31日)	八戸市	八戸港に大揚げされた魚介類を最低4種類以上使った各店オリジナルのピヤベースを提供。	観知 食体
	三戸名物元祖まける日	三戸町	三戸町が全町あげての大セール。抽選会なども開催。	観知 食体
	スノーフェスタ	田子町	創遊村229スキーランドで開催。雪遊び体験イベントが盛りだくさん。	観知 食体
	南部地方えんぶり	南部町	えんぶり行列が町内を練り歩き、勇壮な太夫の唄りや子供たちによる祝舞が披露される。	観知 食体
	階上早生えんぶり祭り	階上町	町内にある3つのえんぶり組が一壺に集まり、皆様に一足早く春をお届け。	観知 食体
中旬	地球村冬物語	つがる市	「世界一長いバナポート作り」や県内道の駅による特産品販売等のイベント。	観知 食体
	とわだ雪見ラリー	十和田市	市内の飲食店で食事をしスタンプを集めて豪華景品を当てるイベント。	観知 食体
	しちのへホワイトバトル	七戸町	本格的雪合戦で、各部門熱戦を繰り広げる。他にもイベントを開催。	観知 食体
	旧正まける日	七戸町	掘り出し物販売や、お楽しみ抽選会など、多数の催し物が行われる。	観知 食体
	青森冬まつり	青森市	雪の大型すべり台、親子で参加できるレクリエーションがいっぱい。	観知 食体
	雪女コンテスト	青森市	津軽地方の雪女伝説をモチーフにムーアを交えた演技コンテスト。	観知 食体
	やぶこぎ大会	青森市	やぶこぎ、雪上網引きやタイヤチューブで城跡すべり。	観知 食体
	白鳥まつり	平内町	国の特別天然記念物に指定されている平内町ならではの白鳥イベント。	観知 食体
	黒石じょんから青酔酒まつり	黒石市	まつり参加飲食店を4軒はしごすると、豪華景品が当たる抽選会に参加できる。ハズレなし。	観知 食体
	地球村冬物語	つがる市	「世界一長いバナポート作り」や県内道の駅による特産品販売等のイベント。	観知 食体
	「りんごの里いたやなぎ」雪まつり	板柳町	各種ゲーム、豪華賞品が当たる抽選会等、多様なイベントを開催。	観知 食体
	八戸えんぶり(2月17～20日)	八戸市	国の重要無形民俗文化財。八戸地方に春を呼ぶ豊作祈願の郷土芸能。	観知 食体
	まける市	五戸町	商店街大売出しの日。井戸端休憩所では無料でおでんなどの温かいものが振舞われる。	観知 食体
	百石えんぶり	おいらせ町	190年以上の伝統を誇る、五穀豊穡祈願の舞。	観知 食体
下旬	乳糠ヶ滝水祭	西目屋村	冬の寒さで結氷した滝の太さや形状から作物の豊凶を占います。	観知 食体
	弥生の星凧揚げ大会	田舎館村	参加者が自慢の凧を持ち寄り、見栄え・飛ばし方・鳴り等を競う。	観知 食体
	たっこにくにくまつり	田子町	にくにく料理グランプリやガーリックレディコンテストなどを開催。	観知 食体
	走五酒(はしござけ)ラリー	田子町	町内の参加飲食店を巡って酒を楽しみながらゴールを目指すイベント。豪華賞品あり。	観知 食体
	風間浦鮫鮓感謝祭	風間浦村	鮫鮓鮓や鮫鮓汁を特別価格で提供。鮫鮓の雪中切りなどの実演もあり。	観知 食体
	布海苔探り体験ツアー(～3月)	風間浦村	海岸では布海苔汁や蛸、帆立焼きなどのお楽しみも充実。	観知 食体

## 3月

時期	名称	市町村	概要	内容
上旬	ウィンターフェスティバルinモヤルズ	青森市	雪玉宝探しなどの雪上ゲームやスキー大会、大抽選会などを実施。	観知 食体
	夜越山洋ランまつり	平内町	洋ラン即売会や相談コーナーなど、他にもイベントを開催。	観知 食体
	スキーカーニバル	むつ市	陸奥湾を望む「海辺のダウンヒル」で、たいまつ滑降などを開催。	観知 食体

## 1 統計データ一覧

## 2 都道府県別主要統計 ..... 241

- ・面積
- ・人口
- ・世帯数
- ・1人当たり県民所得
- ・事業所数(民営)
- ・農業(販売農家総数・農業産出額)
- ・製造業(従業者4人以上)  
(事業所数・製造品出荷額等)
- ・卸売・小売業  
(事業所数・売上(収入)金額)

## 3 単位当たり統計指標による都道府県ランキング ..... 243

## A 人口・世帯

- ・総人口
- ・合計特殊出生率

## B 自然環境

- ・総面積

## C 経済基盤

- ・1人当たり県民所得
- ・就業者1人当たり農業産出額[販売農家]
- ・製造品出荷額等(従業者1人当たり)
- ・商業年間商品販売額[卸売業+小売業]  
(従業者1人当たり)
- ・消費者物価地域差指数  
(持家の帰属家賃を除く総合)

## D 行政基盤

- ・財力指数[県財政]

## E 教育

- ・中学校卒業者の進学率
- ・高等学校卒業者の進学率

## F 労働

- ・第1次産業就業者比率(対就業者)
- ・第2次産業就業者比率(対就業者)
- ・第3次産業就業者比率(対就業者)
- ・完全失業率(完全失業者数/労働力人口)
- ・パートタイム就職率[常用]  
(就職件数/求職者数)
- ・身体障害者就職者比率  
(対就職件数千件当たり)
- ・転職率(転職者数/有業者数)
- ・実労働時間数(月間)[男]
- ・実労働時間数(月間)[女]

## G 文化・スポーツ

- ・公民館数(人口100万人当たり)
- ・図書館数(人口100万人当たり)
- ・博物館数(人口100万人当たり)
- ・常設映画館数(人口100万人当たり)
- ・社会体育施設数(人口100万人当たり)
- ・スポーツの年間行動者率(10歳以上)

## H 居住

- ・持ち家比率（対居住世帯あり住宅数）
- ・借家比率（対居住世帯あり住宅数）
- ・持ち家住宅の延べ面積（1住宅当たり）
- ・ごみのリサイクル率
- ・理容・美容所数（人口10万人当たり）
- ・公衆浴場数（人口10万人当たり）
- ・都市公園面積（人口1人当たり）

## I 健康・医療

- ・平均余命〔0歳・男〕
- ・平均余命〔0歳・女〕
- ・平均身長（中学2年・男）
- ・平均身長（中学2年・女）
- ・平均体重（中学2年・男）
- ・平均体重（中学2年・女）
- ・一般病院数（人口10万人当たり）
- ・一般病院病床数（人口10万人当たり）
- ・医療施設に従事する医師数  
（人口10万人当たり）
- ・医療施設に従事する看護師・准看護師数  
（人口10万人当たり）
- ・保健師数（人口10万人当たり）
- ・年間救急出場件数（人口千人当たり）

## J 福祉・社会保障

- ・生活保護被保護実人員（人口千人当たり）
- ・身体障害者手帳交付数（人口千人当たり）
- ・介護老人福祉施設数  
（65歳以上人口10万人当たり）
- ・児童福祉施設数（人口10万人当たり）
- ・後期高齢者医療費（被保険者1人当たり）

## K 安全

- ・消防吏員数（人口10万人当たり）
- ・火災出火件数（人口10万人当たり）
- ・交通事故死傷者数（人口10万人当たり）
- ・刑法犯認知件数（人口千人当たり）

## L 家計

- ・実収入（1世帯当たり1か月間）  
〔勤労者世帯〕
- ・消費支出（1世帯当たり1か月間）  
〔二人以上の世帯〕
- ・平均消費性向（消費支出/可処分所得）  
〔勤労者世帯〕

## 4 地域県民局を単位とした市町村別指標 ..... 255

## A 人口・世帯

- ・総人口
- ・日本人人口
- ・外国人人口
- ・住民基本台帳  
人口（総数）
- ・15歳未満人口
- ・15～64歳人口
- ・65歳以上人口
- ・人口集中地区  
人口
- ・出生数
- ・死亡数
- ・転入者数
- ・転出者数
- ・昼間人口
- ・世帯数
- ・一般世帯数
- ・核家族世帯数
- ・単独世帯数
- ・65歳以上の世帯  
員のいる核家族  
世帯数
- ・高齢夫婦世帯数
- ・高齢単身世帯数
- ・婚姻件数
- ・離婚件数



## B 自然環境

- ・総面積

- ・可住地面積

## C 経済基盤

- ・課税対象所得
- ・納税義務者数(所得割)
- ・事業所数
- ・第2次産業事業所数
- ・第3次産業事業所数
- ・従業者数
- ・第2次産業従業者数

- ・第3次産業従業者数
- ・耕地面積
- ・製造品出荷額等
- ・製造業従業者数
- ・商業年間商品販売額
- ・商業事業所数
- ・商業従業者数

## D 行政基盤

- ・財力指数(市町村財政)
- ・実質収支比率(市町村財政)
- ・実質公債費比率(市町村財政)

- ・歳入決算総額(市町村財政)
- ・歳出決算総額(市町村財政)
- ・地方税(市町村財政)

## E 教育

- ・幼稚園数
- ・幼稚園在園者数
- ・小学校数
- ・小学校教員数
- ・小学校児童数

- ・中学校数
- ・中学校教員数
- ・中学校生徒数
- ・高等学校数
- ・高等学校生徒数

## F 労働

- ・労働力人口
- ・就業者数
- ・完全失業者数
- ・第1次産業就業者数
- ・第2次産業就業者数
- ・第3次産業就業者数
- ・雇用者数
- ・役員数

- ・雇人のある業主数
- ・雇人のない業主数
- ・家族従業者数
- ・自市区町村で従業している就業者数
- ・他市区町村への通勤者数
- ・従業地による就業者数
- ・他市区町村からの通勤者数

## G 文化・スポーツ

- ・公民館数

- ・図書館数

## H 居住

- ・居住世帯あり住宅数
- ・持ち家数
- ・借家数
- ・1住宅当たり延べ面積

- ・非水洗化人口
- ・ごみ計画収集人口
- ・ごみ総排出量
- ・ごみのリサイクル率

- ・小売店数
- ・飲食店数

## I 健康・医療

- ・一般病院数
- ・一般診療所数
- ・歯科診療所数

## J 福祉・社会保障

- ・介護老人福祉施設数
- ・児童福祉施設数

(助産施設・児童遊園を除く)

- ・大型小売店数
- ・百貨店、総合スーパー数

- ・医師数
- ・歯科医師数
- ・薬剤師数

- ・保育所等数
- ・保育所等在所児数
- ・国民健康保険被保険者数

## 2 都道府県別主要統計

	面積	人口	世帯数	1人当たり 県民所得	事業所数(民営)
(単位)	(k㎡)	(人)	(世帯)	(千円)	(事業所数)
<b>全 国</b>	<b>377,973.48</b>	<b>126,146,099</b>	<b>55,830,154</b>	<b>3,344</b>	<b>5,578,975</b>
北海道	83,423.87	5,224,614	2,476,846	2,832	233,168
青森県	9,645.95	1,237,984	511,526	2,628	59,069
岩手県	15,275.01	1,210,534	492,436	2,781	59,451
宮城県	7,282.29	2,301,996	982,523	2,943	102,026
秋田県	11,637.52	959,502	385,187	2,713	49,432
山形県	9,323.15	1,068,027	398,015	2,909	56,551
福島県	13,784.14	1,833,152	742,911	2,942	88,128
茨城県	6,097.54	2,867,009	1,184,133	3,247	118,031
栃木県	6,408.09	1,933,146	796,923	3,351	88,332
群馬県	6,362.28	1,939,110	805,252	3,288	92,006
埼玉県	3,797.75	7,344,765	3,162,743	3,038	250,834
千葉県	5,156.74	6,284,480	2,773,840	3,058	196,579
東京都	2,194.05	14,047,594	7,227,180	5,757	685,615
神奈川県	2,416.32	9,237,337	4,223,706	3,199	307,269
新潟県	12,583.96	2,201,272	864,750	2,951	114,895
富山県	4,247.54	1,034,814	403,989	3,316	52,660
石川県	4,186.23	1,132,526	469,910	2,973	61,301
福井県	4,190.58	766,863	291,662	3,325	42,443
山梨県	4,465.27	809,974	338,853	3,125	43,173
長野県	13,561.56	2,048,011	832,097	2,924	107,916
岐阜県	10,621.29	1,978,742	780,730	3,035	100,331
静岡県	7,777.02	3,633,202	1,483,472	3,407	174,850
愛知県	5,173.23	7,542,415	3,238,301	3,661	322,820
三重県	5,774.48	1,770,254	742,598	2,989	79,387
滋賀県	4,017.38	1,413,610	571,374	3,323	56,655
京都府	4,612.20	2,578,087	1,190,527	2,991	118,716
大阪府	1,905.34	8,837,685	4,135,879	3,055	422,568
兵庫県	8,400.94	5,465,002	2,402,484	3,038	222,343
奈良県	3,690.94	1,324,473	544,981	2,728	48,235
和歌山県	4,724.68	922,584	394,483	2,986	48,218
鳥取県	3,507.13	553,407	219,742	2,439	26,446
島根県	6,707.86	671,126	269,892	2,951	35,476
岡山県	7,114.77	1,888,432	801,409	2,794	83,415
広島県	8,479.23	2,799,702	1,243,527	3,153	131,074
山口県	6,112.50	1,342,059	598,824	3,249	62,774
徳島県	4,146.99	719,559	308,210	3,153	37,021
香川県	1,876.91	950,244	406,985	3,021	47,893
愛媛県	5,675.98	1,334,841	601,402	2,717	65,223
高知県	7,102.91	691,527	315,272	2,663	36,239
福井県	4,987.64	5,135,214	2,323,325	2,838	223,008
長崎県	2,440.67	811,442	312,680	2,854	38,131
佐賀県	4,130.99	1,312,317	558,230	2,655	63,159
熊本県	7,409.12	1,738,301	719,154	2,714	74,104
大分県	6,340.70	1,123,852	489,249	2,695	54,443
宮崎県	7,734.24	1,069,576	470,055	2,426	52,663
鹿児島県	9,186.33	1,588,256	728,179	2,558	77,256
沖縄県	2,282.15	1,467,480	614,708	2,396	67,648
調査時点	2022年7月1日	2020年	2019年度	2016年	
	国土地理院	総務省統計局	内閣府	総務省統計局	
資料出所	全国都道府県市区町村別面積調 ※は、境界未定部がある場合の 便宜上の概算数値	国勢調査	県民経済計算	経済センサス 活動調査	

(単位)	農業		製造業（従業者4人以上）		卸売業・小売業	
	販売農家総数 (経営体)	農業産出額 (億円)	事業所数 (事業所数)	製造品出荷額等 (百万円)	事業所数 (事業所数)	売上(収入)金額 (百万円)
<b>全国</b>	<b>1,075,705</b>	<b>89,557</b>	<b>181,877</b>	<b>322,533,418</b>	<b>1,355,060</b>	<b>581,626,347</b>
北海道	34,913	12,667	4,982	6,048,894	56,213	18,891,672
青森県	<b>29,022</b>	<b>3,262</b>	<b>1,342</b>	<b>1,727,106</b>	<b>15,799</b>	<b>3,380,400</b>
岩手県	35,380	2,741	2,055	2,626,206	15,404	3,500,563
宮城県	30,005	1,902	2,528	4,533,565	27,102	12,150,612
秋田県	28,947	1,898	1,648	1,286,172	13,034	2,395,670
山形県	28,241	2,508	2,339	2,845,633	14,496	2,588,088
福島県	42,598	2,116	3,485	5,088,966	22,064	4,900,851
茨城県	44,852	4,417	4,927	12,581,236	29,144	7,163,703
栃木県	32,726	2,875	4,039	8,966,422	21,883	5,285,480
群馬県	20,298	2,463	4,480	8,981,948	21,846	7,267,017
埼玉県	28,376	1,678	10,490	13,758,165	56,851	18,348,148
千葉県	35,420	3,853	4,753	12,518,316	47,017	13,505,209
東京都	5,117	229	9,887	7,160,755	150,728	199,686,845
神奈川県	11,402	659	7,267	17,746,139	66,274	22,544,023
新潟県	43,502	2,526	5,053	4,958,899	29,006	7,015,651
富山県	12,356	629	2,645	3,912,395	13,858	3,310,970
石川県	9,890	535	2,748	3,005,895	15,088	4,161,877
福井県	10,546	451	2,032	2,259,076	10,543	2,075,290
山梨県	14,970	974	1,674	2,481,979	9,999	1,952,603
長野県	42,777	2,697	4,767	6,157,847	24,779	5,846,310
岐阜県	21,015	1,093	5,415	5,914,288	24,132	4,840,460
静岡県	25,938	1,887	8,786	17,153,997	43,072	11,493,570
愛知県	26,893	2,893	15,063	47,924,390	77,110	43,725,792
三重県	18,804	1,043	3,398	10,717,256	19,577	3,993,476
滋賀県	14,680	619	2,622	8,048,481	13,178	2,682,280
京都府	14,181	642	4,126	5,658,782	29,033	7,805,858
大阪府	7,673	311	15,522	16,938,356	99,597	60,033,379
兵庫県	38,302	1,478	7,510	16,263,313	54,143	15,945,717
奈良県	10,858	395	1,783	2,122,417	12,047	2,100,284
和歌山県	18,141	1,104	1,664	2,647,595	12,878	2,243,015
鳥取県	14,481	764	814	781,583	6,938	1,333,286
島根県	15,285	620	1,111	1,237,192	9,349	1,576,844
岡山県	28,699	1,414	3,147	7,704,136	21,434	5,637,082
広島県	22,290	1,190	4,577	9,741,531	33,337	12,476,488
山口県	15,839	589	1,671	6,553,479	17,063	3,130,851
徳島県	14,568	955	1,089	1,908,126	9,451	1,661,608
香川県	16,459	808	1,774	2,711,583	12,673	3,788,362
愛媛県	21,734	1,226	2,055	4,308,818	17,077	4,039,818
高知県	12,657	1,113	1,084	585,527	9,926	1,627,627
福井県	28,375	1,977	5,009	9,912,191	59,520	22,834,731
佐賀県	14,330	1,219	1,303	2,069,835	10,278	1,756,466
長崎県	17,936	1,491	1,581	1,719,212	17,542	3,242,019
熊本県	33,952	3,407	1,922	2,852,312	19,897	4,292,321
大分県	19,133	1,208	1,371	4,298,945	14,115	2,579,946
宮崎県	21,117	3,348	1,337	1,634,585	13,629	2,909,552
鹿児島県	29,717	4,772	1,944	1,993,967	21,093	4,449,162
沖縄県	11,310	910	1,058	485,909	15,843	2,915,374
調査時点	2020年	2020年	2019年	2019年	2016年	
資料出所	農林水産省		経済産業省		経済産業省	
	農林業センサス	生産農業所得統計	工業統計調査(確報)		経済センサス活動調査	

### 3 単位当たり統計指標による都道府県ランキング

A. 人口・世帯

B. 自然環境

C. 経済基盤

総人口			合計特殊出生率			総面積 (北方地域及び竹島を含む)			1人当たり県民所得 (平成23年基準)			就業者1人当たり農業産出額 (個人経営体)		
単位	万人	順位	単位	—	順位	単位	100km <sup>2</sup>	順位	単位	千円	順位	単位	万円	順位
年度	2021		年度	2019		年度	2021		年度	2018		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	12,550		全国	1.36		全国	3,779.75		全国	3,317		全国	657.0	
東京都	1,401	1	沖縄県	1.82	1	北海道	834.24	1	東京都	5,415	1	北海道	1,793.1	1
神奈川県	924	2	宮崎県	1.73	2	岩手県	152.75	2	愛知県	3,728	2	鹿児島県	1,269.8	2
大阪府	881	3	島根県	1.68	3	福島県	137.84	3	栃木県	3,479	3	宮崎県	1,060.5	3
愛知県	752	4	長崎県	1.66	4	長野県	135.62	4	静岡県	3,432	4	群馬県	885.0	4
埼玉県	734	5	佐賀県	1.64	5	新潟県	125.84	5	富山県	3,398	5	茨城県	768.2	5
千葉県	628	6	鳥取県	1.63	6	秋田県	116.38	6	茨城県	3,327	6	千葉県	765.6	6
兵庫県	543	7	鹿児島県	1.63	6	岐阜県	106.21	7	滋賀県	3,318	7	愛知県	720.4	7
北海道	518	8	熊本県	1.60	8	青森県	96.46	8	群馬県	3,283	8	沖縄県	684.8	8
福岡県	512	9	香川県	1.59	9	山形県	93.23	9	福井県	3,280	9	青森県	678.4	9
静岡県	361	10	長野県	1.57	10	鹿児島県	91.86	10	神奈川県	3,268	10	栃木県	669.9	10
茨城県	285	11	福井県	1.56	11	広島県	84.79	11	山口健	3,199	11	熊本県	657.4	11
広島県	278	12	山口県	1.56	11	兵庫県	84.01	12	大阪府	3,190	12	山形県	642.5	12
京都府	256	13	富山県	1.53	13	静岡県	77.77	13	山梨県	3,160	13	佐賀県	641.1	13
宮城県	229	14	大分県	1.53	13	宮崎県	77.35	14	三重県	3,121	14	滋賀県	621.4	14
新潟県	218	15	広島県	1.49	15	熊本県	74.09	15	千葉県	3,116	15	岩手県	616.5	15
長野県	203	16	福島県	1.47	16	宮城県	72.82	16	宮城県	3,109	16	長崎県	593.9	16
岐阜県	196	17	三重県	1.47	16	岡山県	71.14	17	徳島県	3,092	17	宮城県	579.6	17
群馬県	193	18	滋賀県	1.47	16	高知県	71.04	18	埼玉県	3,047	18	高知県	575.2	18
栃木県	192	19	岡山県	1.47	16	島根県	67.08	19	秋田県	3,023	19	秋田県	562.9	19
岡山県	188	20	高知県	1.47	16	栃木県	64.08	20	香川県	3,013	20	大分県	562.0	20
福島県	181	21	石川県	1.46	21	群馬県	63.62	21	長野県	3,010	21	富山県	558.7	21
三重県	176	22	和歌山県	1.46	21	大分県	63.41	22	京都府	2,983	22	三重県	554.2	22
熊本県	173	23	徳島県	1.46	21	山口県	61.13	23	兵庫県	2,968	23	石川県	548.4	23
鹿児島県	158	24	愛媛県	1.46	21	茨城県	60.97	24	宮城県	2,945	24	新潟県	548.1	24
沖縄県	147	25	岐阜県	1.45	25	三重県	57.74	25	福島県	2,943	25	福岡県	519.2	25
滋賀県	141	26	愛知県	1.45	25	愛媛県	56.76	26	岐阜県	2,919	26	岐阜県	518.9	26
山口県	133	27	山梨県	1.44	27	愛知県	51.73	27	新潟県	2,916	27	福井県	514.4	27
愛媛県	132	28	静岡県	1.44	27	千葉県	51.57	28	和歌山県	2,913	28	徳島県	497.8	28
奈良県	132	29	福岡県	1.44	27	福岡県	49.87	29	山形県	2,897	29	静岡県	487.3	29
長崎県	130	30	兵庫県	1.41	30	和歌山県	47.25	30	福岡県	2,885	30	長野県	485.8	30
青森県	122	31	山形県	1.40	31	京都府	46.12	31	岩手県	2,841	31	広島県	485.0	31
岩手県	120	32	群馬県	1.40	31	山梨県	44.65	32	岡山県	2,769	32	岡山県	483.4	32
石川県	113	33	茨城県	1.39	33	富山県	42.48	33	佐賀県	2,753	33	山梨県	475.1	33
大分県	111	34	栃木県	1.39	33	福井県	41.91	34	北海道	2,742	34	埼玉県	445.3	34
宮崎県	106	35	青森県	1.38	35	石川県	41.86	35	大分県	2,714	35	香川県	444.2	35
山形県	106	36	新潟県	1.38	35	徳島県	41.47	36	秋田県	2,697	36	鳥取県	440.5	36
富山県	103	37	岩手県	1.35	37	長崎県	41.31	37	島根県	2,667	37	島根県	429.4	37
秋田県	95	38	秋田県	1.33	38	滋賀県	40.17	38	熊本県	2,667	37	愛媛県	427.9	38
香川県	94	39	大阪府	1.31	39	埼玉県	37.98	39	愛媛県	2,658	39	兵庫県	427.3	39
和歌山県	91	40	奈良県	1.31	39	奈良県	36.91	40	愛知県	2,644	40	京都府	424.3	40
佐賀県	81	41	千葉県	1.28	41	鳥取県	35.07	41	奈良県	2,632	41	福島県	410.1	41
山梨県	81	42	神奈川県	1.28	41	佐賀県	24.41	42	長崎県	2,629	42	山口県	405.9	42
福井県	76	43	埼玉県	1.27	43	神奈川県	24.16	43	島根県	2,515	43	神奈川県	400.5	43
徳島県	71	44	京都府	1.25	44	沖縄県	22.82	44	鹿児島県	2,509	44	大阪府	373.5	44
高知県	68	45	北海道	1.24	45	東京都	21.94	45	青森県	2,507	45	奈良県	371.7	45
島根県	67	46	宮城県	1.23	46	大阪府	19.05	46	宮崎県	2,468	46	山口県	354.5	46
鳥取県	55	47	東京都	1.15	47	香川県	18.77	47	沖縄県	2,391	47	東京都	287.2	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

D. 行政基盤

E. 教育

製造品出荷額等 (従業者1人当たり)			商業年間商品販売額 [卸売業+小売業] (従業者1人当たり)			消費者物価地域差指数 (総合)			財政力指数 [都道府県財政]			中学校卒業者の 進学率		
単位	万円	順位	単位	万円	順位	単位	—	順位	単位	—	順位	単位	%	順位
年度	2019		年度	2019		年度	2021		年度	2019		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	4,146.7		全国	3,866.3		全国	100.0		全国	0.522		全国	95.0	
山口県	6,792.3	1	東京都	7,099.9	1	東京都	104.5	1	東京都	1.177	1	石川県	98.1	1
大分県	6,486.5	2	愛知県	4,500.7	2	神奈川県	103.0	2	愛知県	0.920	2	山形県	98.0	2
千葉県	5,904.4	3	大阪府	4,360.6	3	京都府	101.1	3	神奈川県	0.896	3	福井県	98.0	2
愛媛県	5,624.6	4	宮城県	4,082.8	4	北海道	100.8	4	大阪府	0.792	4	和歌山県	97.8	4
愛知県	5,552.3	5	群馬県	3,731.2	5	山形県	100.8	5	千葉県	0.779	5	富山県	97.7	5
三重県	5,240.2	6	福岡県	3,633.8	6	千葉県	100.6	6	埼玉県	0.769	6	青森県	97.6	6
岡山県	5,122.0	7	広島県	3,606.8	7	埼玉県	100.3	7	静岡県	0.729	7	岩手県	97.6	6
和歌山県	5,014.7	8	北海道	3,394.3	8	石川県	100.3	8	茨城県	0.655	8	大分県	97.4	8
神奈川県	4,985.9	9	富山県	3,192.9	9	滋賀県	100.0	9	福岡県	0.655	9	秋田県	97.3	9
滋賀県	4,970.2	10	石川県	3,179.1	10	山口県	100.0	9	栃木県	0.651	10	鳥根県	97.3	9
茨城県	4,595.9	11	香川県	3,174.1	11	島根県	99.9	11	群馬県	0.646	11	徳島県	97.2	11
兵庫県	4,467.2	12	愛媛県	3,135.2	12	高知県	99.9	11	兵庫県	0.645	12	長崎県	97.2	11
福岡県	4,454.2	13	栃木県	3,080.9	13	大阪府	99.8	13	宮城県	0.631	13	愛媛県	96.7	13
広島県	4,423.1	14	兵庫県	3,080.7	14	徳島県	99.8	13	広島県	0.619	14	高知県	96.7	13
栃木県	4,332.2	15	静岡県	3,080.5	15	三重県	99.7	15	三重県	0.608	15	鹿児島県	96.6	15
群馬県	4,213.9	16	福島県	2,943.1	16	福井県	99.5	16	京都府	0.586	16	群馬県	96.5	16
静岡県	4,150.4	17	新潟県	2,937.2	17	岩手県	99.4	17	滋賀県	0.573	17	鳥取県	96.5	16
徳島県	4,043.4	18	長野県	2,930.2	18	宮城県	99.4	17	岐阜県	0.555	18	熊本県	96.4	18
東京都府	3,907.8	19	岡山県	2,849.5	19	福島県	99.4	17	福島県	0.545	19	滋賀県	96.2	19
香川県	3,848.0	20	埼玉県	2,843.1	20	和歌山県	99.4	17	岡山県	0.530	20	奈良県	96.2	19
宮城県	3,818.7	21	千葉県	2,823.7	21	三重県	99.3	21	長野県	0.525	21	香川県	96.1	21
大阪府	3,785.9	22	岩手県	2,818.9	22	長崎県	99.2	22	石川県	0.513	22	新潟県	96.0	22
北海道	3,544.4	23	神奈川県	2,805.4	23	熊本県	99.0	23	香川県	0.490	23	宮崎県	96.0	22
埼玉県	3,446.5	24	茨城県	2,760.9	24	富山県	98.8	24	富山県	0.483	24	宮城県	95.7	24
山梨県	3,445.7	25	青森県	2,736.5	25	広島県	98.7	25	新潟県	0.469	25	京都府	95.7	24
奈良県	3,429.4	26	熊本県	2,712.2	26	香川県	98.5	26	山口県	0.459	26	山口県	95.7	24
佐賀県	3,350.7	27	福井県	2,700.7	27	沖縄県	98.5	26	北海道	0.455	27	佐賀県	95.6	27
福島県	3,169.7	28	宮崎県	2,700.1	28	秋田県	98.4	28	愛媛県	0.443	28	長野県	95.5	28
富山県	3,071.5	29	鹿児島県	2,689.9	29	静岡県	98.4	28	奈良県	0.430	29	岡山県	95.5	28
長崎県	3,062.1	30	岐阜県	2,649.1	30	新潟県	98.3	30	熊本県	0.420	30	茨城県	95.4	30
福井県	3,034.9	31	長崎県	2,649.1	31	鳥取県	98.3	30	山梨県	0.415	31	千葉県	95.4	30
長野県	3,005.0	32	山形県	2,624.2	32	愛媛県	98.2	32	山梨県	0.415	32	北海道	95.1	32
青森県	2,999.2	33	和歌山県	2,619.6	33	佐賀県	98.2	32	山梨県	0.394	33	福岡県	95.0	33
熊本県	2,999.0	34	秋田県	2,607.3	34	栃木県	98.1	34	山形県	0.374	34	山梨県	94.9	34
岩手県	2,986.4	35	鳥取県	2,603.4	35	愛知県	98.0	35	岩手県	0.370	35	広島県	94.9	34
鳥根県	2,916.5	36	京都府	2,587.3	36	青森県	97.9	36	沖縄県	0.366	36	東京都	94.7	36
宮崎県	2,907.0	37	島根県	2,585.7	37	茨城県	97.8	37	青森県	0.353	37	栃木県	94.6	37
東京都	2,900.3	38	徳島県	2,518.7	38	岡山県	97.8	37	宮崎県	0.353	38	福島県	94.4	38
岐阜県	2,890.2	39	大分県	2,447.1	39	山梨県	97.8	37	鹿児島県	0.351	39	神奈川県	94.3	39
石川県	2,861.7	40	山口県	2,437.3	40	山梨県	97.7	40	佐賀県	0.350	40	埼玉県	94.2	40
山形県	2,816.1	41	三重県	2,400.1	41	福岡県	97.5	41	長崎県	0.343	41	大阪府	94.2	40
鹿児島県	2,792.2	42	山梨県	2,395.4	42	長野県	97.4	42	和歌山県	0.333	42	三重県	94.1	42
新潟県	2,618.4	43	佐賀県	2,365.0	43	岐阜県	97.3	43	徳島県	0.327	43	兵庫県	94.0	43
鳥取県	2,304.0	44	滋賀県	2,337.1	44	奈良県	97.3	43	秋田県	0.318	44	沖縄県	94.0	43
高知県	2,291.4	45	高知県	2,302.1	45	鹿児島県	97.2	45	鳥取県	0.282	45	静岡県	93.5	45
秋田県	2,056.6	46	沖縄県	2,253.5	46	群馬県	96.6	46	高知県	0.272	46	岐阜県	93.1	46
沖縄県	1,819.5	47	奈良県	2,035.0	47	宮崎県	96.2	47	鳥根県	0.262	47	愛知県	92.1	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

F. 労働

高等学校卒業者の進学率			第1次産業 就業者比率 (対就業者)			第2次産業 就業者比率 (対就業者)			第3次産業 就業者比率 (対就業者)			完全失業率 (完全失業者数 /労働力人口)		
単位	%	順位	単位	%	順位	単位	%	順位	単位	%	順位	単位	%	順位
年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	57.3		全国	3.4		全国	23.0		全国	70.6		全国	3.8	
京都府	69.8	1	青森県	11.1	1	富山県	32.5	1	東京都	81.1	1	沖縄県	5.5	1
東京都	68.9	2	高知県	10.2	2	静岡県	32.1	2	沖縄県	78.2	2	青森県	4.6	2
大阪府	64.3	3	宮崎県	9.9	3	岐阜県	31.9	3	神奈川県	76.5	3	福岡県	4.6	3
兵庫県	64.3	3	岩手県	9.6	4	滋賀県	31.9	4	千葉県	75.7	4	大阪府	4.5	4
神奈川県	63.0	5	熊本県	8.8	5	愛知県	31.5	5	福岡県	74.9	5	宮城県	4.3	5
広島県	61.8	6	秋田県	8.6	6	福井県	30.9	6	北海道	74.1	6	徳島県	4.2	6
奈良県	61.8	6	山形県	8.6	7	三重県	30.7	7	大阪府	73.7	7	北海道	4.2	7
埼玉県	60.6	8	長野県	8.4	8	栃木県	30.4	8	奈良県	73.1	8	大分県	4.2	8
愛知県	59.8	9	鹿児島県	8.3	9	群馬県	30.3	9	埼玉県	73.0	9	奈良県	4.1	9
福井県	59.5	10	和歌山県	8.1	10	福島県	28.8	10	京都府	72.8	10	福島県	4.1	10
山梨県	58.7	11	鳥取県	7.7	11	長野県	28.1	11	長崎県	72.2	11	京都府	4.1	11
千葉県	58.1	12	徳島県	7.4	12	山形県	28.1	12	宮城県	71.4	12	高知県	4.1	12
石川県	57.9	13	佐賀県	7.4	13	茨城県	27.9	13	鹿児島県	71.1	13	栃木県	4.1	13
滋賀県	57.4	14	愛媛県	6.8	14	新潟県	27.9	14	兵庫県	70.6	14	秋田県	4.1	14
岐阜県	57.3	15	北海道	6.7	15	山梨県	27.5	15	高知県	70.2	15	鹿児島県	4.0	15
鳥取県	56.5	16	山梨県	6.6	16	石川県	27.4	16	大分県	69.3	16	兵庫県	4.0	16
島根県	55.2	17	長崎県	6.6	17	岡山県	26.2	17	広島県	69.0	17	宮崎県	4.0	17
富山県	54.7	18	島根県	6.4	18	山口県	25.7	18	熊本県	68.5	18	埼玉県	4.0	18
福岡県	54.5	19	福島県	6.2	19	広島県	25.3	19	鳥取県	68.3	19	山梨県	3.9	19
岡山県	54.2	20	大分県	6.1	20	香川県	24.4	20	山口県	68.3	20	熊本県	3.9	20
群馬県	54.1	21	栃木県	5.2	21	岩手県	24.3	21	島根県	68.0	21	茨城県	3.9	21
栃木県	54.0	22	新潟県	5.1	22	兵庫県	24.1	22	香川県	68.0	22	和歌山県	3.9	22
和歌山県	54.0	22	茨城県	5.1	23	秋田県	23.6	23	石川県	67.9	23	千葉県	3.8	23
静岡県	53.9	24	香川県	4.7	24	佐賀県	23.5	24	宮崎県	67.8	24	長崎県	3.8	24
愛媛県	53.8	25	群馬県	4.5	25	愛媛県	23.3	25	愛媛県	67.3	25	群馬県	3.8	25
茨城県	52.6	26	岡山県	4.1	26	島根県	22.9	26	青森県	67.1	26	岩手県	3.8	26
三重県	52.5	27	宮城県	4.1	27	徳島県	22.7	27	徳島県	67.1	27	静岡県	3.8	27
宮城県	51.8	28	山口県	4.1	28	大分県	22.6	28	和歌山県	67.1	28	愛媛県	3.7	28
高知県	51.2	29	沖縄県	4.0	29	埼玉県	22.2	29	佐賀県	66.9	29	神奈川県	3.7	29
長野県	50.7	30	静岡県	3.5	30	宮城県	21.9	30	岡山県	66.6	30	岡山県	3.6	30
大分県	49.7	31	福井県	3.2	31	京都府	21.7	31	秋田県	66.1	31	新潟県	3.6	31
青森県	49.3	32	三重県	3.1	32	大阪府	21.6	32	新潟県	65.0	32	東京都	3.6	32
新潟県	48.3	33	富山県	2.9	33	和歌山県	21.5	33	岩手県	64.3	33	佐賀県	3.6	33
北海道	48.2	34	岐阜県	2.8	34	奈良県	21.4	34	山梨県	64.1	34	香川県	3.5	34
秋田県	48.1	35	広島県	2.7	35	鳥取県	21.1	35	茨城県	64.0	35	鳥取県	3.5	35
福島県	47.7	36	石川県	2.6	36	熊本県	20.7	36	山梨県	63.7	36	山口県	3.5	36
長崎県	47.6	37	千葉県	2.4	37	宮崎県	20.4	37	愛知県	63.7	37	広島県	3.4	37
島根県	47.3	38	福岡県	2.4	38	青森県	19.6	38	岐阜県	63.1	38	山形県	3.4	38
熊本県	47.2	39	滋賀県	2.4	39	神奈川県	19.5	39	静岡県	62.8	39	石川県	3.4	39
山形県	46.4	40	奈良県	2.4	40	福岡県	19.4	40	三重県	62.7	40	滋賀県	3.4	40
鳥取県	46.2	41	京都府	2.0	41	長崎県	18.8	41	滋賀県	62.5	41	岐阜県	3.3	41
宮崎県	46.1	42	愛知県	1.9	42	鹿児島県	18.8	42	群馬県	62.5	42	愛知県	3.3	42
佐賀県	45.7	43	兵庫県	1.8	43	千葉県	18.4	43	富山県	62.3	43	長野県	3.3	43
岩手県	45.4	44	埼玉県	1.5	44	北海道	16.5	44	福島県	62.0	44	三重県	3.1	44
鹿児島県	45.1	45	神奈川県	0.8	45	高知県	16.5	45	栃木県	61.6	45	富山県	3.1	45
山口県	44.2	46	大阪府	0.5	46	大阪府	14.6	46	山形県	61.4	46	福井県	2.9	46
沖縄県	40.7	47	東京都	0.4	47	沖縄県	13.7	47	長野県	61.3	47	島根県	2.7	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

パートタイム就職率 [常用] (就職件数/求職者数)			障害者就職率			転職率 (転職者数/有業者数)			月間平均実労働時間 数(男)			月間平均実労働時間 数(女)		
単位	%	順位	単位	%	順位	単位	%	順位	単位	時間	順位	単位	時間	順位
年度	2021		年度	2021		年度	2017		年度	2021		年度	2021	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	5.6		全国	42.9		全国	5.0		全国	181		全国	169	
秋田県	10.3	1	鳥取県	69.4	1	沖縄県	6.7	1	和歌山県	189	1	岐阜県	173	1
福井県	9.4	2	島根県	61.5	2	千葉県	5.8	2	宮崎県	184	2	愛知県	173	1
岩手県	9.3	3	富山県	60.7	3	東京都	5.7	3	岩手県	183	3	鹿児島県	173	1
山形県	8.9	4	徳島県	55.3	4	埼玉県	5.6	4	群馬県	183	3	山形県	172	4
青森県	8.4	5	秋田県	55.0	5	福岡県	5.5	5	埼玉県	183	3	福島県	172	4
奈良県	8.1	6	岩手県	54.5	6	神奈川県	5.3	6	愛知県	183	3	福井県	171	6
富山県	8.0	7	栃木県	53.5	7	岡山県	5.2	7	三重県	183	3	静岡県	171	6
長崎県	8.0	8	岐阜県	53.4	8	熊本県	5.1	8	熊本県	183	3	和歌山県	171	6
大分県	8.0	9	愛媛県	52.6	9	静岡県	5.1	9	北海道	182	9	香川県	171	6
山梨県	8.0	10	青森県	52.3	10	宮城県	5.1	10	福島県	182	9	佐賀県	171	6
鳥取県	7.9	11	宮崎県	51.5	11	鹿児島県	5.1	11	茨城県	182	9	熊本県	171	6
佐賀県	7.9	12	滋賀県	50.6	12	大阪府	5.1	12	埼玉県	182	9	青森県	170	12
新潟県	7.7	13	福井県	50.5	13	群馬県	5.1	13	石川県	182	9	岩手県	170	12
福島県	7.6	14	長野県	50.3	14	栃木県	5.0	14	山梨県	182	9	宮城県	170	12
長野県	7.6	15	新潟県	49.1	15	三重県	4.9	15	岐阜県	182	9	栃木県	170	12
滋賀県	7.6	16	山形県	48.7	16	北海道	4.9	16	滋賀県	182	9	群馬県	170	12
山口県	7.5	17	茨城県	48.7	16	広島県	4.8	17	奈良県	182	9	富山県	170	12
島根県	7.5	18	石川県	48.6	18	宮崎県	4.7	18	岡山県	182	9	山梨県	170	12
香川県	7.5	19	熊本県	48.5	19	岩手県	4.7	19	広島県	182	9	奈良県	170	12
鹿児島県	7.5	20	三重県	48.3	20	佐賀県	4.7	20	佐賀県	182	9	岡山県	170	12
石川県	7.5	21	沖縄県	48.1	21	大分県	4.7	21	青森県	181	21	広島県	170	12
高知県	7.5	22	鹿児島県	47.9	22	京都府	4.7	22	山形県	181	21	宮崎県	170	12
宮崎県	7.4	23	福島県	47.6	23	愛知県	4.7	23	千葉県	181	21	秋田県	169	23
群馬県	7.3	24	岡山県	47.6	23	兵庫県	4.6	24	神奈川県	181	21	茨城県	169	23
徳島県	7.2	25	山口県	47.6	23	島根県	4.6	25	山口県	181	21	埼玉県	169	23
岐阜県	6.9	26	山梨県	47.4	26	滋賀県	4.6	26	香川県	181	21	新潟県	169	23
和歌山県	6.7	27	高知県	46.6	27	山口県	4.6	27	福岡県	181	21	長野県	169	23
宮城県	6.5	28	佐賀県	46.2	28	熊本県	4.5	28	長崎県	181	21	三重県	169	23
三重県	6.4	29	大分県	46.2	28	岐阜県	4.5	29	鹿児島県	181	21	大阪府	169	23
熊本県	6.4	30	宮城県	45.9	30	山梨県	4.5	30	宮城県	180	30	鳥取県	169	23
茨城県	6.2	31	香川県	45.4	31	福井県	4.5	31	秋田県	180	30	福岡県	169	23
愛媛県	6.1	32	群馬県	45.1	32	鳥取県	4.5	32	栃木県	180	30	長崎県	169	23
岡山県	6.1	33	静岡県	43.2	33	香川県	4.5	33	新潟県	180	30	北海道	168	33
沖縄県	6.1	34	大阪府	43.2	33	新潟県	4.5	34	福井県	180	30	東京都	168	33
栃木県	6.0	35	長崎県	42.6	35	高知県	4.5	35	長野県	180	30	神奈川県	168	33
広島県	5.4	36	広島県	42.3	36	福島県	4.4	36	京都府	180	30	石川県	168	33
静岡県	4.9	37	和歌山県	42.1	37	石川県	4.4	37	兵庫県	180	30	滋賀県	168	33
福岡県	4.8	38	福岡県	41.8	38	茨城県	4.4	38	大分県	180	30	京都府	168	33
京都府	4.8	39	愛知県	41.0	39	茨城県	4.3	39	富山県	179	39	兵庫県	168	33
兵庫県	4.8	40	奈良県	41.0	39	長崎県	4.3	40	大阪府	179	39	島根県	168	33
北海道	4.6	41	北海道	40.8	41	愛媛県	4.3	41	島根県	179	39	山口県	168	33
千葉県	4.5	42	京都府	40.4	42	徳島県	4.1	42	愛媛県	179	39	徳島県	168	33
大阪府	4.3	43	兵庫県	40.0	43	山形県	4.1	43	鳥取県	178	43	愛媛県	168	33
埼玉県	4.3	44	千葉県	38.3	44	長野県	4.1	44	徳島県	177	44	大分県	168	33
愛知県	4.3	45	埼玉県	35.9	45	秋田県	4.0	45	高知県	177	44	沖縄県	168	33
神奈川県	4.1	46	神奈川県	31.7	46	青森県	3.7	46	沖縄県	177	44	千葉県	166	46
東京都	3.8	47	東京都	31.4	47	和歌山県	3.7	47	東京都	175	47	高知県	166	46

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」



G. 文化・スポーツ

公民館数 (人口100万人当たり)			図書館数 (人口100万人当たり)			博物館数 (人口100万人当たり)			常設映画館数 (人口100万人当たり)			社会体育施設数 (人口100万人当たり)		
単位	館	順位	単位	館	順位	単位	館	順位	単位	館	順位	単位	施設	順位
年度	2018		年度	2018		年度	2018		年度	2020		年度	2018	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	107.6		全国	26.5		全国	10.1		全国	11.6		全国	370.7	
長野県	869.3	1	山梨県	64.6	1	長野県	40.0	1	熊本県	42.6	1	鳥取県	957.3	1
徳島県	436.1	2	長野県	60.8	2	富山県	35.2	2	福岡県	31.9	2	長野県	954.2	2
山形県	393.8	3	島根県	58.7	3	島根県	32.3	3	香川県	29.5	3	秋田県	877.2	3
秋田県	347.2	4	高知県	58.0	4	山梨県	31.7	4	東京都	23.0	4	島根県	843.1	4
山梨県	343.5	5	富山県	54.3	5	石川県	26.2	5	鳥取県	21.7	5	山梨県	754.0	5
愛媛県	319.1	6	鳥取県	53.4	6	福井県	24.5	6	長崎県	21.3	6	北海道	743.4	6
鳥取県	311.4	7	秋田県	48.7	7	高知県	19.8	7	広島県	17.5	7	福島県	737.8	7
島根県	287.4	8	福井県	47.6	8	愛媛県	17.7	8	大分県	15.1	8	岩手県	732.3	8
富山県	285.7	9	山口県	40.2	9	岩手県	16.9	9	愛媛県	15.0	9	石川県	725.8	9
高知県	284.3	10	鹿児島県	39.0	10	新潟県	16.9	10	青森県	13.7	10	新潟県	652.7	10
奈良県	271.4	11	徳島県	38.0	11	岡山県	16.8	11	福島県	13.1	11	富山県	652.4	11
和歌山県	269.1	12	岩手県	37.9	12	山口県	16.8	12	山口県	11.9	12	福井県	626.8	12
福井県	266.4	13	岡山県	36.8	13	奈良県	16.4	13	三重県	11.9	13	群馬県	626.0	13
石川県	253.3	14	山形県	36.6	14	佐賀県	15.8	15	福井県	11.7	14	鹿児島県	625.2	14
大分県	214.3	15	佐賀県	36.5	15	東京都	15.8	14	兵庫県	11.7	15	長崎県	611.5	15
岡山県	210.6	16	福島県	36.4	16	山形県	15.6	16	茨城県	11.5	16	佐賀県	604.1	16
福島県	200.1	17	岐阜県	35.5	17	徳島県	14.9	17	沖縄県	10.9	17	宮崎県	603.3	17
青森県	194.0	18	滋賀県	35.4	18	栃木県	13.3	18	群馬県	10.8	18	山形県	590.7	18
宮城県	189.2	19	新潟県	35.2	19	滋賀県	12.7	19	長野県	10.7	19	青森県	554.4	19
新潟県	180.3	20	石川県	34.9	20	香川県	12.5	20	高知県	10.1	20	高知県	550.2	20
三重県	180.1	21	愛媛県	33.2	21	鳥取県	12.5	21	北海道	10.0	21	山口県	535.4	21
熊本県	176.8	22	香川県	31.2	22	北海道	12.1	22	岩手県	9.9	22	岐阜県	535.2	22
香川県	162.0	23	広島県	29.7	23	長崎県	11.9	23	秋田県	9.4	23	熊本県	520.2	23
佐賀県	154.7	24	熊本県	29.6	24	静岡県	11.7	24	山形県	9.4	24	大分県	510.9	24
鹿児島県	151.2	25	宮崎県	29.5	25	和歌山県	11.4	25	和歌山県	8.7	25	徳島県	498.6	25
岩手県	141.9	26	群馬県	29.1	26	秋田県	11.2	26	滋賀県	8.5	26	香川県	487.0	26
長崎県	140.2	27	大分県	28.9	27	三重県	11.2	27	宮崎県	8.4	27	栃木県	486.9	27
岐阜県	136.4	28	北海道	28.7	28	和歌山県	10.6	28	徳島県	8.3	28	愛媛県	482.7	28
山口県	124.2	29	東京都	28.7	29	広島県	10.6	29	徳島県	8.3	29	和歌山県	469.1	29
群馬県	113.4	30	長崎県	28.3	30	鹿児島県	10.5	30	鹿児島県	8.2	30	岡山県	441.7	30
栃木県	96.3	31	栃木県	28.2	31	沖縄県	10.3	31	佐賀県	7.4	31	茨城県	425.0	31
広島県	95.3	32	和歌山県	27.7	32	群馬県	10.2	32	宮城県	7.4	32	滋賀県	407.4	32
茨城県	87.1	33	青森県	27.6	33	岐阜県	10.0	33	石川県	7.1	33	宮城県	387.9	33
宮崎県	83.9	34	沖縄県	27.5	34	熊本県	9.7	34	京都府	7.0	34	広島県	387.7	34
北海道	72.0	35	三重県	26.2	35	福島県	9.1	35	愛知県	6.9	35	静岡県	373.1	35
埼玉県	66.8	36	静岡県	26.2	36	茨城県	9.0	36	大阪府	6.8	36	三重県	365.9	36
滋賀県	63.6	37	京都府	26.2	37	兵庫県	8.0	37	富山県	6.8	37	奈良県	360.9	37
福岡県	60.4	38	奈良県	24.6	38	宮城県	7.8	38	静岡県	6.3	38	沖縄県	348.7	38
京都府	59.3	39	埼玉県	23.5	39	東京都	7.4	39	山梨県	6.2	39	福岡県	260.4	39
沖縄県	58.5	40	宮崎県	23.0	40	宮崎県	7.4	40	新潟県	5.9	40	京都府	258.7	40
兵庫県	51.4	41	福岡県	22.2	41	千葉県	6.9	41	千葉県	5.9	41	千葉県	246.1	41
愛知県	46.7	42	茨城県	22.1	42	福岡県	6.0	42	岐阜県	5.6	42	愛知県	234.5	42
千葉県	45.9	43	兵庫県	19.5	43	神奈川県	6.0	43	神奈川県	5.5	43	埼玉県	225.0	43
大阪府	22.5	44	大阪府	16.6	44	愛知県	5.6	44	岡山県	4.8	44	兵庫県	211.6	44
神奈川県	17.6	45	宮城県	15.1	45	大阪府	4.2	45	島根県	4.5	45	神奈川県	159.7	45
静岡県	17.5	46	愛知県	13.0	46	青森県	3.9	46	埼玉県	4.2	46	東京都	155.0	46
東京都	5.7	47	神奈川県	9.2	47	埼玉県	3.4	47	奈良県	3.0	47	大阪府	133.5	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

H. 居住

スポーツの年間行動者率 (10歳以上)			持ち家比率 (対居住世帯あり住宅数)			借家比率 (対居住世帯あり住宅数)			持ち家住宅の延べ面積 (1住宅当たり)			ごみのリサイクル率		
単位	%	順位	単位	%	順位	単位	%	順位	単位	m <sup>2</sup>	順位	単位	%	順位
年度	2016		年度	2018		年度	2018		年度	2018		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	68.8		全国	61.2		全国	35.6		全国	119.9		全国	20.0	
東京都	75.7	1	秋田県	77.3	1	沖縄県	49.5	1	富山県	171.8	1	山口県	33.0	1
埼玉県	72.6	2	富山県	76.8	2	東京都	49.1	2	福井県	164.7	2	鳥取県	28.6	2
神奈川県	72.4	3	山形県	74.9	3	福岡県	44.4	3	山形県	160.9	3	神奈川県	24.9	3
千葉県	71.6	4	福井県	74.9	4	北海道	41.3	4	石川県	158.2	4	岡山県	24.6	4
滋賀県	71.6	4	岐阜県	74.3	5	大阪府	41.2	5	新潟県	154.8	5	埼玉県	24.4	5
愛知県	71.2	6	奈良県	74.1	6	宮城県	38.7	6	秋田県	154.3	6	東京都	24.2	6
京都府	70.1	7	新潟県	74.0	7	愛知県	37.7	7	鳥根県	152.1	7	北海道	23.4	7
兵庫県	69.5	8	和歌山県	73.0	8	神奈川県	37.2	8	鳥取県	151.4	8	富山県	22.7	8
奈良県	69.5	8	三重県	72.0	9	広島県	35.7	9	青森県	148.4	9	愛知県	22.3	9
栃木県	69.3	10	滋賀県	71.6	10	京都府	34.7	10	長野県	148.3	10	千葉県	22.0	10
石川県	69.1	11	群馬県	71.4	11	熊本県	34.5	11	岩手県	147.4	11	新潟県	21.7	11
茨城県	68.5	12	長野県	71.2	12	長崎県	34.2	12	岐阜県	143.8	12	熊本県	21.7	11
山梨県	68.2	13	茨城県	71.2	13	大分県	34.0	13	福島県	140.0	13	高知県	21.6	13
静岡県	68.2	13	青森県	70.3	14	鹿児島県	33.8	14	佐賀県	139.8	14	長野県	21.4	14
鹿児島県	68.2	13	鳥根県	70.2	15	宮城県	32.9	15	滋賀県	139.5	15	鳥根県	21.0	15
群馬県	68.1	16	山梨県	70.2	16	兵庫県	32.7	16	山梨県	136.0	16	福岡県	21.0	15
長野県	68.1	16	岩手県	69.9	17	高知県	31.8	17	徳島県	134.6	17	茨城県	20.7	17
富山県	67.9	18	石川県	69.3	18	千葉県	31.6	18	岡山県	133.7	18	三重県	20.4	18
沖縄県	67.9	18	香川県	69.3	19	岡山県	31.5	19	香川県	132.8	19	佐賀県	19.7	19
岐阜県	67.4	20	徳島県	69.2	20	愛媛県	31.4	20	三重県	131.9	20	広島県	19.6	20
大分県	67.2	21	栃木県	69.1	21	佐賀県	31.2	21	宮城県	130.7	21	香川県	19.3	21
三重県	66.9	22	鳥取県	68.8	22	埼玉県	31.0	22	栃木県	129.9	22	大分県	18.9	22
大阪府	66.9	22	福島県	67.7	23	山口県	30.4	23	茨城県	129.2	23	静岡県	18.2	23
岡山県	66.8	24	山口県	67.1	24	静岡県	30.1	24	群馬県	129.0	24	滋賀県	18.0	24
愛媛県	66.8	24	静岡県	67.0	25	福島県	29.7	25	奈良県	128.7	25	岩手県	17.5	25
熊本県	66.7	26	佐賀県	66.9	26	鳥取県	29.0	26	静岡県	127.8	26	山梨県	17.2	26
広島県	66.5	27	愛媛県	66.5	27	香川県	29.0	27	熊本県	126.0	27	宮崎県	17.1	27
宮城県	66.4	28	埼玉県	65.7	28	岩手県	28.6	28	山口県	125.8	28	愛媛県	16.7	28
香川県	66.0	29	宮城県	65.7	29	石川県	28.5	29	愛知県	125.3	29	沖縄県	16.6	29
山口県	65.8	30	千葉県	65.4	30	鳥根県	28.4	30	和歌山県	124.4	30	徳島県	16.5	30
福岡県	65.8	30	高知県	64.9	31	栃木県	28.4	31	大分県	123.4	31	岐阜県	16.3	31
徳島県	65.4	32	岡山県	64.9	32	青森県	28.2	32	愛媛県	122.5	32	鹿児島県	16.0	32
鳥取県	65.2	33	兵庫県	64.8	33	徳島県	27.7	33	長崎県	121.5	33	栃木県	15.9	33
福井県	65.0	34	鹿児島県	64.6	34	山梨県	26.8	34	北海道	120.2	34	長崎県	15.9	33
北海道	64.9	35	長崎県	63.7	35	長野県	26.7	35	広島県	120.1	35	宮城県	15.8	35
北海道	64.5	36	大分県	63.6	36	群馬県	26.5	36	高知県	116.8	36	奈良県	15.8	35
宮崎県	64.5	36	熊本県	61.9	37	滋賀県	25.9	37	宮崎県	115.9	37	兵庫県	15.5	37
和歌山県	63.6	38	広島県	61.4	38	茨城県	25.9	38	兵庫県	115.9	38	石川県	15.0	38
鳥根県	63.5	39	京都府	61.3	39	三重県	25.6	39	福岡県	115.6	39	秋田県	14.9	39
佐賀県	63.4	40	愛知県	59.5	40	和歌山県	24.9	40	京都府	111.1	40	京都府	14.3	40
福島県	63.1	41	神奈川県	59.1	41	新潟県	24.3	41	千葉県	110.6	41	群馬県	14.3	40
高知県	62.7	42	宮城県	58.1	42	奈良県	24.1	42	鹿児島県	108.5	42	青森県	14.0	42
新潟県	62.6	43	北海道	56.3	43	岐阜県	23.2	43	埼玉県	106.5	43	福井県	13.4	43
山形県	61.6	44	大阪府	54.7	44	山形県	23.1	44	沖縄県	105.3	44	大阪府	13.4	43
岩手県	60.6	45	福岡県	52.8	45	福井県	22.8	45	大阪府	101.8	45	山形県	13.3	45
秋田県	60.6	45	東京都	45.0	46	秋田県	21.6	46	神奈川県	99.6	46	福島県	13.2	46
青森県	56.0	47	沖縄県	44.4	47	富山県	21.6	47	東京都	93.3	47	和歌山県	13.2	46

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

1. 健康・医療

理容・美容所数 (人口10万人当たり)			公衆浴場数 (人口10万人当たり)			都市公園面積 (人口1人当たり)			平均余命 [0歳・男]			平均余命 [0歳・女]		
単位	所	順位	単位	所	順位	単位	m <sup>2</sup>	順位	単位	年	順位	単位	年	順位
年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2015		年度	2015	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	296.0		全国	2.6		全国	10.12		全国	80.75		全国	86.99	
秋田県	548.5	1	青森県	22.9	1	北海道	26.96	1	滋賀県	81.78	1	長野県	87.67	1
山形県	513.3	2	鹿児島県	16.8	2	宮城県	17.99	2	長野県	81.75	2	岡山県	87.67	1
徳島県	475.4	3	大分県	12.0	3	宮崎県	17.71	3	京都府	81.40	3	鳥根県	87.64	3
岩手県	442.4	4	富山県	7.6	4	山形県	17.60	4	奈良県	81.36	4	滋賀県	87.57	4
山梨県	429.5	5	京都府	6.1	5	秋田県	17.27	5	神奈川県	81.32	5	福井県	87.54	5
高知県	423.7	6	石川県	5.9	6	香川県	16.93	6	福井県	81.27	6	熊本県	87.49	6
愛媛県	414.3	7	大阪府	5.1	7	青森県	16.68	7	熊本県	81.22	7	沖繩県	87.44	7
鳥取県	404.7	8	北海道	4.6	8	鳥根県	16.02	8	愛知県	81.10	8	富山県	87.42	8
和歌山県	404.3	9	東京都	3.6	9	富山県	15.84	9	広島県	81.08	9	京都府	87.35	9
青森県	404.2	10	熊本県	3.3	10	福井県	15.63	10	大分県	81.08	9	広島県	87.33	10
鳥取県	402.1	11	徳島県	3.3	11	岡山県	15.27	11	東京都	81.07	11	新潟県	87.32	11
大分県	397.3	12	和歌山県	3.0	12	山口県	15.09	12	石川県	81.04	12	大分県	87.31	12
宮崎県	396.7	13	兵庫県	2.9	13	栃木県	14.58	13	岡山県	81.03	13	石川県	87.28	13
新潟県	392.6	14	山梨県	2.7	14	新潟県	14.05	14	岐阜県	81.00	14	鳥取県	87.27	14
鹿児島県	384.6	15	鳥取県	2.5	15	石川県	13.73	15	宮城県	80.99	15	東京都	87.26	15
群馬県	380.1	16	福井県	2.2	16	奈良県	13.67	16	千葉県	80.96	16	奈良県	87.25	16
香川県	377.9	17	愛媛県	2.2	17	群馬県	13.59	17	静岡県	80.95	17	神奈川県	87.24	17
福島県	376.0	18	香川県	1.9	18	長野県	13.53	18	兵庫県	80.92	18	山梨県	87.22	18
長崎県	364.9	19	広島県	1.7	19	福島県	13.42	19	三重県	80.86	19	香川県	87.21	19
福井県	362.9	20	三重県	1.7	20	兵庫県	12.99	20	山梨県	80.85	20	宮城県	87.16	20
福井県	356.6	21	長野県	1.6	21	岩手県	12.61	21	香川県	80.85	20	福岡県	87.14	21
石川県	352.2	22	奈良県	1.5	22	鹿児島県	12.09	22	埼玉県	80.82	22	佐賀県	87.12	22
沖繩県	351.0	23	岩手県	1.4	23	鳥取県	11.74	23	鳥根県	80.79	23	宮崎県	87.12	22
富山県	348.1	24	神奈川県	1.4	24	愛媛県	11.63	24	新潟県	80.69	24	静岡県	87.10	24
山口県	346.6	25	山口県	1.3	25	長崎県	11.05	25	福岡県	80.66	25	兵庫県	87.07	25
茨城県	344.8	26	宮崎県	1.3	26	高知県	10.88	26	佐賀県	80.65	26	高知県	87.01	26
岐阜県	340.2	27	高知県	1.3	27	大分県	10.81	27	群馬県	80.61	27	三重県	86.99	27
佐賀県	339.9	28	秋田県	1.3	28	佐賀県	10.62	28	富山県	80.61	27	長崎県	86.97	28
三重県	339.3	29	新潟県	1.2	29	広島県	10.60	29	山形県	80.52	29	山形県	86.96	29
栃木県	338.6	30	長崎県	1.1	30	沖繩県	10.36	30	山口県	80.51	30	千葉県	86.91	30
静岡県	336.0	31	滋賀県	1.1	31	岐阜県	10.29	31	長崎県	80.38	31	山口県	86.88	31
岡山県	328.8	32	愛知県	1.1	32	山梨県	9.86	32	宮崎県	80.34	32	愛知県	86.86	32
長野県	326.8	33	岐阜県	1.0	33	茨城県	9.80	33	徳島県	80.32	33	群馬県	86.84	33
北海道	325.5	34	群馬県	0.9	34	三重県	9.70	34	北海道	80.28	34	岐阜県	86.82	34
広島県	308.7	35	岡山県	0.7	35	福岡県	9.23	35	茨城県	80.28	34	愛媛県	86.82	34
宮城県	301.9	36	福岡県	0.7	36	滋賀県	9.05	36	沖繩県	80.27	36	鹿児島県	86.78	36
京都府	298.9	37	千葉県	0.7	37	静岡県	8.68	37	高知県	80.26	37	北海道	86.77	37
滋賀県	281.8	38	埼玉県	0.6	38	熊本県	8.49	38	大阪府	80.23	38	大阪府	86.73	38
福岡県	280.8	39	福山県	0.5	39	和歌山県	8.07	39	鳥取県	80.17	39	埼玉県	86.66	39
大阪府	275.2	40	栃木県	0.5	40	愛知県	7.86	40	愛媛県	80.16	40	徳島県	86.66	39
奈良県	267.8	41	静岡県	0.3	41	京都府	7.61	41	福島県	80.12	41	和歌山県	86.47	41
兵庫県	253.9	42	鳥根県	0.3	42	徳島県	7.52	42	栃木県	80.10	42	岩手県	86.44	42
愛知県	241.6	43	宮城県	0.3	43	埼玉県	7.08	43	鹿児島県	80.02	43	福島県	86.40	43
東京都	231.5	44	沖繩県	0.2	44	千葉県	6.86	44	和歌山県	79.94	44	秋田県	86.38	44
千葉県	228.2	45	佐賀県	0.1	45	大阪府	5.69	45	岩手県	79.86	45	茨城県	86.33	45
埼玉県	224.6	46	茨城県	0.1	46	神奈川県	5.59	46	秋田県	79.51	46	栃木県	86.24	46
神奈川県	180.7	47	山形県	0.0	47	東京都	4.26	47	青森県	78.67	47	青森県	85.93	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

平均身長 (中学2年・男)			平均身長 (中学2年・女)			平均体重 (中学2年・男)			平均体重 (中学2年・女)			一般病院数 (人口10万人当たり)		
単位	cm	順位	単位	cm	順位	単位	kg	順位	単位	kg	順位	単位	施設	順位
年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	161.4		全国	155.2		全国	50.9		全国	47.9		全国	5.7	
東京都	163.1	1	東京都	156.2	1	山形県	53.0	1	青森県	50.0	1	高知県	16.1	1
山形県	162.4	2	青森県	155.8	2	秋田県	52.9	2	山形県	49.3	2	徳島県	12.8	2
神奈川県	162.3	3	新潟県	155.8	2	宮城県	52.4	3	秋田県	49.0	3	鹿児島県	12.4	3
石川県	162.2	4	福井県	155.8	2	東京都	52.3	4	福島県	49.0	3	大分県	11.4	4
秋田県	162.1	5	京都府	155.8	2	青森県	52.2	5	宮城県	48.9	5	宮崎県	11.2	5
京都府	162.1	5	秋田県	155.7	6	徳島県	51.8	6	徳島県	48.9	5	佐賀県	10.6	6
兵庫県	162.1	5	埼玉県	155.7	6	福島県	51.7	7	大分県	48.9	5	熊本県	9.8	7
富山県	162.0	8	富山県	155.6	8	岩手県	51.6	8	埼玉県	48.7	8	北海道	9.2	8
青森県	161.9	9	北海道	155.5	9	神奈川県	51.6	8	熊本県	48.6	9	長崎県	9.1	9
北海道	161.8	10	山形県	155.5	9	大分県	51.6	8	岩手県	48.5	10	愛媛県	9.1	10
福井県	161.7	11	岐阜県	155.5	9	北海道	51.5	11	香川県	48.4	11	山口県	8.5	11
宮城県	161.6	12	大阪府	155.5	9	大阪府	51.5	11	北海道	48.3	12	富山県	8.4	12
千葉県	161.6	12	兵庫県	155.5	9	茨城県	51.4	13	栃木県	48.3	12	和歌山県	8.1	13
大阪府	161.6	12	神奈川県	155.4	14	石川県	51.4	13	群馬県	48.3	12	香川県	8.1	14
奈良県	161.6	12	滋賀県	155.4	14	栃木県	51.3	14	福井県	48.2	15	岡山県	7.7	15
新潟県	161.5	16	奈良県	155.4	14	富山県	51.3	15	山梨県	48.2	15	福岡県	7.7	16
大分県	161.3	17	群馬県	155.3	17	群馬県	51.2	17	愛媛県	48.2	15	福井県	7.4	17
埼玉県	161.2	18	宮城県	155.2	18	山梨県	51.2	17	岡山県	48.1	18	広島県	7.4	18
福岡県	161.2	18	石川県	155.2	18	兵庫県	51.2	17	佐賀県	48.1	18	鳥取県	7.0	19
岐阜県	161.1	20	熊本県	155.2	18	岐阜県	51.1	20	茨城県	48.0	20	石川県	6.9	20
愛知県	161.1	20	千葉県	155.1	21	和歌山県	51.1	20	千葉県	48.0	20	山梨県	6.4	21
岩手県	161.0	22	長野県	155.1	21	愛媛県	51.1	20	富山県	48.0	20	岩手県	6.4	22
茨城県	161.0	22	愛知県	155.1	21	沖縄県	51.1	20	福岡県	48.0	20	青森県	6.2	23
徳島県	161.0	22	和歌山県	155.0	24	千葉県	51.0	24	長崎県	48.0	20	群馬県	5.9	24
滋賀県	160.9	25	福岡県	155.0	24	東京都	50.9	25	神奈川県	47.9	25	京都府	5.9	25
長野県	160.8	26	鳥取県	154.9	26	宮城県	50.8	26	新潟県	47.9	25	兵庫県	5.7	26
栃木県	160.7	27	岩手県	154.8	27	埼玉県	50.7	27	岐阜県	47.9	25	鳥根県	5.7	27
群馬県	160.7	27	栃木県	154.8	27	福岡県	50.7	27	広島県	47.9	25	福島県	5.6	28
福島県	160.6	29	山梨県	154.8	27	新潟県	50.5	29	山口県	47.9	25	長野県	5.4	29
山梨県	160.6	29	三重県	154.8	27	山口県	50.4	30	東京都	47.8	30	奈良県	5.4	30
和歌山県	160.6	29	岡山県	154.8	27	福井県	50.3	31	高知県	47.8	30	大阪府	5.4	31
愛媛県	160.6	29	徳島県	154.8	27	熊本県	50.3	31	沖縄県	47.8	30	茨城県	5.3	32
静岡県	160.3	33	大分県	154.8	27	香川県	50.1	33	兵庫県	47.7	33	沖縄県	5.2	33
三重県	160.2	34	茨城県	154.7	34	愛知県	50.0	34	鳥根県	47.7	33	秋田県	5.2	34
鳥取県	160.2	34	鳥根県	154.7	34	長野県	49.9	35	長野県	47.6	35	山形県	5.0	35
熊本県	160.2	34	愛媛県	154.7	34	奈良県	49.9	35	和歌山県	47.6	35	新潟県	4.8	36
山口県	160.1	37	長崎県	154.7	34	三重県	49.8	37	鹿児島県	47.6	35	宮城県	4.7	37
香川県	160.1	37	静岡県	154.6	38	滋賀県	49.6	38	石川県	47.5	38	三重県	4.6	38
宮崎県	160.1	37	山口県	154.6	38	広島県	49.6	38	宮崎県	47.5	38	栃木県	4.5	39
沖縄県	160.1	37	鹿児島県	154.6	38	鳥取県	49.4	40	滋賀県	47.4	40	岐阜県	4.3	40
鳥根県	160.0	41	福島県	154.5	41	佐賀県	49.4	40	奈良県	47.4	40	東京都	4.2	41
広島県	160.0	41	香川県	154.5	41	鹿児島県	49.4	40	鳥取県	47.4	40	千葉県	4.1	42
高知県	160.0	41	佐賀県	154.4	43	静岡県	49.3	43	静岡県	47.0	43	埼玉県	4.0	43
岡山県	159.9	44	高知県	154.3	44	岡山県	49.2	44	大阪府	47.0	43	静岡県	3.9	44
佐賀県	159.7	45	広島県	154.2	45	長崎県	49.2	44	愛知県	46.9	45	愛知県	3.8	45
長崎県	159.5	46	宮崎県	154.1	46	高知県	49.1	46	京都府	46.9	45	滋賀県	3.5	46
鹿児島県	159.3	47	沖縄県	153.5	47	鳥根県	48.9	47	三重県	46.6	47	神奈川県	3.1	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

一般病院病床数 (人口10万人当たり)			医療施設に従事する 医師数 (人口10万人当たり)			医療施設に従事する 看護師・准看護師 (人口10万人当たり)			保健師数 (人口10万人当たり)			年間救急出動件数 (人口千人当たり)		
単位	床	順位	単位	人	順位	単位	人	順位	単位	人	順位	単位	件	順位
年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	1,000.0		全国	256.6		全国	988.6		全国	44.1		全国	47.0	
高知県	2,052.6	1	徳島県	338.4	1	高知県	1,640.7	1	長野県	82.6	1	大阪府	62.4	1
鹿児島県	1,578.1	2	京都府	332.6	2	鹿児島県	1,562.5	2	高知県	80.7	2	高知県	56.4	2
北海道	1,500.7	3	高知県	322.0	3	佐賀県	1,528.5	3	山梨県	80.2	3	奈良県	52.7	3
佐賀県	1,455.7	4	東京都	320.9	4	長崎県	1,525.3	4	島根県	79.9	4	東京都	51.6	4
徳島県	1,440.7	5	岡山県	320.1	5	熊本県	1,524.4	5	大分県	69.0	5	和歌山県	51.5	5
熊本県	1,440.2	6	長崎県	319.1	6	宮崎県	1,463.0	6	宮崎県	65.4	6	鹿児島県	50.0	6
山口県	1,430.5	7	鳥取県	314.8	7	大分県	1,449.5	7	富山県	64.9	7	京都府	49.7	7
長崎県	1,420.3	8	福岡県	309.9	8	山口県	1,404.1	8	鹿児島県	64.7	8	三重県	49.3	8
鳥取県	1,372.9	9	和歌山県	307.8	9	徳島県	1,374.7	9	秋田県	64.5	9	沖縄県	49.3	9
福岡県	1,328.3	10	島根県	297.1	10	鳥取県	1,341.0	10	鳥取県	64.0	10	神奈川県	49.2	10
宮崎県	1,326.4	11	熊本県	297.0	11	福岡県	1,333.7	11	香川県	63.7	11	兵庫県	48.8	11
大分県	1,297.8	12	石川県	291.6	12	香川県	1,278.9	12	福井県	63.2	12	千葉県	48.6	12
愛媛県	1,274.2	13	佐賀県	290.3	13	愛媛県	1,277.5	13	佐賀県	63.0	13	長崎県	48.1	13
富山県	1,232.7	14	香川県	290.0	14	北海道	1,274.1	14	岩手県	62.6	14	愛媛県	47.7	14
和歌山県	1,227.2	15	大分県	287.1	15	島根県	1,271.9	15	山形県	62.0	15	熊本県	46.9	15
石川県	1,221.1	16	大阪府	285.7	16	岡山県	1,200.5	16	熊本県	59.7	16	山口県	46.9	16
岡山県	1,199.9	17	鹿児島県	283.6	17	石川県	1,199.3	17	福島県	59.7	17	北海道	46.2	17
香川県	1,188.6	18	奈良県	277.1	18	広島県	1,198.5	18	北海道	58.7	18	福岡県	46.2	18
島根県	1,185.9	19	愛媛県	276.7	19	和歌山県	1,171.8	19	青森県	58.0	19	香川県	45.8	19
秋田県	1,168.5	20	広島県	267.1	20	富山県	1,164.4	20	長崎県	57.4	20	大分県	45.2	20
福井県	1,148.3	21	兵庫県	266.1	21	福井県	1,124.5	21	岡山県	56.6	21	埼玉県	44.6	21
京都府	1,130.5	22	富山県	261.5	22	青森県	1,108.8	22	山口県	56.0	22	徳島県	44.4	22
奈良県	1,122.0	23	山口県	260.1	23	秋田県	1,105.5	23	沖縄県	55.8	23	鳥取県	44.3	23
青森県	1,112.8	24	福井県	257.9	24	沖縄県	1,096.1	24	徳島県	55.0	24	岡山県	44.1	24
広島県	1,090.0	25	沖縄県	257.2	25	群馬県	1,054.1	25	愛媛県	54.8	25	宮城県	43.8	25
山梨県	1,080.8	26	宮崎県	255.5	26	岩手県	1,045.7	26	岐阜県	53.6	26	山梨県	43.8	26
岩手県	1,070.8	27	北海道	251.3	27	山形県	1,045.1	27	新潟県	53.5	27	群馬県	43.6	27
山形県	1,051.7	28	山梨県	250.1	28	長野県	1,040.6	28	群馬県	53.2	28	広島県	43.3	28
群馬県	1,047.7	29	宮城県	246.3	29	京都府	1,015.4	29	和歌山県	50.6	29	島根県	42.9	29
沖縄県	1,044.5	30	長野県	243.8	30	福島県	994.7	30	栃木県	50.1	30	愛知県	42.8	30
福島県	1,033.2	31	秋田県	242.6	31	兵庫県	988.3	31	石川県	49.8	31	新潟県	42.6	31
大阪府	1,026.5	32	栃木県	236.9	32	山梨県	975.2	32	宮城県	49.3	32	茨城県	42.4	32
長野県	1,010.2	33	滋賀県	236.3	33	大阪府	954.9	33	滋賀県	48.7	33	長野県	42.3	33
新潟県	982.2	34	群馬県	233.8	34	新潟県	948.7	34	京都府	48.0	34	静岡県	42.1	34
兵庫県	981.0	35	三重県	231.6	35	三重県	948.6	35	静岡県	47.5	35	福島県	41.2	35
茨城県	917.2	36	山形県	229.2	36	岐阜県	942.7	36	広島県	47.3	36	佐賀県	41.0	36
三重県	903.4	37	岐阜県	224.5	37	奈良県	936.8	37	茨城県	45.2	37	滋賀県	40.8	37
栃木県	896.0	38	愛知県	224.4	38	宮城県	931.1	38	三重県	45.1	38	宮崎県	40.7	38
滋賀県	861.2	39	神奈川県	223.0	39	栃木県	921.6	39	奈良県	41.9	39	岐阜県	40.6	39
宮城県	857.0	40	静岡県	219.4	40	滋賀県	895.4	40	福岡県	39.0	40	岩手県	39.7	40
静岡県	842.4	41	青森県	212.5	41	静岡県	855.1	41	愛知県	37.8	41	栃木県	39.5	41
岐阜県	834.1	42	岩手県	207.3	42	愛知県	845.4	42	兵庫県	34.8	42	秋田県	39.2	42
東京都	807.7	43	千葉県	205.8	43	茨城県	806.3	43	千葉県	33.8	43	富山県	38.4	43
千葉県	806.2	44	福島県	205.7	44	東京都	780.7	44	東京都	31.8	44	山形県	37.6	44
愛知県	758.7	45	新潟県	204.3	45	千葉県	749.1	45	埼玉県	30.7	45	青森県	37.3	45
埼玉県	713.5	46	茨城県	193.8	46	神奈川県	715.0	46	大阪府	27.7	46	石川県	35.9	46
神奈川県	676.9	47	埼玉県	177.8	47	埼玉県	704.0	47	神奈川県	26.9	47	福井県	34.2	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

J. 福祉・社会保障

生活保護被保護実人員 (月平均人口千人当たり)			身体障害者手帳 交付数 (人口千人当たり)			介護老人福祉施設数 (65歳以上人口 10万人当たり)			児童福祉施設数 (人口10万人当たり)			後期高齢者医療費 (被保険者1人当たり)		
単位	人	順位	単位	人	順位	単位	所	順位	単位	所	順位	単位	円	順位
年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020		年度	2020	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	16.27		全国	39.5		全国	23.5		全国	10.73		全国	917,124	
大阪府	31.00	1	和歌山県	58.7	1	島根県	40.8	1	宮城県	21.89	1	高知県	1,152,631	1
北海道	29.78	2	鹿児島県	58.4	2	秋田県	34.7	2	沖縄県	21.12	2	福岡県	1,138,402	2
高知県	26.17	3	宮崎県	56.6	3	鹿児島県	33.0	3	鳥取県	18.97	3	鹿児島県	1,088,171	3
沖縄県	26.07	4	高知県	56.3	4	群馬県	31.2	4	福井県	16.56	4	長崎県	1,073,446	4
福岡県	23.70	5	北海道	56.3	5	茨城県	31.2	5	岩手県	15.53	5	佐賀県	1,060,401	5
青森県	23.35	6	京都府	55.0	6	三重県	31.0	6	京都府	15.48	6	徳島県	1,054,259	6
京都府	21.62	7	長崎県	53.5	7	岩手県	30.2	7	秋田県	14.28	7	北海道	1,051,831	7
長崎県	20.63	8	大分県	52.7	8	和歌山県	30.1	8	山梨県	13.21	8	熊本県	1,047,518	8
東京都	20.12	9	秋田県	52.7	9	香川県	30.0	9	北海道	12.96	9	大阪府	1,043,005	9
鹿児島県	18.72	10	佐賀県	50.5	10	福井県	29.7	10	和歌山県	12.57	10	大分県	1,032,531	10
兵庫県	18.46	11	愛媛県	50.2	11	新潟県	29.5	11	高知県	12.44	11	広島県	1,021,844	11
徳島県	17.92	12	奈良県	49.5	12	山口県	29.2	12	東京都	12.35	12	山口県	1,002,033	12
大分県	17.20	13	熊本県	49.3	13	長崎県	28.1	13	徳島県	12.23	13	京都府	998,819	13
神奈川県	16.59	14	島根県	47.8	14	岡山県	27.8	14	滋賀県	12.17	14	沖縄県	994,844	14
宮崎県	16.44	15	山形県	47.5	15	山形県	27.8	15	兵庫県	12.11	15	兵庫県	986,533	15
和歌山県	15.96	16	福井県	47.2	16	徳島県	27.7	16	佐賀県	11.95	16	香川県	958,002	16
愛媛県	15.39	17	鳥取県	47.0	17	宮崎県	27.6	17	広島県	11.86	17	石川県	952,771	17
広島県	14.51	18	徳島県	46.6	18	奈良県	27.5	18	兵庫県	11.69	18	愛媛県	952,734	18
秋田県	14.30	19	沖縄県	46.6	19	富山県	25.8	19	石川県	11.66	19	岡山県	947,741	19
奈良県	14.29	20	山口県	46.3	20	長野県	25.8	20	埼玉県	11.65	20	和歌山県	938,551	20
熊本県	14.02	21	青森県	45.6	21	栃木県	25.8	21	山形県	11.42	21	島根県	925,671	21
千葉県	13.91	22	香川県	44.5	22	熊本県	25.5	22	青森県	11.23	22	鳥取県	920,624	22
埼玉県	13.22	23	富山県	44.3	23	宮城県	25.5	23	宮崎県	11.22	23	愛知県	917,849	23
岡山県	12.80	24	山梨県	43.2	24	愛媛県	24.9	24	熊本県	11.05	24	奈良県	913,459	24
宮城県	12.79	25	大分県	43.1	25	鳥取県	24.9	25	愛媛県	10.49	25	富山県	902,727	25
鳥取県	12.14	26	兵庫県	43.0	26	滋賀県	24.6	26	香川県	10.42	26	東京都	899,692	26
香川県	10.77	27	福島県	42.4	27	高知県	24.4	27	愛知県	10.05	27	滋賀県	893,479	27
岩手県	10.61	28	長野県	42.1	28	千葉県	24.2	28	大分県	9.97	28	宮崎県	889,171	28
山口県	10.43	29	岐阜県	41.6	29	山梨県	24.0	29	静岡県	9.88	29	福井県	885,760	29
栃木県	10.40	30	岩手県	41.5	30	福岡県	23.9	30	福島県	9.71	30	神奈川県	839,398	30
愛知県	10.13	31	福岡県	41.3	31	岐阜県	23.7	31	栃木県	9.41	31	群馬県	836,266	31
茨城県	9.82	32	新潟県	40.2	32	青森県	23.7	32	鹿児島県	9.32	32	岐阜県	834,014	32
佐賀県	9.51	33	広島県	40.2	33	佐賀県	23.6	33	千葉県	9.17	33	山梨県	830,722	33
福島県	9.40	34	三重県	39.4	34	静岡県	23.5	34	岐阜県	9.10	34	三重県	826,521	34
新潟県	9.37	35	滋賀県	38.2	35	広島県	23.2	35	福岡県	9.06	35	宮城県	824,473	35
三重県	8.84	36	岡山県	37.2	36	石川県	23.1	36	神奈川県	8.76	36	茨城県	821,829	36
静岡県	8.74	37	石川県	37.0	37	山口県	23.0	37	岡山県	8.74	37	埼玉県	818,970	37
山梨県	8.65	38	栃木県	36.6	38	大分県	23.0	38	大阪府	8.20	38	長野県	818,902	38
島根県	8.27	39	群馬県	35.1	39	兵庫県	23.0	39	長崎県	8.08	39	山形県	815,536	39
滋賀県	7.73	40	東京都	34.8	40	北海道	22.7	40	富山県	7.54	40	栃木県	812,285	40
群馬県	7.69	41	宮城県	34.6	41	埼玉県	22.6	41	奈良県	7.47	41	福島県	811,952	41
山形県	7.41	42	静岡県	33.5	42	京都府	21.8	42	茨城県	7.39	42	青森県	805,460	42
石川県	6.21	43	愛知県	31.4	43	沖縄県	19.1	43	新潟県	7.36	43	秋田県	801,609	43
岐阜県	5.87	44	茨城県	30.9	44	神奈川県	18.6	44	山口県	6.63	44	千葉県	795,497	44
福井県	5.43	45	神奈川県	29.1	45	大阪府	18.5	45	三重県	6.61	45	静岡県	793,357	45
長野県	5.37	46	千葉県	28.4	46	東京都	18.1	46	島根県	6.11	46	岩手県	754,134	46
富山県	3.70	47	埼玉県	27.9	47	愛知県	15.4	47	群馬県	5.41	47	新潟県	743,130	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

K. 安全

L. 家計

消防吏員数 (人口10万人当たり)			火災出火件数 (人口10万人当たり)			交通事故死傷者数 (人口10万人当たり)			刑法犯認知件数 (人口千人当たり)			実収入 (1世帯当たり1か月間)		
単位	人	順位	単位	件	順位	単位	人	順位	単位	件	順位	単位	千円	順位
年度	2021		年度	2020		年度	2021		年度	2020		年度	2021	
都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全国	131.8		全国	27.5		全国	290.6		全国	4.87		全国	605.3	
秋田県	218.5	1	鹿児島県	42.0	1	静岡県	679.0	1	大阪府	7.73	1	東京都	749.1	1
青森県	217.7	2	宮崎県	41.3	2	群馬県	641.3	2	兵庫県	6.27	2	埼玉県	731.5	2
島根県	180.2	3	大分県	40.3	3	佐賀県	566.0	3	埼玉県	6.06	3	石川県	693.2	3
北海道	177.7	4	島根県	40.1	4	福岡県	501.3	4	東京都	5.89	4	富山県	691.9	4
高知県	174.7	5	徳島県	39.7	5	宮崎県	479.6	5	茨城県	5.69	5	岐阜県	682.6	5
岩手県	167.8	6	青森県	38.9	6	香川県	424.0	6	千葉県	5.52	6	千葉県	678.5	6
和歌山県	167.0	7	山口県	38.2	7	愛知県	382.4	7	福岡県	5.38	7	滋賀県	662.8	7
福井県	163.8	8	徳島県	37.8	8	兵庫県	371.1	8	愛知県	5.29	8	島根県	650.2	8
茨城県	157.1	9	山梨県	37.5	9	山形県	358.7	9	岐阜県	5.28	9	茨城県	649.2	9
山梨県	154.2	10	高知県	37.2	10	徳島県	352.5	10	群馬県	5.14	10	群馬県	648.0	10
徳島県	152.7	11	茨城県	36.7	11	大阪府	337.3	11	三重県	4.84	11	奈良県	643.2	11
新潟県	152.5	12	岡山県	36.5	12	山梨県	321.4	12	愛媛県	4.82	12	福井県	638.7	12
山口県	150.5	13	佐賀県	35.9	13	長野県	282.4	13	香川県	4.78	13	栃木県	628.7	13
鹿児島県	149.6	14	熊本県	34.7	14	岡山県	282.3	14	栃木県	4.69	14	高知県	626.8	14
大分県	148.5	15	三重県	34.7	15	奈良県	273.4	15	京都府	4.60	15	徳島県	621.8	15
三重県	147.7	16	北海道	33.8	16	神奈川県	272.9	16	宮城県	4.43	16	福島県	618.4	16
山形県	146.4	17	香川県	33.6	17	埼玉県	272.4	17	富山県	4.39	17	長野県	618.0	17
鳥取県	143.2	18	群馬県	33.0	18	長崎県	272.3	18	奈良県	4.36	18	福岡県	618.0	18
岐阜県	141.8	19	鳥取県	32.0	19	千葉県	258.6	19	滋賀県	4.27	19	神奈川県	615.5	19
熊本県	140.6	20	秋田県	31.9	20	大分県	257.5	20	静岡県	4.23	20	新潟県	613.9	20
石川県	140.5	21	和歌山県	31.9	21	茨城県	256.8	21	和歌山県	4.23	21	静岡県	613.0	21
愛媛県	139.8	22	奈良県	31.6	22	鹿児島県	254.9	22	広島県	4.19	22	三重県	607.3	22
福島県	139.7	23	沖縄県	31.3	23	滋賀県	252.8	23	福島県	4.18	23	山形県	605.2	23
佐賀県	138.5	24	岩手県	31.1	24	栃木県	245.8	24	岡山県	4.15	24	兵庫県	602.1	24
宮城県	137.9	25	栃木県	31.0	25	青森県	241.4	25	沖縄県	4.09	25	山口県	599.7	25
奈良県	137.4	26	岐阜県	30.9	26	熊本県	230.0	26	高知県	3.93	26	香川県	598.7	26
群馬県	135.8	27	長崎県	30.0	27	宮城県	228.1	27	新潟県	3.89	27	大分県	597.5	27
東京都	135.0	28	山形県	28.8	28	沖縄県	227.9	28	山梨県	3.86	28	広島県	594.9	28
岡山県	134.2	29	宮城県	27.9	29	山口県	224.5	29	神奈川県	3.82	29	鳥取県	591.2	29
長崎県	133.7	30	愛媛県	27.9	30	富山県	224.2	30	佐賀県	3.78	30	岩手県	590.4	30
広島県	131.7	31	兵庫県	27.4	31	東京都	221.0	31	福井県	3.60	31	青森県	581.2	31
千葉県	130.3	32	福島県	26.9	32	北海道	200.2	32	北海道	3.53	32	京都府	580.9	32
栃木県	129.7	33	滋賀県	26.7	33	石川県	200.1	33	宮崎県	3.45	33	熊本県	574.1	33
京都府	129.5	34	東京都	26.6	34	三重県	193.6	34	長野県	3.39	34	愛知県	573.5	34
静岡県	128.8	35	千葉県	26.3	35	福島県	192.9	35	徳島県	3.35	35	宮崎県	568.6	35
富山県	128.6	36	広島県	26.3	36	愛媛県	190.4	36	鳥取県	3.28	36	大阪府	566.3	36
香川県	126.8	37	愛知県	24.8	37	岐阜県	189.1	37	鹿児島県	3.22	37	山梨県	563.3	37
長野県	123.1	38	静岡県	24.2	38	北海道	187.5	38	石川県	3.17	38	岡山県	561.6	38
滋賀県	118.4	39	福岡県	24.0	39	和歌山県	184.0	39	山口県	3.08	39	佐賀県	557.6	39
埼玉県	117.2	40	新潟県	23.3	40	京都府	174.1	40	熊本県	2.92	40	北海道	555.6	40
大阪府	115.8	41	福井県	22.4	41	高知県	170.6	41	山形県	2.89	41	和歌山県	542.5	41
宮崎県	115.1	42	埼玉県	21.6	42	秋田県	163.2	42	島根県	2.88	42	鹿児島県	537.0	42
兵庫県	113.4	43	大阪府	21.5	43	岩手県	155.9	43	青森県	2.75	43	秋田県	534.8	43
沖縄県	112.1	44	神奈川県	19.5	44	新潟県	149.3	44	大分県	2.75	44	宮城県	523.5	44
愛知県	111.1	45	石川県	19.0	45	福井県	138.8	45	秋田県	2.48	45	愛媛県	521.6	45
神奈川県	109.3	46	京都府	18.9	46	島根県	132.0	46	長崎県	2.13	46	長崎県	495.4	46
福岡県	97.8	47	富山県	16.6	47	鳥取県	129.9	47	岩手県	2.11	47	沖縄県	489.4	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」

消費支出 (1世帯当たり1か月間) [二人以上の世帯]			平均消費性向 (消費支出/可処分所得) [二人以上の世帯のうち勤労者 世帯]		
単位	千円	順位	単位	%	順位
年度	2021		年度	2021	
都道府県	指標値		都道府県	指標値	
全 国	279.0		全 国	62.8	
東京都	322.8	1	山形県	71.6	1
山形県	321.4	2	兵庫県	71.3	2
富山県	317.8	3	鹿児島県	71.2	3
埼玉県	315.0	4	徳島県	69.1	4
新潟県	313.7	5	新潟県	69.0	5
千葉県	311.5	6	長崎県	69.0	6
石川県	307.1	7	山梨県	68.8	7
岐阜県	306.1	8	宮城県	68.7	8
神奈川県	300.2	9	福島県	67.8	9
鹿児島県	299.2	10	京都府	67.7	10
徳島県	298.5	11	長野県	66.6	11
滋賀県	297.0	12	奈良県	66.5	12
三重県	295.8	13	熊本県	66.5	13
福島県	292.7	14	神奈川県	65.7	14
静岡県	291.8	15	静岡県	65.1	15
熊本県	291.3	16	三重県	64.4	16
奈良県	290.8	17	香川県	63.9	17
兵庫県	287.0	18	岩手県	63.9	18
群馬県	286.6	19	山口県	63.7	19
長野県	286.0	20	鳥取県	63.6	20
福岡県	285.5	21	岡山県	63.6	21
広島県	284.4	22	沖縄県	63.3	22
宮城県	284.2	23	佐賀県	63.2	23
山口県	283.2	24	栃木県	62.8	24
京都府	283.2	25	愛知県	62.7	25
栃木県	281.1	26	岐阜県	62.5	26
高知県	280.8	27	群馬県	61.3	27
岡山県	276.6	28	秋田県	61.1	28
茨城県	275.8	29	福岡県	60.8	29
佐賀県	274.6	30	千葉県	60.6	30
香川県	274.5	31	北海道	60.3	31
鳥取県	273.9	32	愛媛県	60.2	32
島根県	273.9	33	東京都	60.2	33
岩手県	272.9	34	大分県	59.6	34
大分県	271.2	35	滋賀県	59.4	35
山梨県	270.8	36	高知県	59.0	36
北海道	268.4	37	青森県	58.4	37
愛知県	263.9	38	富山県	58.0	38
宮崎県	253.2	39	和歌山県	57.9	39
福井県	252.2	40	埼玉県	57.5	40
長崎県	250.0	41	茨城県	57.4	41
大阪府	250.0	42	石川県	57.1	42
秋田県	247.8	43	宮崎県	57.1	43
青森県	245.1	44	大阪府	56.3	44
愛媛県	243.5	45	島根県	56.0	45
沖縄県	228.3	46	広島県	55.9	46
和歌山県	225.7	47	福井県	55.1	47

資料：総務省「統計で見る都道府県のすがた2023」



#### 4 地域県民局を単位とした市町村別指標

##### A 人口・世帯

自治体名	総人口	日本人人口	外国人人口	住民基本台帳人口(総数)	15歳未満人口	15~64歳人口	65歳以上人口	人口集中地区人口
単位	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
年度	2015	2015	2015	2020	2015	2015	2015	2015
<b>青森県</b>	<b>1,308,265</b>	<b>1,302,132</b>	<b>3,447</b>	<b>1,260,067</b>	<b>148,208</b>	<b>757,867</b>	<b>390,940</b>	<b>610,034</b>
青森市	287,648	286,000	737	278,446	32,528	168,992	80,297	224,677
平内町	11,142	11,117	24	10,639	1,072	6,123	3,946	...
今別町	2,756	2,752	4	2,495	139	1,225	1,392	...
蓬田村	2,896	2,894	2	2,687	291	1,500	1,080	...
外ヶ浜町	6,198	6,182	16	5,734	437	2,927	2,832	...
<b>東青地域単純計</b>	<b>310,640</b>	<b>308,945</b>	<b>783</b>	<b>300,001</b>	<b>34,467</b>	<b>180,767</b>	<b>89,547</b>	<b>224,677</b>
弘前市	177,411	176,698	470	168,479	19,410	105,062	51,830	119,063
黒石市	34,284	34,222	52	32,530	3,864	20,215	10,178	16,009
平川市	32,106	32,077	29	30,708	3,634	18,384	10,085	5,222
西目屋村	1,415	1,415	0	1,327	129	750	536	...
藤崎町	15,179	15,167	11	14,812	1,808	8,739	4,628	...
大鰐町	9,676	9,672	1	9,182	786	5,133	3,755	...
田舎館村	7,783	7,771	9	7,699	890	4,393	2,491	...
<b>中南地域単純計</b>	<b>277,854</b>	<b>277,022</b>	<b>572</b>	<b>264,737</b>	<b>30,521</b>	<b>162,676</b>	<b>83,503</b>	<b>140,294</b>
八戸市	231,257	229,422	693	225,845	28,122	136,712	63,614	156,053
三戸町	10,135	10,087	41	9,690	997	5,332	3,784	...
五戸町	17,433	17,383	47	16,679	1,689	9,541	6,191	...
田子町	5,554	5,536	18	5,282	516	2,845	2,192	...
南部町	18,312	18,272	40	17,569	1,869	9,882	6,557	...
階上町	14,025	13,983	39	13,232	1,471	8,599	3,802	...
新郷村	2,509	2,502	7	2,359	206	1,177	1,126	...
<b>三八地域単純計</b>	<b>299,225</b>	<b>297,185</b>	<b>885</b>	<b>290,656</b>	<b>34,870</b>	<b>174,088</b>	<b>87,266</b>	<b>156,053</b>
五所川原市	55,181	55,058	70	53,204	6,007	31,606	17,433	16,047
つがる市	33,316	33,265	34	31,413	3,474	18,309	11,507	...
鱒ヶ沢町	10,126	10,106	11	9,472	851	5,230	4,021	...
深浦町	8,429	8,415	13	7,787	667	3,986	3,776	...
板柳町	13,935	13,912	23	13,211	1,492	7,700	4,741	...
鶴田町	13,392	13,376	15	12,499	1,508	7,492	4,392	...
中泊町	11,187	11,168	17	10,568	960	5,921	4,283	...
<b>西北地域単純計</b>	<b>145,566</b>	<b>145,300</b>	<b>183</b>	<b>138,154</b>	<b>14,959</b>	<b>80,244</b>	<b>50,153</b>	<b>16,047</b>
十和田市	63,429	63,175	169	60,345	7,325	37,028	18,850	26,779
三沢市	40,196	39,839	300	39,323	5,791	24,779	9,478	23,434
野辺地町	13,524	13,440	72	12,894	1,425	7,513	4,565	5,594
七戸町	15,709	15,677	32	15,143	1,604	8,419	5,684	...
六戸町	10,423	10,364	51	10,948	1,311	5,790	3,231	...
横浜町	4,535	4,519	16	4,376	446	2,440	1,649	...
東北町	17,955	17,884	53	17,154	2,008	9,844	6,050	...
六ヶ所村	10,536	10,440	83	10,131	1,291	6,714	2,427	...
おいらせ町	24,222	24,103	115	25,288	3,438	14,755	5,984	...
<b>上北地域単純計</b>	<b>200,529</b>	<b>199,441</b>	<b>891</b>	<b>195,602</b>	<b>24,639</b>	<b>117,282</b>	<b>57,918</b>	<b>55,807</b>
むつ市	58,493	58,303	111	55,931	7,007	33,885	17,326	17,156
大間町	5,227	5,216	11	5,125	623	3,007	1,537	...
東通村	6,607	6,598	9	6,153	761	3,802	2,044	...
風間浦村	1,976	1,975	1	1,796	170	1,032	774	...
佐井村	2,148	2,147	1	1,912	191	1,084	872	...
<b>下北地域単純計</b>	<b>74,451</b>	<b>74,239</b>	<b>133</b>	<b>70,917</b>	<b>8,752</b>	<b>42,810</b>	<b>22,553</b>	<b>17,156</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

【記号】 ... : データが得られないことを示す。X : データが秘匿されていることを示す。

※一部統計データでは、端数処理の関係で内訳と青森県合計が一致しない場合がある。

自治体名	出生数	死亡数	転入者数	転出者数	屋間人口	総世帯数	一般世帯数	核家族世帯数
単位	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(世帯)	(世帯)	(世帯)
年度	2020	2020	2020	2020	2015	2015	2015	2015
<b>青森県</b>	<b>6,837</b>	<b>17,905</b>	<b>32,553</b>	<b>37,159</b>	<b>1,306,283</b>	<b>510,945</b>	<b>509,241</b>	<b>271,241</b>
青森市	1,480	3,566	6,959	7,623	291,843	118,234	117,852	64,486
平内町	33	173	155	246	10,027	3,971	3,956	2,091
今別町	7	64	53	77	2,656	1,277	1,274	672
逢田村	3	51	27	55	2,610	959	953	480
達ヶ浜町	7	121	114	164	6,199	2,577	2,554	1,323
<b>東青地域単純計</b>	<b>1,530</b>	<b>3,975</b>	<b>7,308</b>	<b>8,165</b>	<b>313,335</b>	<b>127,018</b>	<b>126,589</b>	<b>69,052</b>
弘前市	1,041	2,435	4,415	4,772	190,230	71,152	70,913	35,028
黒石市	165	488	610	836	32,054	11,770	11,719	6,061
平川市	151	484	607	672	28,534	10,129	10,090	5,146
西目屋村	4	27	15	25	1,293	488	484	219
藤崎町	98	213	348	403	13,033	4,942	4,924	2,604
大鱒町	35	171	152	225	7,881	3,421	3,408	1,615
田舎館村	49	125	191	205	6,298	2,382	2,374	1,096
<b>中南地域単純計</b>	<b>1,543</b>	<b>3,943</b>	<b>6,338</b>	<b>7,138</b>	<b>279,323</b>	<b>104,284</b>	<b>103,912</b>	<b>51,769</b>
八戸市	1,378	2,750	6,010	6,629	241,823	93,750	93,519	52,839
三戸町	44	165	180	265	9,993	3,756	3,748	1,863
五戸町	73	285	309	429	15,745	6,123	6,110	3,297
田子町	22	91	71	111	5,432	2,006	1,997	965
南部町	71	320	404	457	15,501	6,419	6,391	3,471
階上町	64	192	370	419	10,593	5,699	5,679	2,954
新郷村	8	54	30	48	2,341	831	828	353
<b>三八地域単純計</b>	<b>1,660</b>	<b>3,857</b>	<b>7,374</b>	<b>8,358</b>	<b>301,428</b>	<b>118,584</b>	<b>118,272</b>	<b>65,742</b>
五所川原市	251	799	1,333	1,558	55,821	21,143	21,054	11,175
つがる市	135	490	595	832	31,730	10,984	10,937	5,417
鱒ヶ沢町	25	208	168	243	9,635	3,851	3,834	1,940
深浦町	20	175	104	180	8,126	3,304	3,288	1,659
板柳町	59	228	258	333	12,215	4,680	4,660	2,381
鶴田町	48	189	223	276	11,653	4,384	4,368	2,280
中泊町	33	230	167	280	10,447	4,118	4,102	2,093
<b>西北地域単純計</b>	<b>571</b>	<b>2,319</b>	<b>2,848</b>	<b>3,702</b>	<b>139,627</b>	<b>52,464</b>	<b>52,243</b>	<b>26,945</b>
十和田市	327	865	1,559	1,744	63,542	25,487	25,410	13,180
三沢市	323	404	1,975	2,262	41,679	16,367	16,286	8,967
野辺地町	35	200	282	349	12,731	5,565	5,549	3,023
七戸町	64	302	330	375	15,043	5,572	5,551	2,867
六戸町	66	140	320	333	9,028	3,570	3,559	2,058
横浜町	14	74	116	121	4,545	1,785	1,781	850
東北町	103	287	346	432	16,232	5,974	5,941	3,007
六ヶ所村	56	135	415	462	15,878	4,683	4,673	1,861
おいらせ町	188	288	1,035	926	20,551	8,658	8,640	5,197
<b>上北地域単純計</b>	<b>1,176</b>	<b>2,695</b>	<b>6,378</b>	<b>7,004</b>	<b>199,229</b>	<b>77,661</b>	<b>77,390</b>	<b>41,010</b>
むつ市	284	821	1,920	2,232	57,664	24,475	24,391	13,584
大間町	28	80	155	213	5,627	2,152	2,149	1,083
東通村	33	125	173	256	6,343	2,578	2,570	1,193
風間浦村	6	48	28	47	1,713	823	821	423
佐井村	6	42	31	44	1,994	906	904	440
<b>下北地域単純計</b>	<b>357</b>	<b>1,116</b>	<b>2,307</b>	<b>2,792</b>	<b>73,341</b>	<b>30,934</b>	<b>30,835</b>	<b>16,723</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

## B 自然環境

自治体名	単独世帯数	65歳以上の世帯員がいる核家族世帯数	高齢夫婦世帯数	高齢単身世帯数	婚姻件数	離婚件数	総面積	可住地面積
単位	(世帯)	(世帯)	(世帯)	(世帯)	(組)	(組)	(km <sup>2</sup> )	(km <sup>2</sup> )
年度	2015	2015	2015	2015	2020	2020	2020	2020
<b>青森県</b>	<b>153,443</b>	<b>121,078</b>	<b>56,383</b>	<b>61,580</b>	<b>4,032</b>	<b>1,915</b>	<b>9,645.64</b>	<b>3,229.70</b>
青森市	38,418	26,833	12,462	14,046	938	421	824.61	259.27
平内町	947	1,169	554	589	21	5	217.09	46.66
今別町	432	491	271	283	3	0	125.27	18.08
逢田村	199	297	132	119	2	3	80.84	19.60
左ヶ浜町	808	906	472	527	6	3	230.30	30.31
<b>東青地域単純計</b>	<b>40,804</b>	<b>29,696</b>	<b>13,891</b>	<b>15,564</b>	<b>970</b>	<b>432</b>	<b>1,478.11</b>	<b>373.92</b>
弘前市	24,554	15,273	6,874	8,647	546	262	524.20	293.99
黒石市	2,755	2,782	1,092	1,414	100	42	217.05	72.91
平川市	1,777	2,584	958	1,009	76	41	346.01	95.33
西目屋村	129	148	55	50	3	3	246.02	19.97
藤崎町	931	1,209	467	538	43	19	37.29	37.29
大鱒町	802	1,061	401	541	28	13	163.43	36.71
田舎館村	413	600	230	244	21	12	22.35	22.35
<b>中南地域単純計</b>	<b>31,361</b>	<b>23,657</b>	<b>10,077</b>	<b>12,443</b>	<b>817</b>	<b>392</b>	<b>1,556.35</b>	<b>578.55</b>
八戸市	28,681	21,762	10,449	10,447	843	349	305.56	203.45
三戸町	986	1,065	503	554	24	11	151.79	53.82
五戸町	1,305	1,860	832	735	30	25	177.67	85.01
田子町	498	603	276	296	15	2	241.98	47.47
南部町	1,386	1,930	830	850	33	25	153.12	76.15
階上町	1,872	1,289	606	483	27	21	94.00	39.32
新郷村	168	264	114	124	7	1	150.77	33.27
<b>三八地域単純計</b>	<b>34,896</b>	<b>28,773</b>	<b>13,610</b>	<b>13,489</b>	<b>979</b>	<b>434</b>	<b>1,274.89</b>	<b>538.49</b>
五所川原市	5,939	5,083	2,500	2,912	133	80	404.20	171.36
つがる市	2,250	2,854	1,352	1,389	85	39	253.55	213.62
鱒ヶ沢町	1,035	1,149	568	626	18	11	343.08	79.84
深浦町	951	1,111	608	651	9	6	488.90	64.98
板柳町	982	1,297	526	595	36	21	41.88	41.88
鶴田町	874	1,169	447	564	18	20	46.43	45.23
中泊町	994	1,245	654	669	26	16	216.34	67.53
<b>西北地域単純計</b>	<b>13,025</b>	<b>13,908</b>	<b>6,655</b>	<b>7,406</b>	<b>325</b>	<b>193</b>	<b>1,794.38</b>	<b>684.44</b>
十和田市	8,287	5,681	2,808	2,776	190	99	725.65	199.18
三沢市	5,453	3,017	1,494	1,847	213	85	119.87	97.82
野辺地町	1,736	1,533	741	801	42	23	81.68	27.44
七戸町	1,334	1,631	745	746	39	18	337.23	116.31
六戸町	648	952	450	349	27	17	83.89	57.08
横浜町	597	490	217	262	20	3	126.38	30.68
東北町	1,330	1,571	705	720	43	22	326.50	114.91
六ヶ所村	2,152	732	341	357	44	23	252.68	112.31
おいらせ町	1,864	1,864	824	737	81	41	71.96	58.97
<b>上北地域単純計</b>	<b>23,401</b>	<b>17,471</b>	<b>8,325</b>	<b>8,595</b>	<b>699</b>	<b>331</b>	<b>2,125.84</b>	<b>814.70</b>
むつ市	7,817	5,863	3,044	3,214	195	107	864.12	139.22
大間町	721	522	242	262	16	10	52.10	14.32
東通村	858	642	285	272	25	12	295.27	63.94
風間浦村	251	268	129	150	4	3	69.55	5.44
佐井村	309	278	125	185	2	1	135.04	16.69
<b>下北地域単純計</b>	<b>9,956</b>	<b>7,573</b>	<b>3,825</b>	<b>4,083</b>	<b>242</b>	<b>133</b>	<b>1,416.08</b>	<b>239.61</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

## C 経済基盤

自治体名	課税対象 所	納税 義務者数 (所得割)	事業所数	第2次 産業 事業所数	第3次 産業 事業所数	従業者数	第2次 産業 従業者数	第3次 産業 従業者数
単位	(百万円)	(人)	(事業所)	(事業所)	(事業所)	(人)	(人)	(人)
年度	2020	2020	2019	2014	2014	2014	2014	2014
<b>青森県</b>	<b>1,441,326</b>	<b>533,945</b>	<b>62,373</b>	<b>9,143</b>	<b>52,161</b>	<b>575,797</b>	<b>114,068</b>	<b>452,833</b>
青森市	342,453	123,323	14,344	1,638	11,959	136,848	17,099	119,377
平内町	11,728	4,493	419	92	353	3,201	904	2,220
今別町	1,740	759	145	37	131	806	218	575
逢田村	2,417	1,047	87	23	72	843	313	508
外ヶ浜町	4,773	1,899	321	73	281	2,201	481	1,651
<b>東青地域単純計</b>	<b>363,111</b>	<b>131,521</b>	<b>15,316</b>	<b>1,863</b>	<b>12,796</b>	<b>143,899</b>	<b>19,015</b>	<b>124,331</b>
弘前市	196,119	69,562	8,417	1,001	7,431	84,844	14,197	70,104
黒石市	31,083	13,572	1,504	229	1,270	12,880	3,333	9,299
平川市	27,542	11,932	1,140	264	924	11,280	3,977	6,988
西目屋村	944	438	75	26	58	555	157	387
藤崎町	14,085	5,989	538	93	452	5,033	1,435	3,518
大鱒町	7,124	3,332	351	69	326	2,694	571	2,058
田舎館村	7,010	3,101	251	67	182	1,950	899	1,026
<b>中南地域単純計</b>	<b>283,907</b>	<b>107,926</b>	<b>12,276</b>	<b>1,749</b>	<b>10,643</b>	<b>119,236</b>	<b>24,569</b>	<b>93,380</b>
八戸市	290,108	101,819	11,958	1,599	10,045	117,845	24,361	92,246
三戸町	8,717	3,747	441	81	355	3,730	972	2,600
五戸町	16,235	6,620	622	144	473	5,800	2,091	3,425
田子町	4,758	2,016	261	61	202	2,141	785	1,201
南部町	16,402	6,858	663	156	531	4,946	1,412	3,374
階上町	14,546	5,803	459	95	290	3,609	1,163	2,202
新郷村	1,755	769	101	16	100	858	180	621
<b>三八地域単純計</b>	<b>352,521</b>	<b>127,632</b>	<b>14,505</b>	<b>2,152</b>	<b>11,996</b>	<b>138,929</b>	<b>30,964</b>	<b>105,669</b>
五所川原市	52,638	20,946	3,115	460	2,641	24,260	4,251	19,710
つがる市	26,916	11,507	1,286	218	1,047	10,479	2,101	7,978
鱒ヶ沢町	7,566	3,208	511	72	448	3,736	651	2,954
深浦町	5,557	2,551	411	89	403	3,280	717	2,330
板柳町	10,896	4,820	584	106	478	3,854	848	2,990
鶴田町	10,248	4,376	437	93	345	3,613	1,042	2,476
中泊町	9,083	3,763	489	130	361	3,353	1,192	2,057
<b>西北地域単純計</b>	<b>122,904</b>	<b>51,171</b>	<b>6,833</b>	<b>1,168</b>	<b>5,723</b>	<b>52,575</b>	<b>10,802</b>	<b>40,495</b>
十和田市	73,805	26,850	3,452	499	2,855	29,384	6,535	22,007
三沢市	55,366	18,508	2,125	254	1,631	19,180	3,682	15,079
野辺地町	14,164	5,568	697	137	626	5,136	1,194	3,893
七戸町	15,136	6,024	687	137	578	6,120	1,337	4,390
六戸町	11,820	4,532	395	111	254	3,241	1,157	1,972
横浜町	4,681	1,736	207	35	179	1,829	653	1,010
東北町	16,854	6,765	784	152	618	6,035	1,443	4,373
六ヶ所村	16,442	5,088	586	134	452	9,828	3,755	5,745
おいらせ町	29,245	11,018	967	170	745	8,758	2,523	5,858
<b>上北地域単純計</b>	<b>237,513</b>	<b>86,089</b>	<b>9,900</b>	<b>1,629</b>	<b>7,938</b>	<b>89,511</b>	<b>22,279</b>	<b>64,327</b>
むつ市	65,999	24,011	2,726	422	2,401	25,579	4,804	20,361
大間町	5,721	1,925	317	66	245	2,305	541	1,732
東通村	6,738	2,423	285	46	215	2,448	715	1,631
風間浦村	1,399	613	99	23	91	628	202	413
佐井村	1,513	634	116	25	113	687	177	494
<b>下北地域単純計</b>	<b>81,370</b>	<b>29,606</b>	<b>3,543</b>	<b>582</b>	<b>3,065</b>	<b>31,647</b>	<b>6,439</b>	<b>24,631</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

## D 行政基盤

自治体名	耕地面積	製造品 出荷額等	製造業 従業者数	商業年間 商品 販売額	商業 事業所数	商業 従業者数	財力指 指数 (市町村財 政)	実質収支 比 (市町村財 政)
単位	(km <sup>2</sup> )	(百万円)	(人)	(百万円)	(事業所)	(人)	(-)	(%)
年度	2020	2019	2020	2015	2016	2016	2019	2019
<b>青森県</b>	<b>1,498</b>	<b>1,727,106</b>	<b>56,877</b>	<b>3,273,503</b>	<b>13,466</b>	<b>95,941</b>	...	...
青森市	84	115,547	5,778	1,100,686	2,988	23,945	0.56	4.0
平内町	15	10,259	444	7,062	108	425	0.26	3.9
今別町	6	X	5	1,600	35	95	0.20	10.0
蓬田村	12	X	211	3,298	17	124	0.20	2.6
外ヶ浜町	8	3,495	114	4,548	95	298	0.19	3.8
<b>東青地域単純計</b>	<b>125</b>	<b>129,301</b>	<b>6,552</b>	<b>1,117,194</b>	<b>3,243</b>	<b>24,887</b>	...	...
弘前市	140	272,331	7,257	492,637	1,833	14,949	0.49	1.3
黒石市	35	56,391	2,678	46,755	331	2,170	0.36	5.1
平川市	51	74,196	2,857	43,688	255	1,763	0.29	5.3
西目屋村	4	X	12	110	5	21	0.15	6.6
藤崎町	25	6,130	486	21,293	138	876	0.28	4.6
大鱒町	16	4,042	294	5,836	91	417	0.22	8.0
田舎館村	15	13,609	1,038	6,288	41	176	0.29	12.5
<b>中南地域単純計</b>	<b>286</b>	<b>426,699</b>	<b>14,622</b>	<b>616,607</b>	<b>2,694</b>	<b>20,372</b>	...	...
八戸市	48	547,475	14,178	750,967	2,587	19,950	0.67	3.9
三戸町	25	14,128	433	13,675	112	634	0.26	3.5
五戸町	44	22,595	1,117	17,070	161	938	0.29	2.7
田子町	26	10,928	385	3,813	56	216	0.22	2.9
南部町	36	12,371	586	15,063	180	774	0.28	2.6
階上町	12	8,853	677	7,836	64	436	0.36	9.0
新郷村	17	X	19	1,886	24	81	0.15	6.6
<b>三八地域単純計</b>	<b>208</b>	<b>616,350</b>	<b>17,395</b>	<b>810,310</b>	<b>3,184</b>	<b>23,029</b>	...	...
五所川原市	93	26,649	1,629	109,096	671	4,229	0.33	3.5
つがる市	143	5,512	687	56,228	314	2,063	0.23	2.3
鱒ヶ沢町	33	1,628	176	8,589	129	616	0.22	2.3
深浦町	15	444	98	7,667	96	403	0.17	2.4
板柳町	30	4,499	335	25,793	142	789	0.28	9.5
鶴田町	29	8,008	609	11,542	89	625	0.27	6.1
中泊町	37	1,128	184	11,325	108	477	0.21	3.9
<b>西北地域単純計</b>	<b>380</b>	<b>47,868</b>	<b>3,718</b>	<b>230,240</b>	<b>1,549</b>	<b>9,202</b>	...	...
十和田市	123	66,652	3,248	158,449	691	4,913	0.43	7.5
三沢市	38	84,099	2,362	63,136	338	2,319	0.51	5.9
野辺地町	6	7,165	435	17,982	170	1,011	0.39	0.2
七戸町	70	8,426	593	22,560	184	1,073	0.37	2.6
六戸町	35	6,483	397	9,138	74	452	0.41	4.6
横浜町	22	17,293	625	3,230	48	223	0.31	2.9
東北町	81	6,343	339	20,689	173	1,017	0.30	4.5
六ヶ所村	37	242,316	3,455	19,823	108	584	1.81	1.9
おいらせ町	33	47,463	1,258	43,497	221	1,855	0.47	3.2
<b>上北地域単純計</b>	<b>445</b>	<b>486,240</b>	<b>12,712</b>	<b>358,504</b>	<b>2,007</b>	<b>13,447</b>	...	...
むつ市	31	12,797	1,589	126,525	618	4,295	0.38	1.1
大間町	3	2,397	38	10,157	61	388	0.28	4.1
東通村	19	3,807	148	2,761	60	181	0.74	5.4
風間浦村	0	534	75	708	21	62	0.10	5.5
佐井村	3	X	28	496	29	78	0.12	3.4
<b>下北地域単純計</b>	<b>56</b>	<b>19,535</b>	<b>1,878</b>	<b>140,647</b>	<b>789</b>	<b>5,004</b>	...	...

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

※東青、中南、三八、下北地域の製造品出荷額等の計は秘匿町村分を除く。

## E 教育

自治体名	実質 公債費 比率 (市町村財 政)	歳 入 決算総額 (市町村財 政)	歳 出 決算総額 (市町村財 政)	地方税 (市町村 財政)	幼稚園数	幼 稚 園 在園者数	小学校数	小学校 教員数
単位	(%)	(百万円)	(百万円)	(百万円)	(園)	(人)	(校)	(人)
年度	2019	2019	2019	2019	2020	2020	2020	2020
<b>青森県</b>	...	<b>712,387</b>	<b>693,788</b>	<b>151,027</b>	<b>87</b>	<b>4,632</b>	<b>269</b>	<b>4,536</b>
青森市	15.0	128,492	125,315	34,364	24	1,638	43	885
平内町	10.4	7,030	6,866	886	1	11	3	49
今別町	5.5	3,296	2,977	342	0	0	1	9
蓬田村	2.2	2,145	2,106	266	0	0	1	16
逢ヶ浜町	10.7	6,153	5,940	650	0	0	2	21
<b>東青地域単純計</b>	...	<b>147,116</b>	<b>143,204</b>	<b>36,508</b>	<b>25</b>	<b>1,649</b>	<b>50</b>	<b>980</b>
弘前市	7.0	78,941	78,344	19,926	10	617	35	598
黒石市	17.1	18,228	17,764	2,971	2	61	4	93
平川市	10.2	21,584	20,852	2,441	1	22	9	129
西目屋村	11.9	2,033	1,939	154	0	0	1	14
藤崎町	13.6	8,025	7,808	1,167	1	11	3	54
大鱒町	16.5	6,061	5,763	674	0	0	1	20
田舎館村	7.0	4,493	4,170	600	0	0	1	22
<b>中南地域単純計</b>	...	<b>139,365</b>	<b>136,640</b>	<b>27,933</b>	<b>14</b>	<b>711</b>	<b>54</b>	<b>930</b>
八戸市	9.8	110,826	106,809	30,413	16	849	42	757
三戸町	11.3	6,211	6,067	841	1	0	3	40
五戸町	9.7	9,218	9,053	1,428	2	54	4	67
田子町	9.1	4,656	4,570	482	1	9	3	26
南部町	7.8	11,074	10,691	1,579	1	69	8	90
階上町	11.4	5,895	5,528	1,169	0	0	6	63
新郷村	7.6	2,723	2,581	206	0	0	2	20
<b>三八地域単純計</b>	...	<b>150,603</b>	<b>145,299</b>	<b>36,118</b>	<b>21</b>	<b>981</b>	<b>68</b>	<b>1,063</b>
五所川原市	11.1	32,212	31,575	5,239	5	166	11	190
つがる市	12.2	24,291	23,912	2,474	1	62	8	117
鱒ヶ沢町	14.6	7,203	7,110	803	0	0	2	31
深浦町	11.9	7,299	7,190	679	0	0	3	37
板柳町	9.3	8,513	8,125	931	0	0	4	52
鶴田町	12.8	9,173	8,935	909	1	27	1	37
中泊町	10.5	7,519	7,341	812	0	0	4	47
<b>西北地域単純計</b>	...	<b>96,210</b>	<b>94,188</b>	<b>11,847</b>	<b>7</b>	<b>255</b>	<b>33</b>	<b>511</b>
十和田市	8.7	35,280	33,756	7,131	3	145	16	251
三沢市	10.1	23,407	22,700	4,789	3	306	7	143
野辺地町	7.5	6,353	6,338	1,331	1	36	3	47
七戸町	5.7	11,111	10,734	2,175	0	0	3	55
六戸町	9.1	5,717	5,541	1,442	2	19	3	50
横浜町	5.9	4,849	4,786	628	1	6	1	17
東北町	11.7	12,167	11,826	1,706	0	0	3	54
六ヶ所村	5.1	14,218	13,663	7,816	0	0	4	54
おいらせ町	11.0	9,933	9,724	2,627	1	68	5	95
<b>上北地域単純計</b>	...	<b>123,035</b>	<b>119,068</b>	<b>29,645</b>	<b>11</b>	<b>580</b>	<b>45</b>	<b>766</b>
むつ市	16.1	37,767	37,514	5,821	8	434	13	214
大間町	15.7	4,898	4,802	572	1	22	2	24
東通村	18.5	8,237	8,048	2,306	0	0	1	28
風間浦村	13.2	2,761	2,683	108	0	0	1	11
佐井村	7.8	2,396	2,344	168	0	0	2	9
<b>下北地域単純計</b>	...	<b>56,059</b>	<b>55,391</b>	<b>8,975</b>	<b>9</b>	<b>456</b>	<b>19</b>	<b>286</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

## F 労働

自治体名	小学校 児童数	中学校数	中学校 教員数	中学校 生徒数	高等 学校数	高等学校 生徒数	労働力 人口	就業者数
単位	(人)	(校)	(人)	(人)	(校)	(人)	(人)	(人)
年度	2020	2020	2020	2020	2020	2020	2015	2015
<b>青森県</b>	<b>55,717</b>	<b>159</b>	<b>3,001</b>	<b>30,206</b>	<b>77</b>	<b>32,155</b>	<b>661,082</b>	<b>625,970</b>
青森市	12,593	21	553	7,081	13	8,108	139,170	130,968
平内町	407	3	39	210	2	33	5,995	5,745
今別町	36	1	13	34	1	16	1,178	1,081
蓬田村	123	1	12	64	0	0	1,497	1,411
外ヶ浜町	131	2	22	81	0	0	2,760	2,597
<b>東青地域単純計</b>	<b>13,290</b>	<b>28</b>	<b>639</b>	<b>7,470</b>	<b>16</b>	<b>8,157</b>	<b>150,600</b>	<b>141,802</b>
弘前市	7,337	18	369	4,101	9	5,710	89,796	85,719
黒石市	1,362	2	55	677	3	802	18,419	17,552
平川市	1,380	4	76	694	2	557	17,648	16,331
西目屋村	67	0	0	0	0	0	837	806
藤崎町	692	2	34	352	0	0	8,467	8,054
大鱒町	257	1	19	148	0	0	5,103	4,783
田舎館村	364	1	18	170	0	0	4,250	4,049
<b>中南地域単純計</b>	<b>11,459</b>	<b>28</b>	<b>571</b>	<b>6,142</b>	<b>14</b>	<b>7,069</b>	<b>144,520</b>	<b>137,294</b>
八戸市	10,791	26	505	5,758	14	7,512	114,320	108,032
三戸町	382	2	29	213	1	116	5,373	5,112
五戸町	632	3	41	331	1	97	9,522	9,036
田子町	177	1	13	106	1	20	3,099	2,997
南部町	663	4	55	383	1	249	9,745	9,370
階上町	522	2	38	278	0	0	6,933	6,480
新郷村	82	2	20	29	0	0	1,447	1,407
<b>三八地域単純計</b>	<b>13,249</b>	<b>40</b>	<b>701</b>	<b>7,098</b>	<b>18</b>	<b>7,994</b>	<b>150,439</b>	<b>142,434</b>
五所川原市	2,146	6	117	1,130	6	2,149	27,858	26,206
つがる市	1,194	5	81	722	1	457	16,965	15,881
鱒ヶ沢町	296	1	17	181	1	51	4,971	4,672
深浦町	209	3	32	139	1	49	3,847	3,670
板柳町	529	1	26	288	1	93	8,272	7,897
鶴田町	543	1	25	300	1	74	7,500	7,096
中泊町	341	2	29	195	1	27	5,298	4,744
<b>西北地域単純計</b>	<b>5,258</b>	<b>19</b>	<b>327</b>	<b>2,955</b>	<b>12</b>	<b>2,900</b>	<b>74,711</b>	<b>70,166</b>
十和田市	2,795	10	170	1,536	4	1,815	32,489	31,098
三沢市	2,067	5	107	1,081	2	1,122	20,456	19,625
野辺地町	508	1	24	274	2	423	6,652	6,284
七戸町	617	2	38	312	1	331	8,277	7,894
六戸町	591	2	32	256	1	168	5,621	5,378
横浜町	158	1	13	90	0	0	2,411	2,308
東北町	733	2	34	379	0	0	9,444	9,004
六ヶ所村	445	3	45	243	1	151	6,312	6,095
おいらせ町	1,396	3	62	689	1	383	12,706	12,060
<b>上北地域単純計</b>	<b>9,310</b>	<b>29</b>	<b>525</b>	<b>4,860</b>	<b>12</b>	<b>4,393</b>	<b>104,368</b>	<b>99,746</b>
むつ市	2,524	9	158	1,324	4	1,522	28,057	26,565
大間町	244	2	26	136	1	120	2,709	2,569
東通村	282	1	21	146	0	0	3,609	3,466
風間浦村	52	1	11	40	0	0	1,031	955
佐井村	49	2	22	35	0	0	1,038	973
<b>下北地域単純計</b>	<b>3,151</b>	<b>15</b>	<b>238</b>	<b>1,681</b>	<b>5</b>	<b>1,642</b>	<b>36,444</b>	<b>34,528</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

自治体名	完全失業者数	第1次産業就業者数	第2次産業就業者数	第3次産業就業者数	雇用者数	役員数	雇人のある業主数	雇人のない業主数
単位	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
年度	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015	2015
<b>青森県</b>	<b>35,112</b>	<b>75,300</b>	<b>124,032</b>	<b>407,585</b>	<b>471,986</b>	<b>23,800</b>	<b>16,966</b>	<b>54,231</b>
青森市	8,202	3,956	19,050	102,763	107,198	5,328	2,717	7,744
平内町	250	1,591	1,174	2,931	3,600	151	256	727
今別町	97	145	322	609	757	42	30	169
逢田村	86	409	314	686	913	27	78	180
左ヶ浜町	163	599	533	1,455	1,728	87	147	328
<b>東青地域単純計</b>	<b>8,798</b>	<b>6,700</b>	<b>21,393</b>	<b>108,444</b>	<b>114,196</b>	<b>5,635</b>	<b>3,228</b>	<b>9,148</b>
弘前市	4,077	12,316	13,579	54,242	60,182	3,159	2,931	7,765
黒石市	867	2,780	4,213	10,066	12,748	574	497	1,879
平川市	1,317	3,972	3,630	8,641	10,991	445	550	2,137
西目屋村	31	222	222	357	554	23	16	111
藤崎町	413	1,924	1,565	4,501	5,517	211	326	907
大鱒町	320	1,056	958	2,752	3,294	125	182	590
田舎館村	201	900	946	2,195	2,862	112	115	518
<b>中南地域単純計</b>	<b>7,226</b>	<b>23,170</b>	<b>25,113</b>	<b>82,754</b>	<b>96,148</b>	<b>4,649</b>	<b>4,617</b>	<b>13,907</b>
八戸市	6,288	3,625	24,286	77,656	89,982	5,061	2,064	5,997
三戸町	261	1,582	968	2,517	3,036	186	212	693
五戸町	486	2,069	2,344	4,594	6,225	317	188	1,213
田子町	102	1,098	708	1,186	1,774	118	103	417
南部町	375	2,355	2,039	4,915	6,069	355	258	1,357
階上町	453	563	1,961	3,818	5,400	246	120	392
新郷村	40	682	243	481	688	32	50	281
<b>三八地域単純計</b>	<b>8,005</b>	<b>11,974</b>	<b>32,549</b>	<b>95,167</b>	<b>113,174</b>	<b>6,315</b>	<b>2,995</b>	<b>10,350</b>
五所川原市	1,652	3,704	5,157	16,512	18,667	1,085	823	2,835
つがる市	1,084	4,681	2,872	7,911	9,576	420	564	2,456
鱒ヶ沢町	299	1,050	839	2,777	3,162	129	214	565
深浦町	177	920	743	2,005	2,435	139	131	619
板柳町	375	2,999	1,255	3,633	4,297	206	480	1,302
鶴田町	404	2,475	1,311	3,301	4,160	180	348	1,080
中泊町	554	1,122	1,322	2,251	3,034	182	188	766
<b>西北地域単純計</b>	<b>4,545</b>	<b>16,951</b>	<b>13,499</b>	<b>38,390</b>	<b>45,331</b>	<b>2,341</b>	<b>2,748</b>	<b>9,623</b>
十和田市	1,391	3,767	6,821	19,263	23,089	1,340	770	2,801
三沢市	831	1,344	4,078	13,225	15,732	711	407	1,151
野辺地町	368	492	1,609	4,133	5,103	230	194	402
七戸町	383	1,480	1,783	4,586	5,602	281	210	961
六戸町	243	1,105	1,335	2,904	3,827	202	165	568
横浜町	103	753	580	947	1,556	57	80	273
東北町	440	2,268	2,087	4,567	6,069	306	255	1,079
六ヶ所村	217	787	2,346	2,931	5,069	244	108	314
おいらせ町	646	1,119	3,387	7,204	9,878	350	269	776
<b>上北地域単純計</b>	<b>4,622</b>	<b>13,115</b>	<b>24,026</b>	<b>59,760</b>	<b>75,925</b>	<b>3,721</b>	<b>2,458</b>	<b>8,325</b>
むつ市	1,492	1,386	5,591	19,002	21,784	904	698	1,653
大間町	140	612	566	1,380	1,678	88	80	441
東通村	143	960	854	1,650	2,477	78	83	483
風間浦村	76	199	208	547	651	40	29	154
佐井村	65	233	233	491	622	29	30	147
<b>下北地域単純計</b>	<b>1,916</b>	<b>3,390</b>	<b>7,452</b>	<b>23,070</b>	<b>27,212</b>	<b>1,139</b>	<b>920</b>	<b>2,878</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」



## G 文化・スポーツ H 居住

自治体名	家族 従業者数	自市区町村 で従業して いる 就業者数	他市区町村 への 通勤者数	従業地 による 就業者数	他市区町村 からの 通勤者数	公民館数	図書館数	居住世帯 あり 住宅数
単位	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(館)	(館)	(戸)
年度	2015	2015	2015	2015	2015	2018	2018	2018
<b>青森県</b>	<b>44,643</b>	<b>492,202</b>	<b>119,994</b>	<b>624,241</b>	<b>118,265</b>	<b>246</b>	<b>35</b>	<b>501,500</b>
青森市	4,165	120,015	7,612	134,418	11,062	42	2	114,950
平内町	980	4,187	1,517	4,857	629	6	1	...
今別町	78	787	290	998	207	1	0	...
逢田村	211	878	528	1,223	340	9	0	...
蓬ヶ浜町	304	2,080	508	2,713	624	3	0	...
<b>東青地域単純計</b>	<b>5,738</b>	<b>127,947</b>	<b>10,455</b>	<b>144,209</b>	<b>12,862</b>	<b>61</b>	<b>3</b>	<b>...</b>
弘前市	7,921	71,927	10,292	94,939	19,512	15	4	70,780
黒石市	1,579	10,823	6,453	15,802	4,703	10	0	11,640
平川市	2,123	9,089	7,157	13,512	4,338	4	2	10,190
西目屋村	102	488	316	749	259	2	0	...
藤崎町	1,032	3,853	4,131	6,402	2,479	6	1	5,010
大鱒町	573	2,448	2,319	3,301	837	1	0	...
田舎館村	431	1,636	2,402	2,855	1,208	1	0	...
<b>中南地域単純計</b>	<b>13,761</b>	<b>100,264</b>	<b>33,070</b>	<b>137,560</b>	<b>33,336</b>	<b>39</b>	<b>7</b>	<b>...</b>
八戸市	2,899	96,661	9,303	116,047	17,318	28	3	92,870
三戸町	944	3,554	1,506	5,091	1,485	1	1	...
五戸町	1,057	5,430	3,558	7,576	2,098	1	1	6,200
田子町	580	2,317	671	2,933	607	2	1	...
南部町	1,256	5,281	4,026	6,974	1,630	5	0	6,220
階上町	208	2,264	4,099	3,905	1,524	1	0	...
新郷村	354	1,047	354	1,296	243	3	0	...
<b>三八地域単純計</b>	<b>7,298</b>	<b>116,554</b>	<b>23,517</b>	<b>143,822</b>	<b>24,905</b>	<b>41</b>	<b>6</b>	<b>...</b>
五所川原市	2,185	18,988	6,639	26,383	6,816	2	3	19,040
つがる市	2,561	11,072	4,533	14,702	3,354	3	1	11,070
鱒ヶ沢町	594	3,388	1,275	4,323	926	6	0	...
深浦町	340	3,205	452	3,502	284	3	0	...
板柳町	1,601	4,997	2,887	6,509	1,499	1	1	...
鶴田町	1,316	4,216	2,868	5,746	1,518	1	0	...
中泊町	499	3,341	1,332	4,262	850	3	1	...
<b>西北地域単純計</b>	<b>9,096</b>	<b>49,207</b>	<b>19,986</b>	<b>65,427</b>	<b>15,247</b>	<b>19</b>	<b>6</b>	<b>...</b>
十和田市	2,103	24,654	5,463	31,075	5,440	1	1	25,650
三沢市	801	13,913	4,884	21,144	6,403	1	1	15,940
野辺地町	311	4,207	2,029	5,373	1,118	2	1	...
七戸町	770	5,196	2,646	7,163	1,915	17	1	5,350
六戸町	584	2,460	2,881	4,185	1,688	1	1	...
横浜町	323	1,674	602	2,437	731	1	1	...
東北町	1,205	5,835	3,086	7,847	1,929	11	1	6,030
六ヶ所村	326	5,648	406	11,476	5,787	11	1	...
おいらせ町	579	5,074	6,739	9,026	3,705	3	1	9,080
<b>上北地域単純計</b>	<b>7,002</b>	<b>68,661</b>	<b>28,736</b>	<b>99,726</b>	<b>28,716</b>	<b>48</b>	<b>9</b>	<b>...</b>
むつ市	949	23,464	2,442	25,630	1,507	25	4	23,310
大間町	256	2,323	222	2,911	564	1	0	...
東通村	335	2,410	1,030	3,357	921	0	0	...
風間浦村	79	609	340	736	121	4	0	...
佐井村	129	763	196	863	86	8	0	...
<b>下北地域単純計</b>	<b>1,748</b>	<b>29,569</b>	<b>4,230</b>	<b>33,497</b>	<b>3,199</b>	<b>38</b>	<b>4</b>	<b>...</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

自治体名	持ち家数	借家数	1住宅 当たり 延べ面積	非水洗化 口人	ごみ計画 収集人口	ご み 総排出量	ごみの リサイク ル率	小売店数
単位	(戸)	(戸)	(㎡)	(人)	(人)	(t)	(%)	(事業所)
年度	2018	2018	2018	2019	2019	2019	2019	2016
<b>青森県</b>	<b>352,800</b>	<b>141,300</b>	<b>121.58</b>	<b>142,698</b>	<b>1,278,713</b>	<b>469,430</b>	<b>14.3</b>	<b>12,079</b>
青森市	75,630	37,250	112.17	15,192	281,667	107,012	14.7	2,456
平内町	...	...	...	3,054	10,932	5,188	18.2	104
今別町	...	...	...	595	2,596	993	12.1	35
蓬田村	...	...	...	452	2,787	1,270	38.3	17
外ヶ浜町	...	...	...	1,581	5,951	2,208	27.5	92
<b>東青地域単純計</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>20,874</b>	<b>303,933</b>	<b>116,671</b>	<b>...</b>	<b>2,704</b>
弘前市	47,080	22,330	114.23	7,241	170,500	68,890	9.8	1,709
黒石市	9,420	2,000	135.17	5,959	33,154	12,001	12.9	311
平川市	9,070	1,080	152.02	1,819	31,157	10,257	12.4	251
西目屋村	...	...	...	244	1,372	471	8.8	7
藤崎町	4,470	540	154.70	2,283	15,043	5,442	12.5	134
大鱒町	...	...	...	1,143	9,444	2,868	11.8	89
田舎館村	...	...	...	772	7,801	2,384	8.2	36
<b>中南地域単純計</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>19,461</b>	<b>268,471</b>	<b>102,313</b>	<b>...</b>	<b>2,537</b>
八戸市	57,180	34,050	103.8	33,093	228,240	81,503	12.7	2,158
三戸町	...	...	...	4,875	9,928	3,733	14.7	118
五戸町	5,220	990	138.56	5,253	17,084	5,141	23.3	156
田子町	...	...	...	2,863	5,427	1,872	18.7	63
南部町	5,120	1,090	147.52	4,259	17,929	5,173	12.4	158
階上町	...	...	...	2,850	13,437	3,827	13.5	59
新郷村	...	...	...	685	2,444	601	27.0	27
<b>三八地域単純計</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>53,878</b>	<b>294,489</b>	<b>101,850</b>	<b>...</b>	<b>2,739</b>
五所川原市	14,650	4,310	136.53	2,498	54,041	20,251	15.7	650
つがる市	9,500	1,510	169.6	1,011	32,104	9,922	15.4	318
鱒ヶ沢町	...	...	...	5,953	9,791	3,495	6.6	134
深浦町	...	...	...	2,879	8,062	2,912	9.5	91
板柳町	...	...	...	1,038	13,512	4,067	6.8	140
鶴田町	...	...	...	78	12,759	3,505	20.5	91
中泊町	...	...	...	1,758	10,952	3,375	9.7	102
<b>西北地域単純計</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>15,215</b>	<b>141,221</b>	<b>47,527</b>	<b>...</b>	<b>1,526</b>
十和田市	17,680	7,410	121.29	6,832	61,158	22,703	21.1	619
三沢市	8,970	6,620	110.44	1,453	39,783	16,025	8.0	344
野辺地町	...	...	...	2,294	13,170	5,117	11.2	158
七戸町	4,670	680	153.88	5,761	15,500	5,853	15.9	151
六戸町	...	...	...	1,611	11,045	2,958	21.0	74
横浜町	...	...	...	2,134	4,463	1,588	12.0	49
東北町	4,830	1,160	153.02	1,124	17,511	5,673	14.6	160
六ヶ所村	...	...	...	516	10,310	4,429	10.7	89
おいらせ町	7,100	1,800	129.67	2,188	25,225	8,530	21.7	217
<b>上北地域単純計</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>23,913</b>	<b>198,165</b>	<b>72,876</b>	<b>...</b>	<b>1,861</b>
むつ市	16,640	6,170	120.17	8,442	56,978	22,692	23.3	557
大間町	...	...	...	237	5,244	2,104	23.7	48
東通村	...	...	...	575	6,377	2,016	21.0	55
風間浦村	...	...	...	78	1,863	657	23.9	19
佐井村	...	...	...	25	1,972	724	26.0	33
<b>下北地域単純計</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>...</b>	<b>9,357</b>	<b>72,434</b>	<b>28,193</b>	<b>...</b>	<b>712</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

I 健康・医療

自治体名	飲食店数	大型 小売店数	百貨店・ 総合 スーパー 数	一般 病院数	一般 診療所数	歯科 診療所数	医師数	歯科 医師数
単位	(事業所)	(事業所)	(事業所)	(施設)	(施設)	(施設)	(人)	(人)
年度	2016	2016	2016	2019	2019	2019	2018	2018
<b>青森県</b>	<b>6,744</b>	<b>185</b>	<b>19</b>	<b>77</b>	<b>877</b>	<b>520</b>	<b>2,712</b>	<b>740</b>
青森市	1,548	52	5	16	218	135	691	186
平内町	42	1	0	1	6	3	7	3
今別町	12	0	0	0	3	1	2	3
逢田村	5	0	0	0	2	1	1	0
外ヶ浜町	15	0	0	1	7	1	8	1
<b>東青地域単純計</b>	<b>1,622</b>	<b>53</b>	<b>5</b>	<b>18</b>	<b>236</b>	<b>141</b>	<b>709</b>	<b>193</b>
弘前市	986	26	4	12	163	93	811	135
黒石市	185	6	0	2	17	13	56	12
平川市	103	4	0	0	19	9	17	11
西目屋村	2	0	0	0	1	0	0	0
藤崎町	44	1	1	1	8	7	16	8
大鱒町	30	1	0	1	6	2	8	2
田舎館村	14	0	0	0	2	1	1	1
<b>中南地域単純計</b>	<b>1,364</b>	<b>38</b>	<b>5</b>	<b>16</b>	<b>216</b>	<b>125</b>	<b>909</b>	<b>169</b>
八戸市	1,328	32	4	16	162	95	522	161
三戸町	31	2	0	1	3	3	9	3
五戸町	46	3	0	1	10	7	13	10
田子町	15	0	0	0	3	2	6	3
南部町	24	0	0	2	7	5	19	6
階上町	22	1	0	0	3	3	2	3
新郷村	6	1	0	0	1	0	2	0
<b>三八地域単純計</b>	<b>1,472</b>	<b>39</b>	<b>4</b>	<b>20</b>	<b>189</b>	<b>115</b>	<b>573</b>	<b>186</b>
五所川原市	427	7	1	5	42	22	129	31
つがる市	90	4	1	1	12	9	13	12
鱒ヶ沢町	34	0	0	1	5	3	11	5
深浦町	32	0	0	0	6	2	4	2
板柳町	64	3	0	1	5	7	8	8
鶴田町	41	2	0	0	6	3	9	3
中泊町	29	1	0	0	9	3	5	5
<b>西北地域単純計</b>	<b>717</b>	<b>17</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>85</b>	<b>49</b>	<b>179</b>	<b>66</b>
十和田市	384	8	1	3	41	22	119	31
三沢市	350	7	0	3	19	16	52	25
野辺地町	96	3	0	1	6	8	18	9
七戸町	59	1	1	1	6	4	13	7
六戸町	21	1	0	0	6	3	4	5
横浜町	14	0	0	0	2	1	1	2
東北町	74	2	0	1	9	5	10	7
六ヶ所村	37	0	0	0	7	1	5	4
おいらせ町	89	5	1	2	11	6	18	8
<b>上北地域単純計</b>	<b>1,124</b>	<b>27</b>	<b>3</b>	<b>11</b>	<b>107</b>	<b>66</b>	<b>240</b>	<b>98</b>
むつ市	378	10	0	3	34	20	93	25
大間町	35	1	0	1	2	1	6	1
東通村	16	0	0	0	4	2	2	1
風間浦村	4	0	0	0	1	0	1	0
佐井村	12	0	0	0	3	1	0	1
<b>下北地域単純計</b>	<b>445</b>	<b>11</b>	<b>0</b>	<b>4</b>	<b>44</b>	<b>24</b>	<b>102</b>	<b>28</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」

## J 福祉・社会保障

自治体名	薬剤師数	介護老人 福祉施設 数	児童福祉 施設等数	保育所等 数	国民 健康保険 被保険者 数
単位	(人)	(所)	(所)	(所)	(人)
年度	2018	2019	2019	2019	2019
<b>青森県</b>	<b>2,306</b>	<b>97</b>	<b>659</b>	<b>480</b>	<b>301,629</b>
青森市	714	14	162	89	59,394
平内町	10	2	7	6	3,677
今別町	3	1	1	1	751
蓬田村	0	1	1	1	857
外ヶ浜町	10	2	1	1	1,800
<b>東青地域単純計</b>	<b>737</b>	<b>20</b>	<b>172</b>	<b>98</b>	<b>66,479</b>
弘前市	458	11	101	65	41,394
黒石市	53	2	22	15	8,595
平川市	22	2	15	13	8,040
西目屋村	0	1	1	1	333
藤崎町	19	2	7	7	3,914
大鱒町	10	1	4	3	2,544
田舎館村	0	0	4	3	1,881
<b>中南地域単純計</b>	<b>562</b>	<b>19</b>	<b>154</b>	<b>107</b>	<b>66,701</b>
八戸市	446	9	105	81	47,422
三戸町	13	1	6	4	2,846
五戸町	18	2	5	5	4,244
田子町	2	1	2	2	1,568
南部町	23	3	4	3	4,726
階上町	3	2	4	4	3,213
新郷村	0	0	1	1	739
<b>三八地域単純計</b>	<b>505</b>	<b>18</b>	<b>127</b>	<b>100</b>	<b>64,758</b>
五所川原市	127	6	21	21	14,353
つがる市	15	3	16	14	10,001
鱒ヶ沢町	9	1	5	5	3,108
深浦町	3	2	8	8	2,551
板柳町	8	1	6	6	4,374
鶴田町	11	1	7	6	4,073
中泊町	2	2	4	4	3,321
<b>西北地域単純計</b>	<b>175</b>	<b>16</b>	<b>67</b>	<b>64</b>	<b>41,781</b>
十和田市	110	3	30	28	14,063
三沢市	49	3	28	18	7,997
野辺地町	13	1	5	4	3,111
七戸町	22	2	9	6	3,764
六戸町	6	1	6	4	2,611
横浜町	2	1	3	2	1,299
東北町	10	2	13	12	4,516
六ヶ所村	3	1	4	4	1,885
おいらせ町	23	2	17	13	5,308
<b>上北地域単純計</b>	<b>238</b>	<b>16</b>	<b>115</b>	<b>91</b>	<b>44,554</b>
むつ市	82	6	19	15	12,755
大間町	4	1	2	2	1,678
東通村	3	0	1	1	1,768
風間浦村	0	0	1	1	553
佐井村	0	1	1	1	602
<b>下北地域単純計</b>	<b>89</b>	<b>8</b>	<b>24</b>	<b>20</b>	<b>17,356</b>

資料：総務省「統計でみる市区町村のすがた2022」



## よくわかる青森県 2023

---

令和5年3月発行

執筆者  
(企画調整課)

後 村 文 子  
浅 野 みのり  
一 山 哲 哉  
小 野 加 織  
栗 田 直 子  
今 宏 幸  
酒 田 佳 旺  
佐 藤 大 晃  
田 中 咲 子  
三 浦 孝 文  
谷 地 よし美  
渡 部 和 之  
工 藤 高 聡  
野 田 傑 士  
佐々木 健 人  
東 直 樹  
美濃谷 邦 康

田 澤 謙 吾  
飯 塚 陽 祐  
小笠原 富美法  
北 田 将 宣  
桑 嶋 麻 子  
斎 藤 豪  
坂 本 大 樹  
舘 田 みどり  
對 馬 大  
八 代 義 史  
山 田 健 一  
福 士 佳 依  
古 川 智 洋  
山 田 学  
奈 良 浩 明

(地域県民局)

(企画政策部)

編 集

青森県企画政策部企画調整課

---

# 青森県地図

凡 例 [2023年3月現在]

- 高規格幹線道路
- 地域高規格道路
- 有料道路
- ④ 国道
- 主要道
- その他道路
- - - 新幹線
- - - 在来線
- · - · - 民営鉄道
- 市町村庁舎



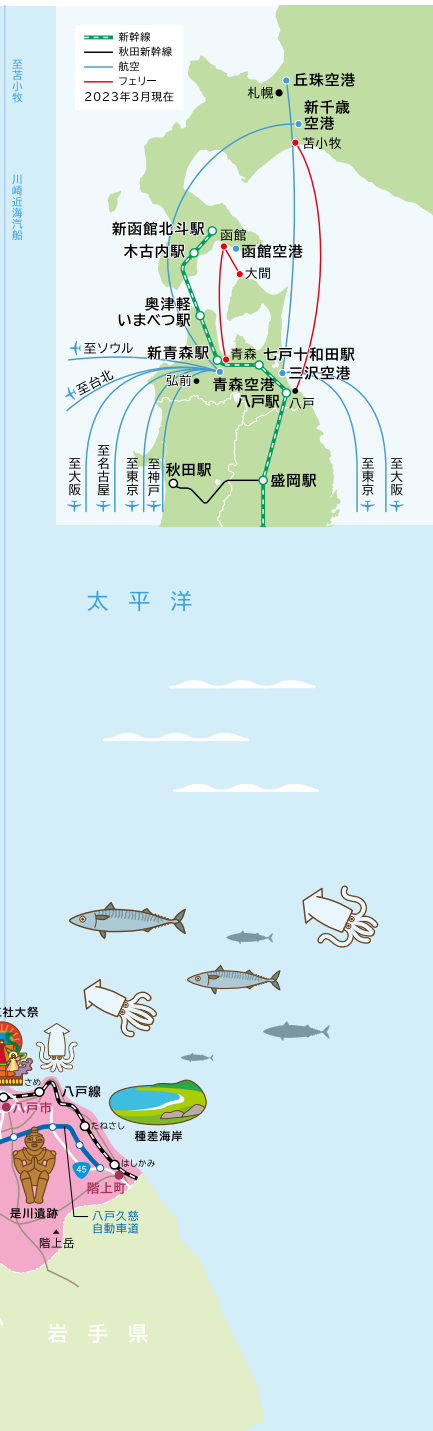
至函館  
青森フェリー「津軽海峡フェリー」

北海道

津軽海峡

日本海

秋田県



至青小牧

川崎近海汽船

太平洋

岩手県



